科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 2 年 6 月 7 日現在

機関番号: 63905

研究種目: 基盤研究(A)(一般)

研究期間: 2015~2019

課題番号: 15H01846

研究課題名(和文)相互主体性の解析に基づく社会行動の神経基盤と発達過程の解明

研究課題名(英文)Elucidating the Neural Basis and Development of Social Behavior through the Analysis of Inter-subjectivity

研究代表者

定藤 規弘 (Sadato, Norihiro)

生理学研究所・システム脳科学研究領域・教授

研究者番号:00273003

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 30,300,000円

研究成果の概要(和文):社会能力の発達過程上重要な行動里標であり、自閉症で機能低下を示す共同注意の神経基盤が右下前頭葉 - 前部島を中心とするミラーシステムと心の理論ネットワークの協働であること、自閉症病態において社会的報酬としての社会的随伴性が重要であり、その神経基盤が心の理論ネットワークを形成する前内側前頭葉にあることを示した。自閉症の対人コミュニケーション障害に対してオキシトシンの経鼻投与が有効であること、乳児の向社会行動発現には社会的なかかわりが重要であることを示した。社会能力評価かかわり指標を開発し、乳児から成人期以降にいたるまで、生涯に渡り社会能力を計測できることを明らかにした。

研究成果の学術的意義や社会的意義 自閉症における重要な発達指標行動である共同注意の神経基盤をネットワークレベルで解明するとともに、自閉 症の社会報酬仮説を支持する所見を得た。さらにオキシトシンを用いた自閉症薬物治療法の有効性を示した。詳 細な乳児実験観察研究に加えて、社会能力を連続的、多角的に評価する行動観察による定量計測手法を開発し た。これらにより、今後健常人並びに自閉症群の、生涯に渡る社会能力発達過程を、生物学的基盤に基づいた行 動定量法を用いて明らかにするための学術基盤が形成できた。

研究成果の概要(英文): We found that the joint attention, critical behavioral milestone of the development of social cognition, is represented as the coordination of the mirror system and the mentalizing network with the right anterior insula-inferior frontal gyrus complex as a hub. Neural substrates of the social contingency detection was found to include the right anterior rostral medial prefrontal cortex, the part of the mentalizing network, which activity was attenuated in the ASD group. Nasal administration of oxytocin to ASD group was found to be effective for the dysfunction of the communication. Social engagement was found to be critical in the emergence of the prosocial behavior in infants whose understanding of the altruism preceded the action. Finally, we established quantitative behavioral measurement of the social capability in the ecological settings, allowing to quantify the life-long developmental processes.

研究分野: システム神経科学

キーワード: 社会能力 機能的MRI 2個体同時計測 共同注意 心の理論 アイコンタクト 自閉症スペクトラム オキシトシン

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属されます。

1. 研究開始当初の背景

対面コミュニケーションの本質としての「双方向性」と「同時性」は、2 個体間の社会的相互行動が観 察と関与を同時に含むことに起因する、各個体へ還元され得ない特性である。2個体間相互作用を記 述するための概念として subjectivity と inter-subjectivity が定義された(Trevarthen, 1979)。 近年、鯨 岡(2006)は、inter-subjectivity が3つの概念を含むことを指摘した。すなわち、(1)「あなた」の主観の ある状態(「思い」としての、意図、感情等)が、「わたし」の主観の中にある感じとしてわかることとしての 間主観性、(2)不特定多数の主観にあまねく抱かれている共通の観念や考えとしての共同主観性、 (3)「思い」にしたがって行動する存在としての「わたし」という主体が、他の主体との関係において成り 立つ(わたしたち)という理解に基づいて、相手に配慮しつつ自分の思いを貫くという対人関係としての 相互主体性である。(1)は心理的共有、(2)は社会規範、(3)は(1)(2)を基盤とした実践的な社会的 相互行動として捉えることが出来る。ある人が他者の意図や精神状態に影響を与える試みとしてのコミ ュニケーションの神経基盤を明らかにするために、2 個体同時計測 MRI 計測法を開発し、相互主体性 を解析してきた。他区別から向社会行動に至る社会能力の発達過程において、行動里標として経時 的に出現する要素過程の神経基盤を明らかにする過程で、社会的承認(褒め)が報酬となること、さら に自己から他者への働きかけの結果としての他者の反応(社会的随伴性)も報酬となりうることを見出し た。この事から、「対面コミュニケーションは、自己の働きかけに対する相手の反応が報酬となるような 強化学習系である」との仮説を発想した。

2. 研究の目的

本研究の目的は、社会能力の行動里標を、2個体の定量的行動解析と、2個体同時計測 MRI/ EEG を用いて検討し、乳幼児・学童縦断行動計測と組み合わせて上記の仮説を証明することである。

3.研究の方法

行動・神経活動・解剖構造の計測、解析、及びそれらの統合を進め、より自然な社会的相互作用の神経活動・行動定量解析手法を確立して、2個体脳相互作用をモデル化する。これを用いて、2個体相互作用時における神経ネットワークを評価することによって、注意、情動、意図の共有の神経基盤を明らかにする。さらに、社会能力の発達里標を、「相互主体性を介した強化学習」の観点から組織的に検討する。これに、簡易計測による疾患および発達諸相におけるネットワーク評価、自閉スペクトラム症(ASD)群での oxytocin 投与前後でのネットワーク評価とともに、乳幼児・学童縦断行動計測ネットワーク解析を組み合わせて共同注意から共感、心の理論を経て向社会行動へと展開する社会能力の学習過程における報酬系の関与を明らかにする。

4.研究成果

(1)社会能力の神経基盤とASD の病態

個体脳内過程を含む 2 個体脳の相互作用(brain-to-brain coupling)を1つのネットワークモデルとして定量化することを目的として、課題関連活動の個体間同期に着目した解析手法を開発した。その結果、自閉症における重要な発達指標行動であるアイコンタクトと共同注意は、視線を介したリアルタイムの社会的相互作用として辺縁系ミラーシステムと小脳の両方が関与しており、注意共有は相互視線中のペアに固有な右 AIC の神経同期によって表され、保持されることが明らかとなった(Koike et al. 2019ab)。さらに言語を介した共同注意課題の神経基盤を描出したところ、AIC を含むミラーシステムと心の理論ネットワークに個体間同期が観察され、これらの独立に検討されてきた神経回路が、共同注意という社会的相互作用において協同して他者理解の基盤となること、そしてそのハブとしての右下前頭葉 - 前部島の重要性が明らかとなった。自閉症の神経回路レベルにおける病態解明において、右下前頭葉 - 前部島を中心としたネットワーク解析に進むべき、という今後の方向性が明確になった。【定藤・田邊】

さらに、複数個体間の「協力」は、右TPJに存在する機能的な下位領域の相互作用によって、全体として心の理論ネットワークと連関しつつ調整されていることが明らかとなった(Abe et al. 2019)。【定藤】 ASD における社会動機仮説においては、社会的信号の低報酬性が自閉症者を社会的交流へと動

ASD における社会動機仮説においては、社会的信号の低報酬性が自閉症者を社会的交流へと動機づけない理由であると想定している。健常成人において、自己の行動に随伴する他者の適切な反応(社会的随伴性、social contingency)が報酬となること、其の神経基盤として前部頭側内側前頭前野(arMPFC)が重要であることを示し(Sumiya et al. 2017)、この実験系を小坂らと協同して ASD 者に適用したところ、心の理論ネットワークの一部である arMPFC の反応減弱と社会的随伴性の報酬価値減弱が確認された。意思決定における社会的随伴性認知過程の神経基盤としての arMPFC の機能性を示すとともに、ASD における社会動機低下の神経基盤の一端を明らかにした(Sumiya et al. 2020)。【定藤】

ASD の脳病態を定型発達(CTL)と比較して検討するため、安静時 fMRI を用いた脳領域間結合性に関する解析を行い、視床と前頭葉、側頭 頭頂領域、後部帯状回などを結ぶ19個の結合性がASDで CTL より亢進していることを明らかにした。視床は感覚のフィルター機能があり、その機能障害が感覚過敏性など ASD に特異な臨床症状に関連している可能性があると考えられた。【飯高】

(2)ASD 薬物療法評価

経鼻オキシトシンスプレーは、自閉スペクトラム症(ASD)の社会性障害などの中核症状を軽減する効 果があるとして近年注目されているが、適切な投与量、その効果判定、個人差が不明であった。我々 は、ASD がある青年期の方 60 名に経鼻オキシトシンスプレーを 12 週間投与するランダム化二重盲検 試験を行い、男性 ASD 者はオキシトシン点鼻の実際使用量(21 国際単位/日)より多い方が効果を認 めやすいことを明らかにし、点鼻用量が少ないときは個人の遺伝的背景であるオキシトシン受容体遺 伝子多型(rs6791619)の塩基によって効果の程度が異なることを報告した(Kosaka et al., Transl Psy, 2016)。投与前後による resting-state fMRIの fALFF 解析では、insula 活動の変化を認めた (Kosaka et al., 2016)。次に、4 施設による多施設臨床試験におけるランダム化二重盲検試験を行った結果、オキ シトシン投与による変化の客観的な指標である血中濃度の上昇はオキシトシンの効果と関連するという 結果を認めた。さらに、常同行動と限定的興味や、視線の計測で評価した対人コミュニケーションの障 害の客観的な指標については、オキシトシンの投与で改善していた(Yamasue et al., Mol Psy, in press)。さらに、過去の臨床試験の結果から、オキシトシン経鼻スプレーの有効性を投与方法(単回投 . 与と反復投与)の違いによる検証をした。被験者による対人的なやりとりを行う様子を撮影した動画から、 表情の定量解析を行い、ASD 中核症状を数値化して客観的に評価できる方法を開発し、有効性を検 証した。ASD 群の表情は、対人的なやりとりの際に中立表情が目立つ上に変化しにくく、笑顔も表れ づらいという特徴があるが、オキシトシン投与により中立表情の変化のしにくさが緩和された。さらに、こ のオキシトシンによる改善効果は、投与開始から2週間後には効果が比較的強く、4週後から6週後に は弱まったが、投与終了してから2週間経った時点では再び効果が強く表れ、改善効果は時間と共に 変化することが分かった(Owada et al., Brain, 2019)。【小阪·岡沢】

(3)乳児実験的行動観察による向社会行動の起源

乳児における共同注意と心拍

ナチュラル・ペダゴジー理論によると、乳児の視線追従は、明示的意図的手がかり(ostensive cue)によるコミュニカティブな意図の理解に基づくとされる。 $9 \sim 10$ ヵ月児を対象に、視線追従の生起と心拍との関連を検討した。その結果、アイコンタクトで心拍数が増加し、アイコンタクト中の心拍数の増加は、乳児の後の視線追従行動の生起を予測することがわかった。乳児の視線追従行動がコミュニカティブな手がかりと生理学的な覚醒の両方に依拠することを示す。【板倉】

公平性知覚

ヒトは,不公平な資源の分配に対しては高い感受性を持っており、限られた資源を公平に分配することは向社会行動と密接に関係する。選好注視法を適用することにより、15ヵ月児は他者の援助行為を観察中に、その他者が公平に分配するか不公平に分配するかを予測していることを明らかにした。このことは向社会行動の起源が乳児期にさかのぼることを示す。【板倉】

向社会的行動の理解から向社会的行為の実践

乳児の援助行動は、しばしば利他的行動として解釈されてきたが、その背後にある認知的および動機の機序については明らかになっていない。1歳未満の乳児が、助けを必要としている他者を認識し、さらに生後2年目に生起する実際の援助行動をつなぐ要因を検討したところ、援助行動の理解と実際の援助行動の出現のリンクは、運動発達と social engagement が関与していることが示された。【板倉】

(4)行動観察による社会能力評価かかわり指標の妥当性検証

かかわり指標の拡張と妥当性検証

生涯発達と社会とのかかわりの観点から、社会能力を連続的、多角的に評価する行動観察による社会能力評価かかわり指標の妥当性検証を行い、学童期、思春期を対象とした IRSC50 項目版の基準関連妥当性を確認した。続いて、生涯発達の観点から、成人期以降における向社会行動の特性について、社会能力評価との関連を検討した。結果、かかわり指標を用いた社会能力評価と、自記式質問紙による社会とのかかわり行動は有意な関連を認めた。より自然な社会的相互作用の行動解析手法として、かかわり指標の高齢期への適用に関する妥当性が確認された。【安梅】

コホート研究を用いた社会能力評価の経年的な妥当性

コホート研究を用い、社会環境とのかかわりの生涯発達に及ぼす影響を経年的に測定したところ、学童期における社会環境とのかかわりは青年期のストレス、主観的幸福感と関連していた。また経年データを用いて、社会とのかかわり指標を作成し、学童期および思春期の向社会行動および健康関連QOLとの関連を検討した。社会とのかかわり得点が高いほど、思春期の向社会行動、総合的な QOL得点および、自尊感情、友達関係、学校生活の領域得点が高い傾向が示された。この結果は、友人とのかかわりなど他者とのかかわりが、学童期および思春期における向社会行動および生活の質に影響する重要な要因の一つであることを示唆している。さらに、20歳から59歳を対象に、2014年および2017年に実施した自記式質問紙調査のデータより、社会とのかかわりが3年後の精神的健康におよぼす影響を検討した。社会のかかわりのうち、生活の主体性領域および他者とのかかわり領域と精神的健康に有意な関連を認め、日常生活における主体性の高さや、他者とのかかわりの豊かさが、経年的なストレス軽減につながる可能性が示唆された。経年分析の結果から、社会とのかかわり評価の経年的な妥当性が示唆された。【安梅】

間主観性の定量解析に向けた行動解析手法の開発

社会とのかかわり状況は社会能力により創発されるものである。本研究では、ライフコースアプローチを用いて周産期から青年期、老年期に至る各世代について、コホートデータを活用した経年分析を実施し、環境と向社会行動、社会適応および精神的健康との関連について検討を行った。本研究成果

より、生涯発達の様々なステージにおいて、社会能力評価かかわり指標を活用可能であること、また社会能力評価を用い社会とのかかわりを促進することで生涯にわたる健やかな発達と健康保持に有効である可能性が示唆された。経年的な社会能力評価による支援の妥当性が示された。【安梅】

<引用文献> 業績以外の引用文献を列記した。

Trevarthen C (1979) Communication and cooperation in early infancy. In: Before Speech: The Beginning of Human Communication (Bullowa M, ed), pp 321–347. Cambridge University Press.

鯨岡峻 (2006) ひとがひとをわかるということ 間主観性と相互主体性. ミネルヴァ書房

下記本文にて引用した業績を列記した。

Koike T, Tanabe HC, Adachi-Abe S, Okazaki S, Nakagawa E, Sasaki AT, Shimada K, Sugawara SK, Takahashi HK, Yoshihara K, Sadato N, Role of the right anterior insular cortex in joint attention-related identification with a partner, Social Cognitive and Affective Neuroscience, Vol. 14, 2019a, pp. 1131-1145. 10.1093/scan/nsz087

Koike T, Sumiya M, Nakagawa E, Okazaki S, Sadato N, What makes eye contact special? Neural substrates of on-Line mutual eye-gaze: A hyperscanning fMRI study., eNeuro, Vol. 6, 2019b, pp. pii: ENEURO.0284-18.2019. 10.1523/ENEURO.0284-18.2019

Abe MO, Koike T, Okazaki S, Sugawara SK, Takahashi K, Watanabe K, Sadato N, Neural correlates of online cooperation during joint force production. ,Neuroimage ,Vol. 191 ,2019, pp. 150-161. 10.1016/j.neuroimage.2019.02.003.

Sumiya M, Koike T, Okazaki S, Kitada R, Sadato N , Brain networks of social action-outcome contingency: The role of the ventral striatum in integrating signals from the sensory cortex and medial prefrontal cortex. ,Neurosci Res ,Vol. 123 ,2017 ,pp. 43-54. 10.1016/j.neures.2017.04.015. Sumiya M, Okamoto Y, Koike T, Tanigawa T, Okazawa H, Kosaka H, Sadato N , Attenuated activation of the anterior rostral medial prefrontal cortex on self-relevant social reward processing in individuals with autism spectrum disorder. , Neuroimage Clin , Vol. 26 , 2020 , pp. 102249. 10.1016/j.nicl.2020.102249

Kosaka H, Okamoto Y, Munesue T, Yamasue H, Inohara K, Fujioka T, Anme T, Orisaka M, Ishitobi M, Jung M, Fujisawa TX, Tanaka S, Arai S, Asano M, Saito DN, Sadato N, Tomoda A, Omori M, Sato M, Okazawa H, Higashida H, Wada Y., Oxytocin efficacy is modulated by dosage and oxytocin receptor genotype in young adults with high-functioning autism: a 24-week randomized clinical trial., Translational Psychiatry, Vol. 6, 2016, pp. e872. 10.1038/tp.2016.152 Yamasue H, Okada T, Munesue T, Kuroda M, Fujioka T, Uno Y, Matsumoto K, Kuwabara H, Mori D, Okamoto Y, Yoshimura Y, Kawakubo Y, Arioka Y, Kojima M, Yuhi T, Owada k, Yassin W, Kushima I, Benner S, Ogawa N, Eriguchi Y, Kawano N, Uemura Y, Yamamoto M, Kano Y, Kasai K, Higashida H, Ozaki N, Kosaka H., Effect of intranasal oxytocin on the core social symptoms of autism spectrum disorder: a randomized clinical trial., Mol Psychiatry. (in press). 10.1038/s41380-018-0097-2.

Owada K, Okada T, Munesue T, Kuroda M, Fujioka T, Uno Y, Matsumoto K, Kuwabara H, Mori D, Okamoto Y, Yoshimura Y, Kawakubo Y, Arioka Y, Kojima M, Yuhi T, Yassin W, Kushima I, Benner S, Ogawa N, Eriguchi Y, Kawano N, Uemura Y, Yamamoto M, Kano Y, Kasai K, Higashida H, Ozaki N, Kosaka H, Yamasue H. ,Quantitative facial expression analysis revealed the efficacy and time-course of oxytocin in autism , Brain , Vol. 142 , 2019 , pp. 2127-2136. 10.1093/brain/awz126.

5 . 主な発表論文等

「雑誌論文 】 計157件(うち杏誌付論文 145件)うち国際共著 44件)うちオープンアクセス 112件)

[雑誌論文] 計157件(うち査読付論文 145件 / うち国際共著 44件 / うちオープンアクセス 112件)	
1.著者名	4 . 巻
Yamasue H, Okada T, Munesue T, Kuroda M, Fujioka T, Uno Y, Matsumoto K, Kuwabara H, Mori D,	in press
Okamoto Y, Yoshimura Y, Kawakubo Y, Arioka Y, Kojima M, Yuhi T, Owada k, Yassin W, Kushima I,	in press
Benner S, Ogawa N, Eriguchi Y, Kawano N, Uemura Y, Yamamoto M, Kano Y, Kasai K, Higashida H,	
Ozaki N, Kosaka H.	- 7× /
2 . 論文標題	5 . 発行年
Effect of intranasal oxytocin on the core social symptoms of autism spectrum disorder: a	2020年
randomized clinical trial	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Molecular Psychiatry	0.最份已载及60只
Worecural rsychiatry	_
In which is a second of the se	+ • • • •
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1038/s41380-018-0097-2	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	_
1 JULY LENCOCKIA (&Z. CO) LECOS)	-
1.著者名	4 . 巻
Fujioka T, Tsuchiya KJ, Saito M, Hirano Y, Matsuo M, Kikuchi M, Maegaki Y, Choi D, Kato S,	11
Yoshida T, Yoshimura Y, Ooba S, Mizuno Y, Takiguchi S, Matsuzaki H, Tomoda A, Shudo K, Ninomiya	
M, Katayama T, Kosaka H	
,	
2.論文標題	5.発行年
Developmental changes in attention to social information from childhood to adolescence in	2020年
autism spectrum disorders: a comparative study	
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Molecular Autism	6. 最份已载区00只
WOTECUTAL AUCTSIII	_
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1186/s13229-020-00321-w	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
	-
オープファクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名	4 . 巻
1 . 著者名	- 4.巻 26
	_
1 . 著者名 厚澤 博美,田中 笑子,渡邊 久実, 渡邉 多恵子,安梅 勅江	26
1.著者名 厚澤 博美,田中 笑子,渡邊 久実, 渡邉 多恵子,安梅 勅江 2.論文標題	5 . 発行年
1.著者名厚澤 博美,田中 笑子,渡邊 久実, 渡邉 多恵子,安梅 勅江	26
1 . 著者名 厚澤 博美, 田中 笑子, 渡邊 久実, 渡邉 多恵子, 安梅 勅江 2 . 論文標題 成人期の社会とのかかわりと精神的健康の関連:年齢階層別の検討	26 5.発行年 2020年
1.著者名 厚澤 博美,田中 笑子,渡邊 久実, 渡邉 多恵子,安梅 勅江 2.論文標題	5 . 発行年
1 . 著者名 厚澤 博美,田中 笑子,渡邊 久実, 渡邉 多恵子,安梅 勅江 2 . 論文標題 成人期の社会とのかかわりと精神的健康の関連:年齢階層別の検討 3 . 雑誌名	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 厚澤 博美, 田中 笑子, 渡邊 久実, 渡邉 多恵子, 安梅 勅江 2 . 論文標題 成人期の社会とのかかわりと精神的健康の関連:年齢階層別の検討	26 5.発行年 2020年
1.著者名 厚澤 博美,田中 笑子,渡邊 久実,渡邉 多恵子,安梅 勅江 2.論文標題 成人期の社会とのかかわりと精神的健康の関連:年齢階層別の検討 3.雑誌名	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 厚澤 博美,田中 笑子,渡邊 久実,渡邊 多恵子,安梅 勅江 2 . 論文標題 成人期の社会とのかかわりと精神的健康の関連:年齢階層別の検討 3 . 雑誌名 日本保健福祉学会誌	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 3-14
1 . 著者名 厚澤 博美,田中 笑子,渡邊 久実,渡邉 多恵子,安梅 勅江 2 . 論文標題 成人期の社会とのかかわりと精神的健康の関連:年齢階層別の検討 3 . 雑誌名 日本保健福祉学会誌 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	26 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 3-14 査読の有無
1 . 著者名 厚澤 博美,田中 笑子,渡邊 久実,渡邊 多恵子,安梅 勅江 2 . 論文標題 成人期の社会とのかかわりと精神的健康の関連:年齢階層別の検討 3 . 雑誌名 日本保健福祉学会誌	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 3-14
1 . 著者名 厚澤 博美,田中 笑子,渡邊 久実,渡邉 多恵子,安梅 勅江 2 . 論文標題 成人期の社会とのかかわりと精神的健康の関連:年齢階層別の検討 3 . 雑誌名 日本保健福祉学会誌 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	26 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 3-14 査読の有無 有
1 . 著者名 厚澤 博美,田中 笑子,渡邊 久実,渡邉 多恵子,安梅 勅江 2 . 論文標題 成人期の社会とのかかわりと精神的健康の関連:年齢階層別の検討 3 . 雑誌名 日本保健福祉学会誌 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	26 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 3-14 査読の有無
1 . 著者名 厚澤 博美,田中 笑子,渡邊 久実,渡邉 多恵子,安梅 勅江 2 . 論文標題 成人期の社会とのかかわりと精神的健康の関連:年齢階層別の検討 3 . 雑誌名 日本保健福祉学会誌 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	26 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 3-14 査読の有無 有
1 . 著者名 厚澤 博美,田中 笑子,渡邊 久実,渡邉 多恵子,安梅 勅江 2 . 論文標題 成人期の社会とのかかわりと精神的健康の関連:年齢階層別の検討 3 . 雑誌名 日本保健福祉学会誌 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	26 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 3-14 査読の有無 有
1 . 著者名 厚澤 博美,田中 笑子,渡邊 久実,渡邉 多恵子,安梅 勅江 2 . 論文標題 成人期の社会とのかかわりと精神的健康の関連:年齢階層別の検討 3 . 雑誌名 日本保健福祉学会誌 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 3-14 査読の有無 有 国際共著
1 . 著者名 厚澤 博美,田中 笑子,渡邊 久実,渡邉 多恵子,安梅 勅江 2 . 論文標題 成人期の社会とのかかわりと精神的健康の関連:年齢階層別の検討 3 . 雑誌名 日本保健福祉学会誌 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名	26 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 3-14 査読の有無 有 国際共著
1.著者名厚澤 博美,田中 笑子,渡邊 久実,渡邉 多恵子,安梅 勅江2.論文標題 成人期の社会とのかかわりと精神的健康の関連:年齢階層別の検討3.雑誌名 日本保健福祉学会誌掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)なしオープンアクセスオープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難1.著者名 Okazawa Hidehiko、Ikawa Masamichi、Jung Minyoung、Maruyama Rikiya、Tsujikawa Tetsuya、Mori	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 3-14 査読の有無 有 国際共著
1 . 著者名 厚澤 博美,田中 笑子,渡邊 久実,渡邉 多恵子,安梅 勅江 2 . 論文標題 成人期の社会とのかかわりと精神的健康の関連:年齢階層別の検討 3 . 雑誌名 日本保健福祉学会誌 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名	26 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 3-14 査読の有無 有 国際共著
1.著者名厚澤 博美,田中 笑子,渡邊 久実,渡邉 多恵子,安梅 勅江2.論文標題 成人期の社会とのかかわりと精神的健康の関連:年齢階層別の検討3.雑誌名 日本保健福祉学会誌掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)なしオープンアクセスオープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難1.著者名 Okazawa Hidehiko、Ikawa Masamichi、Jung Minyoung、Maruyama Rikiya、Tsujikawa Tetsuya、Mori	26 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 3-14 査読の有無 有 国際共著
1 . 著者名 厚澤 博美,田中 笑子,渡邊 久実,渡邉 多恵子,安梅 勅江 2 . 論文標題 成人期の社会とのかかわりと精神的健康の関連:年齢階層別の検討 3 . 雑誌名 日本保健福祉学会誌 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Okazawa Hidehiko、Ikawa Masamichi、Jung Minyoung、Maruyama Rikiya、Tsujikawa Tetsuya、Mori Tetsuya、Rahman Mahmudur G. M.、Makino Akira、Kiyono Yasushi、Kosaka Hirotaka 2 . 論文標題	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 3-14 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 10 5 . 発行年
1 . 著者名 厚澤 博美,田中 笑子,渡邊 久実,渡邉 多恵子,安梅 勅江 2 . 論文標題 成人期の社会とのかかわりと精神的健康の関連:年齢階層別の検討 3 . 雑誌名 日本保健福祉学会誌 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Okazawa Hidehiko、Ikawa Masamichi、Jung Minyoung、Maruyama Rikiya、Tsujikawa Tetsuya、Mori Tetsuya、Rahman Mahmudur G. M.、Makino Akira、Kiyono Yasushi、Kosaka Hirotaka 2 . 論文標題 Multimodal analysis using [11C]PiB-PET/MRI for functional evaluation of patients with	26 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 3-14 査読の有無 有 国際共著
1 . 著者名 厚澤 博美,田中 笑子,渡邊 久実,渡邉 多恵子,安梅 勅江 2 . 論文標題 成人期の社会とのかかわりと精神的健康の関連:年齢階層別の検討 3 . 雑誌名 日本保健福祉学会誌 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Okazawa Hidehiko、Ikawa Masamichi、Jung Minyoung、Maruyama Rikiya、Tsujikawa Tetsuya、Mori Tetsuya、Rahman Mahmudur G. M.、Makino Akira、Kiyono Yasushi、Kosaka Hirotaka 2 . 論文標題 Multimodal analysis using [11C]PiB-PET/MRI for functional evaluation of patients with Alzheimer's disease	26 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 3-14 査読の有無 国際共著 - 4 . 巻 10 5 . 発行年 2020年
1 . 著者名 厚澤 博美,田中 笑子,渡邊 久実,渡邉 多恵子,安梅 勅江 2 . 論文標題 成人期の社会とのかかわりと精神的健康の関連:年齢階層別の検討 3 . 雑誌名 日本保健福祉学会誌 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Okazawa Hidehiko、Ikawa Masamichi、Jung Minyoung、Maruyama Rikiya、Tsujikawa Tetsuya、Mori Tetsuya、Rahman Mahmudur G. M.、Makino Akira、Kiyono Yasushi、Kosaka Hirotaka 2 . 論文標題 Multimodal analysis using [11C]PiB-PET/MRI for functional evaluation of patients with Alzheimer's disease 3 . 雑誌名	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 3-14 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 10 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 厚澤 博美,田中 笑子,渡邊 久実,渡邊 多恵子,安梅 勅江 2 . 論文標題 成人期の社会とのかかわりと精神的健康の関連:年齢階層別の検討 3 . 雑誌名 日本保健福祉学会誌 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Okazawa Hidehiko、Ikawa Masamichi、Jung Minyoung、Maruyama Rikiya、Tsujikawa Tetsuya、Mori Tetsuya、Rahman Mahmudur G. M.、Makino Akira、Kiyono Yasushi、Kosaka Hirotaka 2 . 論文標題 Multimodal analysis using [11C]PiB-PET/MRI for functional evaluation of patients with Alzheimer's disease	26 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 3-14 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 10 5.発行年 2020年
1 . 著者名 厚澤 博美,田中 笑子,渡邊 久実,渡邉 多恵子,安梅 勅江 2 . 論文標題 成人期の社会とのかかわりと精神的健康の関連:年齢階層別の検討 3 . 雑誌名 日本保健福祉学会誌 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Okazawa Hidehiko、Ikawa Masamichi、Jung Minyoung、Maruyama Rikiya、Tsujikawa Tetsuya、Mori Tetsuya、Rahman Mahmudur G. M.、Makino Akira、Kiyono Yasushi、Kosaka Hirotaka 2 . 論文標題 Multimodal analysis using [11C]PiB-PET/MRI for functional evaluation of patients with Alzheimer's disease 3 . 雑誌名	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 3-14 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 10 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 厚澤 博美,田中 笑子,渡邊 久実,渡邊 多恵子,安梅 勅江 2 . 論文標題 成人期の社会とのかかわりと精神的健康の関連:年齢階層別の検討 3 . 雑誌名 日本保健福祉学会誌 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Okazawa Hidehiko、Ikawa Masamichi、Jung Minyoung、Maruyama Rikiya、Tsujikawa Tetsuya、Mori Tetsuya、Rahman Mahmudur G. M.、Makino Akira、Kiyono Yasushi、Kosaka Hirotaka 2 . 論文標題 Multimodal analysis using [11C]PiB-PET/MRI for functional evaluation of patients with Alzheimer's disease 3 . 雑誌名	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 3-14 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 10 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
 著者名 厚澤 博美,田中 笑子,渡邊 久実,渡邉 多恵子,安梅 勅江 論文標題 成人期の社会とのかかわりと精神的健康の関連:年齢階層別の検討 3.雑誌名 日本保健福祉学会誌 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 著者名 Okazawa Hidehiko、Ikawa Masamichi、Jung Minyoung、Maruyama Rikiya、Tsujikawa Tetsuya、Mori Tetsuya、Rahman Mahmudur G. M.、Makino Akira、Kiyono Yasushi、Kosaka Hirotaka 論文標題 Multimodal analysis using [11C]PiB-PET/MRI for functional evaluation of patients with Alzheimer's disease 3.雑誌名 EJNMMI Research 	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 3-14 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 10 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 30
1 . 著者名 厚澤 博美,田中 笑子,渡邊 久実,渡邉 多恵子,安梅 勅江 2 . 論文標題 成人期の社会とのかかわりと精神的健康の関連:年齢階層別の検討 3 . 雑誌名 日本保健福祉学会誌 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス	26 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 3-14 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 10 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 30
ま著者名 厚澤 博美,田中 笑子,渡邊 久実,渡邉 多恵子,安梅 勅江 ま	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 3-14 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 10 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 30
ま著名名 厚澤 博美、田中 笑子、渡邊 久実、 渡邉 多恵子、安梅 勅江 ま	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 3-14 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 10 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 30 査読の有無 有
1 . 著者名 厚澤 博美、田中 笑子、渡邊 久実、 渡邉 多恵子、安梅 勅江 2 . 論文標題 成人期の社会とのかかわりと精神的健康の関連:年齢階層別の検討 3 . 雑誌名 日本保健福祉学会誌 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Okazawa Hidehiko、Ikawa Masamichi、Jung Minyoung、Maruyama Rikiya、Tsujikawa Tetsuya、Mori Tetsuya、Rahman Mahmudur G. M.、Makino Akira、Kiyono Yasushi、Kosaka Hirotaka 2 . 論文標題 Multimodal analysis using [11C]PiB-PET/MRI for functional evaluation of patients with Alzheimer's disease 3 . 雑誌名 EJNMMI Research 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13550-020-00619-z オープンアクセス	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 3-14 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 10 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 30 査読の有無 有
ま著名名 厚澤 博美、田中 笑子、渡邊 久実、 渡邉 多恵子、安梅 勅江 は	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 3-14 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 10 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 30 査読の有無 有

1.著者名	4 . 巻
Yamamoto Hiroki、Sato Atsushi、Itakura Shoji	10
Tallallotte Intellity Cate Academy Trailara energy	. •
A A LITTE	_ 70 /
2.論文標題	5.発行年
Transition From Crawling to Walking Changes Gaze Communication Space in Everyday Infant-Parent	2020年
Interaction	,
	6 BW B B # 6 F
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Frontiers in Psychology	2987
5 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
	+++ - + m
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.3389/fpsyg.2019.02987	有
10100007 (Po)g. 2010 102007	13
+	国際共英
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
4 ****	, *
1.著者名	4 . 巻
Haensel Jennifer X., Danvers Matthew, Ishikawa Mitsuhiko, Itakura Shoji, Tucciarelli Raffaele,	10
Smith Tim J. Senju Atsushi	
	F 36/-/-
2.論文標題	5 . 発行年
Culture modulates face scanning during dyadic social interactions	2020年
• • • • • • • • • • • • • • • • • • •	
2 사람	6 見知し見後の声
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Scientific Reports	1958
·	
	本芸の左便
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1038/s41598-020-58802-0	有
	.5
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
7 7 7 7 2 7 2 7 2 7 2 7 2 7 2 7 2 7 2 7	m - 1 0
	10 1 7 0
	180 1 1
1 . 著者名	4 . 巻
1 . 著者名	180 1 1
1 . 著者名 Sumiya Motofumi、Okamoto Yuko、Koike Takahiko、Tanigawa Tsubasa、Okazawa Hidehiko、Kosaka	4 . 巻
1 . 著者名 Sumiya Motofumi、Okamoto Yuko、Koike Takahiko、Tanigawa Tsubasa、Okazawa Hidehiko、Kosaka Hirotaka、Sadato Norihiro	4.巻 26
1 . 著者名 Sumiya Motofumi、Okamoto Yuko、Koike Takahiko、Tanigawa Tsubasa、Okazawa Hidehiko、Kosaka Hirotaka、Sadato Norihiro 2 . 論文標題	4.巻 26 5.発行年
1 . 著者名 Sumiya Motofumi、Okamoto Yuko、Koike Takahiko、Tanigawa Tsubasa、Okazawa Hidehiko、Kosaka Hirotaka、Sadato Norihiro	4.巻 26
1.著者名 Sumiya Motofumi、Okamoto Yuko、Koike Takahiko、Tanigawa Tsubasa、Okazawa Hidehiko、Kosaka Hirotaka、Sadato Norihiro 2.論文標題 Attenuated activation of the anterior rostral medial prefrontal cortex on self-relevant social	4.巻 26 5.発行年
1. 著者名 Sumiya Motofumi、Okamoto Yuko、Koike Takahiko、Tanigawa Tsubasa、Okazawa Hidehiko、Kosaka Hirotaka、Sadato Norihiro 2. 論文標題 Attenuated activation of the anterior rostral medial prefrontal cortex on self-relevant social reward processing in individuals with autism spectrum disorder	4.巻 26 5.発行年 2020年
1. 著者名 Sumiya Motofumi、Okamoto Yuko、Koike Takahiko、Tanigawa Tsubasa、Okazawa Hidehiko、Kosaka Hirotaka、Sadato Norihiro 2. 論文標題 Attenuated activation of the anterior rostral medial prefrontal cortex on self-relevant social reward processing in individuals with autism spectrum disorder 3. 雑誌名	4 . 巻 26 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 Sumiya Motofumi、Okamoto Yuko、Koike Takahiko、Tanigawa Tsubasa、Okazawa Hidehiko、Kosaka Hirotaka、Sadato Norihiro 2 . 論文標題 Attenuated activation of the anterior rostral medial prefrontal cortex on self-relevant social reward processing in individuals with autism spectrum disorder	4.巻 26 5.発行年 2020年
1 . 著者名 Sumiya Motofumi、Okamoto Yuko、Koike Takahiko、Tanigawa Tsubasa、Okazawa Hidehiko、Kosaka Hirotaka、Sadato Norihiro 2 . 論文標題 Attenuated activation of the anterior rostral medial prefrontal cortex on self-relevant social reward processing in individuals with autism spectrum disorder 3 . 雑誌名	4 . 巻 26 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
1. 著者名 Sumiya Motofumi、Okamoto Yuko、Koike Takahiko、Tanigawa Tsubasa、Okazawa Hidehiko、Kosaka Hirotaka、Sadato Norihiro 2. 論文標題 Attenuated activation of the anterior rostral medial prefrontal cortex on self-relevant social reward processing in individuals with autism spectrum disorder 3. 雑誌名	4 . 巻 26 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 Sumiya Motofumi、Okamoto Yuko、Koike Takahiko、Tanigawa Tsubasa、Okazawa Hidehiko、Kosaka Hirotaka、Sadato Norihiro 2 . 論文標題 Attenuated activation of the anterior rostral medial prefrontal cortex on self-relevant social reward processing in individuals with autism spectrum disorder 3 . 雑誌名 NeuroImage: Clinical	4 . 巻 26 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 102249 - 102249
1 . 著者名 Sumiya Motofumi、Okamoto Yuko、Koike Takahiko、Tanigawa Tsubasa、Okazawa Hidehiko、Kosaka Hirotaka、Sadato Norihiro 2 . 論文標題 Attenuated activation of the anterior rostral medial prefrontal cortex on self-relevant social reward processing in individuals with autism spectrum disorder 3 . 雑誌名 NeuroImage: Clinical	4 . 巻 26 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 102249 - 102249
1 . 著者名 Sumiya Motofumi、Okamoto Yuko、Koike Takahiko、Tanigawa Tsubasa、Okazawa Hidehiko、Kosaka Hirotaka、Sadato Norihiro 2 . 論文標題 Attenuated activation of the anterior rostral medial prefrontal cortex on self-relevant social reward processing in individuals with autism spectrum disorder 3 . 雑誌名 NeuroImage: Clinical	4 . 巻 26 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 102249 - 102249
1 . 著者名 Sumiya Motofumi、Okamoto Yuko、Koike Takahiko、Tanigawa Tsubasa、Okazawa Hidehiko、Kosaka Hirotaka、Sadato Norihiro 2 . 論文標題 Attenuated activation of the anterior rostral medial prefrontal cortex on self-relevant social reward processing in individuals with autism spectrum disorder 3 . 雑誌名 NeuroImage: Clinical	4 . 巻 26 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 102249 - 102249
1 . 著者名 Sumiya Motofumi、Okamoto Yuko、Koike Takahiko、Tanigawa Tsubasa、Okazawa Hidehiko、Kosaka Hirotaka、Sadato Norihiro 2 . 論文標題 Attenuated activation of the anterior rostral medial prefrontal cortex on self-relevant social reward processing in individuals with autism spectrum disorder 3 . 雑誌名 NeuroImage: Clinical 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.nicl.2020.102249	4 . 巻 26 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 102249 - 102249 査読の有無 有
1 . 著者名 Sumiya Motofumi、Okamoto Yuko、Koike Takahiko、Tanigawa Tsubasa、Okazawa Hidehiko、Kosaka Hirotaka、Sadato Norihiro 2 . 論文標題 Attenuated activation of the anterior rostral medial prefrontal cortex on self-relevant social reward processing in individuals with autism spectrum disorder 3 . 雑誌名 NeuroImage: Clinical 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.nicl.2020.102249	4 . 巻 26 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 102249 - 102249
1 . 著者名 Sumiya Motofumi、Okamoto Yuko、Koike Takahiko、Tanigawa Tsubasa、Okazawa Hidehiko、Kosaka Hirotaka、Sadato Norihiro 2 . 論文標題 Attenuated activation of the anterior rostral medial prefrontal cortex on self-relevant social reward processing in individuals with autism spectrum disorder 3 . 雑誌名 NeuroImage: Clinical 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.nicl.2020.102249	4 . 巻 26 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 102249 - 102249 査読の有無 有
1 . 著者名 Sumiya Motofumi、Okamoto Yuko、Koike Takahiko、Tanigawa Tsubasa、Okazawa Hidehiko、Kosaka Hirotaka、Sadato Norihiro 2 . 論文標題 Attenuated activation of the anterior rostral medial prefrontal cortex on self-relevant social reward processing in individuals with autism spectrum disorder 3 . 雑誌名 NeuroImage: Clinical 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.nicl.2020.102249	4 . 巻 26 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 102249 - 102249 査読の有無 有
1 . 著者名 Sumiya Motofumi、Okamoto Yuko、Koike Takahiko、Tanigawa Tsubasa、Okazawa Hidehiko、Kosaka Hirotaka、Sadato Norihiro 2 . 論文標題 Attenuated activation of the anterior rostral medial prefrontal cortex on self-relevant social reward processing in individuals with autism spectrum disorder 3 . 雑誌名 NeuroImage: Clinical 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.nicl.2020.102249 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	4 . 巻 26 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 102249 - 102249 査読の有無 有 国際共著
1 . 著者名 Sumiya Motofumi、Okamoto Yuko、Koike Takahiko、Tanigawa Tsubasa、Okazawa Hidehiko、Kosaka Hirotaka、Sadato Norihiro 2 . 論文標題 Attenuated activation of the anterior rostral medial prefrontal cortex on self-relevant social reward processing in individuals with autism spectrum disorder 3 . 雑誌名 NeuroImage: Clinical 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.nicl.2020.102249 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	4 . 巻 26 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 102249 - 102249 査読の有無 有 国際共著
1 . 著者名 Sumiya Motofumi、Okamoto Yuko、Koike Takahiko、Tanigawa Tsubasa、Okazawa Hidehiko、Kosaka Hirotaka、Sadato Norihiro 2 . 論文標題 Attenuated activation of the anterior rostral medial prefrontal cortex on self-relevant social reward processing in individuals with autism spectrum disorder 3 . 雑誌名 NeuroImage: Clinical 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.nicl.2020.102249 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Okamoto Yuko、Kitada Ryo、Kochiyama Takanori、Naruse Hiroaki、Makita Kai、Miyahara Motohide、	4 . 巻 26 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 102249 - 102249 査読の有無 有 国際共著
1 . 著者名 Sumiya Motofumi、Okamoto Yuko、Koike Takahiko、Tanigawa Tsubasa、Okazawa Hidehiko、Kosaka Hirotaka、Sadato Norihiro 2 . 論文標題 Attenuated activation of the anterior rostral medial prefrontal cortex on self-relevant social reward processing in individuals with autism spectrum disorder 3 . 雑誌名 NeuroImage: Clinical 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.nicl.2020.102249 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	4 . 巻 26 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 102249 - 102249 査読の有無 有 国際共著
1 . 著者名 Sumiya Motofumi、Okamoto Yuko、Koike Takahiko、Tanigawa Tsubasa、Okazawa Hidehiko、Kosaka Hirotaka、Sadato Norihiro 2 . 論文標題 Attenuated activation of the anterior rostral medial prefrontal cortex on self-relevant social reward processing in individuals with autism spectrum disorder 3 . 雑誌名 NeuroImage: Clinical 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.nicl.2020.102249 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Okamoto Yuko、Kitada Ryo、Kochiyama Takanori、Naruse Hiroaki、Makita Kai、Miyahara Motohide、Okazawa Hidehiko、Kosaka Hirotaka	4 . 巻 26 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 102249 - 102249 査読の有無 有 国際共著
1 . 著者名 Sumiya Motofumi、Okamoto Yuko、Koike Takahiko、Tanigawa Tsubasa、Okazawa Hidehiko、Kosaka Hirotaka、Sadato Norihiro 2 . 論文標題 Attenuated activation of the anterior rostral medial prefrontal cortex on self-relevant social reward processing in individuals with autism spectrum disorder 3 . 雑誌名 NeuroImage: Clinical 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.nicl.2020.102249 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Okamoto Yuko、Kitada Ryo、Kochiyama Takanori、Naruse Hiroaki、Makita Kai、Miyahara Motohide、Okazawa Hidehiko、Kosaka Hirotaka 2 . 論文標題	4 . 巻 26 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 102249 - 102249 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 in press 5 . 発行年
1 . 著者名 Sumiya Motofumi、Okamoto Yuko、Koike Takahiko、Tanigawa Tsubasa、Okazawa Hidehiko、Kosaka Hirotaka、Sadato Norihiro 2 . 論文標題 Attenuated activation of the anterior rostral medial prefrontal cortex on self-relevant social reward processing in individuals with autism spectrum disorder 3 . 雑誌名 NeuroImage: Clinical 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.nicl.2020.102249 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Okamoto Yuko、Kitada Ryo、Kochiyama Takanori、Naruse Hiroaki、Makita Kai、Miyahara Motohide、Okazawa Hidehiko、Kosaka Hirotaka	4 . 巻 26 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 102249 - 102249 査読の有無 有 国際共著
1 . 著者名 Sumiya Motofumi、Okamoto Yuko、Koike Takahiko、Tanigawa Tsubasa、Okazawa Hidehiko、Kosaka Hirotaka、Sadato Norihiro 2 . 論文標題 Attenuated activation of the anterior rostral medial prefrontal cortex on self-relevant social reward processing in individuals with autism spectrum disorder 3 . 雑誌名 NeuroImage: Clinical 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.nicl.2020.102249 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Okamoto Yuko、Kitada Ryo、Kochiyama Takanori、Naruse Hiroaki、Makita Kai、Miyahara Motohide、Okazawa Hidehiko、Kosaka Hirotaka 2 . 論文標題	4 . 巻 26 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 102249 - 102249 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 in press 5 . 発行年
1 . 著者名 Sumiya Motofumi、Okamoto Yuko、Koike Takahiko、Tanigawa Tsubasa、Okazawa Hidehiko、Kosaka Hirotaka、Sadato Norihiro 2 . 論文標題 Attenuated activation of the anterior rostral medial prefrontal cortex on self-relevant social reward processing in individuals with autism spectrum disorder 3 . 雑誌名 NeuroImage: Clinical 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.nicl.2020.102249 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Okamoto Yuko、Kitada Ryo、Kochiyama Takanori、Naruse Hiroaki、Makita Kai、Miyahara Motohide、Okazawa Hidehiko、Kosaka Hirotaka 2 . 論文標題 Visual Body Part Representation in the Lateral Occipitotemporal Cortex in Children/Adolescents and Adults	4 . 巻 26 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 102249 - 102249 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 in press 5 . 発行年 2020年
1 . 著者名 Sumiya Motofumi、Okamoto Yuko、Koike Takahiko、Tanigawa Tsubasa、Okazawa Hidehiko、Kosaka Hirotaka、Sadato Norihiro 2 . 論文標題 Attenuated activation of the anterior rostral medial prefrontal cortex on self-relevant social reward processing in individuals with autism spectrum disorder 3 . 雑誌名 NeuroImage: Clinical 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.nicl.2020.102249 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Okamoto Yuko、Kitada Ryo、Kochiyama Takanori、Naruse Hiroaki、Makita Kai、Miyahara Motohide、Okazawa Hidehiko、Kosaka Hirotaka 2 . 論文標題 Visual Body Part Representation in the Lateral Occipitotemporal Cortex in Children/Adolescents and Adults 3 . 雑誌名	4 . 巻 26 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 102249 - 102249 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 in press 5 . 発行年
1 . 著者名 Sumiya Motofumi、Okamoto Yuko、Koike Takahiko、Tanigawa Tsubasa、Okazawa Hidehiko、Kosaka Hirotaka、Sadato Norihiro 2 . 論文標題 Attenuated activation of the anterior rostral medial prefrontal cortex on self-relevant social reward processing in individuals with autism spectrum disorder 3 . 雑誌名 NeuroImage: Clinical 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.nicl.2020.102249 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Okamoto Yuko、Kitada Ryo、Kochiyama Takanori、Naruse Hiroaki、Makita Kai、Miyahara Motohide、Okazawa Hidehiko、Kosaka Hirotaka 2 . 論文標題 Visual Body Part Representation in the Lateral Occipitotemporal Cortex in Children/Adolescents and Adults	4 . 巻 26 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 102249 - 102249 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 in press 5 . 発行年 2020年
1 . 著者名 Sumiya Motofumi、Okamoto Yuko、Koike Takahiko、Tanigawa Tsubasa、Okazawa Hidehiko、Kosaka Hirotaka、Sadato Norihiro 2 . 論文標題 Attenuated activation of the anterior rostral medial prefrontal cortex on self-relevant social reward processing in individuals with autism spectrum disorder 3 . 雑誌名 NeuroImage: Clinical 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.nicl.2020.102249 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Okamoto Yuko、Kitada Ryo、Kochiyama Takanori、Naruse Hiroaki、Makita Kai、Miyahara Motohide、Okazawa Hidehiko、Kosaka Hirotaka 2 . 論文標題 Visual Body Part Representation in the Lateral Occipitotemporal Cortex in Children/Adolescents and Adults 3 . 雑誌名	4 . 巻 26 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 102249 - 102249 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 in press 5 . 発行年 2020年
1 . 著者名 Sumiya Motofumi, Okamoto Yuko, Koike Takahiko, Tanigawa Tsubasa, Okazawa Hidehiko, Kosaka Hirotaka, Sadato Norihiro 2 . 論文標題 Attenuated activation of the anterior rostral medial prefrontal cortex on self-relevant social reward processing in individuals with autism spectrum disorder 3 . 雑誌名 NeuroImage: Clinical 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.nicl.2020.102249 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Okamoto Yuko, Kitada Ryo, Kochiyama Takanori, Naruse Hiroaki, Makita Kai, Miyahara Motohide, Okazawa Hidehiko, Kosaka Hirotaka 2 . 論文標題 Visual Body Part Representation in the Lateral Occipitotemporal Cortex in Children/Adolescents and Adults 3 . 雑誌名	4 . 巻 26 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 102249 - 102249 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 in press 5 . 発行年 2020年
1 . 著者名 Sumiya Motofumi、Okamoto Yuko、Koike Takahiko、Tanigawa Tsubasa、Okazawa Hidehiko、Kosaka Hirotaka、Sadato Norihiro 2 . 論文標題 Attenuated activation of the anterior rostral medial prefrontal cortex on self-relevant social reward processing in individuals with autism spectrum disorder 3 . 雑誌名 NeuroImage: Clinical 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.nicl.2020.102249 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Okamoto Yuko、Kitada Ryo、Kochiyama Takanori、Naruse Hiroaki、Makita Kai、Miyahara Motohide、Okazawa Hidehiko、Kosaka Hirotaka 2 . 論文標題 Visual Body Part Representation in the Lateral Occipitotemporal Cortex in Children/Adolescents and Adults 3 . 雑誌名 Cerebral Cortex Communications	4 . 巻 26 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 102249 - 102249 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 in press 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 -
1 . 著者名 Sumiya Motofumi、Okamoto Yuko、Koike Takahiko、Tanigawa Tsubasa、Okazawa Hidehiko、Kosaka Hirotaka、Sadato Norihiro 2 . 論文標題 Attenuated activation of the anterior rostral medial prefrontal cortex on self-relevant social reward processing in individuals with autism spectrum disorder 3 . 雑誌名 NeuroImage: Clinical 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.nicl.2020.102249 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Okamoto Yuko、Kitada Ryo、Kochiyama Takanori、Naruse Hiroaki、Makita Kai、Miyahara Motohide、Okazawa Hidehiko、Kosaka Hirotaka 2 . 論文標題 Visual Body Part Representation in the Lateral Occipitotemporal Cortex in Children/Adolescents and Adults 3 . 雑誌名 Cerebral Cortex Communications	4 . 巻 26 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 102249 - 102249 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 in press 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 Sumiya Motofumi、Okamoto Yuko、Koike Takahiko、Tanigawa Tsubasa、Okazawa Hidehiko、Kosaka Hirotaka、Sadato Norihiro 2 . 論文標題 Attenuated activation of the anterior rostral medial prefrontal cortex on self-relevant social reward processing in individuals with autism spectrum disorder 3 . 雑誌名 NeuroImage: Clinical 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.nicl.2020.102249 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Okamoto Yuko、Kitada Ryo、Kochiyama Takanori、Naruse Hiroaki、Makita Kai、Miyahara Motohide、Okazawa Hidehiko、Kosaka Hirotaka 2 . 論文標題 Visual Body Part Representation in the Lateral Occipitotemporal Cortex in Children/Adolescents and Adults 3 . 雑誌名 Cerebral Cortex Communications	4 . 巻 26 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 102249 - 102249 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 in press 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 -
1 . 著者名 Sumiya Motofumi、Okamoto Yuko、Koike Takahiko、Tanigawa Tsubasa、Okazawa Hidehiko、Kosaka Hirotaka、Sadato Norihiro 2 . 論文標題 Attenuated activation of the anterior rostral medial prefrontal cortex on self-relevant social reward processing in individuals with autism spectrum disorder 3 . 雑誌名 NeuroImage: Clinical 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.nicl.2020.102249 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Okamoto Yuko、Kitada Ryo、Kochiyama Takanori、Naruse Hiroaki、Makita Kai、Miyahara Motohide、Okazawa Hidehiko、Kosaka Hirotaka 2 . 論文標題 Visual Body Part Representation in the Lateral Occipitotemporal Cortex in Children/Adolescents and Adults 3 . 雑誌名 Cerebral Cortex Communications	4 . 巻 26 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 102249 - 102249 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 in press 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 Sumiya Motofumi、Okamoto Yuko、Koike Takahiko、Tanigawa Tsubasa、Okazawa Hidehiko、Kosaka Hirotaka、Sadato Norihiro 2 . 論文標題 Attenuated activation of the anterior rostral medial prefrontal cortex on self-relevant social reward processing in individuals with autism spectrum disorder 3 . 雑誌名 NeuroImage: Clinical 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.nicl.2020.102249 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Okamoto Yuko、Kitada Ryo、Kochiyama Takanori、Naruse Hiroaki、Makita Kai、Miyahara Motohide、Okazawa Hidehiko、Kosaka Hirotaka 2 . 論文標題 Visual Body Part Representation in the Lateral Occipitotemporal Cortex in Children/Adolescents and Adults 3 . 雑誌名 Cerebral Cortex Communications	4 . 巻 26 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 102249 - 102249 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 in press 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 -
1 . 著者名 Sumiya Motofumi、Okamoto Yuko、Koike Takahiko、Tanigawa Tsubasa、Okazawa Hidehiko、Kosaka Hirotaka、Sadato Norihiro 2 . 論文標題 Attenuated activation of the anterior rostral medial prefrontal cortex on self-relevant social reward processing in individuals with autism spectrum disorder 3 . 雑誌名 NeuroImage: Clinical 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.nicl.2020.102249 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Okamoto Yuko、Kitada Ryo、Kochiyama Takanori、Naruse Hiroaki、Makita Kai、Miyahara Motohide、Okazawa Hidehiko、Kosaka Hirotaka 2 . 論文標題 Visual Body Part Representation in the Lateral Occipitotemporal Cortex in Children/Adolescents and Adults 3 . 雑誌名 Cerebral Cortex Communications 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/texcom/tgaa007 オープンアクセス	4 . 巻 26 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 102249 - 102249 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 in press 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有
1 . 著者名 Sumiya Motofumi、Okamoto Yuko、Koike Takahiko、Tanigawa Tsubasa、Okazawa Hidehiko、Kosaka Hirotaka、Sadato Norihiro 2 . 論文標題 Attenuated activation of the anterior rostral medial prefrontal cortex on self-relevant social reward processing in individuals with autism spectrum disorder 3 . 雑誌名 NeuroImage: Clinical 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.nicl.2020.102249 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Okamoto Yuko、Kitada Ryo、Kochiyama Takanori、Naruse Hiroaki、Makita Kai、Miyahara Motohide、Okazawa Hidehiko、Kosaka Hirotaka 2 . 論文標題 Visual Body Part Representation in the Lateral Occipitotemporal Cortex in Children/Adolescents and Adults 3 . 雑誌名 Cerebral Cortex Communications	4 . 巻 26 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 102249 - 102249 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 in press 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 -

1.著者名	4 . 巻
Agil Hilda M., Watanabe Kumi, Tanaka Emiko, Afiyanti Yati, Anme Tokie	23
Agri in da in., natanabo kami, fanaka zimko, Ariyanti fati, Aimio fokto	
A A A TOTAL	_ 70 /= -
2. 論文標題	5.発行年
Factors influencing Indonesian male partners' support in the postpartum period	2019年
	·
3.雑誌名	6.最初と最後の頁

Makara Journal of Health Research	82-89
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.7454/msk.v23i2.10636	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
3 7777 EXCOCKIO (\$12, CO) (£ COO)	政コッシ
1.著者名	4 . 巻
Watanabe K., Tanaka E., Watanabe T., Tomisaki E., Ito S., Okumura R., Anme T.	179
Taranas III, Tarana E., Taranas II, Tomoun E., Tto O., Ondinara II., Annie I.	
0 *A->-LIE DE	F 78/- F
2.論文標題	5.発行年
Social relationships and functional status among Japanese elderly adults living in a suburban	2020年
area	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Public Health	84 - 89
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.puhe.2019.09.016	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	113071
3 7277 EXCOCKIO (\$12, CO) (£ COO)	_
1.著者名	4 . 巻
安梅勅江	41
△13/0/L	
0 *A->	5 75/- F
2 . 論文標題	5.発行年
2.論文標題 高齢者のエンパワメント理論と実践活用	5.発行年 2019年
·····	
高齢者のエンパワメント理論と実践活用	2019年
高齢者のエンパワメント理論と実践活用 3.雑誌名	2019年 6.最初と最後の頁
高齢者のエンパワメント理論と実践活用	2019年
高齢者のエンパワメント理論と実践活用 3.雑誌名	2019年 6.最初と最後の頁
高齢者のエンパワメント理論と実践活用 3.雑誌名 日本老年社会科学	2019年 6.最初と最後の頁
高齢者のエンパワメント理論と実践活用 3.雑誌名 日本老年社会科学	2019年 6 . 最初と最後の頁 337-341
高齢者のエンパワメント理論と実践活用 3.雑誌名 日本老年社会科学 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2019年 6.最初と最後の頁 337-341 査読の有無
高齢者のエンパワメント理論と実践活用 3.雑誌名 日本老年社会科学	2019年 6 . 最初と最後の頁 337-341
高齢者のエンパワメント理論と実践活用 3.雑誌名 日本老年社会科学 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	2019年 6.最初と最後の頁 337-341 査読の有無 有
高齢者のエンパワメント理論と実践活用 3.雑誌名 日本老年社会科学 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2019年 6.最初と最後の頁 337-341 査読の有無
高齢者のエンパワメント理論と実践活用 3.雑誌名 日本老年社会科学 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	2019年 6.最初と最後の頁 337-341 査読の有無 有
高齢者のエンパワメント理論と実践活用 3.雑誌名 日本老年社会科学 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	2019年 6.最初と最後の頁 337-341 査読の有無 有
高齢者のエンパワメント理論と実践活用 3.雑誌名 日本老年社会科学 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2019年 6.最初と最後の頁 337-341 査読の有無 有 国際共著
高齢者のエンパワメント理論と実践活用 3 . 雑誌名 日本老年社会科学 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名	2019年 6.最初と最後の頁 337-341 査読の有無 有 国際共著 -
高齢者のエンパワメント理論と実践活用 3.雑誌名 日本老年社会科学 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2019年 6.最初と最後の頁 337-341 査読の有無 有 国際共著
高齢者のエンパワメント理論と実践活用 3.雑誌名 日本老年社会科学 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	2019年 6.最初と最後の頁 337-341 査読の有無 有 国際共著 -
高齢者のエンパワメント理論と実践活用 3 . 雑誌名 日本老年社会科学 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Watanabe Noriya、Bhanji Jamil P.、Tanabe Hiroki C.、Delgado Mauricio R.	2019年 6.最初と最後の頁 337-341 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 202
高齢者のエンパワメント理論と実践活用 3 . 雑誌名 日本老年社会科学 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Watanabe Noriya、Bhanji Jamil P.、Tanabe Hiroki C.、Delgado Mauricio R. 2 . 論文標題	2019年 6.最初と最後の頁 337-341 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 202 5.発行年
高齢者のエンパワメント理論と実践活用 3.雑誌名 日本老年社会科学 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Watanabe Noriya、Bhanji Jamil P.、Tanabe Hiroki C.、Delgado Mauricio R. 2.論文標題 Ventromedial prefrontal cortex contributes to performance success by controlling reward-driven	2019年 6.最初と最後の頁 337-341 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 202
高齢者のエンパワメント理論と実践活用 3 . 雑誌名 日本老年社会科学 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Watanabe Noriya、Bhanji Jamil P.、Tanabe Hiroki C.、Delgado Mauricio R. 2 . 論文標題 Ventromedial prefrontal cortex contributes to performance success by controlling reward-driven arousal representation in amygdala	2019年 6.最初と最後の頁 337-341 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 202 5.発行年 2019年
高齢者のエンパワメント理論と実践活用 3 . 雑誌名 日本老年社会科学 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Watanabe Noriya、Bhanji Jamil P.、Tanabe Hiroki C.、Delgado Mauricio R. 2 . 論文標題 Ventromedial prefrontal cortex contributes to performance success by controlling reward-driven arousal representation in amygdala	2019年 6.最初と最後の頁 337-341 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 202 5.発行年 2019年
高齢者のエンパワメント理論と実践活用 3.雑誌名 日本老年社会科学 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Watanabe Noriya、Bhanji Jamil P.、Tanabe Hiroki C.、Delgado Mauricio R. 2.論文標題 Ventromedial prefrontal cortex contributes to performance success by controlling reward-driven arousal representation in amygdala 3.雑誌名	2019年 6.最初と最後の頁 337-341 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 202 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
高齢者のエンパワメント理論と実践活用 3.雑誌名 日本老年社会科学 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Watanabe Noriya、Bhanji Jamil P.、Tanabe Hiroki C.、Delgado Mauricio R. 2.論文標題 Ventromedial prefrontal cortex contributes to performance success by controlling reward-driven arousal representation in amygdala	2019年 6.最初と最後の頁 337-341 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 202 5.発行年 2019年
高齢者のエンパワメント理論と実践活用 3 . 雑誌名 日本老年社会科学 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Watanabe Noriya、Bhanji Jamil P.、Tanabe Hiroki C.、Delgado Mauricio R. 2 . 論文標題 Ventromedial prefrontal cortex contributes to performance success by controlling reward-driven arousal representation in amygdala 3 . 雑誌名	2019年 6.最初と最後の頁 337-341 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 202 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
高齢者のエンパワメント理論と実践活用 3.雑誌名 日本老年社会科学 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Watanabe Noriya、Bhanji Jamil P.、Tanabe Hiroki C.、Delgado Mauricio R. 2.論文標題 Ventromedial prefrontal cortex contributes to performance success by controlling reward-driven arousal representation in amygdala 3.雑誌名 NeuroImage	2019年 6.最初と最後の頁 337-341 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 202 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 116136 - 116136
高齢者のエンパワメント理論と実践活用 3 . 雑誌名 日本老年社会科学 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Watanabe Noriya、Bhanji Jamil P.、Tanabe Hiroki C.、Delgado Mauricio R. 2 . 論文標題 Ventromedial prefrontal cortex contributes to performance success by controlling reward-driven arousal representation in amygdala 3 . 雑誌名	2019年 6.最初と最後の頁 337-341 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 202 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
高齢者のエンパワメント理論と実践活用 3.雑誌名 日本老年社会科学 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Watanabe Noriya、Bhanji Jamil P.、Tanabe Hiroki C.、Delgado Mauricio R. 2.論文標題 Ventromedial prefrontal cortex contributes to performance success by controlling reward-driven arousal representation in amygdala 3.雑誌名 NeuroImage 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2019年 6.最初と最後の頁 337-341 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 202 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 116136 - 116136
高齢者のエンパワメント理論と実践活用 3 . 雑誌名 日本老年社会科学 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Watanabe Noriya、Bhanji Jamil P.、Tanabe Hiroki C.、Delgado Mauricio R. 2 . 論文標題 Ventromedial prefrontal cortex contributes to performance success by controlling reward-driven arousal representation in amygdala 3 . 雑誌名 NeuroImage	2019年 6.最初と最後の頁 337-341 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 202 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 116136 - 116136
高齢者のエンパワメント理論と実践活用 3 . 雑誌名 日本老年社会科学 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Watanabe Noriya、Bhanji Jamil P.、Tanabe Hiroki C.、Delgado Mauricio R. 2 . 論文標題 Ventromedial prefrontal cortex contributes to performance success by controlling reward-driven arousal representation in amygdala 3 . 雑誌名 NeuroImage 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroimage.2019.116136	2019年 6.最初と最後の頁 337-341 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 202 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 116136 - 116136
高齢者のエンパワメント理論と実践活用 3.雑誌名 日本老年社会科学 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Watanabe Noriya、Bhanji Jamil P.、Tanabe Hiroki C.、Delgado Mauricio R. 2.論文標題 Ventromedial prefrontal cortex contributes to performance success by controlling reward-driven arousal representation in amygdala 3.雑誌名 NeuroImage 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroimage.2019.116136 オープンアクセス	2019年 6.最初と最後の頁 337-341 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 202 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 116136 - 116136 査読の有無 有
高齢者のエンパワメント理論と実践活用 3 . 雑誌名 日本老年社会科学 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Watanabe Noriya、Bhanji Jamil P.、Tanabe Hiroki C.、Delgado Mauricio R. 2 . 論文標題 Ventromedial prefrontal cortex contributes to performance success by controlling reward-driven arousal representation in amygdala 3 . 雑誌名 NeuroImage 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroimage.2019.116136	2019年 6.最初と最後の頁 337-341 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 202 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 116136 - 116136

1 . 著者名 Bagarinao E, Watanabe H, Maesawa S, Mori D, Hara K, Kawabata K, Yoneyama N, Ohdake R, Imai K, Masuda M, Yokoi T, Ogura A, Taoka T, Koyama S, Tanabe HC, Katsuno M, Wakabayashi T, Kuzuya M, Ozaki N, Hoshiyama M, Isoda H, Naganawa S, Sobue G	4.巻 9
2.論文標題 Reorganization of brain networks and its association with general cognitive performance over the adult lifespan	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名 Scientific Reports	6 . 最初と最後の頁 11352
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-47922-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1 . 著者名 Koike Takahiko、Tanabe Hiroki C、Adachi-Abe Saori、Okazaki Shuntaro、Nakagawa Eri、Sasaki Akihiro T、Shimada Koji、Sugawara Sho K、Takahashi Haruka K、Yoshihara Kazufumi、Sadato Norihiro	4.巻 14
2.論文標題 Role of the right anterior insular cortex in joint attention-related identification with a partner	5 . 発行年 2019年
3. 雑誌名 Social Cognitive and Affective Neuroscience	6 . 最初と最後の頁 1131 - 1145
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/scan/nsz087	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1.著者名 田邊宏樹	4.巻 20
2 . 論文標題 小脳と高次認知機能	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名 ことばの科学研究	6 . 最初と最後の頁 4-8
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1 . 著者名 Amemiya Kaoru、Morita Tomoyo、Saito Daisuke N.、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru、Naito Eiichi	4.巻 224
2.論文標題 Local-to-distant development of the cerebrocerebellar sensorimotor network in the typically developing human brain: a functional and diffusion MRI study	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名 Brain Structure and Function	6 . 最初と最後の頁 1359~1375
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00429-018-01821-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著

1.著者名	
коmeda Hidetsugu、Kosaka Hirotaka、Fujioka Toru、Jung Minyoung、Okazawa Hidehiko	4.巻 10
2 . 論文標題 Do Individuals With Autism Spectrum Disorders Help Other People With Autism Spectrum Disorders' An Investigation of Empathy and Helping Motivation in Adults With Autism Spectrum Disorder	5 . 発行年 ? 2019年
3.雑誌名 Frontiers in Psychiatry	6.最初と最後の頁 376
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyt.2019.00376	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1.著者名 岡沢秀彦	4.巻 270
2 . 論文標題 脳血管障害のPET、SPECT	5 . 発行年 2019年
3 . 雑誌名 医学のあゆみ	6 . 最初と最後の頁 714-719
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 Jung Minyoung、Mizuno Yoshifumi、Fujisawa Takashi X、Takiguchi Shinichiro、Kong Jian、Kosaka Hirotaka、Tomoda Akemi	4.巻 29
2 . 論文標題 The Effects of COMT Polymorphism on Cortical Thickness and Surface Area Abnormalities in Children with ADHD	5 . 発行年 2018年
3.雑誌名 Cerebral Cortex	6 . 最初と最後の頁 3902 - 3911
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1093/cercor/bhy269	 査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する
1 . 著者名 Jung Minyoung、Mody Maria、Fujioka Toru、Kimura Yukari、Okazawa Hidehiko、Kosaka Hirotaka	4.巻 13
2.論文標題	5 . 発行年 2019年
Sex Differences in White Matter Pathways Related to Language Ability	1
Sex Differences in White Matter Pathways Related to Language Ability 3 . 雑誌名 Frontiers in Neuroscience	6.最初と最後の頁 898
3.雑誌名	

1. 著者名 Owada K, Okada T, Munesue T, Kuroda M, Fujioka T, Uno Y, Matsumoto K, Kuwabara H, Mori D, Okamoto Y, Yoshimura Y, Kawakubo Y, Arioka Y, Kojima M, Yuhi T, Yassin W, Kushima I, Benner S, Ogawa N, Eriguchi Y, Kawano N, Uemura Y, Yamamoto M, Kano Y, Kasai K, Higashida H, Ozaki N,	4 . 巻 142
Kosaka H. Yamasue H.	
2.論文標題 Quantitative facial expression analysis revealed the efficacy and time course of oxytocin in autism	5 . 発行年 2019年
	6 早知レ早後のぎ
3.雑誌名 Brain	6 . 最初と最後の頁 2127 - 2136
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/brain/awz126	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1 . 著者名 Komeda Hidetsugu、Kosaka Hirotaka、Fujioka Toru、Jung Minyoung、Okazawa Hidehiko	4.巻 10
2.論文標題 Do Individuals With Autism Spectrum Disorders Help Other People With Autism Spectrum Disorders? An Investigation of Empathy and Helping Motivation in Adults With Autism Spectrum Disorder	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Frontiers in Psychiatry	376
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.3389/fpsyt.2019.00376	有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1 . 著者名 Abe Masaki O.、Koike Takahiko、Okazaki Shuntaro、Sugawara Sho K.、Takahashi Kohske、Watanabe Katsumi、Sadato Norihiro	4.巻 191
2 . 論文標題 Neural correlates of online cooperation during joint force production	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名 NeuroImage	6 . 最初と最後の頁 150~161
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroimage.2019.02.003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1.著者名	4 . 巻
Brooks Jeffrey A., Chikazoe Junichi, Sadato Norihiro, Freeman Jonathan B.	116
2 . 論文標題 The neural representation of facial-emotion categories reflects conceptual structure	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名 Proceedings of the National Academy of Sciences	6 . 最初と最後の頁 15861~15870
	 査読の有無
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1816408116 オープンアクセス	有 有 国際共著

	. 244
1.著者名 Wikada Dua Daizaki Duwishi Kwan Linhwan Tanigawa Tauhasa Nakagawa Eri Kashiyana Takanari	4.巻
Kitada Ryo, Doizaki Ryuichi, Kwon Jinhwan, Tanigawa Tsubasa, Nakagawa Eri, Kochiyama Takanori, Kajimoto Hiroyuki, Sakamoto Maki, Sadato Norihiro	197
2. 論文標題	5.発行年
Brain networks underlying tactile softness perception: A functional magnetic resonance imaging	2019年
study	20194
3. 雑誌名	6.最初と最後の頁
NeuroImage	156~166
Neutonilage	130 100
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.neuroimage.2019.04.044	有
, ,	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1.著者名	4 . 巻
Maruyama Shuki, Fukunaga Masaki, Fautz Hans-Peter, Heidemann Robin, Sadato Norihiro	9
2.論文標題	5 . 発行年
Comparison of 3T and 7T MRI for the visualization of globus pallidus sub-segments	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Scientific Reports	18357
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1038/s41598-019-54880-x	有
+	同 放 +
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1 \$247	1 4 *
1.著者名 - Markingki Hidaki - Harrandan Laran F Vaninassikah Cil. Cadaka Namihira - Kakini Duwaska	4.巻
Mochizuki Hideki、Hernandez Loren E.、Yosipovitch Gil、Sadato Norihiro、Kakigi Ryusuke	10
2.論文標題	5.発行年
Z · 剛久信義器 The Functional Network Processing Acute Electrical Itch Stimuli in Humans	2019年
The Functional Network Processing Acute Electrical Itch Stimum in Humans	20194
3. 雑誌名	16 最初と最後の百
	6.最初と最後の頁
3.雑誌名 Frontiers in Physiology	6.最初と最後の頁 555
Frontiers in Physiology	555
Frontiers in Physiology 曷載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	555 査読の有無
Frontiers in Physiology	555
Frontiers in Physiology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fphys.2019.00555	555 査読の有無 有
Frontiers in Physiology 曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fphys.2019.00555 オープンアクセス	555 査読の有無 有 国際共著
Frontiers in Physiology 曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fphys.2019.00555	555 査読の有無 有
Frontiers in Physiology 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fphys.2019.00555 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	555 査読の有無 有 国際共著 該当する
Frontiers in Physiology 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.3389/fphys.2019.00555 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名	555 査読の有無 有 国際共著
Frontiers in Physiology 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.3389/fphys.2019.00555 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	555 査読の有無 有 国際共著 該当する
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.3389/fphys.2019.00555 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Ikeda Ayaka、Kobayashi Tessei、Itakura Shoji	555 査読の有無 有 国際共著 該当する
Frontiers in Physiology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fphys.2019.00555 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Ikeda Ayaka、Kobayashi Tessei、Itakura Shoji 2.論文標題	555 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 55
Frontiers in Physiology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fphys.2019.00555 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Ikeda Ayaka、Kobayashi Tessei、Itakura Shoji	555 査読の有無 有 国際共著 該当する
Frontiers in Physiology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fphys.2019.00555 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Ikeda Ayaka、Kobayashi Tessei、Itakura Shoji 2.論文標題	555 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 55
Responsible Frontiers in Physiology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fphys.2019.00555 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Ikeda Ayaka、Kobayashi Tessei、Itakura Shoji 2.論文標題 Sensitivity to register selection errors amongst 5- and 7-year-old children. 3.雑誌名	555 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 55 5 . 発行年 2019年
同報論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fphys.2019.00555 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Ikeda Ayaka、Kobayashi Tessei、Itakura Shoji 2.論文標題 Sensitivity to register selection errors amongst 5- and 7-year-old children.	555 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 55 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
Frontiers in Physiology 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fphys.2019.00555 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Ikeda Ayaka、Kobayashi Tessei、Itakura Shoji 2.論文標題 Sensitivity to register selection errors amongst 5- and 7-year-old children. 3.雑誌名	555 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 55 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
Response Translers in Physiology Resp	555 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 55 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
R載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.3389/fphys.2019.00555 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Ikeda Ayaka、Kobayashi Tessei、Itakura Shoji 2.論文標題 Sensitivity to register selection errors amongst 5- and 7-year-old children. 3.雑誌名	555 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 55 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1380~1388
表現論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	555 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 55 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1380~1388
表現論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	555 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 55 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1380~1388

1.著者名	4 Y'
	4 . 巻
Park Yun-hee、Itakura Shoji	48
2.論文標題	
	2019年
Causal Information Over Facial Expression: Modulation of Facial Expression Processing by Congruency and Causal Factor of the Linguistic Cues in 5-Year-Old Japanese Children	2019 11
congruency and causal Factor of the Linguistic cues in 5-Year-Old Japanese Children 3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Psycholinguistic Research	987 ~ 1004
曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
https://doi.org/10.1007/s10936-019-09643-0	有
けープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
	4 244
1 . 著者名	4 . 巻
Ishikawa Mitsuhiko、Yoshimura Mina、Sato Hiroki、Itakura Shoji	20
2.論文標題	5 . 発行年
Effects of attentional behaviours on infant visual preferences and object choice	2019年
9.雑誌名	6.最初と最後の頁
Cognitive Processing	317~324
oogin tivo i roccoonig	317 3 21
■ 計論 ウ Φ DO L / ニング カル サブンデュ カト 強 叫 フ)	木芸の左無
引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無 -
https://doi.org/10.1007/s10339-019-00918-x	有
· - プンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
1.著者名	4 . 巻
Yamamoto Hiroki, Sato Atsushi, Itakura Shoji	9
2.論文標題	5.発行年
Eye tracking in an everyday environment reveals the interpersonal distance that affords infant-	2019年
parent gaze communication	2010
parent gaze communication 3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Scientific Reports	10352
③無給ウのDOI(ごごねルナブジェカト雑卯フ)	本芸の右無
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	査読の有無
引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.1038/s41598-019-46650-6	査読の有無 有
https://doi.org/10.1038/s41598-019-46650-6 トープンアクセス	
https://doi.org/10.1038/s41598-019-46650-6	有
https://doi.org/10.1038/s41598-019-46650-6 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
https://doi.org/10.1038/s41598-019-46650-6 Tープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) . 著者名	有 国際共著 - 4.巻
https://doi.org/10.1038/s41598-019-46650-6 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) I.著者名 Moriguchi Yusuke、Kanakogi Yasuhiro、Okumura Yuko、Shinohara Ikuko、Itakura Shoji、Shimojo	国際共著
https://doi.org/10.1038/s41598-019-46650-6 「ープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) . 著者名 Moriguchi Yusuke、Kanakogi Yasuhiro、Okumura Yuko、Shinohara Ikuko、Itakura Shoji、Shimojo Shinsuke	有 国際共著 - 4.巻 5
https://doi.org/10.1038/s41598-019-46650-6 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) . 著者名 Moriguchi Yusuke、Kanakogi Yasuhiro、Okumura Yuko、Shinohara Ikuko、Itakura Shoji、Shimojo Shinsuke 2. 論文標題	有 国際共著 - 4.巻 5 5.発行年
https://doi.org/10.1038/s41598-019-46650-6 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) . 著者名 Moriguchi Yusuke、Kanakogi Yasuhiro、Okumura Yuko、Shinohara Ikuko、Itakura Shoji、Shimojo Shinsuke	有 国際共著 - 4.巻 5
https://doi.org/10.1038/s41598-019-46650-6 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) . 著者名 Moriguchi Yusuke、Kanakogi Yasuhiro、Okumura Yuko、Shinohara Ikuko、Itakura Shoji、Shimojo Shinsuke 2. 論文標題 Imaginary agents exist perceptually for children but not for adults	有 国際共著 - 4.巻 5 5.発行年 2019年
https://doi.org/10.1038/s41598-019-46650-6 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) . 著者名 Moriguchi Yusuke、Kanakogi Yasuhiro、Okumura Yuko、Shinohara Ikuko、Itakura Shoji、Shimojo Shinsuke 2. 論文標題 Imaginary agents exist perceptually for children but not for adults 3. 雑誌名	有 国際共著 - 4 . 巻 5 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
https://doi.org/10.1038/s41598-019-46650-6 オープンアクセスとしている(また、その予定である) . 著者名 Moriguchi Yusuke、Kanakogi Yasuhiro、Okumura Yuko、Shinohara Ikuko、Itakura Shoji、Shimojo Shinsuke 2. 論文標題 Imaginary agents exist perceptually for children but not for adults	有 国際共著 - 4.巻 5 5.発行年 2019年
https://doi.org/10.1038/s41598-019-46650-6 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Moriguchi Yusuke、Kanakogi Yasuhiro、Okumura Yuko、Shinohara Ikuko、Itakura Shoji、Shimojo Shinsuke 2 . 論文標題 Imaginary agents exist perceptually for children but not for adults 3 . 雑誌名 Palgrave Communications	有 国際共著 - 4 . 巻 5 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 133
https://doi.org/10.1038/s41598-019-46650-6 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Moriguchi Yusuke、Kanakogi Yasuhiro、Okumura Yuko、Shinohara Ikuko、Itakura Shoji、Shimojo Shinsuke 2. 論文標題 Imaginary agents exist perceptually for children but not for adults 3. 雑誌名 Palgrave Communications	有 国際共著 - 4 . 巻 5 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 133
https://doi.org/10.1038/s41598-019-46650-6 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Moriguchi Yusuke、Kanakogi Yasuhiro、Okumura Yuko、Shinohara Ikuko、Itakura Shoji、Shimojo Shinsuke 2. 論文標題 Imaginary agents exist perceptually for children but not for adults 3. 雑誌名 Palgrave Communications	有 国際共著 - 4 . 巻 5 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 133
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Moriguchi Yusuke、Kanakogi Yasuhiro、Okumura Yuko、Shinohara Ikuko、Itakura Shoji、Shimojo Shinsuke 2 . 論文標題 Imaginary agents exist perceptually for children but not for adults 3 . 雑誌名 Palgrave Communications	有 国際共著 - 4 . 巻 5 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 133

1.著者名	4 Y'
	4 . 巻
lidaka T, Kogata T, Mano Y, Komeda H	10
2.論文標題	5 . 発行年
Thalamocortical Hyperconnectivity and Amygdala-Cortical Hypoconnectivity in Male Patients With	2019年
Autism Spectrum Disorder	20194
Autism spectrum bisorder 3.雑誌名	6.最初と最後の頁

Front. Psychiatry	252
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	本芸の右無
	査読の有無
10.3389/fpsyt.2019.00252	有
ナープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
· 著者名	4 . 巻
Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Kochiyama T, Kikuchi Y, Ogino Y, Saito S, and Sadato N	14
	5.発行年
Prosocial behavior toward estranged persons modulates the interaction between midline cortical structures and the reward system.	2019年
Structures and the reward system. 3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Social Neuroscience	618-630
COOTAT HOLEOGOTOHOO	010-000
引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	本芸の右無
	査読の有無
10.1080/17470919.2018.1553797	有
↑−プンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	<u> </u>
l . 著者名	4 . 巻
Numata Takashi, Sato Hiroki, Asa Yasuhiro, Koike Takahiko, Miyata Kohei, Nakagawa Eri, Sumiya Motofumi, Sadato Norihiro	10
Motordini、Sadato Normino 2 . 論文標題	5 . 発行年
Achieving affective human?virtual agent communication by enabling virtual agents to imitate positive expressions	2020年
<u> posttive expressions</u> 3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Scientific Reports	5977
obtainer to reports	5311
記載論文のDOL(デジタルオブジェクト譜別子)	杏誌の有無
	査読の有無
引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-62870-7	査読の有無 有
10.1038/s41598-020-62870-7 オープンアクセス	
10.1038/s41598-020-62870-7	有
10.1038/s41598-020-62870-7 Tープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
10.1038/s41598-020-62870-7 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名	有 国際共著 - 4.巻
10.1038/s41598-020-62870-7 「ープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) . 著者名 Etsuko Tomisaki, Emiko Tanaka, Taeko Watanabe, Ryoji Shinohara, Maki Hirano, Yoko Onda, Yukiko	国際共著
10.1038/s41598-020-62870-7 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Etsuko Tomisaki, Emiko Tanaka, Taeko Watanabe, Ryoji Shinohara, Maki Hirano, Yoko Onda, Yukiko Mochizuki, Yuko Yato, Noriko Yamakawa, Tokie Anme	有 国際共著 - 4.巻 6
10.1038/s41598-020-62870-7 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Etsuko Tomisaki, Emiko Tanaka, Taeko Watanabe, Ryoji Shinohara, Maki Hirano, Yoko Onda, Yukiko Mochizuki, Yuko Yato, Noriko Yamakawa, Tokie Anme 2.論文標題	有 国際共著 - 4.巻 6 5.発行年
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Etsuko Tomisaki, Emiko Tanaka, Taeko Watanabe, Ryoji Shinohara, Maki Hirano, Yoko Onda, Yukiko	有 国際共著 - 4.巻 6
10.1038/s41598-020-62870-7 オープンアクセスとしている(また、その予定である) . 著者名 Etsuko Tomisaki, Emiko Tanaka, Taeko Watanabe, Ryoji Shinohara, Maki Hirano, Yoko Onda, Yukiko Mochizuki, Yuko Yato, Noriko Yamakawa, Tokie Anme 2. 論文標題 The relationship between the development of social competence and sleep in infants: a longitudinal study	有 国際共著 - 4.巻 6 5.発行年 2018年
10.1038/s41598-020-62870-7 オープンアクセスとしている(また、その予定である) . 著者名 Etsuko Tomisaki, Emiko Tanaka, Taeko Watanabe, Ryoji Shinohara, Maki Hirano, Yoko Onda, Yukiko Mochizuki, Yuko Yato, Noriko Yamakawa, Tokie Anme 2. 論文標題 The relationship between the development of social competence and sleep in infants: a longitudinal study	有 国際共著 - 4.巻 6 5.発行年
10.1038/s41598-020-62870-7 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Etsuko Tomisaki, Emiko Tanaka, Taeko Watanabe, Ryoji Shinohara, Maki Hirano, Yoko Onda, Yukiko Mochizuki, Yuko Yato, Noriko Yamakawa, Tokie Anme 2. 論文標題 The relationship between the development of social competence and sleep in infants: a longitudinal study 3. 雑誌名	有 国際共著 - 4 . 巻 6 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Etsuko Tomisaki, Emiko Tanaka, Taeko Watanabe, Ryoji Shinohara, Maki Hirano, Yoko Onda, Yukiko Mochizuki, Yuko Yato, Noriko Yamakawa, Tokie Anme 2 . 論文標題 The relationship between the development of social competence and sleep in infants: a longitudinal study 3 . 雑誌名 Child and Adolescent Psychiatry and Mental health	有 国際共著 - 4 . 巻 6 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 52-57
10.1038/s41598-020-62870-7 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Etsuko Tomisaki, Emiko Tanaka, Taeko Watanabe, Ryoji Shinohara, Maki Hirano, Yoko Onda, Yukiko Mochizuki, Yuko Yato, Noriko Yamakawa, Tokie Anme 2.論文標題 The relationship between the development of social competence and sleep in infants: a longitudinal study 3. 雑誌名 Child and Adolescent Psychiatry and Mental health	有 国際共著 - 4 . 巻 6 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 52-57
10.1038/s41598-020-62870-7 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Etsuko Tomisaki, Emiko Tanaka, Taeko Watanabe, Ryoji Shinohara, Maki Hirano, Yoko Onda, Yukiko Mochizuki, Yuko Yato, Noriko Yamakawa, Tokie Anme 2. 論文標題 The relationship between the development of social competence and sleep in infants: a longitudinal study 3. 雑誌名 Child and Adolescent Psychiatry and Mental health	有 国際共著 - 4 . 巻 6 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 52-57 査読の有無
10.1038/s41598-020-62870-7 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Etsuko Tomisaki, Emiko Tanaka, Taeko Watanabe, Ryoji Shinohara, Maki Hirano, Yoko Onda, Yukiko Mochizuki, Yuko Yato, Noriko Yamakawa, Tokie Anme 2.論文標題 The relationship between the development of social competence and sleep in infants: a longitudinal study 3.雑誌名 Child and Adolescent Psychiatry and Mental health	有 国際共著 - 4 . 巻 6 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 52-57

1 . 著者名 Okamoto Y, Kitada R, Miyahara M, Kochiyama T, Naruse H, Sadato N, Okazawa H, Kosaka H.	
Okamoto Y, Kitada R, Miyahara M, Kochiyama T, Naruse H, Sadato N, Okazawa H, Kosaka H.	4.巻
	19
2.論文標題	- 発行在
	5.発行年
Altered perspective-dependent brain activation while viewing hands and associated imitation	2018年
difficulties in individuals with autism spectrum disorder.	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
NeuroImage-Clinical	384-395
Neuronmage-crimical	364-395
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.nicl.2018.04.030	有
,	13
オープンアクセス	国際共著
	国际八百
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4.巻
Morita T, Saito DN, Ban M, Shimada K, Okamoto Y, Kosaka H, Okazawa H, Asada M, Naito E.	28
morrita i, saito bi, bar m, sirimada ii, siazana ii, s	
2	F 改作在
2 . 論文標題	5.発行年
Self-face recognition begins to share active brain region in right inferior parietal lobule	2018年
with proprioceptive illusion during adolescence.	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Cerebral Cortex	1532-1548
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1093/cercor/bhy027	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 . 著者名	4 . 巻
Fujisawa TX, Shimada K, Takiguchi S, Mizushima S, Kosaka H, Okazawa H, Teicher MH, Tomoda A.	20
rujisawa ia, siiililada n, takigudii s, mizusiiilila s, nosaka n, okazawa n, tetchet win, toliloda a.	20
2.論文標題	5 . 発行年
Type and timing of childhood maltreatment and reduced visual cortex volume in children and	2018年
adolescents with reactive attachment disorder.	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
NeuroImage-Clinical	216-221
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
10.1016/j.nicl.2018.07.018. eCollection 2018	有
オープンアクセス	国際共著
	国際共著
・ オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名	- 4 . 巻
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Yoshimura Y, Kikuchi M, Hiraishi H, Hasegawa C, Hirosawa T, Takahashi T, Munesue T, Kosaka H,	- 4 . 巻
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Yoshimura Y, Kikuchi M, Hiraishi H, Hasegawa C, Hirosawa T, Takahashi T, Munesue T, Kosaka H,	- 4 . 巻
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Yoshimura Y, Kikuchi M, Hiraishi H, Hasegawa C, Hirosawa T, Takahashi T, Munesue T, Kosaka H, Higashida H, Minabe Y.	- 4.巻 281
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Yoshimura Y, Kikuchi M, Hiraishi H, Hasegawa C, Hirosawa T, Takahashi T, Munesue T, Kosaka H, Higashida H, Minabe Y. 2 . 論文標題	- 4 . 巻 281 5 . 発行年
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Yoshimura Y, Kikuchi M, Hiraishi H, Hasegawa C, Hirosawa T, Takahashi T, Munesue T, Kosaka H, Higashida H, Minabe Y. 2 . 論文標題 Longitudinal changes in the mismatch field evoked by an empathic voice reflect changes in the	- 4 . 巻 281 5 . 発行年
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Yoshimura Y, Kikuchi M, Hiraishi H, Hasegawa C, Hirosawa T, Takahashi T, Munesue T, Kosaka H, Higashida H, Minabe Y. 2 . 論文標題 Longitudinal changes in the mismatch field evoked by an empathic voice reflect changes in the empathy quotient in autism spectrum disorder.	- 4.巻 281 5.発行年 2018年
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Yoshimura Y, Kikuchi M, Hiraishi H, Hasegawa C, Hirosawa T, Takahashi T, Munesue T, Kosaka H, Higashida H, Minabe Y. 2 . 論文標題 Longitudinal changes in the mismatch field evoked by an empathic voice reflect changes in the empathy quotient in autism spectrum disorder.	- 4.巻 281 5.発行年 2018年
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Yoshimura Y, Kikuchi M, Hiraishi H, Hasegawa C, Hirosawa T, Takahashi T, Munesue T, Kosaka H, Higashida H, Minabe Y. 2 . 論文標題 Longitudinal changes in the mismatch field evoked by an empathic voice reflect changes in the empathy quotient in autism spectrum disorder. 3 . 雑誌名	- 4 . 巻 281 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスとしている (また、その予定である) 1 . 著者名 Yoshimura Y, Kikuchi M, Hiraishi H, Hasegawa C, Hirosawa T, Takahashi T, Munesue T, Kosaka H, Higashida H, Minabe Y. 2 . 論文標題 Longitudinal changes in the mismatch field evoked by an empathic voice reflect changes in the empathy quotient in autism spectrum disorder.	- 4.巻 281 5.発行年 2018年
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Yoshimura Y, Kikuchi M, Hiraishi H, Hasegawa C, Hirosawa T, Takahashi T, Munesue T, Kosaka H, Higashida H, Minabe Y. 2 . 論文標題 Longitudinal changes in the mismatch field evoked by an empathic voice reflect changes in the empathy quotient in autism spectrum disorder. 3 . 雑誌名	- 4 . 巻 281 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Yoshimura Y, Kikuchi M, Hiraishi H, Hasegawa C, Hirosawa T, Takahashi T, Munesue T, Kosaka H, Higashida H, Minabe Y. 2 . 論文標題 Longitudinal changes in the mismatch field evoked by an empathic voice reflect changes in the empathy quotient in autism spectrum disorder. 3 . 雑誌名 Psychiatry Res Neuroimaging	- 4 . 巻 281 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 117-122
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Yoshimura Y, Kikuchi M, Hiraishi H, Hasegawa C, Hirosawa T, Takahashi T, Munesue T, Kosaka H, Higashida H, Minabe Y. 2. 論文標題 Longitudinal changes in the mismatch field evoked by an empathic voice reflect changes in the empathy quotient in autism spectrum disorder. 3. 雑誌名 Psychiatry Res Neuroimaging	- 4 . 巻 281 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 117-122
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Yoshimura Y, Kikuchi M, Hiraishi H, Hasegawa C, Hirosawa T, Takahashi T, Munesue T, Kosaka H, Higashida H, Minabe Y. 2 . 論文標題 Longitudinal changes in the mismatch field evoked by an empathic voice reflect changes in the empathy quotient in autism spectrum disorder. 3 . 雑誌名 Psychiatry Res Neuroimaging	- 4 . 巻 281 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 117-122
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Yoshimura Y, Kikuchi M, Hiraishi H, Hasegawa C, Hirosawa T, Takahashi T, Munesue T, Kosaka H, Higashida H, Minabe Y. 2 . 論文標題 Longitudinal changes in the mismatch field evoked by an empathic voice reflect changes in the empathy quotient in autism spectrum disorder. 3 . 雑誌名 Psychiatry Res Neuroimaging	- 4 . 巻 281 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 117-122
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Yoshimura Y, Kikuchi M, Hiraishi H, Hasegawa C, Hirosawa T, Takahashi T, Munesue T, Kosaka H, Higashida H, Minabe Y. 2 . 論文標題 Longitudinal changes in the mismatch field evoked by an empathic voice reflect changes in the empathy quotient in autism spectrum disorder. 3 . 雑誌名 Psychiatry Res Neuroimaging 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.pscychresns.2018.05.003	- 4 . 巻 281 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 117-122 査読の有無
1 . 著者名 Yoshimura Y, Kikuchi M, Hiraishi H, Hasegawa C, Hirosawa T, Takahashi T, Munesue T, Kosaka H, Higashida H, Minabe Y. 2 . 論文標題 Longitudinal changes in the mismatch field evoked by an empathic voice reflect changes in the empathy quotient in autism spectrum disorder. 3 . 雑誌名 Psychiatry Res Neuroimaging	- 4 . 巻 281 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 117-122

1 526	4 **
1.著者名	4 . 巻
Kosaka Hirotaka、Fujioka Toru、Jung Minyoung	269
2 . 論文標題	5.発行年
Symptoms in individuals with adult-onset ADHD are masked during childhood	2018年
3.雑誌名	 6.最初と最後の頁
European Archives of Psychiatry and Clinical Neuroscience	753 ~ 755
曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1007/s00406-018-0893-3	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
· 自由日 Higashida Haruhiro、Munesue Toshio、Kosaka Hirotaka、Yamasue Hidenori、Yokoyama Shigeru、 Kikuchi Mitsuru	7 7
2 . 論文標題	5.発行年
Social Interaction Improved by Oxytocin in the Subclass of Autism with Comorbid Intellectual Disabilities	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Diseases	24 ~ 24
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
10.3390/diseases7010024	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 . 著者名	4 . 巻
г. 看自白 Inui Y, Ichihara T, Uno M, Ishiguro M, Ito K, Kato K, Sakuma H, Okazawa H, Toyama H.	4 · 중 32
2.論文標題	5.発行年
CT-based attenuation correction and resolution compensation for I-123 IMP brain SPECT normal database: a multicenter phantom study.	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Ann Nucl Med	311-318
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1007/s12149-018-1248-x	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
Okazawa H, Higashino Y, Tetsuya Tsujikawa T, Arishima H, Mori T, Kiyono Y, Kimura H, Kikuta K.	105
2 . 論文標題	5 . 発行年
Noninvasive method for measurement of cerebral blood flow using 0-15 water PET/MRI with ASL correlation.	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Eur J Radiol	102-109
引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
10.1016/j.ejrad.2018.05.033	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-

1 . 著者名 Ikawa M, Kimura, H, Kitazaki Y, Sugimoto K, Matsunaga A, Hayashi K, Yamamura O, Tsujikawa T, Hamano T, Yoneda M, Okazawa H, Nakamoto Y. 2 . 論文標題	4 **
Hamano T, Yoneda M, Okazawa H, Nakamoto Y.	4.巻
Hamano T, Yoneda M, Okazawa H, Nakamoto Y.	394
	001
2.論文標題	
	5.発行年
Arterial spin labeling MR imaging for the clinical detection of cerebellar hypoperfusion in	2018年
patients with spinocerebellar degeneration.	
	c = = = = = = = = = = = = = = = = = = =
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
J Neurol Sci	58-62
2 1021 2 1021	
	+++ - + m
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.jns.2018.09.007	有
オープンアクセス	国際共著
=	四际六名
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
	_
Rahman MGM, Islam MM, Tsujikawa T, Kiyono Y, Okazawa H	33
2.論文標題	5 . 発行年
Count-based method for specific binding ratio calculation in [I-123]FP-CIT SPECT analysis.	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Ann Nucl Med	14-21
AIII NUCI MEU	14-21
曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1007/s12149-018-1297-1	_
10.100//512149-010-129/-1	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
a John Exercise (A/C, Confictional)	以コッツ
1.著者名	4 . 巻
Amemiya Kaoru, Morita Tomoyo, Saito Daisuke N., Ban Midori, Shimada Koji, Okamoto Yuko, Kosaka	224
	'
Hirotaka, Okazawa Hidehiko, Asada Minoru, Naito Eiichi	
2 . 論文標題	5 . 発行年
Local-to-distant development of the cerebrocerebellar sensorimotor network in the typically	2019年
developing human brain: a functional and diffusion MRI study	6 B41 B// - T
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Brain Structure and Function	1359 ~ 1375
	査読の有無
曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
	有
曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00429-018-01821-5	有
10.1007/s00429-018-01821-5	
10.1007/s00429-018-01821-5 オープンアクセス	有 国際共著
10.1007/s00429-018-01821-5 オープンアクセス	
10.1007/s00429-018-01821-5	
10.1007/s00429-018-01821-5 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
10.1007/s00429-018-01821-5 オープンアクセス	
10.1007/s00429-018-01821-5 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名	国際共著
10.1007/s00429-018-01821-5 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 - 4 . 巻
10.1007/s00429-018-01821-5 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Okazawa H, Tsujikawa T, Higashino Y, Kikuta K, Mori T, Makino A, Kiyono Y	国際共著 - 4.巻 9
10.1007/s00429-018-01821-5 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Okazawa H, Tsujikawa T, Higashino Y, Kikuta K, Mori T, Makino A, Kiyono Y 2 . 論文標題	国際共著 - 4.巻 9 5.発行年
10.1007/s00429-018-01821-5 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Okazawa H, Tsujikawa T, Higashino Y, Kikuta K, Mori T, Makino A, Kiyono Y	国際共著 - 4.巻 9 5.発行年
10.1007/s00429-018-01821-5 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Okazawa H, Tsujikawa T, Higashino Y, Kikuta K, Mori T, Makino A, Kiyono Y 2 . 論文標題 No significant difference found in PET/MRI CBF values reconstructed with CT-atlas-based and ZTE	国際共著 - 4.巻 9 5.発行年
10.1007/s00429-018-01821-5 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Okazawa H, Tsujikawa T, Higashino Y, Kikuta K, Mori T, Makino A, Kiyono Y 2.論文標題 No significant difference found in PET/MRI CBF values reconstructed with CT-atlas-based and ZTE MR attenuation correction.	国際共著 - 4.巻 9 5.発行年 2019年
10.1007/s00429-018-01821-5 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Okazawa H, Tsujikawa T, Higashino Y, Kikuta K, Mori T, Makino A, Kiyono Y 2.論文標題 No significant difference found in PET/MRI CBF values reconstructed with CT-atlas-based and ZTE MR attenuation correction. 3.雑誌名	国際共著 - 4 . 巻 9 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
10.1007/s00429-018-01821-5 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Okazawa H, Tsujikawa T, Higashino Y, Kikuta K, Mori T, Makino A, Kiyono Y 2.論文標題 No significant difference found in PET/MRI CBF values reconstructed with CT-atlas-based and ZTE MR attenuation correction.	国際共著 - 4.巻 9 5.発行年 2019年
10.1007/s00429-018-01821-5 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Okazawa H, Tsujikawa T, Higashino Y, Kikuta K, Mori T, Makino A, Kiyono Y 2.論文標題 No significant difference found in PET/MRI CBF values reconstructed with CT-atlas-based and ZTE MR attenuation correction. 3.雑誌名	国際共著 - 4 . 巻 9 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
10.1007/s00429-018-01821-5 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Okazawa H, Tsujikawa T, Higashino Y, Kikuta K, Mori T, Makino A, Kiyono Y 2.論文標題 No significant difference found in PET/MRI CBF values reconstructed with CT-atlas-based and ZTE MR attenuation correction. 3.雑誌名	国際共著 - 4 . 巻 9 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
10.1007/s00429-018-01821-5 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Okazawa H, Tsujikawa T, Higashino Y, Kikuta K, Mori T, Makino A, Kiyono Y 2 . 論文標題 No significant difference found in PET/MRI CBF values reconstructed with CT-atlas-based and ZTE MR attenuation correction. 3 . 雑誌名 Eur J Nucl Med Mol Img Res	国際共著 - 4 . 巻 9 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 26
10.1007/s00429-018-01821-5 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Okazawa H, Tsujikawa T, Higashino Y, Kikuta K, Mori T, Makino A, Kiyono Y 2.論文標題 No significant difference found in PET/MRI CBF values reconstructed with CT-atlas-based and ZTE MR attenuation correction. 3.雑誌名	国際共著 - 4 . 巻 9 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
10.1007/s00429-018-01821-5 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Okazawa H, Tsujikawa T, Higashino Y, Kikuta K, Mori T, Makino A, Kiyono Y 2.論文標題 No significant difference found in PET/MRI CBF values reconstructed with CT-atlas-based and ZTE MR attenuation correction. 3.雑誌名 Eur J Nucl Med Mol Img Res	国際共著 - 4 . 巻 9 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 26
10.1007/s00429-018-01821-5 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Okazawa H, Tsujikawa T, Higashino Y, Kikuta K, Mori T, Makino A, Kiyono Y 2 . 論文標題 No significant difference found in PET/MRI CBF values reconstructed with CT-atlas-based and ZTE MR attenuation correction. 3 . 雑誌名 Eur J Nucl Med Mol Img Res	国際共著 - 4 . 巻 9 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 26
10.1007/s00429-018-01821-5 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Okazawa H, Tsujikawa T, Higashino Y, Kikuta K, Mori T, Makino A, Kiyono Y 2. 論文標題 No significant difference found in PET/MRI CBF values reconstructed with CT-atlas-based and ZTE MR attenuation correction. 3. 雑誌名 Eur J Nucl Med Mol Img Res 司載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13550-019-0494-9	国際共著 - 4 . 巻 9 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 26 査読の有無
10.1007/s00429-018-01821-5 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Okazawa H, Tsujikawa T, Higashino Y, Kikuta K, Mori T, Makino A, Kiyono Y 2.論文標題 No significant difference found in PET/MRI CBF values reconstructed with CT-atlas-based and ZTE MR attenuation correction. 3.雑誌名 Eur J Nucl Med Mol Img Res	国際共著 - 4 . 巻 9 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 26

1 . 著者名	4 . 巻
井川正道、岡沢秀彦、米田誠	71
	5 . 発行年
^{2.} 冊メ信題 酸化ストレスイメージング:ミトコンドリア病、神経変性疾患への応用	2019年
酸化ストレスイス・フラブ・ミトコントラブ内、神経文は次志への/心角	20194
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Brain Nerve	161-166
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.11477/mf.1416201236	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
田邊宏樹	34
2.論文標題	5.発行年
脳機能イメージングとモデル構築 - Dynamic Causal Modelingを中心に -	2018年
	6.最初と最後の頁
神経心理学	192-198
DAME OVE T	102 100
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国际六名 -
カープラブラと外ではない、人はカープラブラとスが四無	_
1 . 著者名	4 . 巻
Aizawa Yuka、Harada Tokiko、Nakata Hiroki、Tsunakawa Mizuki、Sadato Norihiro、Nagashima Kei	6
2 . 論文標題	5.発行年
Assessment of brain mechanisms involved in the processes of thermal sensation,	2019年
pleasantness/unpleasantness, and evaluation	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
IBRO Reports	54 ~ 63
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 │ 査読の有無
10.1016/j.ibror.2019.01.003	有
,	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1	1 4 24
1. 著者名 Koshiyama Takapari Ogibara Nasmishi Tapaba Hiraki C. Kanda Osamu Amana Hidaki Hasagawa	4.巻
Kochiyama Takanori, Ogihara Naomichi, Tanabe Hiroki C., Kondo Osamu, Amano Hideki, Hasegawa Kunihiro, Suzuki Hiromasa, Ponce de Leon Marcia S., Zollikofer Christoph P. E., Bastir Markus,	8
Stringer Chris、Sadato Norihiro、Akazawa Takeru	
J	
2 . 論文標題	5.発行年
4.删入1示码	フ・元ロー
2 . 論义标题 Reconstructing the Neanderthal brain using computational anatomy	2018年
Reconstructing the Neanderthal brain using computational anatomy	2018年
Reconstructing the Neanderthal brain using computational anatomy 3 . 雑誌名	2018年 6 . 最初と最後の頁
Reconstructing the Neanderthal brain using computational anatomy	2018年
Reconstructing the Neanderthal brain using computational anatomy 3 . 雑誌名	2018年 6 . 最初と最後の頁
Reconstructing the Neanderthal brain using computational anatomy 3 . 雑誌名	2018年 6.最初と最後の頁
Reconstructing the Neanderthal brain using computational anatomy 3.雑誌名 Scientific Reports	2018年 6 . 最初と最後の頁 6296
Reconstructing the Neanderthal brain using computational anatomy 3.雑誌名 Scientific Reports 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-24331-0	2018年 6.最初と最後の頁 6296 査読の有無 有
Reconstructing the Neanderthal brain using computational anatomy 3.雑誌名 Scientific Reports 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2018年 6.最初と最後の頁 6296 査読の有無

1.著者名 Nakamura Tagiru、Matsui Tomoko、Utsumi Akira、Yamazaki Mika、Makita Kai、Harada Tokiko、Tanabe Hiroki C.、Sadato Norihiro 2.論文標題 The role of the amygdala in incongruity resolution: the case of humor comprehension 3.雑誌名 Social Neuroscience 4.巻 13 5.発行年 2018年	
Hiroki C.、Sadato Norihiro 2 . 論文標題 The role of the amygdala in incongruity resolution: the case of humor comprehension 3 . 雑誌名 6 . 最初と	
2.論文標題 The role of the amygdala in incongruity resolution: the case of humor comprehension5.発行年 2018年3.雑誌名6.最初と	
The role of the amygdala in incongruity resolution: the case of humor comprehension 2018年 3.雑誌名 6.最初と	_
The role of the amygdala in incongruity resolution: the case of humor comprehension 2018年 3.雑誌名 6.最初と	
3.雑誌名 6.最初と	
Social Neuroscience 553 ~ 56	:最後の頁
	5
	•
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 査読の有無	
10.1080/17470919.2017.1365760	有
オープンアクセス 国際共著	
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	_
7 JULY EXCOCUS (S.C. COSPECTOS)	
│ 1 .著者名	
Kawamichi Hiroaki、Sugawara Sho K.、Hamano Yuki H.、Makita Kai、Kochiyama Takanori、Kikuchi 14	
Yoshiaki, Ogino Yuichi, Saito Shigeru, Sadato Norihiro	
	•
2.論文標題 5.発行年	
Prosocial behavior toward estranged persons modulates the interaction between midline cortical 2018年	
structures and the reward system	
3.雑誌名 6.最初と	・最後の百
Social Neuroscience 618 ~ 63	0
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無	Ę
10.1080/17470919.2018.1553797	· 有
10.1000/17470919.2010.1333797	Ħ
オープンアクセス 国際共著	
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 . 著者名 4 . 巻	
Nakamura Nozomu H., Fukunaga Masaki, Oku Yoshitaka 265	
2.論文標題 5.発行年	
Respiratory fluctuations in pupil diameter are not maintained during cognitive tasks 2019年	
Respiratory Tractactions in paper draineter and not married during degrittive table	
	・見後の百
3.雑誌名 6.最初と	最後の貝
Respiratory Physiology & Neurobiology 68~75	
	
掲載論文のDOL(デジタルオブジェクト辨別子) 本語の右領	₹
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 査読の有無	_
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 10.1016/j.resp.2018.07.005	有
10.1016/j.resp.2018.07.005	有
	有
10.1016/j.resp.2018.07.005 オープンアクセス 国際共著	有
10.1016/j.resp.2018.07.005	有
10.1016/j.resp.2018.07.005 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	有
10.1016/j.resp.2018.07.005 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 4.巻	有
10.1016/j.resp.2018.07.005 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	有 - -
10.1016/j.resp.2018.07.005 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Rajaei Nader、Aoki Naoya、Takahashi Haruka K.、Miyaoka Tetsu、Kochiyama Takanori、Ohka 4.巻 39	有
10.1016/j.resp.2018.07.005 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Rajaei Nader、Aoki Naoya、Takahashi Haruka K.、Miyaoka Tetsu、Kochiyama Takanori、Ohka Masahiro、Sadato Norihiro、Kitada Ryo	-
10.1016/j.resp.2018.07.005 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Rajaei Nader、Aoki Naoya、Takahashi Haruka K.、Miyaoka Tetsu、Kochiyama Takanori、Ohka Masahiro、Sadato Norihiro、Kitada Ryo 2.論文標題 5.発行年	-
10.1016/j.resp.2018.07.005 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Rajaei Nader、Aoki Naoya、Takahashi Haruka K.、Miyaoka Tetsu、Kochiyama Takanori、Ohka Masahiro、Sadato Norihiro、Kitada Ryo 2.論文標題 Brain networks underlying conscious tactile perception of textures as revealed using the velvet 2018年	-
10.1016/j.resp.2018.07.005 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Rajaei Nader、Aoki Naoya、Takahashi Haruka K.、Miyaoka Tetsu、Kochiyama Takanori、Ohka Masahiro、Sadato Norihiro、Kitada Ryo 2.論文標題 5.発行年	-
10.1016/j.resp.2018.07.005 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Rajaei Nader、Aoki Naoya、Takahashi Haruka K.、Miyaoka Tetsu、Kochiyama Takanori、Ohka Masahiro、Sadato Norihiro、Kitada Ryo 2. 論文標題 Brain networks underlying conscious tactile perception of textures as revealed using the velvet hand illusion	<u>-</u>
10.1016/j.resp.2018.07.005 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Rajaei Nader、Aoki Naoya、Takahashi Haruka K.、Miyaoka Tetsu、Kochiyama Takanori、Ohka Masahiro、Sadato Norihiro、Kitada Ryo 2.論文標題 Brain networks underlying conscious tactile perception of textures as revealed using the velvet hand illusion 3.雑誌名 [国際共著] 4.巻 39 2018年	- - E - - - - - -
10.1016/j.resp.2018.07.005 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Rajaei Nader、Aoki Naoya、Takahashi Haruka K.、Miyaoka Tetsu、Kochiyama Takanori、Ohka Masahiro、Sadato Norihiro、Kitada Ryo 2. 論文標題 Brain networks underlying conscious tactile perception of textures as revealed using the velvet hand illusion	- - E - - - - - -
10.1016/j.resp.2018.07.005 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Rajaei Nader、Aoki Naoya、Takahashi Haruka K.、Miyaoka Tetsu、Kochiyama Takanori、Ohka Masahiro、Sadato Norihiro、Kitada Ryo 2.論文標題 Brain networks underlying conscious tactile perception of textures as revealed using the velvet hand illusion 3.雑誌名 [国際共著] 4.巻 39 2018年	- - E - - - - - -
10.1016/j.resp.2018.07.005 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Rajaei Nader、Aoki Naoya、Takahashi Haruka K.、Miyaoka Tetsu、Kochiyama Takanori、Ohka Masahiro、Sadato Norihiro、Kitada Ryo 2. 論文標題 Brain networks underlying conscious tactile perception of textures as revealed using the velvet hand illusion 3. 雑誌名 Human Brain Mapping 「も、最初と	- E 最後の頁 801
10.1016/j.resp.2018.07.005 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Rajaei Nader、Aoki Naoya、Takahashi Haruka K.、Miyaoka Tetsu、Kochiyama Takanori、Ohka Masahiro、Sadato Norihiro、Kitada Ryo 2.論文標題 Brain networks underlying conscious tactile perception of textures as revealed using the velvet hand illusion 3.雑誌名 [国際共著] 4.巻 39 2018年	- E 最後の頁 801
10.1016/j.resp.2018.07.005 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Rajaei Nader、Aoki Naoya、Takahashi Haruka K.、Miyaoka Tetsu、Kochiyama Takanori、Ohka Masahiro、Sadato Norihiro、Kitada Ryo 2. 論文標題 Brain networks underlying conscious tactile perception of textures as revealed using the velvet hand illusion 3. 雑誌名 Human Brain Mapping 「も、最初と	- - - 最後の頁 801
10.1016/j.resp.2018.07.005 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Rajaei Nader、Aoki Naoya、Takahashi Haruka K.、Miyaoka Tetsu、Kochiyama Takanori、Ohka Masahiro、Sadato Norihiro、Kitada Ryo 2.論文標題 Brain networks underlying conscious tactile perception of textures as revealed using the velvet hand illusion 3.雑誌名 Human Brain Mapping 4.巻 39 2018年 4.787~4	- E 最後の頁 801
10.1016/j.resp.2018.07.005 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Rajaei Nader、Aoki Naoya、Takahashi Haruka K.、Miyaoka Tetsu、Kochiyama Takanori、Ohka Masahiro、Sadato Norihiro、Kitada Ryo 2. 論文標題 Brain networks underlying conscious tactile perception of textures as revealed using the velvet hand illusion 3. 雑誌名 Human Brain Mapping 「表表の名」 「表表の名」 「表表の名) 「表	- - - 最後の頁 801
10.1016/j.resp.2018.07.005 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Rajaei Nader、Aoki Naoya、Takahashi Haruka K.、Miyaoka Tetsu、Kochiyama Takanori、Ohka Masahiro、Sadato Norihiro、Kitada Ryo 2.論文標題 Brain networks underlying conscious tactile perception of textures as revealed using the velvet hand illusion 3.雑誌名 Human Brain Mapping 4.巻 39 2018年 4.787~4	- - - 最後の頁 801

1.著者名	
1.有石口	4 . 巻
Sasaki Akihiro T.、Okamoto Yuko、Kochiyama Takanori、Kitada Ryo、Sadato Norihiro	108
2.論文標題	5.発行年
Distinct sensitivities of the lateral prefrontal cortex and extrastriate body area to	2018年
contingency between executed and observed actions	
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Cortex	234 ~ 251
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
doi.org/10.1016/j.cortex.2018.08.003	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	_
7 John Excochis (St. Confectors)	_
1.著者名	4 . 巻
Koike Takahiko、Sumiya Motofumi、Nakagawa Eri、Okazaki Shuntaro、Sadato Norihiro	6
the state of the s	
2 *************************************	F 384-7-
2 . 論文標題	5 . 発行年
What Makes Eye Contact Special? Neural Substrates of On-Line Mutual Eye-Gaze: A Hyperscanning	2019年
fMRI Study	·
	6.最初と最後の頁
3 . 雑誌名	
eneuro	0284 ~ 318
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1523/ENEURO.0284-18.2019	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている (また、その予定である)	11307 11
オープンテクセスとしている(また、この子をこのる)	-
1.著者名	4.巻
Ishikawa Mitsuhiko、Itakura Shoji	286
Tommana mitoamino, itanara ono, i	
2	F 38/-/-
	5.発行年
	5 . 発行年 2019年
2.論文標題 Physiological arousal predicts gaze following in infants	
Physiological arousal predicts gaze following in infants	2019年
Physiological arousal predicts gaze following in infants 3 . 雑誌名	2019年 6.最初と最後の頁
Physiological arousal predicts gaze following in infants	2019年
Physiological arousal predicts gaze following in infants 3 . 雑誌名	2019年 6.最初と最後の頁
Physiological arousal predicts gaze following in infants 3 . 雑誌名	2019年 6.最初と最後の頁
Physiological arousal predicts gaze following in infants 3 . 雑誌名 Proceedings of the Royal Society B: Biological Sciences	2019年 6 . 最初と最後の頁 20182746
Physiological arousal predicts gaze following in infants 3.雑誌名 Proceedings of the Royal Society B: Biological Sciences 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	2019年 6.最初と最後の頁 20182746 査読の有無
Physiological arousal predicts gaze following in infants 3 . 雑誌名 Proceedings of the Royal Society B: Biological Sciences	2019年 6 . 最初と最後の頁 20182746
Physiological arousal predicts gaze following in infants 3.雑誌名 Proceedings of the Royal Society B: Biological Sciences 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) doi.org/10.1098/rspb.2018.2746	2019年 6.最初と最後の頁 20182746 査読の有無 有
Physiological arousal predicts gaze following in infants 3.雑誌名 Proceedings of the Royal Society B: Biological Sciences 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) doi.org/10.1098/rspb.2018.2746	2019年 6.最初と最後の頁 20182746 査読の有無
Physiological arousal predicts gaze following in infants 3.雑誌名 Proceedings of the Royal Society B: Biological Sciences 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) doi.org/10.1098/rspb.2018.2746 オープンアクセス	2019年 6.最初と最後の頁 20182746 査読の有無 有
Physiological arousal predicts gaze following in infants 3.雑誌名 Proceedings of the Royal Society B: Biological Sciences 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) doi.org/10.1098/rspb.2018.2746	2019年 6.最初と最後の頁 20182746 査読の有無 有
Physiological arousal predicts gaze following in infants 3.雑誌名 Proceedings of the Royal Society B: Biological Sciences 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) doi.org/10.1098/rspb.2018.2746 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2019年 6.最初と最後の頁 20182746 査読の有無 有 国際共著
Physiological arousal predicts gaze following in infants 3.雑誌名 Proceedings of the Royal Society B: Biological Sciences 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) doi.org/10.1098/rspb.2018.2746 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2019年 6.最初と最後の頁 20182746 査読の有無 有
Physiological arousal predicts gaze following in infants 3.雑誌名 Proceedings of the Royal Society B: Biological Sciences 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) doi.org/10.1098/rspb.2018.2746 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	2019年 6.最初と最後の頁 20182746 査読の有無 有 国際共著
Physiological arousal predicts gaze following in infants 3.雑誌名 Proceedings of the Royal Society B: Biological Sciences 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) doi.org/10.1098/rspb.2018.2746 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2019年 6.最初と最後の頁 20182746 査読の有無 有 国際共著 -
Physiological arousal predicts gaze following in infants 3.雑誌名 Proceedings of the Royal Society B: Biological Sciences 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) doi.org/10.1098/rspb.2018.2746 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Ishikawa, M., & Itakura, S.	2019年 6.最初と最後の頁 20182746 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 9
Physiological arousal predicts gaze following in infants 3.雑誌名 Proceedings of the Royal Society B: Biological Sciences 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) doi.org/10.1098/rspb.2018.2746 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Ishikawa, M., & Itakura, S.	2019年 6.最初と最後の頁 20182746 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 9
Physiological arousal predicts gaze following in infants 3.雑誌名 Proceedings of the Royal Society B: Biological Sciences 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) doi.org/10.1098/rspb.2018.2746 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Ishikawa, M., & Itakura, S.	2019年 6.最初と最後の頁 20182746 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 9
Physiological arousal predicts gaze following in infants 3.雑誌名 Proceedings of the Royal Society B: Biological Sciences 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) doi.org/10.1098/rspb.2018.2746 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Ishikawa, M., & Itakura, S.	2019年 6.最初と最後の頁 20182746 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 9
Physiological arousal predicts gaze following in infants 3.雑誌名 Proceedings of the Royal Society B: Biological Sciences 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) doi.org/10.1098/rspb.2018.2746 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 Ishikawa, M., & Itakura, S. 2. 論文標題 Observing others' gaze direction affects infants' preference for looking at gazing- or gazedat faces.	2019年 6.最初と最後の頁 20182746 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 9 5.発行年 2018年
Physiological arousal predicts gaze following in infants 3.雑誌名 Proceedings of the Royal Society B: Biological Sciences 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) doi.org/10.1098/rspb.2018.2746 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Ishikawa, M., & Itakura, S. 2.論文標題 Observing others' gaze direction affects infants' preference for looking at gazing- or gazedat faces. 3.雑誌名	2019年 6.最初と最後の頁 20182746 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 9 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁
Physiological arousal predicts gaze following in infants 3.雑誌名 Proceedings of the Royal Society B: Biological Sciences 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) doi.org/10.1098/rspb.2018.2746 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 Ishikawa, M., & Itakura, S. 2. 論文標題 Observing others' gaze direction affects infants' preference for looking at gazing- or gazedat faces.	2019年 6.最初と最後の頁 20182746 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 9 5.発行年 2018年
Physiological arousal predicts gaze following in infants 3.雑誌名 Proceedings of the Royal Society B: Biological Sciences 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) doi.org/10.1098/rspb.2018.2746 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Ishikawa, M., & Itakura, S. 2.論文標題 Observing others' gaze direction affects infants' preference for looking at gazing- or gazedat faces. 3.雑誌名	2019年 6.最初と最後の頁 20182746 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 9 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁
Physiological arousal predicts gaze following in infants 3.雑誌名 Proceedings of the Royal Society B: Biological Sciences 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) doi.org/10.1098/rspb.2018.2746 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Ishikawa, M., & Itakura, S. 2.論文標題 Observing others' gaze direction affects infants' preference for looking at gazing- or gazedat faces. 3.雑誌名	2019年 6.最初と最後の頁 20182746 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 9 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁
Physiological arousal predicts gaze following in infants 3 . 雑誌名 Proceedings of the Royal Society B: Biological Sciences 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) doi.org/10.1098/rspb.2018.2746 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Ishikawa, M., & Itakura, S. 2 . 論文標題 Observing others' gaze direction affects infants' preference for looking at gazing- or gazedat faces. 3 . 雑誌名 Frontiers in Psychology	2019年 6.最初と最後の頁 20182746 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 9 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 1503
Physiological arousal predicts gaze following in infants 3.雑誌名 Proceedings of the Royal Society B: Biological Sciences 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) doi.org/10.1098/rspb.2018.2746 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Ishikawa, M., & Itakura, S. 2.論文標題 Observing others' gaze direction affects infants' preference for looking at gazing- or gazedat faces. 3.雑誌名 Frontiers in Psychology	2019年 6.最初と最後の頁 20182746 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 9 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 1503
Physiological arousal predicts gaze following in infants 3 . 雑誌名 Proceedings of the Royal Society B: Biological Sciences 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) doi.org/10.1098/rspb.2018.2746 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Ishikawa, M., & Itakura, S. 2 . 論文標題 Observing others' gaze direction affects infants' preference for looking at gazing- or gazedat faces. 3 . 雑誌名 Frontiers in Psychology	2019年 6.最初と最後の頁 20182746 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 9 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 1503
Physiological arousal predicts gaze following in infants 3.雑誌名 Proceedings of the Royal Society B: Biological Sciences 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) doi.org/10.1098/rspb.2018.2746 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Ishikawa, M., & Itakura, S. 2.論文標題 Observing others' gaze direction affects infants' preference for looking at gazing- or gazedat faces. 3.雑誌名 Frontiers in Psychology	2019年 6.最初と最後の頁 20182746 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 9 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 1503
Physiological arousal predicts gaze following in infants 3. 雑誌名 Proceedings of the Royal Society B: Biological Sciences 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) doi.org/10.1098/rspb.2018.2746 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 Ishikawa, M., & Itakura, S. 2. 論文標題 Observing others' gaze direction affects infants' preference for looking at gazing- or gazedat faces. 3. 雑誌名 Frontiers in Psychology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2018.01503	2019年 6.最初と最後の頁 20182746 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 9 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 1503 査読の有無 有
Physiological arousal predicts gaze following in infants 3.雑誌名 Proceedings of the Royal Society B: Biological Sciences 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) doi.org/10.1098/rspb.2018.2746 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Ishikawa, M., & Itakura, S. 2.論文標題 Observing others' gaze direction affects infants' preference for looking at gazing- or gazedat faces. 3.雑誌名 Frontiers in Psychology	2019年 6.最初と最後の頁 20182746 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 9 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 1503

Conster, M. Hakura, S., Omori, M., & Kartner, J. 17804		
2. 論文標題 From understanding others' needs to prosocial action: Motor and social abilities promote infants' helping 3. 結結名 Developmental Science (A3480 (A)) (A3480 (A)) (A34800 (A)) (A34800 (A)) (A34800 (A)) (A) (A) (A	1.著者名	4 . 巻
2. 論文標題 From understanding others' needs to prosocial action: Motor and social abilities promote infants' helping 3. 結結名 Developmental Science (A3480 (A)) (A3480 (A)) (A34800 (A)) (A34800 (A)) (A34800 (A)) (A) (A) (A	Koaster, M. Itakura, S., Omori, M., & Kartner, J.	e12804
From understanding others' needs to prosocial action: Motor and social abilities promote infants' helping 4. 最初と最後の頁 4.3480	,,,,,,	
From understanding others' needs to prosocial action: Motor and social abilities promote infants' helping 4. 最初と最後の頁 4.3480	2、 54 大海 15	c ※//
Infants' helping	·····	
8 ・最初と最後の頁 43480		2019年
B載論文の201 (デジタルオブジェクト識別子)	infants' helping	
B載論文の201 (デジタルオブジェクト識別子)	3、雑誌名	6.最初と最後の頁
接載論文の001(デジタルオブジェクト調別子)		
有	Deveropmental Scrence	43400
有		
有		
コープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著名名 Di Dio C., Manzi F., Itakura S., Kanda T., Ishiguro H., Massaro D., Marchetti A. 2. 論文標題 It Does Not Matter Who You Are: Fairness in Pre-schoolers Interacting with Human and Robotic Partners 3. 無話名 International Journal of Social Robotics 一	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
コープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著名名 Di Dio C., Manzi F., Itakura S., Kanda T., Ishiguro H., Massaro D., Marchetti A. 2. 論文標題 It Does Not Matter Who You Are: Fairness in Pre-schoolers Interacting with Human and Robotic Partners 3. 無話名 International Journal of Social Robotics 一	doi.org/10.1111/desc.12804	有
3 - オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが国難 該当する	g	1.5
3 - オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが国難 該当する	オープンマクセフ	国際什茲
1. 著名名 Di Dio C., Manzi F., Itakura S., Kanda T., Ishiguro H., Massaro D., Marchetti A. 2. 論文標題 It Does Not Matter Who You Are: Fairness in Pre-schoolers Interacting with Human and Robotic Partners 3. 雑誌名 International Journal of Social Robotics ### ### ### ### ### ### ### ### ### #		1
Di Dio C., Manzi F., Itakura S., Kanda T., Ishiguro H., Massaro D., Marchetti A. 2. 論文標題 It Does Not Matter Who You Are: Fairness in Pre-schoolers Interacting with Human and Robotic Partners 3. 雑誌名	オープファクセスではない、又はオープファクセスが困難	該ヨ98
Di Dio C., Manzi F., Itakura S., Kanda T., Ishiguro H., Massaro D., Marchetti A. 2. 論文標題 It Does Not Matter Who You Are: Fairness in Pre-schoolers Interacting with Human and Robotic Partners 3. 雑誌名		
Di Dio C., Manzi F., Itakura S., Kanda T., Ishiguro H., Massaro D., Marchetti A. 2. 論文標題 It Does Not Matter Who You Are: Fairness in Pre-schoolers Interacting with Human and Robotic Partners 3. 雑誌名	1.著者名	4.巻
2 . 論文標題 II Does Not Matter Who You Are: Fairness in Pre-schoolers Interacting with Human and Robotic Partners		_
It Does Not Matter Who You Are: Fairness in Pre-schoolers Interacting with Human and Robotic Partners 2019年	DI DIO C., Mailer I., Tranula S., Nalida I., Islinguro II., Massaro D., Marchetti A.	
It Does Not Matter Who You Are: Fairness in Pre-schoolers Interacting with Human and Robotic Partners 2019年	o +0-2-100 DE	- 3×/-/-
Partners 6 . 最初と最後の頁		
Partners 6 . 最初と最後の頁	It Does Not Matter Who You Are: Fairness in Pre-schoolers Interacting with Human and Robotic	2019年
3 . 雑誌名 1. 報報名 1. 证明		
International Journal of Social Robotics - 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 10.1007/s12369-019-00528-9		6 最初と最後の百
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)		
10.1007/s12369-019-00528-9 有	international Journal of Social Robotics	<u> </u>
10.1007/s12369-019-00528-9 有		
10.1007/s12369-019-00528-9 有		
10.1007/s12369-019-00528-9 有	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 該当する 1 . 著者名		有
### おっぱい A ・ できまり A ・ できまり	10.1007/612505 615 66625 5	-
### おっぱい A ・ できまり A ・ できまり	+ -1\-725-7	定
1. 著者名 Marchetti, A., Manzi, F., Itakura, S., and Massaro, D. 2. 論文標題 Theory of Mind and Humanoid Robots From a Lifespan Perspective 2018年 2018年 2018年 3. 雑誌名 26. 最初と最後の頁 98-109 28 表		
Marchetti, A., Manzi, F., Itakura, S., and Massaro, D. 2. 論文標題 Theory of Mind and Humanoid Robots From a Lifespan Perspective 3. 雑誌名 Zeitschrift fur Psychologie 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi.org/10.1027/2151-2604/a000326 1. 著者名 Miura Naoki、 Tanabe Hiroki C.、Sasaki Akihiro T.、Harada Tokiko、Sadato Norihiro 2. 論文標題 Neural evidence for the intrinsic value of action as motivation for behavior 3. 雑誌名 Neuroscience. お見りと最後の頁 190 - 203 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroscience.2017.03.064 カープンアクセス 国際共著	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
Marchetti, A., Manzi, F., Itakura, S., and Massaro, D. 2. 論文標題 Theory of Mind and Humanoid Robots From a Lifespan Perspective 3. 雑誌名 Zeitschrift fur Psychologie 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi.org/10.1027/2151-2604/a000326 1. 著者名 Miura Naoki、 Tanabe Hiroki C.、Sasaki Akihiro T.、Harada Tokiko、Sadato Norihiro 2. 論文標題 Neural evidence for the intrinsic value of action as motivation for behavior 3. 雑誌名 Neuroscience. お見りと最後の頁 190 - 203 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroscience.2017.03.064 カープンアクセス 国際共著		
Marchetti, A., Manzi, F., Itakura, S., and Massaro, D. 2. 論文標題 Theory of Mind and Humanoid Robots From a Lifespan Perspective 3. 雑誌名 Zeitschrift fur Psychologie 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi.org/10.1027/2151-2604/a000326 1. 著者名 Miura Naoki、 Tanabe Hiroki C.、Sasaki Akihiro T.、Harada Tokiko、Sadato Norihiro 2. 論文標題 Neural evidence for the intrinsic value of action as motivation for behavior 3. 雑誌名 Neuroscience. お見りと最後の頁 190 - 203 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroscience.2017.03.064 カープンアクセス 国際共著	1	4
2. 論文標題 Theory of Mind and Humanoid Robots From a Lifespan Perspective 5. 発行年 2018年 3. 雑誌名 Zeitschrift fur Psychologie 6. 最初と最後の頁 98-109 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) doi.org/10.1027/2151-2604/a000326 査読の有無 有 オープンアクセス Miura Naoki, Tanabe Hiroki C.、Sasaki Akihiro T.、Harada Tokiko、Sadato Norihiro 4. 巻 35. 発行年 Neural evidence for the intrinsic value of action as motivation for behavior 5. 発行年 2017年 3. 雑誌名 Neuroscience. 6. 最初と最後の頁 190~203 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.neuroscience.2017.03.064 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著		
Theory of Mind and Humanoid Robots From a Lifespan Perspective 2018年 3 . 雑誌名 Zeitschrift fur Psychologie 6 . 最初と最後の頁 98-109 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	Matchetti, A., Manzi, F., Itakura, S., and Massaro, D.	220
Theory of Mind and Humanoid Robots From a Lifespan Perspective 2018年 3 . 雑誌名 Zeitschrift fur Psychologie 6 . 最初と最後の頁 98-109 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)		
3 . 雑誌名 Zeitschrift fur Psychologie 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) doi.org/10.1027/2151-2604/a000326 有 オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 国際共著 該当する 1 . 著者名 Miura Naoki、Tanabe Hiroki C.、Sasaki Akihiro T.、Harada Tokiko、Sadato Norihiro 2 . 論文標題 Neural evidence for the intrinsic value of action as motivation for behavior 3 . 雑誌名 Neuroscience. 月載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroscience.2017.03.064 有 オーブンアクセス 国際共著	2.論文標題	5.発行年
3 . 雑誌名 Zeitschrift fur Psychologie 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) doi.org/10.1027/2151-2604/a000326 有 オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 国際共著 該当する 1 . 著者名 Miura Naoki、Tanabe Hiroki C.、Sasaki Akihiro T.、Harada Tokiko、Sadato Norihiro 2 . 論文標題 Neural evidence for the intrinsic value of action as motivation for behavior 3 . 雑誌名 Neuroscience. 月載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroscience.2017.03.064 有 オーブンアクセス 国際共著	Theory of Mind and Humanoid Robots From a Lifespan Perspective	2018年
Zeitschrift fur Psychologie 98-109 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)		•
Zeitschrift fur Psychologie 98-109 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	3、 姚註夕	6 是初と是後の百
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)		
doi.org/10.1027/2151-2604/a000326 有 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Miura Naoki、Tanabe Hiroki C.、Sasaki Akihiro T.、Harada Tokiko、Sadato Norihiro 2 . 論文標題 Neural evidence for the intrinsic value of action as motivation for behavior 3 . 雑誌名 Neuroscience. 6 . 最初と最後の頁 190~203 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	Zeitschrift für Psychologie	98-109
doi.org/10.1027/2151-2604/a000326 有 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Miura Naoki、Tanabe Hiroki C.、Sasaki Akihiro T.、Harada Tokiko、Sadato Norihiro 2 . 論文標題 Neural evidence for the intrinsic value of action as motivation for behavior 3 . 雑誌名 Neuroscience. 6 . 最初と最後の頁 190~203 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)		
doi.org/10.1027/2151-2604/a000326 有 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Miura Naoki、Tanabe Hiroki C.、Sasaki Akihiro T.、Harada Tokiko、Sadato Norihiro 2 . 論文標題 Neural evidence for the intrinsic value of action as motivation for behavior 3 . 雑誌名 Neuroscience. 6 . 最初と最後の頁 190~203 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)		
doi.org/10.1027/2151-2604/a000326 有 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Miura Naoki、Tanabe Hiroki C.、Sasaki Akihiro T.、Harada Tokiko、Sadato Norihiro 2 . 論文標題 Neural evidence for the intrinsic value of action as motivation for behavior 3 . 雑誌名 Neuroscience. 6 . 最初と最後の頁 190~203 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
オープンアクセス 国際共著 該当する 1 . 著者名 Miura Naoki、Tanabe Hiroki C.、Sasaki Akihiro T.、Harada Tokiko、Sadato Norihiro 352 2 . 論文標題 Neural evidence for the intrinsic value of action as motivation for behavior 2017年 3 . 雑誌名 Neuroscience. 6 . 最初と最後の頁 190~203 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著		
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 該当する 1.著者名 Miura Naoki、Tanabe Hiroki C.、Sasaki Akihiro T.、Harada Tokiko、Sadato Norihiro 352 2.論文標題 Neural evidence for the intrinsic value of action as motivation for behavior 2017年 3.雑誌名 Neuroscience. 6.最初と最後の頁 190~203 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroscience.2017.03.064 有 オープンアクセス 国際共著	40	"
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 該当する 1.著者名 Miura Naoki、Tanabe Hiroki C.、Sasaki Akihiro T.、Harada Tokiko、Sadato Norihiro 352 2.論文標題 Neural evidence for the intrinsic value of action as motivation for behavior 2017年 3.雑誌名 Neuroscience. 6.最初と最後の頁 190~203 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroscience.2017.03.064 有 オープンアクセス 国際共著	+	国際共芸
1 . 著者名 Miura Naoki、Tanabe Hiroki C.、Sasaki Akihiro T.、Harada Tokiko、Sadato Norihiro 2 . 論文標題 Neural evidence for the intrinsic value of action as motivation for behavior 3 . 雑誌名 Neuroscience. 4 . 巻 352 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 190~203 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroscience.2017.03.064 有 オープンアクセス 国際共著		
1 . 著者名 Miura Naoki、Tanabe Hiroki C.、Sasaki Akihiro T.、Harada Tokiko、Sadato Norihiro 2 . 論文標題 Neural evidence for the intrinsic value of action as motivation for behavior 3 . 雑誌名 Neuroscience. 4 . 巻 352 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 190~203 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroscience.2017.03.064 有 オープンアクセス 国際共著	オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難	該当する
Miura Naoki、Tanabe Hiroki C.、Sasaki Akihiro T.、Harada Tokiko、Sadato Norihiro 352 2. 論文標題 Neural evidence for the intrinsic value of action as motivation for behavior 2017年 3. 雑誌名 Neuroscience. 4 載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroscience.2017.03.064 有 オープンアクセス 国際共著		
Miura Naoki、Tanabe Hiroki C.、Sasaki Akihiro T.、Harada Tokiko、Sadato Norihiro 352 2. 論文標題 Neural evidence for the intrinsic value of action as motivation for behavior 2017年 3. 雑誌名 Neuroscience. 4 載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroscience.2017.03.064 有 オープンアクセス 国際共著	1 苯字夕	Λ 券
2.論文標題 Neural evidence for the intrinsic value of action as motivation for behavior5.発行年 2017年3.雑誌名 Neuroscience.6.最初と最後の頁 190~203掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroscience.2017.03.064査読の有無 有オープンアクセス国際共著		_
Neural evidence for the intrinsic value of action as motivation for behavior 3.雑誌名 Neuroscience. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroscience.2017.03.064 オープンアクセス 2017年 6.最初と最後の頁 190~203		352
Neural evidence for the intrinsic value of action as motivation for behavior 3.雑誌名 Neuroscience. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroscience.2017.03.064 オープンアクセス 2017年 6.最初と最後の頁 190~203	WILLIA NAOKI, TAHADE HITOKI C., SASAKI AKIIITO I., HATAGA TOKIKO, SAGATO NOTIHITO	
Neural evidence for the intrinsic value of action as motivation for behavior 3.雑誌名 Neuroscience. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroscience.2017.03.064 オープンアクセス 2017年 6.最初と最後の頁 190~203	MILITA NAUKI, TAHADE HITOKI C., SASAKI AKIHITO I., HATADA TOKIKO, SADATO NOTIHITO	
3.雑誌名 6.最初と最後の頁 Neuroscience. 190~203 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 10.1016/j.neuroscience.2017.03.064 有 オープンアクセス 国際共著		5.発行年
Neuroscience. 190~203 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 10.1016/j.neuroscience.2017.03.064 有 オープンアクセス 国際共著	2 . 論文標題	
Neuroscience. 190~203 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 10.1016/j.neuroscience.2017.03.064 有 オープンアクセス 国際共著	2 . 論文標題	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2 . 論文標題 Neural evidence for the intrinsic value of action as motivation for behavior	2017年
10.1016/j.neuroscience.2017.03.064 有 オープンアクセス 国際共著	2.論文標題 Neural evidence for the intrinsic value of action as motivation for behavior 3.雑誌名	2017年 6.最初と最後の頁
10.1016/j.neuroscience.2017.03.064 有 オープンアクセス 国際共著	2.論文標題 Neural evidence for the intrinsic value of action as motivation for behavior 3.雑誌名	2017年 6.最初と最後の頁
10.1016/j.neuroscience.2017.03.064 有 オープンアクセス 国際共著	2.論文標題 Neural evidence for the intrinsic value of action as motivation for behavior 3.雑誌名	2017年 6 . 最初と最後の頁
10.1016/j.neuroscience.2017.03.064 有 オープンアクセス 国際共著	2.論文標題 Neural evidence for the intrinsic value of action as motivation for behavior 3.雑誌名	2017年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス 国際共著	2.論文標題 Neural evidence for the intrinsic value of action as motivation for behavior 3.雑誌名 Neuroscience.	2017年 6.最初と最後の頁 190~203
	2.論文標題 Neural evidence for the intrinsic value of action as motivation for behavior 3.雑誌名 Neuroscience. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2017年 6.最初と最後の頁 190~203 査読の有無
	2.論文標題 Neural evidence for the intrinsic value of action as motivation for behavior 3.雑誌名 Neuroscience. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2017年 6.最初と最後の頁 190~203 査読の有無
	2.論文標題 Neural evidence for the intrinsic value of action as motivation for behavior 3.雑誌名 Neuroscience. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroscience.2017.03.064	2017年 6.最初と最後の頁 190~203 査読の有無 有
	2.論文標題 Neural evidence for the intrinsic value of action as motivation for behavior 3.雑誌名 Neuroscience. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2017年 6.最初と最後の頁 190~203 査読の有無 有
	2. 論文標題 Neural evidence for the intrinsic value of action as motivation for behavior 3. 雑誌名 Neuroscience. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroscience.2017.03.064 オープンアクセス	2017年 6.最初と最後の頁 190~203 査読の有無 有

1.著者名	
Nakamura Tagiru、Matsui Tomoko、Utsumi Akira、Yamazaki Mika、Makita Kai、Harada Tokiko、Tanabe	4.巻 21
Hiroki C., Sadato Norihiro	
2.論文標題	5.発行年
The role of the amygdala in incongruity resolution: the case of humor comprehension	2017年
2 1944	c ====================================
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Social Neuroscience	1 ~ 13
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1080/17470919.2017.1365760	有
	13
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
カープラブと人にはない、人はカープラブラと人が四無	-
. ***	. 24
1. 著者名	4 . 巻
Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Kitada Ryo、Seki Ayumi、Tanabe Hiroki C.、Hayashi Masamichi J.、	119
Kochiyama Takanori、Saito Daisuke N.、Yanaka Hisakazu T.、Munesue Toshio、Ishitobi Makoto、	
Omori Masao、Wada Yuji、Okazawa Hidehiko、Koeda Tatsuya、Sadato Norihiro	
2 . 論文標題	5.発行年
	2017年
Age-dependent atypicalities in body- and face-sensitive activation of the EBA and FFA in	2017 +
individuals with ASD	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Neurosci Res.	38 ~ 52
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.neures.2017.02.001	有
10.1010/j.lleures.2017.02.001	H
 オープンアクセス	国際共著
	四际六百
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4 . 巻
Sakai Hiroyuki、Ando Takafumi、Sadato Norihiro、Uchiyama Yuji	7
· 2 . 論文標題	5.発行年
2.論文標題 Greater coroballer gray metter volume in car drivers: an exploratory vexal based marphometry	5 . 発行年
Greater cerebellar gray matter volume in car drivers: an exploratory voxel-based morphometry	5 . 発行年 2017年
Greater cerebellar gray matter volume in car drivers: an exploratory voxel-based morphometry study	2017年
Greater cerebellar gray matter volume in car drivers: an exploratory voxel-based morphometry study 3 . 雑誌名	2017年 6.最初と最後の頁
Greater cerebellar gray matter volume in car drivers: an exploratory voxel-based morphometry study	2017年
Greater cerebellar gray matter volume in car drivers: an exploratory voxel-based morphometry study 3.雑誌名	2017年 6.最初と最後の頁
Greater cerebellar gray matter volume in car drivers: an exploratory voxel-based morphometry study 3 . 雑誌名 Scientific Reports	2017年 6 . 最初と最後の頁 46526~46526
Greater cerebellar gray matter volume in car drivers: an exploratory voxel-based morphometry study 3 . 雑誌名	2017年 6.最初と最後の頁
Greater cerebellar gray matter volume in car drivers: an exploratory voxel-based morphometry study 3 . 雑誌名 Scientific Reports 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2017年 6 . 最初と最後の頁 46526~46526
Greater cerebellar gray matter volume in car drivers: an exploratory voxel-based morphometry study 3 . 雑誌名 Scientific Reports	2017年 6 . 最初と最後の頁 46526~46526
Greater cerebellar gray matter volume in car drivers: an exploratory voxel-based morphometry study 3 . 雑誌名 Scientific Reports 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep46526	2017年 6 . 最初と最後の頁 46526~46526 査読の有無 有
Greater cerebellar gray matter volume in car drivers: an exploratory voxel-based morphometry study 3.雑誌名 Scientific Reports 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep46526 オープンアクセス	2017年 6 . 最初と最後の頁 46526~46526
Greater cerebellar gray matter volume in car drivers: an exploratory voxel-based morphometry study 3 . 雑誌名 Scientific Reports 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep46526	2017年 6 . 最初と最後の頁 46526~46526 査読の有無 有
Greater cerebellar gray matter volume in car drivers: an exploratory voxel-based morphometry study 3.雑誌名 Scientific Reports 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep46526 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	2017年 6 . 最初と最後の頁 46526~46526 査読の有無 有 国際共著
Greater cerebellar gray matter volume in car drivers: an exploratory voxel-based morphometry study 3 . 雑誌名 Scientific Reports 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep46526 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	2017年 6 . 最初と最後の頁 46526~46526 査読の有無 有
Greater cerebellar gray matter volume in car drivers: an exploratory voxel-based morphometry study 3.雑誌名 Scientific Reports 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep46526 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	2017年 6 . 最初と最後の頁 46526~46526 査読の有無 有 国際共著
Greater cerebellar gray matter volume in car drivers: an exploratory voxel-based morphometry study 3 . 雑誌名 Scientific Reports 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep46526 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	2017年 6 . 最初と最後の頁 46526~46526 査読の有無 有 国際共著
Greater cerebellar gray matter volume in car drivers: an exploratory voxel-based morphometry study 3 . 雑誌名 Scientific Reports 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep46526 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Sumiya Motofumi、Koike Takahiko、Okazaki Shuntaro、Kitada Ryo、Sadato Norihiro	2017年 6 . 最初と最後の頁 46526~46526 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 123
Greater cerebellar gray matter volume in car drivers: an exploratory voxel-based morphometry study 3 . 雑誌名 Scientific Reports 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep46526 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Sumiya Motofumi、Koike Takahiko、Okazaki Shuntaro、Kitada Ryo、Sadato Norihiro 2 . 論文標題	2017年 6 . 最初と最後の頁 46526~46526 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 123 5 . 発行年
Greater cerebellar gray matter volume in car drivers: an exploratory voxel-based morphometry study 3 . 雑誌名 Scientific Reports 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep46526 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Sumiya Motofumi、Koike Takahiko、Okazaki Shuntaro、Kitada Ryo、Sadato Norihiro 2 . 論文標題 Brain networks of social action-outcome contingency: The role of the ventral striatum in	2017年 6 . 最初と最後の頁 46526~46526 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 123
Greater cerebellar gray matter volume in car drivers: an exploratory voxel-based morphometry study 3 . 雑誌名 Scientific Reports 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep46526 オープンアクセス	2017年 6 . 最初と最後の頁 46526~46526 査読の有無 有 国際共著 4 . 巻 123 5 . 発行年 2017年
Greater cerebellar gray matter volume in car drivers: an exploratory voxel-based morphometry study 3.雑誌名 Scientific Reports 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep46526 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Sumiya Motofumi、Koike Takahiko、Okazaki Shuntaro、Kitada Ryo、Sadato Norihiro 2.論文標題 Brain networks of social action-outcome contingency: The role of the ventral striatum in integrating signals from the sensory cortex and medial prefrontal cortex 3.雑誌名	2017年 6 . 最初と最後の頁 46526~46526 査読の有無 有 国際共著 4 . 巻 123 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁
Greater cerebellar gray matter volume in car drivers: an exploratory voxel-based morphometry study 3 . 雑誌名 Scientific Reports 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep46526 オープンアクセス	2017年 6 . 最初と最後の頁 46526~46526 査読の有無 有 国際共著 4 . 巻 123 5 . 発行年 2017年
Greater cerebellar gray matter volume in car drivers: an exploratory voxel-based morphometry study 3.雑誌名 Scientific Reports 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep46526 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Sumiya Motofumi、Koike Takahiko、Okazaki Shuntaro、Kitada Ryo、Sadato Norihiro 2.論文標題 Brain networks of social action-outcome contingency: The role of the ventral striatum in integrating signals from the sensory cortex and medial prefrontal cortex 3.雑誌名	2017年 6 . 最初と最後の頁 46526~46526 査読の有無 有 国際共著 4 . 巻 123 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁
Greater cerebellar gray matter volume in car drivers: an exploratory voxel-based morphometry study 3.雑誌名 Scientific Reports 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep46526 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Sumiya Motofumi、Koike Takahiko、Okazaki Shuntaro、Kitada Ryo、Sadato Norihiro 2.論文標題 Brain networks of social action-outcome contingency: The role of the ventral striatum in integrating signals from the sensory cortex and medial prefrontal cortex 3.雑誌名 Neurosci Res.	2017年 6 . 最初と最後の頁 46526~46526 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 123 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 43~54
Greater cerebellar gray matter volume in car drivers: an exploratory voxel-based morphometry study 3.雑誌名 Scientific Reports 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep46526 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Sumiya Motofumi、Koike Takahiko、Okazaki Shuntaro、Kitada Ryo、Sadato Norihiro 2.論文標題 Brain networks of social action-outcome contingency: The role of the ventral striatum in integrating signals from the sensory cortex and medial prefrontal cortex 3.雑誌名	2017年 6 . 最初と最後の頁 46526~46526 査読の有無 有 国際共著 4 . 巻 123 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁
Greater cerebellar gray matter volume in car drivers: an exploratory voxel-based morphometry study 3.雑誌名 Scientific Reports 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep46526 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Sumiya Motofumi、Koike Takahiko、Okazaki Shuntaro、Kitada Ryo、Sadato Norihiro 2.論文標題 Brain networks of social action-outcome contingency: The role of the ventral striatum in integrating signals from the sensory cortex and medial prefrontal cortex 3.雑誌名 Neurosci Res.	2017年 6 . 最初と最後の頁 46526~46526 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 123 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 43~54
Greater cerebellar gray matter volume in car drivers: an exploratory voxel-based morphometry study 3 . 雑誌名 Scientific Reports 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep46526 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Sumiya Motofumi、Koike Takahiko、Okazaki Shuntaro、Kitada Ryo、Sadato Norihiro 2 . 論文標題 Brain networks of social action-outcome contingency: The role of the ventral striatum in integrating signals from the sensory cortex and medial prefrontal cortex 3 . 雑誌名 Neurosci Res.	2017年 6 . 最初と最後の頁 46526~46526 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 123 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 43~54
Greater cerebellar gray matter volume in car drivers: an exploratory voxel-based morphometry study 3. 雑誌名 Scientific Reports 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep46526 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Sumiya Motofumi、Koike Takahiko、Okazaki Shuntaro、Kitada Ryo、Sadato Norihiro 2. 論文標題 Brain networks of social action-outcome contingency: The role of the ventral striatum in integrating signals from the sensory cortex and medial prefrontal cortex 3. 雑誌名 Neurosci Res. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2017.04.015	2017年 6 . 最初と最後の頁 46526~46526 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 123 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 43~54 査読の有無 有
Greater cerebellar gray matter volume in car drivers: an exploratory voxel-based morphometry study 3.雑誌名 Scientific Reports 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep46526 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Sumiya Motofumi、Koike Takahiko、Okazaki Shuntaro、Kitada Ryo、Sadato Norihiro 2.論文標題 Brain networks of social action-outcome contingency: The role of the ventral striatum in integrating signals from the sensory cortex and medial prefrontal cortex 3.雑誌名 Neurosci Res.	2017年 6 . 最初と最後の頁 46526~46526 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 123 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 43~54

	. "
1 . 著者名	4 . 巻
Kawamichi Hiroaki, Sugawara Sho K., Hamano Yuki H., Kitada Ryo, Nakagawa Eri, Kochiyama	8
Takanori, Sadato Norihiro	
2.論文標題	5 . 発行年
Neural correlates underlying change in state self-esteem	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Scientific Reports	1798 ~ 1798
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1038/s41598-018-20074-0	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
	1
1. 著者名	4 . 巻
Sakai Hiroyuki、Ando Takafumi、Sadato Norihiro、Uchiyama Yuji	8
2.論文標題	5.発行年
Speed-related activation in the mesolimbic dopamine system during the observation of driver-	2018年
view videos	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Scientific Reports	711 ~ 711
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1038/s41598-017-18792-y	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 . 著者名	4 . 巻
T.Anme, E. Tanaka, T. Watanabe, E. Tomisaki and K. Watanabe	116
.,	
2.論文標題	5.発行年
Child development and the care enviornment: longitudinal perspective	2017年
····· - ···· - ···· ··· ··· ··· ··· ···	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Anvances in psychology research	197-205
a.ssa poyeneregy research	10. 200
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
なし	有
	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
	4 . 巻
7.者有石 渡邊久実,田中笑子,安梅勅江	4.合 31
IQ 医八大, 山宁大 J, 头 阿 利	
2.論文標題	5.発行年
ライフコースアプローチによる思春期のwell-being実現に向けた要因解明	2018年
つ か仕⇒土 夕	6 早初と早後の百
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
発達研究	215-220
	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
	┃ 有 ┃
なし	P
オープンアクセス	国際共著
	1

1 . 著名名 Islana Muhammad Muinul, Tsujikawa Tetsuya, Mori Tetsuya, Kiyono Yasushi, Okazawa Hidehiko 60 2 . 論文構題 Estitation of arterial input by a noninvasive image derived method in brain H2150 PET study: 2017年 2017年 2017年 3 . 蘇基名 Physics in Medicine and Biology 8 . 最初企業後の頁 4514 - 4524 1 . 最初企業後の頁 2 . 論文構題 Physics In precise delay correction for measurement of cerebral hemodynamic parameters in 12150 PET study 3 . 新文者 Armats of Nuclear Medicine 4 . 是初企業後の頁 283 - 284		
2 . 論文榜題 Estination of arterial input by a noninvasive image derived method in brain H2150 PET study: continuation of arterial location using IR angiography 3 . 利益名 Physics in Medicine and Biology H8世論次の1001 (デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1361-6550/as6a95 1 . 著名名 Islam Muhammad M., Tsuji kawa Tetsuya, Mori Tetsuya, Kiyono Yasushi, Okazawa Hidehiko 2 . 論文榜證 Pixel - by-pixel precise delay correction for neasurement of cerebral hemodynamic parameters in 12/150 PET study 3 . 飛話名 Annals of Nuclear Medicine 4 . 巻 31 3 . 飛話名 Annals of Nuclear Medicine 4 . 巻 31 3 . 飛話名 Annals of Nuclear Medicine 5 . 無初子本プンアクセス 4 ー プンアクセス 4 ー プンアクセスとしている(また、その予定である) DB科共著 2 . 論文格理 Self-1 ace recognition shares brain regions active during proprioceptive illusion in the right inferior Trotto-parietal superior longitudinal fasciculus III network 3 . 最話名 Notroscience 1 . 著名名 Naito Elichi, Morita Tomyo, Saito Daisuke N. Ban Midori, Shimada Koji, Okamoto Yuko, Kosaka Hirotaka, Okazawa Hidehiko, kasada Minoru, Naito Elichi 1 . 著名名 Naito Elichi, Morita Tomyo, Saito Daisuke N. Ban Midori, Shimada Koji, Okamoto Yuko, Kosaka 1 . 著名名 Naito Elichi, Morita Tomyo, Saito Daisuke N. Ban Midori, Shimada Koji, Okamoto Yuko, Kosaka 1 . 著名名 Naito Elichi, Morita Tomyo, Saito Daisuke N. Ban Midori, Shimada Koji, Okamoto Yuko, Kosaka 1 . 著名名 Naito Elichi, Morita Tomyo, Saito Daisuke N. Ban Midori, Shimada Koji, Okamoto Yuko, Kosaka 1 . 著名名 Naito Elichi, Morita Tomyo, Saito Daisuke N. Ban Midori, Shimada Koji, Okamoto Yuko, Kosaka 1 . 著名名 Naito Elichi, Morita Tomyo, Saito Daisuke N. Ban Midori, Shimada Koji, Okamoto Yuko, Kosaka 1 . 著名名 Naito Elichi, Morita Tomyo, Saito Daisuke N. Ban Midori, Shimada Koji, Okamoto Yuko, Kosaka 1 . 著名名 Naito Elichi, Morita Tomyo, Saito Daisuke N. Ban Midori, Shimada Koji, Okamoto Yuko, Kosaka 1 . 著名名 Naito Elichi, Morita Tomyo, Saito Daisuke N. Ban Midori, Shimada Koji, Okamoto Yuko, Kosaka 1 . 表名名 Naito Elichi, Morita Tomyo, Saito Daisuke N. Ban Midori, Shimada Koji, Okamoto Yuko, Kosaka 1 . 表名名 Naito Elichi Morita Tomyo, Saito Dai	1.著者名	4 . 巻
2. 論文棒題 Estination of arterial input by a noninvasive image derived method in brain H2150 PET study: confirmation of arterial location using W. anglography 2017年 2017	Islam Muhammad Muinul, Tsuiikawa Tetsuva. Mori Tetsuva. Kivono Yasushi, Okazawa Hidehiko	62
Estination of arterial input by a noninvasive image derived method in brain H2150 PET study: confirmation of arterial location using NR angiography 3	,,,,,,,,,,,,,,,,	
Estination of arterial input by a noninvasive image derived method in brain H2150 PET study: confirmation of arterial location using NR angiography 3	2. 经仓债的	c
Confirmation of arterial location using WR angiography Confirmation of arterial location using WR angiography A514 - 4524 A514 - 452		
3. 前談名 Physics in Medicine and Biology 4514-4524 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト機別子) 10.1088/1381-6560/as6a95 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Islam Muhamad M., Tsujikawa Tetsuya, Mori Tetsuya, Kiyono Yasushi, Okazawa Hidehiko 1. 著者名 Islam Muhamad M., Tsujikawa Tetsuya, Mori Tetsuya, Kiyono Yasushi, Okazawa Hidehiko 1. 著者名 Islam Muhamad M., Tsujikawa Tetsuya, Mori Tetsuya, Kiyono Yasushi, Okazawa Hidehiko 1. 著者名 Islam Muhamad M., Tsujikawa Tetsuya, Mori Tetsuya, Kiyono Yasushi, Okazawa Hidehiko 1. 著者名 Islam Muhamad M., Tsujikawa Tetsuya, Mori Tetsuya, Kiyono Yasushi, Okazawa Hidehiko 1. 著名 Intervity Tetsuy 1. 事業を表 Morita Toroyo, Saito Daisuke N., Ban Midori, Shimada Koji, Okamoto Yuko, Kosaka Hirotaka, Okazawa Hidehiko, Asada Minoru, Naito Elichi 1. 著名 Morita Toroyo, Saito Daisuke N., Ban Midori, Shimada Koji, Okamoto Yuko, Kosaka Hirotaka, Okazawa Hidehiko, Asada Minoru, Naito Elichi 2. 論文程理 Saito Flace recognition shares brain regions active during proprioceptive Illusion in the right inferior fronto-parietal superior longitudinal fasciculus Ill network 3. 機能名 Neuroscience 4. 差 7. 美行年 2017年 5. 景行年 2017年 6. 是初と最後の頁 288-301 8融資名 Norita Toroyo, Saito Daisuke N., Ban Midori, Shimada Koji, Okamoto Yuko, Kosaka Hirotaka, Okazawa Hidehiko, Asada Minoru 7. 本ープンアクセス 8. 最初 7. 景行年 2017年 7. またいの表も表も表も表も表も表も表も表も表も表も表も表も表も表も表も表も表も表も表も	Estimation of arterial input by a noninvasive image derived method in brain H2150 PEI study:	2017年
接載論文のDOI(デジタルオプジェクト職別子) 1.1088/1381-8560/as6895 有 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 接当する 1. 著者名 Islam Muhamad M.、Tsujikawa Tetsuya、Mori Tetsuya、Kiyono Yasushi、Okazawa Hidehiko 31 5.発行年 DITF年 Nucl-Dy-pixel precise delay correction for measurement of cerebral hemodynamic parameters in N2150 PET study 3. 順議名 6.最初と国体の資本の対象の 6.最初と最後の資本の 7.83 Amals of Nuclear Medicine 6.最初と国体の方式を表現 6.最初と同様の方式を表現 6.最初と国体の方式を表現 6.最初と国体の方式を表現 6.最初と国体の方式を表現 6.最初と国体の方式を表現 6.最初と国体の方式を表現 6.最初と国体の方式を表現 6.最初と国体の方式を表現 6.最初と国体の方式を表現 7.32アクセスとしている(また、その予定である) 5.発行年 2017年 7.01.016/j.neuroscience 7.387・7.02.031 7.32.031 7.33 Amala 6.3	confirmation of arterial location using MR angiography	
掲載論文の001(デジタルオブジェクト編別子) 1. 著書名 1. 著書名 1. 著書名 1. 新文標題 Pixet-by-pixel precise delay correction for measurement of cerebral hemodynamic parameters in 12/150 PT Study 3. Mibša Annals of Nuclear Medicine 4. 巻 1. 著書名 1. 著書名 1. 著書名 2. 論文標題 Pixet-by-pixel precise delay correction for measurement of cerebral hemodynamic parameters in 12/150 PT Study 3. Mibša Annals of Nuclear Medicine 4. 巻 18職論文の001(デジタルオプジェクト編別子) 10.1007/s12149-017-1156-5 4. 本 10.1007/s12149-017-1156-5 4. 巻 10.1007/s12149-017-1156-5 4. 巻 10.1007/s12149-017-1156-5 4. 巻 10.1007/s12149-017-1156-5 4. 巻 10.1007/s12149-017-1156-5 5. 飛行年 2017年 2	3.雑誌名	6.最初と最後の頁
掲載論文の001(デジタルオブジェクト編別子) 1. 著書名 1. 著書名 1. 著書名 1. 新文標題 Pixet-by-pixel precise delay correction for measurement of cerebral hemodynamic parameters in 12/150 PT Study 3. Mibša Annals of Nuclear Medicine 4. 巻 1. 著書名 1. 著書名 1. 著書名 2. 論文標題 Pixet-by-pixel precise delay correction for measurement of cerebral hemodynamic parameters in 12/150 PT Study 3. Mibša Annals of Nuclear Medicine 4. 巻 18職論文の001(デジタルオプジェクト編別子) 10.1007/s12149-017-1156-5 4. 本 10.1007/s12149-017-1156-5 4. 巻 10.1007/s12149-017-1156-5 4. 巻 10.1007/s12149-017-1156-5 4. 巻 10.1007/s12149-017-1156-5 4. 巻 10.1007/s12149-017-1156-5 5. 飛行年 2017年 2	*****	
### 10.1088/1361-6660/aa6a95 ### 2 国際共著 ### 2 日本 2 国家共産国 日本 2 国家共産国 日本 2 国家共産国 日本 2 国家共産国 日本 2 日本	rhysics in medicine and biology	4514 * 4524
10.1088/1361-6580/as6a95 有 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 該当する ままれ Muhammad M.、Tsujikawa Tetsuya、Mori Tetsuya、Kiyono Yasushi、Okazawa Hidehiko 31 31 2. 論文標題 Pixel-by-pixel precise delay correction for measurement of cerebral hemodynamic parameters in H2180 PET study 3. 確認名 6. 最初に Bix Mammad of Nuclear Medicine 6. 最初に Bix Mammad of Nuclear Medicine 7. 電話の有無 有 7ープンアクセス 1. 著名名 Morita Tonoyo、Saito Daisuke N.、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Midehiko、Asada Minoru、Naito Eilohi 9. 通知に Bix Mammad Ma		
### 10.1088/1361-6660/aa6a95 ### 2 国際共著 ### 2 日本 2 国家共産国 日本 2 国家共産国 日本 2 国家共産国 日本 2 国家共産国 日本 2 日本		
### ### ### ### #### ################		()
### A - プンアクセスとしている (また、その予定である) 1 . 著者名 Islam Muhammad M.、Tsujikawa Tetsuya、Mori Tetsuya、Kiyono Yasushi、Okazawa Hidehiko 2 . 論文標題 Pixel-by-pixel precise delay correction for measurement of cerebral hemodynamic parameters in M2150 PET study 3 . 雜誌名 Annals of Nuclear Medicine #### Annals of Nuclear Medicine #### A - プンアクセス #### A - プンアクセス 1 . 著者名 Morita Tomoyo、Sai to Daisuke N., Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru、Nai to Elichi 2 . 論文標題 Neuroscience #### A - プンアクセス #### B - プンアクセス ##### B - プンアクセス #### B - プンアクセス #### B - プンアクセス ##### B - プンアクセス #### B - プンアクセス ##### B - プンアクセス ##### B - プンアクセス ##### B - プンアクセス ##### B - プンアクセス ###### B - プンアクセス ##### B - プンアクセス ###### B - プンアクセス ###### B - プンアクセス ##### B - プンアクセス ###### B - プンアクセス ###### B - プンアクセス ##### B - プンアクセス ###### B - プンアクセス ####### B - プンアクセス ####### B - プンアクセス ########## B - プンアクセス ########## B - プンアクセス ###################################	10.1088/1361-6560/aa6a95	有
### ### ### ### #####################		
1. 著者名 Islam Muhammad M.、Tsujikawa Tetsuya, Mori Tetsuya, Kiyono Yasushi, Okazawa Hidehiko 31 31 31 31 31 31 31 3	オープンアクセス	国際共著
Tama Muhammad M., Tsujikawa Tetsuya, Mori Tetsuya, Kiyono Yasushi, Okazawa Hidehiko 4. 巻 31 5. 条行年 Pixel-by-pixel precise delay correction for measurement of cerebral hemodynamic parameters in Pixel by Pixel precise delay correction for measurement of cerebral hemodynamic parameters in Pixel Box Pixel P	オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
Islam Muhamad M.、Tsujikawa Tetsuya, Mori Tetsuya, Kiyono Yasushi, Okazawa Hidehiko 2 . 論文様題 Pixel-by-pixel precise delay correction for measurement of cerebral hemodynamic parameters in H2150 PET study 3 . 雑誌名 Annals of Nuclear Medicine 6 . 最初と最後の頁 283 - 294 相動論文のDOI (デジタルオブジェクト場別子) 10.1007/s12149-017-1156-5 7 ーブンアクセス 1 著名名 Morita Tomoyo, Saito Daisuke N. Ban Midori, Shimada Koji, Okamoto Yuko, Kosaka Hirotaka, Okazawa Hidehiko, Asada Minoru, Naito Eiichi 2 . 論文接題 Self-face recognition shares brain regions active during proprioceptive illusion in the right inferior fronto-parietal superior longitudinal fasciculus III network 3 . 雑誌名 Neuroscience 1 . 著名名 Naito Eiichi, Morita Tomoyo, Saito Daisuke N, Ban Midori, Shimada Koji, Okamoto Yuko, Kosaka Hirotaka, Okazawa Hidehiko, Asada Minoru 3 . 雑誌名 Neuroscience 1 . 著名名 Naito Eiichi, Morita Tomoyo, Saito Daisuke N, Ban Midori, Shimada Koji, Okamoto Yuko, Kosaka Hirotaka, Okazawa Hidehiko, Asada Minoru 2 . 論文規題 Development of Right-hemispheric Dominance of Inferior Parietal Lobule in Proprioceptive Illusion Task 3 . 雑誌名 Cerebral Cortex 5 . 発行年 2017年 11 Usion Task 6 . 最初と最後の頁 27 ##################################	7 JULY PENCOCKIO (& Z. CO) TE COO)	M3 9 0
Islam Muhamad M.、Tsujikawa Tetsuya, Mori Tetsuya, Kiyono Yasushi, Okazawa Hidehiko 2 . 論文様題 Pixel-by-pixel precise delay correction for measurement of cerebral hemodynamic parameters in H2150 PET study 3 . 雑誌名 Annals of Nuclear Medicine 6 . 最初と最後の頁 283 - 294 相動論文のDOI (デジタルオブジェクト場別子) 10.1007/s12149-017-1156-5 7 ーブンアクセス 1 著名名 Morita Tomoyo, Saito Daisuke N. Ban Midori, Shimada Koji, Okamoto Yuko, Kosaka Hirotaka, Okazawa Hidehiko, Asada Minoru, Naito Eiichi 2 . 論文接題 Self-face recognition shares brain regions active during proprioceptive illusion in the right inferior fronto-parietal superior longitudinal fasciculus III network 3 . 雑誌名 Neuroscience 1 . 著名名 Naito Eiichi, Morita Tomoyo, Saito Daisuke N, Ban Midori, Shimada Koji, Okamoto Yuko, Kosaka Hirotaka, Okazawa Hidehiko, Asada Minoru 3 . 雑誌名 Neuroscience 1 . 著名名 Naito Eiichi, Morita Tomoyo, Saito Daisuke N, Ban Midori, Shimada Koji, Okamoto Yuko, Kosaka Hirotaka, Okazawa Hidehiko, Asada Minoru 2 . 論文規題 Development of Right-hemispheric Dominance of Inferior Parietal Lobule in Proprioceptive Illusion Task 3 . 雑誌名 Cerebral Cortex 5 . 発行年 2017年 11 Usion Task 6 . 最初と最後の頁 27 ##################################	4 ****	4 244
2. 論文標題 Pixel-by-pixel precise delay correction for measurement of cerebral hemodynamic parameters in Pixel Dept Study Annals of Nuclear Medicine ### ### ### ### ### ### ### ### ### #		_
Pixel-by-pixel precise delay correction for measurement of cerebral hemodynamic parameters in R2150 PET study 3 . 雑誌名 Annals of Nuclear Medicine 6 . 最初と最後の頁 283 - 294 据戦論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12149-017-1156-5 第一プンアクセス 1 . 著名名 Morita Tomoyo, Saito Daisuke N., Ban Midori, Shimada Koji, Okamoto Yuko, Kosaka Hirotaka, Okazawa Hidehiko, Asada Minoru, Naito Eiichi Self-face recognition shares brain regions active during proprioceptive illusion in the right inferior fronto-parietal superior longitudinal fasciculus III network 1 . 著名名 Neuroscience 1 . 著名名 Neuroscience 3 . 雑誌名 A - 芝 A - ブンアクセス 1 . 著名名 Naito Eiichi, Morita Tomoyo, Saito Daisuke N, Ban Midori, Shimada Koji, Okamoto Yuko, Kosaka Hirotaka, Okazawa Hidehiko, Asada Minoru 2 . 論文標題 Dayloryのより、アジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j. neuroscience.2017.02.031 1 . 著名名 Cerebral Cortex 1 . 義名 Cerebral Cortex 1 . 難談会 Cerebral Cortex 1 . 難談会 Cerebral Cortex 1 . 養養 Cerebral Cortex 1 . 養養 Carportal Mathematical Cortex 1 . 養養 Carportal Mathematical Cortex 1 . 養養 Carportal Cortex 2 . 能力を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	Islam Muhammad M.、Tsujikawa Tetsuya、Mori Tetsuya、Kiyono Yasushi、Okazawa Hidehiko	31
Pixel-by-pixel precise delay correction for measurement of cerebral hemodynamic parameters in R2150 PET Study 3 . 確認名 Annals of Nuclear Medicine 4 . 最初と最後の頁 283 - 294 据戦論文の001 (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12149-017-1156-5 第 古		
Pixel-by-pixel precise delay correction for measurement of cerebral hemodynamic parameters in R2150 PET Study 3 . 確認名 Annals of Nuclear Medicine 4 . 最初と最後の頁 283 - 294 据戦論文の001 (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12149-017-1156-5 第 古	2. 論文標題	5、発行年
### Proposition of Nuclear Medicine ### 283 ~ 294 ### 293 ~ 294 ** 294		
3 . 雑誌名 Annals of Nuclear Medicine 「お歌論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12149-017-1156-5 「国際共者 おープンアクセスとしている(また、その予定である) 「国際共者 Morita Tonoyo, Saito Daisuke N.、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru、Naito Eiichi Self-face recognition shares brain regions active during proprioceptive illusion in the right inferior fronto-parietal superior longitudinal fasciculus III network 3 . 雑誌名 Neuroscience 「デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroscience.2017.02.031 1. 著者名 Naito Eiichi、Morita Tomoyo, Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka 日本・プンアクセス 国際共著 4 . 巻 コカンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Naito Eiichi、Morita Tomoyo, Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru 2. 論文標題 Development of Right-hemispheric Dominance of Inferior Parietal Lobule in Proprioceptive Illusion Task 3. 雑誌名 Cerebral Cortex 「最初の有無 10.1093/cercor/bhx223 有 オープンアクセス 国際共著		ZU11+
搭載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)		
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12149-017-1156-5 オーブンアクセス オーブンアクセスとしている(また、その予定である) 1 著者名 Neuroscience 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroscience.2017.02.031 1 著者名 Naito Eiichi, Morita Tonoyo, Saito Daisuke N. Ban Midori, Shimada Koji, Okamoto Yuko, Kosaka Hirotaka, Okazawa Hidehiko, Asada Minoru, Naito Eiichi 5 . 発行年 2017年 2017年 6 . 最初と最後の頁 288~301 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroscience.2017.02.031 1 . 著者名 Naito Eiichi, Morita Tonoyo, Saito Daisuke N. Ban Midori, Shimada Koji, Okamoto Yuko, Kosaka Hirotaka, Okazawa Hidehiko, Asada Minoru 2 . 論文程題 Development of Right-hemispheric Dominance of Inferior Parietal Lobule in Proprioceptive Illusion in the right inferior Parietal Lobule in Proprioceptive Illusion in the right inferior Parietal Lobule in Proprioceptive Illusion in the right inferior Parietal Lobule in Proprioceptive Illusion in the right inferior Parietal Lobule in Proprioceptive Illusion in the right inferior Parietal Lobule in Proprioceptive Illusion in the right inferior Parietal Lobule in Proprioceptive Illusion in the right inferior Parietal Lobule in Proprioceptive Illusion in the right inferior Parietal Lobule in Proprioceptive Illusion in the right inferior Parietal Lobule in Proprioceptive Illusion in the right inferior Parietal Lobule in Proprioceptive Illusion in the right inferior Parietal Lobule in Proprioceptive Illusion in the right inferior Parietal Lobule in Proprioceptive Illusion in the right inferior Parietal	3.雑誌名	6.最初と最後の頁
10.1007/s12149-017-1156-5 有	Annals of Nuclear Medicine	283 ~ 294
10.1007/s12149-017-1156-5 オープンアクセス		
10.1007/s12149-017-1156-5 有		
10.1007/s12149-017-1156-5 オープンアクセス	退載絵文のDOI (デジタルオブジェクト禁則之)	本結の右無
オープンアクセス 1 著者名 Morita Tomoyo, Saito Daisuke N., Ban Midori, Shimada Koji, Okamoto Yuko, Kosaka Hirotaka, Okazawa Hidehiko, Asada Minoru, Naito Eiichi 2		
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 該当する 1・著者名 Morita Tomoyo、Saito Daisuke N.、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru、Naito Eiichi 5・発行年 2017年 1・	10.1007/s12149-017-1156-5	有
### A - プンアクセスとしている(また、その予定である) 接当する 1. 著者名 Morita Tomoyo、Saito Daisuke N.、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru、Naito Eiichi 2 inferior fronto-parietal superior longitudinal fasciculus III network 3 : 雑誌名 Neuroscience 5 : 発行年 10.1016/j.neuroscience.2017.02.031		
1 . 著者名 Morita Tomoyo, Saito Daisuke N., Ban Midori, Shimada Koji, Okamoto Yuko, Kosaka Hirotaka, Okazawa Hidehiko, Asada Minoru, Naito Eiichi 2 . 論文標題 Self-face recognition shares brain regions active during proprioceptive illusion in the right inferior fronto-parietal superior longitudinal fasciculus III network 3 . 雑誌名 Neuroscience 相較論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroscience.2017.02.031 1 . 著者名 Naito Eiichi, Morita Tomoyo, Saito Daisuke N, Ban Midori, Shimada Koji, Okamoto Yuko, Kosaka Hirotaka, Okazawa Hidehiko, Asada Minoru 2 . 論文標題 Development of Right-hemispheric Dominance of Inferior Parietal Lobule in Proprioceptive III usion Task 3 . 雑誌名 Cerebral Cortex 相較論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/cercor/bhx223 有 オープンアクセス 国際共著	オープンアクセス	国際共著
1. 著者名 Morita Tomoyo, Saito Daisuke N.、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru、Naito Eiichi 2. 論文標題 Self-face recognition shares brain regions active during proprioceptive illusion in the right inferior fronto-parietal superior longitudinal fasciculus III network 3. 雑誌名 Neuroscience 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroscience.2017.02.031 1. 著者名 Naito Eiichi、Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru 2. 論文標題 Development of Right-hemispheric Dominance of Inferior Parietal Lobule in Proprioceptive Illusion Task 3. 雑誌名 Cerebral Cortex 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/cercor/bhx223 有 オープンアクセス 国際共著	オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
Morita Tomoyo、Saito Daisuke N.、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru、Naito Eiichi 2		W-7-7-0
Morita Tomoyo、Saito Daisuke N.、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru、Naito Eiichi 2	1 节之々	4 *
Okazawa Hidehiko、Asada Minoru、Naito Eiichi 2 ・論文標題 Self-face recognition shares brain regions active during proprioceptive illusion in the right inferior fronto-parietal superior longitudinal fasciculus III network 3 ・雑誌名 Neuroscience 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroscience.2017.02.031 1 ・著者名 Naito Eiichi、Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru 2 ・論文標題 Development of Right-hemispheric Dominance of Inferior Parietal Lobule in Proprioceptive IIIusion Task 3 ・雑誌名 Cerebral Cortex 「表表の同じて、このでは、「おおおおいま」とは、「おおいました」では、「おお	—	_
2 . 論文標題 Self-face recognition shares brain regions active during proprioceptive illusion in the right inferior fronto-parietal superior longitudinal fasciculus III network 3 . 雑誌名 Neuroscience 4 . 最初と最後の頁 288~301 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.neuroscience.2017.02.031 1 . 著者名 Naito Eiichi, Morita Tomoyo, Saito Daisuke N、Ban Midori, Shimada Koji, Okamoto Yuko, Kosaka Hirotaka, Okazawa Hidehiko, Asada Minoru 2 . 論文標題 Development of Right-hemispheric Dominance of Inferior Parietal Lobule in Proprioceptive Illusion Task 3 . 雑誌名 Cerebral Cortex 5 . 発行年 2017年 4 . 巻 27 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 5385~5397 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1093/cercor/bhx223 有 オープンアクセス 国際共著		348
Self-face recognition shares brain regions active during proprioceptive illusion in the right inferior fronto-parietal superior longitudinal fasciculus III network 3 . 雑誌名 Neuroscience 超載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroscience.2017.02.031 1 . 著者名 Naito Eiichi、Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru 2 . 論文標題 Development of Right-hemispheric Dominance of Inferior Parietal Lobule in Proprioceptive Illusion Task 3 . 雑誌名 Cerebral Cortex 超載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/cercor/bhx223 直読の有無 有 オープンアクセス 国際共著	Okazawa Hidehiko、Asada Minoru、Naito Eiichi	
Self-face recognition shares brain regions active during proprioceptive illusion in the right inferior fronto-parietal superior longitudinal fasciculus III network 3 . 雑誌名 Neuroscience 超載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroscience.2017.02.031 1 . 著者名 Naito Eiichi、Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru 2 . 論文標題 Development of Right-hemispheric Dominance of Inferior Parietal Lobule in Proprioceptive Illusion Task 3 . 雑誌名 Cerebral Cortex 超載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/cercor/bhx223 a においては、	2.論文標題	5 . 発行年
inferior fronto-parietal superior longitudinal fasciculus III network 3 . 雑誌名 Neuroscience 8 . 最初と最後の頁 288~301 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroscience.2017.02.031		
3 . 雑誌名 Neuroscience Reuroscience 10.1016/j.neuroscience.2017.02.031 名オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Naito Eiichi、Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru 2 . 論文標題 Development of Right-hemispheric Dominance of Inferior Parietal Lobule in Proprioceptive Illusion Task 3 . 雑誌名 Cerebral Cortex 名		2017-
Neuroscience 288~301 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)		
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroscience.2017.02.031 オープンアクセス 1. 著者名 Naito Eiichi、Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru 2. 論文標題 Development of Right-hemispheric Dominance of Inferior Parietal Lobule in Proprioceptive Illusion Task 3. 雑誌名 Cerebral Cortex 「表初の日(デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/cercor/bhx223 「書読の有無 有 オープンアクセス 国際共著	3.雑誌名	6.最初と最後の負
10.1016/j.neuroscience.2017.02.031 有 国際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 4 . 巻 27 Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru 2 . 論文標題 Development of Right-hemispheric Dominance of Inferior Parietal Lobule in Proprioceptive Illusion Task 3 . 雑誌名 Cerebral Cortex 6 . 最初と最後の頁 5385~5397	Neuroscience	288 ~ 301
10.1016/j.neuroscience.2017.02.031 有 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Naito Eiichi、Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru 2.論文標題 Development of Right-hemispheric Dominance of Inferior Parietal Lobule in Proprioceptive Illusion Task 3.雑誌名 Cerebral Cortex 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/cercor/bhx223 有 国際共著		
10.1016/j.neuroscience.2017.02.031 有 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Naito Eiichi、Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru 2.論文標題 Development of Right-hemispheric Dominance of Inferior Parietal Lobule in Proprioceptive Illusion Task 3.雑誌名 Cerebral Cortex 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1093/cercor/bhx223 有 国際共著		
10.1016/j.neuroscience.2017.02.031 有 国際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 4 . 巻 27 Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru 2 . 論文標題 Development of Right-hemispheric Dominance of Inferior Parietal Lobule in Proprioceptive Illusion Task 3 . 雑誌名 Cerebral Cortex 6 . 最初と最後の頁 5385~5397	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト禁則子)	杏詰の右無
オープンアクセス 1 . 著者名 Naito Eiichi、Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru 2 . 論文標題 Development of Right-hemispheric Dominance of Inferior Parietal Lobule in Proprioceptive Illusion Task 3 . 雑誌名 Cerebral Cortex 「表初と最後の頁 5385~5397 「表記の有無 有 本プンアクセス 国際共著		
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Naito Eiichi、Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru 2 . 論文標題 Development of Right-hemispheric Dominance of Inferior Parietal Lobule in Proprioceptive Illusion Task 3 . 雑誌名 Cerebral Cortex 「表現の方法を表現します。」 「表現の	10.1016/j.neuroscience.2017.02.031	月 月
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Naito Eiichi、Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru 2 . 論文標題 Development of Right-hemispheric Dominance of Inferior Parietal Lobule in Proprioceptive Illusion Task 3 . 雑誌名 Cerebral Cortex 「表現の方法を表現します。」 「表現の		
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Naito Eiichi、Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru 2 . 論文標題 Development of Right-hemispheric Dominance of Inferior Parietal Lobule in Proprioceptive Illusion Task 3 . 雑誌名 Cerebral Cortex 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/cercor/bhx223 「国際共著	オーブンアクセス	国際共著
1 . 著者名 Naito Eiichi、Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru 2 . 論文標題 Development of Right-hemispheric Dominance of Inferior Parietal Lobule in Proprioceptive Illusion Task 3 . 雑誌名 Cerebral Cortex 「表現の方法を表現している。 「表現の方法を表現している。」 「表現の方法を表現してい	L	_
Naito Eiichi、Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru 2 . 論文標題 Development of Right-hemispheric Dominance of Inferior Parietal Lobule in Proprioceptive Illusion Task 3 . 雑誌名 Cerebral Cortex 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/cercor/bhx223 有 国際共著	オーフンアクセスとしている(また、そのや定である)	
Naito Eiichi、Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru 2 . 論文標題 Development of Right-hemispheric Dominance of Inferior Parietal Lobule in Proprioceptive Illusion Task 3 . 雑誌名 Cerebral Cortex 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/cercor/bhx223 有 国際共著	オープンアクセスとしている(また、その予定である)	
Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru 2.論文標題 Development of Right-hemispheric Dominance of Inferior Parietal Lobule in Proprioceptive Illusion Task 3.雑誌名 Cerebral Cortex 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/cercor/bhx223 有 国際共著		A 344
2.論文標題 Development of Right-hemispheric Dominance of Inferior Parietal Lobule in Proprioceptive Illusion Task5.発行年 2017年3.雑誌名 Cerebral Cortex6.最初と最後の頁 5385~5397掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/cercor/bhx223査読の有無 有オープンアクセス国際共著	1 . 著者名	_
2.論文標題 Development of Right-hemispheric Dominance of Inferior Parietal Lobule in Proprioceptive Illusion Task5.発行年 2017年3.雑誌名 Cerebral Cortex6.最初と最後の頁 5385~5397掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/cercor/bhx223査読の有無 有オープンアクセス国際共著	1 . 著者名 Naito Eiichi、Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka	_
Development of Right-hemispheric Dominance of Inferior Parietal Lobule in Proprioceptive 2017年 3.雑誌名 Cerebral Cortex 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/cercor/bhx223 有 国際共著	1 . 著者名 Naito Eiichi、Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka	· —
Illusion Task 6.最初と最後の頁 3.雑誌名 6.最初と最後の頁 5385~5397 5385~5397 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 10.1093/cercor/bhx223 有 オープンアクセス 国際共著	1 . 著者名 Naito Eiichi、Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru	27
3.雑誌名 6.最初と最後の頁 5385~5397 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/cercor/bhx223 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著	1 . 著者名 Naito Eiichi、Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru 2 . 論文標題	5.発行年
Cerebral Cortex 5385~5397 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 10.1093/cercor/bhx223 有 オープンアクセス 国際共著	1 . 著者名 Naito Eiichi、Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru 2 . 論文標題 Development of Right-hemispheric Dominance of Inferior Parietal Lobule in Proprioceptive	5.発行年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 10.1093/cercor/bhx223 有 オープンアクセス 国際共著	1 . 著者名 Naito Eiichi、Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru 2 . 論文標題 Development of Right-hemispheric Dominance of Inferior Parietal Lobule in Proprioceptive Illusion Task	27 5.発行年 2017年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 10.1093/cercor/bhx223 有 すープンアクセス 国際共著	1 . 著者名 Naito Eiichi、Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru 2 . 論文標題 Development of Right-hemispheric Dominance of Inferior Parietal Lobule in Proprioceptive Illusion Task	27 5.発行年 2017年
10.1093/cercor/bhx223 有 オープンアクセス 国際共著	1 . 著者名 Naito Eiichi、Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru 2 . 論文標題 Development of Right-hemispheric Dominance of Inferior Parietal Lobule in Proprioceptive Illusion Task 3 . 雑誌名	27 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁
10.1093/cercor/bhx223 有 オープンアクセス 国際共著	1 . 著者名 Naito Eiichi、Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru 2 . 論文標題 Development of Right-hemispheric Dominance of Inferior Parietal Lobule in Proprioceptive Illusion Task 3 . 雑誌名	27 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁
10.1093/cercor/bhx223 有 オープンアクセス 国際共著	1 . 著者名 Naito Eiichi、Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru 2 . 論文標題 Development of Right-hemispheric Dominance of Inferior Parietal Lobule in Proprioceptive Illusion Task 3 . 雑誌名	27 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス 国際共著	1 . 著者名 Naito Eiichi、Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru 2 . 論文標題 Development of Right-hemispheric Dominance of Inferior Parietal Lobule in Proprioceptive Illusion Task 3 . 雑誌名 Cerebral Cortex	5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 5385~5397
	1 . 著者名 Naito Eiichi、Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru 2 . 論文標題 Development of Right-hemispheric Dominance of Inferior Parietal Lobule in Proprioceptive Illusion Task 3 . 雑誌名 Cerebral Cortex 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	27 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 5385~5397 査読の有無
	1 . 著者名 Naito Eiichi、Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru 2 . 論文標題 Development of Right-hemispheric Dominance of Inferior Parietal Lobule in Proprioceptive Illusion Task 3 . 雑誌名 Cerebral Cortex 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	27 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 5385~5397 査読の有無
	1 . 著者名 Naito Eiichi、Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru 2 . 論文標題 Development of Right-hemispheric Dominance of Inferior Parietal Lobule in Proprioceptive Illusion Task 3 . 雑誌名 Cerebral Cortex 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	27 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 5385~5397 査読の有無
ナープンフクセフレーケいる(また、その子字でちて)	1 . 著者名 Naito Eiichi、Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru 2 . 論文標題 Development of Right-hemispheric Dominance of Inferior Parietal Lobule in Proprioceptive Illusion Task 3 . 雑誌名 Cerebral Cortex 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/cercor/bhx223	27 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 5385~5397 査読の有無
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	1 . 著者名 Naito Eiichi、Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru 2 . 論文標題 Development of Right-hemispheric Dominance of Inferior Parietal Lobule in Proprioceptive Illusion Task 3 . 雑誌名 Cerebral Cortex 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/cercor/bhx223	27 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 5385~5397 査読の有無

1.著者名	
''19	4.巻
Neishi Hiroyuki、Ikawa Masamichi、Okazawa Hidehiko、Tsujikawa Tetsuya、Arishima Hidetaka、	78
Kikuta Ken-ichiro, Yoneda Makoto	
	_ 70 /= -
2.論文標題	5 . 発行年
Precise Evaluation of Striatal Oxidative Stress Corrected for Severity of Dopaminergic Neuronal	2017年
Degeneration in Patients with Parkinson's Disease: A Study with 62Cu-ATSM PET and 1231-FP-CIT	2017—
SPECT	
2. hh	6 目切し目後の五
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Eur Neurol	161 ~ 168
曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1159/000479627	有
	Company of the second
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4.巻
Shimada Koji, Fujisawa Takashi X., Takiguchi Shinichiro, Naruse Hiroaki, Kosaka Hirotaka,	18
	10
Okazawa Hidehiko, Tomoda Akemi	
2 . 論文標題	5 . 発行年
Ethnic differences in COMT genetic effects on striatal grey matter alterations associated with	2017年
childhood ADHD: A voxel-based morphometry study in a Japanese sample	
B.維誌名	6.最初と最後の頁
World J Biol Psychiatry	322 ~ 328
弱載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.3109/15622975.2015.1102325	有
10.0.007.10022010.12010.1102020	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	_
	1
1.著者名	4 . 巻
	· -
Morita Tomoyo, Saito Daisuke N, Ban Midori, Shimada Koji, Okamoto Yuko, Kosaka Hirotaka,	4.巻 28
Morita Tomoyo, Saito Daisuke N, Ban Midori, Shimada Koji, Okamoto Yuko, Kosaka Hirotaka, Okazawa Hidehiko, Asada Minoru, Naito Eiichi	28
Morita Tomoyo, Saito Daisuke N, Ban Midori, Shimada Koji, Okamoto Yuko, Kosaka Hirotaka, Okazawa Hidehiko, Asada Minoru, Naito Eiichi	· -
Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、 Okazawa Hidehiko、Asada Minoru、Naito Eiichi !.論文標題	5 . 発行年
Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru、Naito Eiichi : .論文標題 Self-Face Recognition Begins to Share Active Region in Right Inferior Parietal Lobule with	28
Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、 Okazawa Hidehiko、Asada Minoru、Naito Eiichi !.論文標題	5 . 発行年
Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru、Naito Eiichi : 論文標題 Self-Face Recognition Begins to Share Active Region in Right Inferior Parietal Lobule with Proprioceptive Illusion During Adolescence	28 5.発行年 2018年
Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru、Naito Eiichi . 論文標題 Self-Face Recognition Begins to Share Active Region in Right Inferior Parietal Lobule with Proprioceptive Illusion During Adolescence . 雑誌名	28 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru、Naito Eiichi . 論文標題 Self-Face Recognition Begins to Share Active Region in Right Inferior Parietal Lobule with Proprioceptive Illusion During Adolescence	28 5.発行年 2018年
Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru、Naito Eiichi : .論文標題 Self-Face Recognition Begins to Share Active Region in Right Inferior Parietal Lobule with Proprioceptive Illusion During Adolescence 3 . 雑誌名	28 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru、Naito Eiichi : .論文標題 Self-Face Recognition Begins to Share Active Region in Right Inferior Parietal Lobule with Proprioceptive Illusion During Adolescence 3 . 雑誌名	28 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru、Naito Eiichi : 論文標題 Self-Face Recognition Begins to Share Active Region in Right Inferior Parietal Lobule with Proprioceptive Illusion During Adolescence 3 . 雑誌名 Cerebral Cortex	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1532~1548
Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru、Naito Eiichi	28 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru、Naito Eiichi . 論文標題 Self-Face Recognition Begins to Share Active Region in Right Inferior Parietal Lobule with Proprioceptive Illusion During Adolescence . 雑誌名 Cerebral Cortex	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1532~1548
Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru、Naito Eiichi : 論文標題 Self-Face Recognition Begins to Share Active Region in Right Inferior Parietal Lobule with Proprioceptive Illusion During Adolescence : 雑誌名 Cerebral Cortex	28 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1532~1548
Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru、Naito Eiichi ・論文標題 Self-Face Recognition Begins to Share Active Region in Right Inferior Parietal Lobule with Proprioceptive Illusion During Adolescence ・雑誌名 Cerebral Cortex 動論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	28 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1532~1548 査読の有無 有
Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru、Naito Eiichi ・論文標題 Self-Face Recognition Begins to Share Active Region in Right Inferior Parietal Lobule with Proprioceptive Illusion During Adolescence ・雑誌名 Cerebral Cortex 動論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	28 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1532~1548
Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru、Naito Eiichi ・論文標題 Self-Face Recognition Begins to Share Active Region in Right Inferior Parietal Lobule with Proprioceptive Illusion During Adolescence ・雑誌名 Cerebral Cortex 「対象のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/cercor/bhy027	28 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1532~1548 査読の有無 有
Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru、Naito Eiichi ・論文標題 Self-Face Recognition Begins to Share Active Region in Right Inferior Parietal Lobule with Proprioceptive Illusion During Adolescence ・雑誌名 Cerebral Cortex 事動論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/cercor/bhy027	28 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1532~1548 査読の有無 有
Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru、Naito Eiichi 2. 論文標題 Self-Face Recognition Begins to Share Active Region in Right Inferior Parietal Lobule with Proprioceptive Illusion During Adolescence 3. 雑誌名 Cerebral Cortex 『動動論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/cercor/bhy027 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	28 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1532~1548 査読の有無 有 国際共著
Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru、Naito Eiichi ・論文標題 Self-Face Recognition Begins to Share Active Region in Right Inferior Parietal Lobule with Proprioceptive Illusion During Adolescence ・雑誌名 Cerebral Cortex 「一プンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	28 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1532~1548 査読の有無 有
Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru、Naito Eiichi	28 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1532~1548 査読の有無 有 国際共著
Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru、Naito Eiichi ・論文標題 Self-Face Recognition Begins to Share Active Region in Right Inferior Parietal Lobule with Proprioceptive Illusion During Adolescence ・雑誌名 Cerebral Cortex 「一プンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	28 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1532~1548 査読の有無 有 国際共著
Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru、Naito Eiichi ・論文標題 Self-Face Recognition Begins to Share Active Region in Right Inferior Parietal Lobule with Proprioceptive Illusion During Adolescence ・雑誌名 Cerebral Cortex	28 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1532~1548 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 7
Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru、Naito Eiichi ・論文標題 Self-Face Recognition Begins to Share Active Region in Right Inferior Parietal Lobule with Proprioceptive Illusion During Adolescence ・雑誌名 Cerebral Cortex	28 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1532~1548 査読の有無 有 国際共著
Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru、Naito Eiichi ・論文標題 Self-Face Recognition Begins to Share Active Region in Right Inferior Parietal Lobule with Proprioceptive Illusion During Adolescence ・雑誌名 Cerebral Cortex 講論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/cercor/bhy027 ープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) ・著者名 Nishizato Minaho、Fujisawa Takashi X.、Kosaka Hirotaka、Tomoda Akemi ・論文標題	28 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1532~1548 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 7 5 . 発行年
Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru、Naito Eiichi ・論文標題 Self-Face Recognition Begins to Share Active Region in Right Inferior Parietal Lobule with Proprioceptive Illusion During Adolescence ・雑誌名 Cerebral Cortex	28 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1532~1548 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 7
Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru、Naito Eiichi : 論文標題 Self-Face Recognition Begins to Share Active Region in Right Inferior Parietal Lobule with Proprioceptive Illusion During Adolescence : 雑誌名 Cerebral Cortex 対象のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/cercor/bhy027 ープンアクセス	28 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1532~1548 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 7 5 . 発行年 2017年
Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru、Naito Eiichi : 論文標題 Self-Face Recognition Begins to Share Active Region in Right Inferior Parietal Lobule with Proprioceptive Illusion During Adolescence : 雑誌名 Cerebral Cortex 対象のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/cercor/bhy027 ープンアクセス	28 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1532~1548 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 7 5 . 発行年 2017年
Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru、Naito Eiichi 2. 論文標題 Self-Face Recognition Begins to Share Active Region in Right Inferior Parietal Lobule with Proprioceptive Illusion During Adolescence 3. 雑誌名 Cerebral Cortex おままる	28 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1532~1548 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 7 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁
Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru、Naito Eiichi	28 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1532~1548 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 7 5 . 発行年 2017年
Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru、Naito Eiichi : 論文標題 Self-Face Recognition Begins to Share Active Region in Right Inferior Parietal Lobule with Proprioceptive Illusion During Adolescence : 雑誌名 Cerebral Cortex おおさの	28 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1532~1548 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 7 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁
Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru、Naito Eiichi : 論文標題 Self-Face Recognition Begins to Share Active Region in Right Inferior Parietal Lobule with Proprioceptive Illusion During Adolescence : 雑誌名 Cerebral Cortex おおさの	28 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1532~1548 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 7 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁
Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru、Naito Eiichi : 論文標題 Self-Face Recognition Begins to Share Active Region in Right Inferior Parietal Lobule with Proprioceptive Illusion During Adolescence : 雑誌名 Cerebral Cortex 載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/cercor/bhy027 オープンアクセスとしている(また、その予定である) . 著者名 Nishizato Minaho、Fujisawa Takashi X.、Kosaka Hirotaka、Tomoda Akemi . 論文標題 Developmental changes in social attention and oxytocin levels in infants and children . 雑誌名 Scientific Reports	28 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1532~1548 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 7 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 2540
Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru、Naito Eiichi : 論文標題 Self-Face Recognition Begins to Share Active Region in Right Inferior Parietal Lobule with Proprioceptive Illusion During Adolescence : 雑誌名 Cerebral Cortex 本一プンアクセス	28 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1532~1548 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 7 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 2540 査読の有無
Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru、Naito Eiichi : 論文標題 Self-Face Recognition Begins to Share Active Region in Right Inferior Parietal Lobule with Proprioceptive Illusion During Adolescence 3 . 雑誌名 Cerebral Cortex 書載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/cercor/bhy027 オープンアクセスとしている(また、その予定である) . 著者名 Nishizato Minaho、Fujisawa Takashi X.、Kosaka Hirotaka、Tomoda Akemi 2 . 論文標題 Developmental changes in social attention and oxytocin levels in infants and children 3 . 雑誌名 Scientific Reports	28 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1532~1548 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 7 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 2540
Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru、Naito Eiichi 2. 論文標題 Self-Face Recognition Begins to Share Active Region in Right Inferior Parietal Lobule with Proprioceptive Illusion During Adolescence 3. 雑誌名 Cerebral Cortex a オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Nishizato Minaho、Fujisawa Takashi X.、Kosaka Hirotaka、Tomoda Akemi 2. 論文標題 Developmental changes in social attention and oxytocin levels in infants and children 3. 雑誌名 Scientific Reports	28 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1532~1548 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 7 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 2540 査読の有無
Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru、Naito Eiichi 2. 論文標題 Self-Face Recognition Begins to Share Active Region in Right Inferior Parietal Lobule with Proprioceptive Illusion During Adolescence 3. 雑誌名 Cerebral Cortex 載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/cercor/bhy027 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Nishizato Minaho、Fujisawa Takashi X.、Kosaka Hirotaka、Tomoda Akemi 2. 論文標題 Developmental changes in social attention and oxytocin levels in infants and children 3. 雑誌名 Scientific Reports 載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-02368-x	28 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1532~1548 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 7 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 2540 査読の有無 有
Morita Tomoyo、Saito Daisuke N、Ban Midori、Shimada Koji、Okamoto Yuko、Kosaka Hirotaka、Okazawa Hidehiko、Asada Minoru、Naito Eiichi ・論文標題 Self-Face Recognition Begins to Share Active Region in Right Inferior Parietal Lobule with Proprioceptive Illusion During Adolescence ・雑誌名 Cerebral Cortex 載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/cercor/bhy027 ープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) ・著者名 Nishizato Minaho、Fujisawa Takashi X.、Kosaka Hirotaka、Tomoda Akemi ・論文標題 Developmental changes in social attention and oxytocin levels in infants and children ・雑誌名 Scientific Reports	28 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1532~1548 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 7 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 2540 査読の有無

1 . 著者名 Hirosawa Tetsu、Kikuchi Mitsuru、Ouchi Yasuomi、Takahashi Tetsuya、Yoshimura Yuko、Kosaka	
Hirotaka, Furutani Naoki, Hiraishi Hirotoshi, Fukai Mina, Yokokura Masamichi, Yoshikawa Etsuji, Bunai Tomoyasu, Minabe Yoshio	4.巻 10
2.論文標題 A pilot study of serotonergic modulation after long-term administration of oxytocin in autism spectrum disorder	5 . 発行年 2017年
3.雑誌名 Autism Research	6.最初と最後の頁 821~828
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/aur.1761	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1.著者名 Mizuno Yoshifumi、Jung Minyoung、Fujisawa Takashi X.、Takiguchi Shinichiro、Shimada Koji、Saito Daisuke N.、Kosaka Hirotaka、Tomoda Akemi	
2.論文標題 Catechol-O-methyltransferase polymorphism is associated with the cortico-cerebellar functional connectivity of executive function in children with attention-deficit/hyperactivity disorder	5 . 発行年 2017年
3.雑誌名 Scientific Reports	6 . 最初と最後の頁 4850
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-04579-8	 査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する
1.著者名 Fukai Mina、Hirosawa Tetsu、Kikuchi Mitsuru、Ouchi Yasuomi、Takahashi Tetsuya、Yoshimura Yuko、 Miyagishi Yoshiaki、Kosaka Hirotaka、Yokokura Masamichi、Yoshikawa Etsuji、Bunai Tomoyasu、 Minabe Yoshio	4.巻 267
WITIADE TOSTITO	
2.論文標題 Oxytocin effects on emotional response to others' faces via serotonin system in autism: A pilot study	5 . 発行年 2017年
2.論文標題 Oxytocin effects on emotional response to others' faces via serotonin system in autism: A	
2.論文標題 Oxytocin effects on emotional response to others' faces via serotonin system in autism: A pilot study 3.雑誌名	2017年 6.最初と最後の頁
2.論文標題 Oxytocin effects on emotional response to others' faces via serotonin system in autism: A pilot study 3.雑誌名 Psychiatry Res. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2017年 6.最初と最後の頁 45~50 査読の有無
2.論文標題 Oxytocin effects on emotional response to others' faces via serotonin system in autism: A pilot study 3.雑誌名 Psychiatry Res. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.pscychresns.2017.06.015 オープンアクセス	2017年 6.最初と最後の頁 45~50 査読の有無 有
2.論文標題 Oxytocin effects on emotional response to others' faces via serotonin system in autism: A pilot study 3.雑誌名 Psychiatry Res. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.pscychresns.2017.06.015 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Kasagi Masato、Huang Zirui、Narita Kosuke、Shitara Hitoshi、Motegi Tomokazu、Suzuki Yusuke、	2017年 6.最初と最後の頁 45~50 査読の有無 有
2.論文標題 Oxytocin effects on emotional response to others' faces via serotonin system in autism: A pilot study 3.雑誌名 Psychiatry Res. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.pscychresns.2017.06.015 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Kasagi Masato、Huang Zirui、Narita Kosuke、Shitara Hitoshi、Motegi Tomokazu、Suzuki Yusuke、Fujihara Kazuyuki、Tanabe Sean、Kosaka Hirotaka、Ujita Koichi、Fukuda Masato、Northoff Georg 2.論文標題 Association between Scale-Free Brain Dynamics and Behavioral Performance: Functional MRI Study	2017年 6.最初と最後の頁 45~50 査読の有無 有 国際共著
2.論文標題 Oxytocin effects on emotional response to others' faces via serotonin system in autism: A pilot study 3.雑誌名 Psychiatry Res. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.pscychresns.2017.06.015 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Kasagi Masato、Huang Zirui、Narita Kosuke、Shitara Hitoshi、Motegi Tomokazu、Suzuki Yusuke、Fujihara Kazuyuki、Tanabe Sean、Kosaka Hirotaka、Ujita Koichi、Fukuda Masato、Northoff Georg 2.論文標題	2017年 6.最初と最後の頁 45~50 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 2017
2.論文標題 Oxytocin effects on emotional response to others' faces via serotonin system in autism: A pilot study 3.雑誌名 Psychiatry Res. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.pscychresns.2017.06.015 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Kasagi Masato、Huang Zirui、Narita Kosuke、Shitara Hitoshi、Motegi Tomokazu、Suzuki Yusuke、Fujihara Kazuyuki、Tanabe Sean、Kosaka Hirotaka、Ujita Koichi、Fukuda Masato、Northoff Georg 2.論文標題 Association between Scale-Free Brain Dynamics and Behavioral Performance: Functional MRI Study in Resting State and Face Processing Task 3.雑誌名 Behav. Neurol.	2017年 6.最初と最後の頁 45~50 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 2017 5.発行年 2017年 6.最初と最後の頁 1~9
2.論文標題 Oxytocin effects on emotional response to others' faces via serotonin system in autism: A pilot study 3.雑誌名 Psychiatry Res. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.pscychresns.2017.06.015 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Kasagi Masato、Huang Zirui、Narita Kosuke、Shitara Hitoshi、Motegi Tomokazu、Suzuki Yusuke、Fujihara Kazuyuki、Tanabe Sean、Kosaka Hirotaka、Ujita Koichi、Fukuda Masato、Northoff Georg 2.論文標題 Association between Scale-Free Brain Dynamics and Behavioral Performance: Functional MRI Study in Resting State and Face Processing Task 3.雑誌名	2017年 6.最初と最後の頁 45~50 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 2017 5.発行年 2017年 6.最初と最後の頁

	T
1.著者名	4 . 巻
Ishikawa Mitsuhiko、Itakura Shoji、Tanabe Hiroki C.	2017
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
2 . 論文標題	5.発行年
Autistic Traits Affect P300 Response to Unexpected Events, regardless of Mental State	2017年
Inferences	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Autism Research and Treatment	
Autism Research and Treatment	1 ~ 10
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1155/2017/8195129	有
10.1133/2017/0193129	H
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
	<u> </u>
1 . 著者名	4.巻
飯高哲也	17
2 . 論文標題	5 . 発行年
安静時fMRIによる自閉スペクトラム症の評価	2017年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
分子精神医学	71-75
7) 1 TO TO TO	71-75
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
0.0	~ "
オープンアクセス	国際共著
	国际共有 目际共有
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
板倉昭二	40
似启咍	40
2 . 論文標題	5 . 発行年
赤ちゃんと社会性:社会的評価、向社会行動、および公平感	2017年
3 2 1 10 2 12 12 12 13 13 13 13 13 13 13 13 13 13 13 13 13	
2 NH 하는 선기	6.最初と最後の頁
3.雑誌名	
小児看護	1713-1719.
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	_
3 John Chellery Man John Exp	
1.著者名	4 . 巻
板倉昭二	66
2 . 論文標題	c
	5.発行年
ロボットと子どもの社会性の発達:Developmental Cyberneticsの視点	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
教育と医学1月号	33~41
叙目に囚子1月 写	JJ ~ 41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無 無
	 査読の有無 無
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし	無
掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス	
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし	無

Shikawa Mitsuhiko, Park Yun-hee, Kitazaki Michiteru, Itakura Shoji 12 12 12 13 14 15 15 15 15 15 15 15		
160 16	1,著者名	4 . 巻
2. 論文様題 Individual differences in object-processing explain the relationship between early gaze- following and later language development 3. 制証名 Cognition 4.6 元初と定後の頁 418-424 [編輯論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 1. 著名名 Ishikasa Mitsuhiko, Park Yun-hee, Kitazaki Michiteru, Itakura Shoji 2. 論文様題 3. 制証名 Coliformation affects adults 'evaluation of fairness in distributions: An ERP approach 2017年 3. 制証名 Coliformation affects adults 'evaluation of fairness in distributions: An ERP approach 2017年 3. 制証名 PLDS ONE ###################################		166
Individual differences in object-processing explain the relationship between early gaze- following and later language development 3	Training Tariating	
Individual differences in object-processing explain the relationship between early gaze- following and later language development 3	2、 4公分析 15	r 38/=/=
Tolloring and later language development 2		
3. 純純名 Cognition	Individual differences in object-processing explain the relationship between early gaze-	2017年
Alia - 424 18 - 424 18 - 424 18 - 424 18 - 424 18 - 424 18 - 424 18 - 424 18 - 424 18 - 424 18 - 424 19 -	following and later language development	
Alia - 424 18 - 424 18 - 424 18 - 424 18 - 424 18 - 424 18 - 424 18 - 424 18 - 424 18 - 424 18 - 424 19 -	3. 雑誌名	6 最初と最後の百
語語文のDOI(デジタルオブジェクト護別子) 1. 著名名 ishikawa Mitsuhiko、Park Yun-hee、Kitazaki Michiteru、Itakura Shoji 2. 論文標題 Social information affects adults' evaluation of fairness in distributions: An ERP approach 3. 結話名 PLOS ONE 10.1371/journal.pone.0172974 オープンアクセス 1. 著名名 ishikawa Mitsuhiko 2. 論文標題 5. 第行年 2017年		
1. 記載名 1. 記載名 1. 記載名 1. 記載名 1. 記載名 1. 記載名 1. 記載記 1. 記載名 1. 記載名 1. 記載記 1. 記述記 1. 記述記述記 1. 記述記述記述記述記述記述記述記述記述記述記述記述記述記述記述記述記述記述記述	Cognition	418 ~ 424
1. 記載名 1. 記載名 1. 記載名 1. 記載名 1. 記載名 1. 記載名 1. 記載記 1. 記載名 1. 記載名 1. 記載記 1. 記述記 1. 記述記述記 1. 記述記述記述記述記述記述記述記述記述記述記述記述記述記述記述記述記述記述記述		
1. 記載名 1. 記載名 1. 記載名 1. 記載名 1. 記載名 1. 記載名 1. 記載記 1. 記載名 1. 記載名 1. 記載記 1. 記述記 1. 記述記述記 1. 記述記述記述記述記述記述記述記述記述記述記述記述記述記述記述記述記述記述記述		
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著名名 [shikawa Mitsuhiko, Park Yun-hee, Kitazaki Michiteru, Itakura Shoji 2. 論文課題 5. 発行年 2017年 2017年 2017年 3. 雑誌名 PLOS ONE 6. 最初と最後の頁 e0172974 6. 最初と最後の頁 e0172974 7. オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著名名 [shikawa Mitsuhiko 2. 計算 2017年 2017年 2017年 2017年 2017年 2017年 2017年 2017年 2017年 2. 計算 2. 计算 2	掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著名名 [shikawa Mitsuhiko, Park Yun-hee, Kitazaki Michiteru, Itakura Shoji 2. 論文課題 5. 発行年 2017年 2017年 2017年 3. 雑誌名 PLOS ONE 6. 最初と最後の頁 e0172974 6. 最初と最後の頁 e0172974 7. オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著名名 [shikawa Mitsuhiko 2. 計算 2017年 2017年 2017年 2017年 2017年 2017年 2017年 2017年 2017年 2. 計算 2. 计算 2	10.1016/j.cognition.2017.06.005	有
1. 著名名 (shikawa Mitsuhiko, Park Yun-hee, Kitazaki Michiteru, Itakura Shoji 2. 論文標題 Social information affects adults' evaluation of fairness in distributions: An ERP approach 2017年 2017年 2017年 3. 雑誌名 PLOS ONE 6. 最初と最後の頁 e0172974 金読の有照 有 オープンアクセス 1. 業者名 (shikawa Mitsuhiko 2. まかず 2017年 2017年 2017年 2017年 2017年 2017年 2. 論文構題 5. 発行年 2017年 2. 論文構題 5. 発行年 2017年 2. 論文構題 6. 最初と最後の頁 e0172974 金読の有照 有 2. 論文構題 5. 発行年 2. 論文構題 6. 最初と最後の頁 2017年 2. 論文構題 6. 最初と最後の頁 2017年 2. 論文構題 6. 最初と最後の頁 2017年 2. 論文構題 6. 最初と最後の頁 5. 多元行年 2. 論文構題 6. 最初と最後の頁 5. 多元プンアクセス 1. 多元プンアクセス 2. 第二プンアクセス 2. 第二プンアクセスとしている(また、その予定である) 4. 巻 6. 最初と最後の頁 5. 第二プンアクセス 2. 第二型の 2		''3
1. 著名名 (shikawa Mitsuhiko, Park Yun-hee, Kitazaki Michiteru, Itakura Shoji 2. 論文標題 Social information affects adults' evaluation of fairness in distributions: An ERP approach 2017年 2017年 2017年 3. 雑誌名 PLOS ONE 6. 最初と最後の頁 e0172974 金読の有照 有 オープンアクセス 1. 業者名 (shikawa Mitsuhiko 2. まかず 2017年 2017年 2017年 2017年 2017年 2017年 2. 論文構題 5. 発行年 2017年 2. 論文構題 5. 発行年 2017年 2. 論文構題 6. 最初と最後の頁 e0172974 金読の有照 有 2. 論文構題 5. 発行年 2. 論文構題 6. 最初と最後の頁 2017年 2. 論文構題 6. 最初と最後の頁 2017年 2. 論文構題 6. 最初と最後の頁 2017年 2. 論文構題 6. 最初と最後の頁 5. 多元行年 2. 論文構題 6. 最初と最後の頁 5. 多元プンアクセス 1. 多元プンアクセス 2. 第二プンアクセス 2. 第二プンアクセスとしている(また、その予定である) 4. 巻 6. 最初と最後の頁 5. 第二プンアクセス 2. 第二型の 2	ナープンフクセフ	国際共革
1 ・著者名 shikawa Mitsuhiko, Park Yun-hee, Kitazaki Michiteru, Itakura Shoji 12 12 12 13 14 15 12 15 15 15 15 15 15	· · · · · - · ·	当际六有
Shikawa Mitsuhiko, Park Yun-hee, Kitazaki Michiteru, Itakura Shoji 12 2. 論文標題 5. 発行年 2017年 3. 雑誌名 7. アクセス 1. 著名名 Kim Sunae, Paulus Markus, Sodian Beate, Itakura Shoji, Ueno Mika, Senju Atsushi, Proust Jolle 2. 論文標題 5. 発行年 2018年 3. 雑誌名 3. 推誌名 5. 銀行年 2018年 3. 雑誌名 5. 銀行年 2018年 5. 銀行年 2018年 5. 銀行年 2017年 3. 雑誌名 5. 銀行年 2017年 3. 雑誌名 5. 銀行年 2017年 4. 巻 2. 銀成報題 5. 銀行年 2017年 6. 最初と最後の頁 5. 銀行年 2017年 6. 最初の句話 6. 最初と最後の頁 5. 銀行年 2017年 7. 東行子 2017年 6. 最初と最後の頁 5. 銀行年 2018年 6. 最初と最後の頁 6. 最初と最後の頁 5. 銀行年 2018年 6. 最初と最後の頁 5. 銀行子 2018年 6. 最初と最後の頁 5. 銀行年 2018年	オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
Shikawa Mitsuhiko, Park Yun-hee, Kitazaki Michiteru, Itakura Shoji 12 2. 論文標題 5. 発行年 2017年 3. 雑誌名 7. アクセス 1. 著名名 Kim Sunae, Paulus Markus, Sodian Beate, Itakura Shoji, Ueno Mika, Senju Atsushi, Proust Jolle 2. 論文標題 5. 発行年 2018年 3. 雑誌名 3. 推誌名 5. 銀行年 2018年 3. 雑誌名 5. 銀行年 2018年 5. 銀行年 2018年 5. 銀行年 2017年 3. 雑誌名 5. 銀行年 2017年 3. 雑誌名 5. 銀行年 2017年 4. 巻 2. 銀成報題 5. 銀行年 2017年 6. 最初と最後の頁 5. 銀行年 2017年 6. 最初の句話 6. 最初と最後の頁 5. 銀行年 2017年 7. 東行子 2017年 6. 最初と最後の頁 5. 銀行年 2018年 6. 最初と最後の頁 6. 最初と最後の頁 5. 銀行年 2018年 6. 最初と最後の頁 5. 銀行子 2018年 6. 最初と最後の頁 5. 銀行年 2018年		
Shikawa Mitsuhiko, Park Yun-hee, Kitazaki Michiteru, Itakura Shoji 12 2. 論文標題 5. 飛行年 2017年 2017年 3. 雑誌名 7. アクセス 1. 著名名 Kim Sunae, Paulus Markus, Sodian Beate, Itakura Shoji, Ueno Mika, Senju Atsushi, Proust Jolle 2. 論文標題 5. 銀行年 2018年 3. 雑誌名 3. 雑誌名 5. 銀行年 2018年 5. 銀行年 2018年 3. 雑誌名 5. 銀行年 2017年 3. 雑誌名 5. 銀行年 2017年 3. 雑誌名 5. 銀行年 2017年 4. 巻 2. 銀砂の間に対すりないののでは、デジタルオブジェクト識別子 5. 銀行年 2017年 4. 巻 2. 銀砂の間に対すりないののでは、デジタルオブジェクト識別子 5. 銀行年 2017年 4. 巻 2. 銀砂の間に対すりないのでは、デジタルオブジェクト識別子 5. 銀行年 2017年 5. 銀砂の間に対する 5. 銀行年 2017年 5. 銀行年 2017年 5. 銀行年 2017年 2017年 5. 銀行年 2018年 5. 銀砂の間に対する 6. 最初と最後の間 5. 銀砂の間に対する 6. 最初と最後の間をいるの目がはないののの目がはないのの目がはないのの目がはないのの目がはないのの目がはないのの目がはないのの目がはないのの目がはないのの目がはないのの目がはないのの目がはないの目がはないのの目がはないのの目がはないのの目がはないのの目がはないの目がはないのの目がはないのの目がはないのの目がはないの目がはないのの目がはないのの目がはないのの目がはないのの目がはないの目がはないのの目がはないのの目がはないのの目がはないの目がはないの目がはないのの目がはないの目がないの目がはな	1.著者名	4 . 巻
2. 論文標題 Social information affects adults' evaluation of fairness in distributions: An ERP approach 3. 雑誌名 PLOS ONE 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal pone.0172974 満本ープンアクセス コ	Ishikawa Mitsuhiko, Park Yun-hee, Kitazaki Michiteru, Itakura Shoii	12
Social information affects adults 'evaluation of fairness in distributions: An ERP approach 2017年 3. 雑誌名 PLOS ONE 6. 最初と最後の頁 e0172974 6. 最初と最後の頁 e0172974	Torridad artisarrido Tark Tarrido Kitazaki artistrola Tarkara Shoji	
Social information affects adults 'evaluation of fairness in distributions: An ERP approach 2017年 3. 雑誌名 PLOS ONE 6. 最初と最後の頁 e0172974 6. 最初と最後の頁 e0172974	2	F 琴/二左
3 . 雑誌名 PLOS ONE		
R戦論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0172974 カーブンアクセス 1 ※著名名 Ishikawa Mitsuhiko 2 …論文標題 Familiarity of Actors Affects Eye Gaze Processing During Observation of Goal-Directed Actions 3 …雑誌名 Psychology and Behavioral Science International Journal おープンアクセス 1 …著名名 「BN で	Social information affects adults' evaluation of fairness in distributions: An ERP approach	2017年
R戦論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0172974 カーブンアクセス 1 ※著名名 Ishikawa Mitsuhiko 2 …論文標題 Familiarity of Actors Affects Eye Gaze Processing During Observation of Goal-Directed Actions 3 …雑誌名 Psychology and Behavioral Science International Journal おープンアクセス 1 …著名名 「BN で	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
R戦論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0172974 カーブンアクセス 1 ※著名名 Ishikawa Mitsuhiko 2 …論文標題 Familiarity of Actors Affects Eye Gaze Processing During Observation of Goal-Directed Actions 3 …雑誌名 Psychology and Behavioral Science International Journal おープンアクセス 1 …著名名 「BN で	3. 雑誌名	6 最初と最後の百
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	*****	
### 10.1371/journal.pone.0172974 有	PLOS UNE	e0172974
### 10.1371/journal.pone.0172974 有		
### 10.1371/journal.pone.0172974 有		
オープンアクセス 1 . 著者名 Ishikawa Mitsuhiko 2 . 論文標題 Familiarity of Actors Affects Eye Gaze Processing During Observation of Goal-Directed Actions 3 . 雑誌名 Psychology and Behavioral Science International Journal 5 . 発行年 2017年 3 . 雑誌名 Psychology and Behavioral Science International Journal 6 . 最初と最後の頁 555592 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.19980/PBS1J.2017.02.555592 1 . 著者名 Kim Sunae, Paulus Markus, Sodian Beate, Itakura Shoji, Ueno Mika, Senju Atsushi, Proust Jolle 2 . 論文標題 Selective learning and teaching among Japanese and German children. 3 . 雑誌名 Developmental Psychology 最 . 第36-542 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1037/dev0000441 有 . 最初と最後の頁 536-542	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
オープンアクセス 1 . 著者名 Ishikawa Mitsuhiko 2 . 論文標題 Familiarity of Actors Affects Eye Gaze Processing During Observation of Goal-Directed Actions 3 . 雑誌名 Psychology and Behavioral Science International Journal 5 . 発行年 2017年 3 . 雑誌名 Psychology and Behavioral Science International Journal 6 . 最初と最後の頁 555592 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.19980/PBS1J.2017.02.555592 1 . 著者名 Kim Sunae, Paulus Markus, Sodian Beate, Itakura Shoji, Ueno Mika, Senju Atsushi, Proust Jolle 2 . 論文標題 Selective learning and teaching among Japanese and German children. 3 . 雑誌名 Developmental Psychology 最 . 第36-542 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1037/dev0000441 有 . 最初と最後の頁 536-542	10 1371/journal pone 0172974	有
### ### #############################	10.1017, journal .pono.017201	F
### ### #############################	ナープンファセフ	国欧共 菜
1.著者名 Ishikawa Mitsuhiko 2.論文標題 Familiarity of Actors Affects Eye Gaze Processing During Observation of Goal-Directed Actions 3.雑誌名 Psychology and Behavioral Science International Journal 6.最初と最後の頁 555592 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.19080/PBSIJ.2017.02.555592 1.著者名 Kim Sunae、Paulus Markus、Sodian Beate、Itakura Shoji、Ueno Mika、Senju Atsushi、Proust Jolle 2.論文標題 Selective learning and teaching among Japanese and German children. 3.雑誌名 Developmental Psychology 本 プンアクセス 国際共著 4.巻 2 常知と最後の頁 536~542 国際共著		
Ishikawa Mitsuhiko 2 2 2 2 2 2 2 2 2	オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
Ishikawa Mitsuhiko 2 2 2 2 2 2 2 2 2		
Ishikawa Mitsuhiko 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1. 著者名	4 . 巻
2. 論文標題 Familiarity of Actors Affects Eye Gaze Processing During Observation of Goal-Directed Actions 3. 雑誌名 Psychology and Behavioral Science International Journal 超識論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.19080/PBSIJ.2017.02.555592 有 オープンアクセス 1. 著者名 Kim Sunae、Paulus Markus、Sodian Beate、Itakura Shoji、Ueno Mika、Senju Atsushi、Proust Jolle 2. 論文標題 Selective learning and teaching among Japanese and German children. 3. 雑誌名 Developmental Psychology 超談文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1037/dev0000441 2	—	
Familiarity of Actors Affects Eye Gaze Processing During Observation of Goal-Directed Actions 2017年 3 . 雑誌名 Psychology and Behavioral Science International Journal 555592 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.19080/PBSIJ.2017.02.555592 有 オープンアクセス 1 . 著者名 Kim Sunae、Paulus Markus、Sodian Beate、Itakura Shoji、Ueno Mika、Senju Atsushi、Proust Jolle 2 . 論文標題 Selective learning and teaching among Japanese and German children. 3 . 雑誌名 Developmental Psychology 「表現の有無」 「1.101037/dev00000441 「本プンアクセス 「国際共著 2017年 6 . 最初と最後の頁 536~542 「表記の有無 6 . 最初と最後の頁 536~542 「表記の有無 7 . 一プンアクセス 「表記の有無 7 . 一プンアクセス 「日本アンアクセス 国際共著	ISHIRAWA WITSUHIKU	2
Familiarity of Actors Affects Eye Gaze Processing During Observation of Goal-Directed Actions 2017年 3 . 雑誌名 Psychology and Behavioral Science International Journal 555592 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.19080/PBSIJ.2017.02.555592 有 オープンアクセス 1 . 著者名 Kim Sunae、Paulus Markus、Sodian Beate、Itakura Shoji、Ueno Mika、Senju Atsushi、Proust Jolle 2 . 論文標題 Selective learning and teaching among Japanese and German children. 3 . 雑誌名 Developmental Psychology 「表現の有無」 「1.101037/dev00000441 「本プンアクセス 「国際共著 2017年 6 . 最初と最後の頁 536~542 「表記の有無 6 . 最初と最後の頁 536~542 「表記の有無 7 . 一プンアクセス 「表記の有無 7 . 一プンアクセス 「日本アンアクセス 国際共著	- AA	
3 . 雑誌名 Psychology and Behavioral Science International Journal 「西読の有無 有	2.論又標題	
3 . 雑誌名 Psychology and Behavioral Science International Journal 「西読の有無 10.19080/PBSIJ.2017.02.555592 「本ープンアクセス カープンアクセスとしている(また、その予定である) 「本ープンアクセスとしている(また、その予定である) 「本ープンアクセス 国際共著	Familiarity of Actors Affects Eye Gaze Processing During Observation of Goal-Directed Actions	2017年
Psychology and Behavioral Science International Journal 555592 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 有 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) コーズンアクセスとしている(また、その予定である) コーズンアクセスとしている(また、その予定である) コーズンアクセスとしている(また、その予定である) コーズンアクセスとしている(また、その予定である) コーズンアクセスとしている(また、その予定である) コーズンアクセスとしている(また、その予定である) コーズンアクセス は 一変 は できない は は できない は は できない は は できない は は は は できない は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	•
Psychology and Behavioral Science International Journal 555592 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 有 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) コーズンアクセスとしている(また、その予定である) コーズンアクセスとしている(また、その予定である) コーズンアクセスとしている(また、その予定である) コーズンアクセスとしている(また、その予定である) コーズンアクセスとしている(また、その予定である) コーズンアクセスとしている(また、その予定である) コーズンアクセス は 一変 は できない は は できない は は できない は は できない は は は は できない は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	3. 雑誌夕	6 最初と最後の百
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	*****	
10.19080/PBSIJ.2017.02.555592 有 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Kim Sunae、Paulus Markus、Sodian Beate、Itakura Shoji、Ueno Mika、Senju Atsushi、Proust Jolle 2.論文標題 Selective learning and teaching among Japanese and German children. 3.雑誌名 Developmental Psychology 6.最初と最後の頁 536~542 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1037/dev0000441 有 オープンアクセス 国際共著	Psychology and Benavioral Science International Journal	555592
10.19080/PBSIJ.2017.02.555592 有 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Kim Sunae、Paulus Markus、Sodian Beate、Itakura Shoji、Ueno Mika、Senju Atsushi、Proust Jolle 2.論文標題 Selective learning and teaching among Japanese and German children. 3.雑誌名 Developmental Psychology 「おんでは、「デジタルオブジェクト識別子」 10.1037/dev0000441 「本ープンアクセス 国際共著		
10.19080/PBSIJ.2017.02.555592 有 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Kim Sunae、Paulus Markus、Sodian Beate、Itakura Shoji、Ueno Mika、Senju Atsushi、Proust Jolle 2.論文標題 Selective learning and teaching among Japanese and German children. 3.雑誌名 Developmental Psychology 「おんでは、「デジタルオブジェクト識別子」 10.1037/dev0000441 「本ープンアクセス 国際共著		
10.19080/PBSIJ.2017.02.555592 有 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Kim Sunae、Paulus Markus、Sodian Beate、Itakura Shoji、Ueno Mika、Senju Atsushi、Proust Jolle 2.論文標題 Selective learning and teaching among Japanese and German children. 3.雑誌名 Developmental Psychology 「おんでは、「デジタルオブジェクト識別子」 10.1037/dev0000441 「本ープンアクセス 国際共著	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
オープンアクセス 国際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Kim Sunae、Paulus Markus、Sodian Beate、Itakura Shoji、Ueno Mika、Senju Atsushi、Proust Jolle 54 2 . 論文標題 Selective learning and teaching among Japanese and German children. 3 . 雑誌名 Developmental Psychology 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1037/dev0000441 有 国際共著		
オープンアクセスとしている(また、その予定である) - 1.著者名 Kim Sunae、Paulus Markus、Sodian Beate、Itakura Shoji、Ueno Mika、Senju Atsushi、Proust Jolle 54 2.論文標題 Selective learning and teaching among Japanese and German children. 5.発行年 2018年 3.雑誌名 Developmental Psychology 6.最初と最後の頁 536~542 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 有	10.1900071 0010.2017.02.300082	Ħ
オープンアクセスとしている(また、その予定である) - 1.著者名 Kim Sunae、Paulus Markus、Sodian Beate、Itakura Shoji、Ueno Mika、Senju Atsushi、Proust Jolle 54 2.論文標題 Selective learning and teaching among Japanese and German children. 5.発行年 2018年 3.雑誌名 Developmental Psychology 6.最初と最後の頁 536~542 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 有	# #\.\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	同 W +
1 . 著者名 Kim Sunae、Paulus Markus、Sodian Beate、Itakura Shoji、Ueno Mika、Senju Atsushi、Proust Jolle 2 . 論文標題 Selective learning and teaching among Japanese and German children. 3 . 雑誌名 Developmental Psychology 「表記の有無 10.1037/dev0000441 本ープンアクセス 「国際共著		国際共者
1 . 著者名 Kim Sunae、Paulus Markus、Sodian Beate、Itakura Shoji、Ueno Mika、Senju Atsushi、Proust Jolle 2 . 論文標題 Selective learning and teaching among Japanese and German children. 3 . 雑誌名 Developmental Psychology 「表記の有無 10.1037/dev0000441 本ープンアクセス 「国際共著	オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
Kim Sunae、Paulus Markus、Sodian Beate、Itakura Shoji、Ueno Mika、Senju Atsushi、Proust Jolle542.論文標題 Selective learning and teaching among Japanese and German children.5.発行年 2018年3.雑誌名 Developmental Psychology6.最初と最後の頁 536~542掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1037/dev0000441査読の有無 有オープンアクセス国際共著		
Kim Sunae、Paulus Markus、Sodian Beate、Itakura Shoji、Ueno Mika、Senju Atsushi、Proust Jolle542.論文標題 Selective learning and teaching among Japanese and German children.5.発行年 2018年3.雑誌名 Developmental Psychology6.最初と最後の頁 536~542掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1037/dev0000441査読の有無 有オープンアクセス国際共著	1 苯老夕	/
2.論文標題 Selective learning and teaching among Japanese and German children.5.発行年 2018年3.雑誌名 Developmental Psychology6.最初と最後の頁 536~542掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1037/dev0000441査読の有無 有オープンアクセス国際共著	—	_
Selective learning and teaching among Japanese and German children. 3.雑誌名 Developmental Psychology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1037/dev0000441 本ープンアクセス 2018年 6.最初と最後の頁 536~542 査読の有無 有	kim sunae, Paulus Markus, Sodian Beate, Itakura Shoji, Ueno Mika, Senju Atsushi, Proust Jolle	54
Selective learning and teaching among Japanese and German children. 3.雑誌名 Developmental Psychology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1037/dev0000441 本ープンアクセス 2018年 6.最初と最後の頁 536~542 査読の有無 有		
Selective learning and teaching among Japanese and German children. 3.雑誌名 Developmental Psychology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1037/dev0000441 本ープンアクセス 2018年 6.最初と最後の頁 536~542 査読の有無 有	2 . 論文標題	5.発行年
3 . 雑誌名 Developmental Psychology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1037/dev0000441 オープンアクセス 6 . 最初と最後の頁 536~542 査読の有無 有		
Developmental Psychology 536~542 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 10.1037/dev0000441 有 オープンアクセス 国際共著	conserve rearring and reasoning among expanded and outman entrainer.	2010-
Developmental Psychology 536~542 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 10.1037/dev0000441 有 オープンアクセス 国際共著	2 465+47	て 見知に見後の事
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 10.1037/dev0000441 有 国際共著		
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 10.1037/dev0000441 有 国際共著	Developmental Psychology	536 ~ 542
10.1037/dev0000441 有 オープンアクセス 国際共著		
10.1037/dev0000441 有 オープンアクセス 国際共著		
10.1037/dev0000441 有 オープンアクセス 国際共著	掲載絵文のNOI(デジタルオブジェクト禁則ス)	査詰の有無
オープンアクセス 国際共著		
	0.13 0.13 () of the (1000) 0.00 ()	石
	10.1037/dev0000441	[
つ ノフテノにへにはない、人はつ フフテノにヘが四無 談当する		
	オープンアクセス	国際共著

1 . 著者名 Broesch Tanya、Itakura Shoji、Rochat Philippe	4. 巻 48
2.論文標題 Learning From Others: Selective Requests by 3-Year-Olds of Three Cultures	5.発行年 2017年
3.雑誌名 Journal of Cross-Cultural Psychology	6.最初と最後の頁 1432~1441
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
10.1177/0022022117731093 	有 有 国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1 . 著者名 Yaku Hidenobu、Yoshida Yoshio、Okazawa Hidehiko、Kiyono Yasushi、Fujita Yuko、Miyoshi Daisuke	4.巻 89
2. 論文標題 Highly Sensitive Telomerase Assay Insusceptible to Telomerase and Polymerase Chain Reaction Inhibitors for Cervical Cancer Screening Using Scraped Cells	5.発行年 2017年
3.雑誌名 Analytical Chemistry	6.最初と最後の頁 6948~6953
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.analchem.6b04777	 査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1 . 著者名 Yaku Hidenobu、Yoshida Yoshio、Okazawa Hidehiko、Kiyono Yasushi、Fujita Yuko、Miyoshi Daisuke	4.巻 89
2. 論文標題 Highly Sensitive Telomerase Assay Insusceptible to Telomerase and Polymerase Chain Reaction Inhibitors for Cervical Cancer Screening Using Scraped Cells	5.発行年 2017年
3.雑誌名 Analytical Chemistry	6.最初と最後の頁 6948~6953
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1021/acs.analchem.6b04777	 査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1 . 著者名 Pornpattananangkul N, Hariri AR, Harada T, Mano Y, Komeda H, Parrish TB, Sadato N, Iidaka T, Chiao JY.	4.巻 139
2.論文標題 Cultural influences on neural basis of inhibitory control.	5.発行年 2016年
3 . 雑誌名 Neuroimage	6.最初と最後の頁 114-126
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroimage.2016.05.061	 査読の有無 有
オープンアクセス	国際共著

1 . 著者名 Harada T, Hayashi A, Sadato N, Iidaka T. 2 . 論文標題 Neural correlates of emotional contagion induced by happy and sad expressions. 5 . 発行年 2016年 3 . 雑誌名 Journal of Psychophysiology 「表彰の有無 10.1027/0269-8803/a000160 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 「国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
2.論文標題 Neural correlates of emotional contagion induced by happy and sad expressions.5.発行年 2016年3.雑誌名 Journal of Psychophysiology6.最初と最後の頁 114-123掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1027/0269-8803/a000160査読の有無 有オープンアクセス国際共著	
Neural correlates of emotional contagion induced by happy and sad expressions. 2016年 3.雑誌名 Journal of Psychophysiology 6.最初と最後の頁 114-123 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
Neural correlates of emotional contagion induced by happy and sad expressions. 2016年 3.雑誌名 Journal of Psychophysiology 6.最初と最後の頁 114-123 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
Journal of Psychophysiology114-123掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1027/0269-8803/a000160査読の有無 有オープンアクセス国際共著	
Journal of Psychophysiology114-123掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1027/0269-8803/a000160査読の有無 有オープンアクセス国際共著	
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1027/0269-8803/a000160 オープンアクセス 国際共著	
10.1027/0269-8803/a000160 有 オープンアクセス 国際共著	
オープンアクセス 国際共著	
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
1. 著者名 4. 巻	
Tokie Anme, Emiko Tanaka, Taeko Watanabe, Etsuko Tomisaki and Kumi Watanabe.	
2 . 論文標題 5 . 発行年	
Child development and the care enviornment: longitudinal perspective 2016年	
3.雑誌名 6.最初と最後の頁	
Anvances in psychology research 197-205	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無	
なし	
オープンアクセス 国際共著	
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 -	
. ##	
1.著者名 Wencan Chen, Emiko Tanakai, Kumi Watanabe, EtsukoTomisaki, Taeko Watanabe, Bailiang Wu, Tokie Anme. 4.巻 244	
2.論文標題 5.発行年	
The influence of home-rearing environment on children's behavioral problems 3 years' later 2016年	
3.雑誌名 6.最初と最後の頁	
Psychiatry Research 185-193	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無	
10.1016/j.psychres.2016.07.043	
オープンアクセス 国際共著	
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 該当する	
1 . 著者名 4 . 巻	
Tokie Anme, Emiko Tanaka, Taeko Watanabe, Etsuko Tomisaki, Yukiko Mochizuki.	
2 . 論文標題 5 . 発行年	
2.論文標題 Does Center-based Childcare Play a Role in Preventing Child Maltreatment? Evidence from a One-year Follow-up Study	
Does Center-based Childcare Play a Role in Preventing Child Maltreatment? Evidence from a One- year Follow-up Study 3.雑誌名 6.最初と最後の頁	
Does Center-based Childcare Play a Role in Preventing Child Maltreatment? Evidence from a One- year Follow-up Study 2016年	
Does Center-based Childcare Play a Role in Preventing Child Maltreatment? Evidence from a One- year Follow-up Study 3 . 雑誌名 International Journal of Applied Psychology 31-36	
Does Center-based Childcare Play a Role in Preventing Child Maltreatment? Evidence from a One- year Follow-up Study 3 . 雑誌名 International Journal of Applied Psychology 6 . 最初と最後の頁 31-36	
Does Center-based Childcare Play a Role in Preventing Child Maltreatment? Evidence from a One-year Follow-up Study 3.雑誌名 International Journal of Applied Psychology 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 査読の有無	

1 . 著者名 Islam Muhammad M.、Tsujikawa Tetsuya、Mori Tetsuya、Kiyono Yasushi、Okazawa Hidehiko	4.巻 31
2.論文標題	5 . 発行年
Pixel-by-pixel precise delay correction for measurement of cerebral hemodynamic parameters in H2 150 PET study	2017年
3.雑誌名 Annals of Nuclear Medicine	6.最初と最後の頁 283~294
Alliais of Nuclear Wedicine	203 - 234
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1007/s12149-017-1156-5	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する
1.著者名 Isozaki Makoto、Arai Yoshikazu、Higashino Yoshifumi、Okazawa Hidehiko、Kikuta Ken-ichiro	4. 巻 30
2.論文標題 Cerebral hyperperfusion syndrome resulting in subarachnoid hemorrhage after carotid artery stenting	5 . 発行年 2016年
3.雑誌名 Annals of Nuclear Medicine	6.最初と最後の頁 669~674
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12149-016-1108-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著
1 . 著者名 Tsujikawa T, Kimura H, Matsuda T, Fujiwara Y, Isozaki M, Kikuta K, Okazawa H.	4 . 巻
2.論文標題 Arterial transit time mapping obtained by pulsed continuous 3D ASL imaging with multiple post-label delay acquisitions: Comparative study with PET-CBF in patients with chronic occlusive cerebrovascular disease.	5 . 発行年 - 2016年
3.雑誌名 PLoS ONE	6 . 最初と最後の頁 e0156005
PLoS ONE	
PLoS ONE 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	e0156005 査読の有無
PLoS ONE 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0156005 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名	e0156005 査読の有無 有 国際共著 -
PLoS ONE 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0156005 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Morita T, Kosaka H, Saito DN, Fujii T, Ishitobi M, Munesue T, Inohara K, Okazawa H, Kakigi R, Sadato N.	e0156005 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 26
PLoS ONE 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0156005 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Morita T, Kosaka H, Saito DN, Fujii T, Ishitobi M, Munesue T, Inohara K, Okazawa H, Kakigi R, Sadato N. 2.論文標題 Neural correlates of emotion processing during observed self-face recognition in individuals with autism spectrum disorders	e0156005 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 26 5.発行年 2016年
PLoS ONE 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0156005 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Morita T, Kosaka H, Saito DN, Fujii T, Ishitobi M, Munesue T, Inohara K, Okazawa H, Kakigi R, Sadato N. 2.論文標題 Neural correlates of emotion processing during observed self-face recognition in individuals with autism spectrum disorders	e0156005 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 26
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0156005 オープンアクセス	e0156005 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 26 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 16-32 査読の有無
PLoS ONE 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0156005 オープンアクセス	e0156005 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 26 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 16-32

1 . 著者名 Kosaka H, Okamoto Y, Munesue T, Yamasue H, Inohara K, Fujioka T, Anme T, Orisaka M, Ishitobi M, Jung M, Fujisawa TX, Tanaka S, Arai S, Asano M, Saito DN, Sadato N, Tomoda A, Omori M, Sato M, Okazawa H, Higashida H, Wada Y.	4.巻 6
2.論文標題 Oxytocin efficacy is modulated by dosage and oxytocin receptor genotype in young adults with high-functioning autism: a 24-week randomized clinical trial.	5 . 発行年 2016年
3.雑誌名 Translational Psychiatry	6 . 最初と最後の頁 e872
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/tp.2016.152.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1.著者名 Yoshihara K, Tanabe HC, Kawamichi H, Koike T, Yamazaki M, Sudo N, Sadato N	4.巻 134
2.論文標題 Neural correlates of fear-induced sympathetic response associated with the peripheral temperature change rate.	5 . 発行年 2016年
3.雑誌名 Neuroimage	6 . 最初と最後の頁 522-531
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroimage.2016.04.040	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1. 著者名 Yeung AWK, Tanabe HC, Suen JLK, Goto T	4.巻 135
2.論文標題 Taste intensity modulates effective connectivity from the insula cortex to the thalamus in humans.	5 . 発行年 2016年
3.雑誌名 Neuroimage	6 . 最初と最後の頁 214-222
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroimage.2016.04.057	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する
1.著者名 Matsui T, Nakamura T, Utsumi A, Sasaki AT, Koike T, Yoshida Y, Harada T, Tanabe HC, Sadato N	4.巻 87
2.論文標題 The role of prosody and context in sarcasm comprehension: behavioral and fMRI evidence.	5 . 発行年 2016年
3.雑誌名 Neuropsychologia	6.最初と最後の頁 74-84
担耕込みのNO.1 / ごごカリナザジーカト部のフン	本芸の左無
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuropsychologia.2016.04.031	査読の有無有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

│ 1.著者名	4 . 巻
Goto TK, Yeung AW, Tanabe HC, Ito Y, Jung HS, Ninomiya Y	41
coto itt, roung itt, rando ito, rto i, oung ito, ittoriya i	
A A NEW	_ = ====
2 . 論文標題	5.発行年
Enhancement of combined umami and salty taste by glutathione in the human tongue and brain.	2016年
0. #####	C 877 87 87
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Chemical Senses	623-630
	3=3 333
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1093/chemse/bjw066	有
1811000, 010	
	E W 共 芸
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
4 ***	4 244
1 . 著者名	4 . 巻
吉岡歩、志和史朗、大隅尚広、田邊宏樹	14
2 *^	F 38/- F
2.論文標題	5.発行年
前頭葉機能を背景としたサイコパシー特性と意思決定の関連	2016年
2 M:+47	6 見知し目後の百
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
人間環境学研究	41 - 47
日 李 と	本芸の左便
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.4189/shes.14.41	有
オープンアクセス	国際共革
	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
(0.12, 1.12,	
1 . 著者名	4 . 巻
1 . 著者名	_
1 . 著者名 Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Matsunaga M, Tanabe HC, Ogino Y, Saito S, Sadato	_
1 . 著者名 Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Matsunaga M, Tanabe HC, Ogino Y, Saito S, Sadato N	7
1 . 著者名 Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Matsunaga M, Tanabe HC, Ogino Y, Saito S, Sadato N 2 . 論文標題	5 . 発行年
1 . 著者名 Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Matsunaga M, Tanabe HC, Ogino Y, Saito S, Sadato N 2 . 論文標題	5 . 発行年
1.著者名 Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Matsunaga M, Tanabe HC, Ogino Y, Saito S, Sadato N 2.論文標題 Being in a romantic relationship is associated with reduced gray matter density in striatum and	5 . 発行年
1 . 著者名 Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Matsunaga M, Tanabe HC, Ogino Y, Saito S, Sadato N 2 . 論文標題 Being in a romantic relationship is associated with reduced gray matter density in striatum and increased subjective happiness.	5.発行年 2016年
1 . 著者名 Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Matsunaga M, Tanabe HC, Ogino Y, Saito S, Sadato N 2 . 論文標題 Being in a romantic relationship is associated with reduced gray matter density in striatum and increased subjective happiness. 3 . 雑誌名	5 . 発行年
1 . 著者名 Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Matsunaga M, Tanabe HC, Ogino Y, Saito S, Sadato N 2 . 論文標題 Being in a romantic relationship is associated with reduced gray matter density in striatum and increased subjective happiness. 3 . 雑誌名	5.発行年 2016年
1 . 著者名 Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Matsunaga M, Tanabe HC, Ogino Y, Saito S, Sadato N 2 . 論文標題 Being in a romantic relationship is associated with reduced gray matter density in striatum and increased subjective happiness.	7 5.発行年 2016年 6.最初と最後の頁
1 . 著者名 Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Matsunaga M, Tanabe HC, Ogino Y, Saito S, Sadato N 2 . 論文標題 Being in a romantic relationship is associated with reduced gray matter density in striatum and increased subjective happiness. 3 . 雑誌名	7 5.発行年 2016年 6.最初と最後の頁
1 . 著者名 Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Matsunaga M, Tanabe HC, Ogino Y, Saito S, Sadato N 2 . 論文標題 Being in a romantic relationship is associated with reduced gray matter density in striatum and increased subjective happiness. 3 . 雑誌名 Frontiers in Psychology	7 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 1763
1 . 著者名 Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Matsunaga M, Tanabe HC, Ogino Y, Saito S, Sadato N 2 . 論文標題 Being in a romantic relationship is associated with reduced gray matter density in striatum and increased subjective happiness. 3 . 雑誌名	7 5.発行年 2016年 6.最初と最後の頁
1 . 著者名 Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Matsunaga M, Tanabe HC, Ogino Y, Saito S, Sadato N 2 . 論文標題 Being in a romantic relationship is associated with reduced gray matter density in striatum and increased subjective happiness. 3 . 雑誌名 Frontiers in Psychology	7 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 1763
1 . 著者名 Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Matsunaga M, Tanabe HC, Ogino Y, Saito S, Sadato N 2 . 論文標題 Being in a romantic relationship is associated with reduced gray matter density in striatum and increased subjective happiness. 3 . 雑誌名 Frontiers in Psychology	7 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 1763
1 . 著者名 Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Matsunaga M, Tanabe HC, Ogino Y, Saito S, Sadato N 2 . 論文標題 Being in a romantic relationship is associated with reduced gray matter density in striatum and increased subjective happiness. 3 . 雑誌名 Frontiers in Psychology 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2016.01763	7 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 1763 査読の有無 有
1 . 著者名 Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Matsunaga M, Tanabe HC, Ogino Y, Saito S, Sadato N 2 . 論文標題 Being in a romantic relationship is associated with reduced gray matter density in striatum and increased subjective happiness. 3 . 雑誌名 Frontiers in Psychology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2016.01763 オープンアクセス	7 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 1763
1 . 著者名 Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Matsunaga M, Tanabe HC, Ogino Y, Saito S, Sadato N 2 . 論文標題 Being in a romantic relationship is associated with reduced gray matter density in striatum and increased subjective happiness. 3 . 雑誌名 Frontiers in Psychology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2016.01763 オープンアクセス	7 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 1763 査読の有無 有
1 . 著者名 Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Matsunaga M, Tanabe HC, Ogino Y, Saito S, Sadato N 2 . 論文標題 Being in a romantic relationship is associated with reduced gray matter density in striatum and increased subjective happiness. 3 . 雑誌名 Frontiers in Psychology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2016.01763	7 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 1763 査読の有無 有
1 . 著者名 Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Matsunaga M, Tanabe HC, Ogino Y, Saito S, Sadato N 2 . 論文標題 Being in a romantic relationship is associated with reduced gray matter density in striatum and increased subjective happiness. 3 . 雑誌名 Frontiers in Psychology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2016.01763 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	7 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 1763 査読の有無 有 国際共著
1 . 著者名 Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Matsunaga M, Tanabe HC, Ogino Y, Saito S, Sadato N 2 . 論文標題 Being in a romantic relationship is associated with reduced gray matter density in striatum and increased subjective happiness. 3 . 雑誌名 Frontiers in Psychology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2016.01763 オープンアクセス	7 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 1763 査読の有無 有
1 . 著者名 Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Matsunaga M, Tanabe HC, Ogino Y, Saito S, Sadato N 2 . 論文標題 Being in a romantic relationship is associated with reduced gray matter density in striatum and increased subjective happiness. 3 . 雑誌名 Frontiers in Psychology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2016.01763 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	7 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 1763 査読の有無 有 国際共著
1 . 著者名 Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Matsunaga M, Tanabe HC, Ogino Y, Saito S, Sadato N 2 . 論文標題 Being in a romantic relationship is associated with reduced gray matter density in striatum and increased subjective happiness. 3 . 雑誌名 Frontiers in Psychology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2016.01763 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	7 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 1763 査読の有無 有 国際共著
1. 著者名 Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Matsunaga M, Tanabe HC, Ogino Y, Saito S, Sadato N 2. 論文標題 Being in a romantic relationship is associated with reduced gray matter density in striatum and increased subjective happiness. 3. 雑誌名 Frontiers in Psychology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2016.01763 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Jacquot, A., Eskenazi, T., Itakura, S., Sales-Wuillemin, E., Senju, A., Proust, J., Conty, L.	7 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 1763 査読の有無 有 国際共著
1 . 著者名 Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Matsunaga M, Tanabe HC, Ogino Y, Saito S, Sadato N 2 . 論文標題 Being in a romantic relationship is associated with reduced gray matter density in striatum and increased subjective happiness. 3 . 雑誌名 Frontiers in Psychology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2016.01763 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	7 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 1763 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 108 5 . 発行年
1 . 著者名 Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Matsunaga M, Tanabe HC, Ogino Y, Saito S, Sadato N 2 . 論文標題 Being in a romantic relationship is associated with reduced gray matter density in striatum and increased subjective happiness. 3 . 雑誌名 Frontiers in Psychology 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2016.01763 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Jacquot, A., Eskenazi, T., Itakura, S., Sales-Wuillemin, E., Senju, A., Proust, J., Conty, L.	7 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 1763 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 108 5 . 発行年
1 . 著者名 Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Matsunaga M, Tanabe HC, Ogino Y, Saito S, Sadato N 2 . 論文標題 Being in a romantic relationship is associated with reduced gray matter density in striatum and increased subjective happiness. 3 . 雑誌名 Frontiers in Psychology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2016.01763 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Jacquot, A., Eskenazi, T., Itakura, S., Sales-Wuillemin, E., Senju, A., Proust, J., Conty, L. 2 . 論文標題 Cross cultural differences in response to social feedback during metacognitive evaluations: An	7 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 1763 査読の有無 有 国際共著
1 . 著者名 Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Matsunaga M, Tanabe HC, Ogino Y, Saito S, Sadato N 2 . 論文標題 Being in a romantic relationship is associated with reduced gray matter density in striatum and increased subjective happiness. 3 . 雑誌名 Frontiers in Psychology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2016.01763 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Jacquot, A., Eskenazi, T., Itakura, S., Sales-Wuillemin, E., Senju, A., Proust, J., Conty, L. 2 . 論文標題 Cross cultural differences in response to social feedback during metacognitive evaluations: An electromyographic study.	7 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 1763 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 108 5 . 発行年 2016年
1 . 著者名 Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Matsunaga M, Tanabe HC, Ogino Y, Saito S, Sadato N 2 . 論文標題 Being in a romantic relationship is associated with reduced gray matter density in striatum and increased subjective happiness. 3 . 雑誌名 Frontiers in Psychology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2016.01763 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Jacquot, A., Eskenazi, T., Itakura, S., Sales-Wuillemin, E., Senju, A., Proust, J., Conty, L. 2 . 論文標題 Cross cultural differences in response to social feedback during metacognitive evaluations: An	7 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 1763 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 108 5 . 発行年
1 . 著者名 Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Matsunaga M, Tanabe HC, Ogino Y, Saito S, Sadato N 2 . 論文標題 Being in a romantic relationship is associated with reduced gray matter density in striatum and increased subjective happiness. 3 . 雑誌名 Frontiers in Psychology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2016.01763 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Jacquot, A., Eskenazi, T., Itakura, S., Sales-Wuillemin, E., Senju, A., Proust, J., Conty, L. 2 . 論文標題 Cross cultural differences in response to social feedback during metacognitive evaluations: An electromyographic study. 3 . 雑誌名	7 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 1763 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 108 5 . 発行年 2016年
1 . 著者名 Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Matsunaga M, Tanabe HC, Ogino Y, Saito S, Sadato N 2 . 論文標題 Being in a romantic relationship is associated with reduced gray matter density in striatum and increased subjective happiness. 3 . 雑誌名 Frontiers in Psychology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2016.01763 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Jacquot, A., Eskenazi, T., Itakura, S., Sales-Wuillemin, E., Senju, A., Proust, J., Conty, L. 2 . 論文標題 Cross cultural differences in response to social feedback during metacognitive evaluations: An electromyographic study.	7 5.発行年 2016年 6.最初と最後の頁 1763 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 108 5.発行年 2016年 6.最初と最後の頁
1 . 著者名 Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Matsunaga M, Tanabe HC, Ogino Y, Saito S, Sadato N 2 . 論文標題 Being in a romantic relationship is associated with reduced gray matter density in striatum and increased subjective happiness. 3 . 雑誌名 Frontiers in Psychology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2016.01763 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Jacquot, A., Eskenazi, T., Itakura, S., Sales-Wuillemin, E., Senju, A., Proust, J., Conty, L. 2 . 論文標題 Cross cultural differences in response to social feedback during metacognitive evaluations: An electromyographic study. 3 . 雑誌名	7 5.発行年 2016年 6.最初と最後の頁 1763 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 108 5.発行年 2016年 6.最初と最後の頁
1. 著者名 Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Matsunaga M, Tanabe HC, Ogino Y, Saito S, Sadato N 2. 論文標題 Being in a romantic relationship is associated with reduced gray matter density in striatum and increased subjective happiness. 3. 雑誌名 Frontiers in Psychology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2016.01763 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Jacquot, A., Eskenazi, T., Itakura, S., Sales-Wuillemin, E., Senju, A., Proust, J., Conty, L. 2. 論文標題 Cross cultural differences in response to social feedback during metacognitive evaluations: An electromyographic study. 3. 雑誌名 International Journal of Psychophysiology	7 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 1763 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 108 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 153-154
1 . 著者名 Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Matsunaga M, Tanabe HC, Ogino Y, Saito S, Sadato N 2 . 論文標題 Being in a romantic relationship is associated with reduced gray matter density in striatum and increased subjective happiness. 3 . 雑誌名 Frontiers in Psychology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2016.01763 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Jacquot, A., Eskenazi, T., Itakura, S., Sales-Wuillemin, E., Senju, A., Proust, J., Conty, L. 2 . 論文標題 Cross cultural differences in response to social feedback during metacognitive evaluations: An electromyographic study. 3 . 雑誌名	7 5.発行年 2016年 6.最初と最後の頁 1763 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 108 5.発行年 2016年 6.最初と最後の頁
1 . 著者名 Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Matsunaga M, Tanabe HC, Ogino Y, Saito S, Sadato N 2 . 論文標題 Being in a romantic relationship is associated with reduced gray matter density in striatum and increased subjective happiness. 3 . 雑誌名 Frontiers in Psychology 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2016.01763 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Jacquot, A., Eskenazi, T., Itakura, S., Sales-Wuillemin, E., Senju, A., Proust, J., Conty, L. 2 . 論文標題 Cross cultural differences in response to social feedback during metacognitive evaluations: An electromyographic study. 3 . 雑誌名 International Journal of Psychophysiology	7 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 1763 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 108 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 153-154 査読の有無
1. 著者名 Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Matsunaga M, Tanabe HC, Ogino Y, Saito S, Sadato N 2. 論文標題 Being in a romantic relationship is associated with reduced gray matter density in striatum and increased subjective happiness. 3. 雑誌名 Frontiers in Psychology 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2016.01763 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Jacquot, A., Eskenazi, T., Itakura, S., Sales-Wuillemin, E., Senju, A., Proust, J., Conty, L. 2. 論文標題 Cross cultural differences in response to social feedback during metacognitive evaluations: An electromyographic study. 3. 雑誌名 International Journal of Psychophysiology	7 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 1763 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 108 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 153-154
1. 著者名 Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Matsunaga M, Tanabe HC, Ogino Y, Saito S, Sadato N 2. 論文標題 Being in a romantic relationship is associated with reduced gray matter density in striatum and increased subjective happiness. 3. 雑誌名 Frontiers in Psychology 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2016.01763 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Jacquot, A., Eskenazi, T., Itakura, S., Sales-Wuillemin, E., Senju, A., Proust, J., Conty, L. 2. 論文標題 Cross cultural differences in response to social feedback during metacognitive evaluations: An electromyographic study. 3. 雑誌名 International Journal of Psychophysiology 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ijpsycho.2016.07.444	7 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 1763 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 108 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 153-154 査読の有無 有
1. 著者名 Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Matsunaga M, Tanabe HC, Ogino Y, Saito S, Sadato N 2. 論文標題 Being in a romantic relationship is associated with reduced gray matter density in striatum and increased subjective happiness. 3. 雑誌名 Frontiers in Psychology 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2016.01763 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Jacquot, A., Eskenazi, T., Itakura, S., Sales-Wuillemin, E., Senju, A., Proust, J., Conty, L. 2. 論文標題 Cross cultural differences in response to social feedback during metacognitive evaluations: An electromyographic study. 3. 雑誌名 International Journal of Psychophysiology	7 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 1763 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 108 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 153-154 査読の有無
1. 著者名 Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Matsunaga M, Tanabe HC, Ogino Y, Saito S, Sadato N 2. 論文標題 Being in a romantic relationship is associated with reduced gray matter density in striatum and increased subjective happiness. 3. 雑誌名 Frontiers in Psychology 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2016.01763 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Jacquot, A., Eskenazi, T., Itakura, S., Sales-Wuillemin, E., Senju, A., Proust, J., Conty, L. 2. 論文標題 Cross cultural differences in response to social feedback during metacognitive evaluations: An electromyographic study. 3. 雑誌名 International Journal of Psychophysiology 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ijpsycho.2016.07.444	7 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 1763 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 108 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 153-154 査読の有無 有

4 *************************************	1 4 244
1 . 著者名	4 . 巻
Ishikawa, M., Park, Y-h., Kitazaki, M., and Itakura, S.	12
0 *A-1=0=	- 3×/- /-
2.論文標題	5 . 発行年
Social information affects adults' evaluation of fairness in distributions: An ERP approach.	2017年
0 MM 0	C = 171 = 14 o =
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
PLoS ONE	e0172974
掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)	
0.1371/journal.pone.0172974	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1.著者名	4 . 巻
Okumura, Y., Kobayashi, T., and Itakura, S.	11
2 . 論文標題	5.発行年
Eye contact affects object representation in 9-month-old infants.	2016年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
PLoS ONE	e0165145
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
org/10.1371/journal.pone.0165145	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国际六 有
7 777 7 EXCOCKING (\$72, CONTRECONS)	
1 . 著者名	4 . 巻
Moriguchi, Y., Kanakogi, Y., Todo, N., Okumura, Y., Shinohara, I. and Itakura, S.	7
inorrigation, 1., narianogr, 1., 1000, 1., oraniara, 1., oraniara, 1. and realization, 0.	·
2.論文標題	5.発行年
Goal attribution toward non-human objects during infancy predicts imaginary companion status	2016年
during preschool years.	
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Frontiers in Psychology	221 (1-8)
-7 · · · · V /	- /
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.3389/fpsyg.2016.00221	有
	•
+ 1,2042	
	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名	- 4 . 巻
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 板倉昭二	- 4 . 巻 2
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名	- 4.巻 2 5.発行年
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 板倉昭二	- 4 . 巻 2
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 板倉昭二 2 . 論文標題 乳児における向社会行動の知覚 - 乳児にとってのナイス・エージェントとは? -	- 4.巻 2 5.発行年 2016年
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 板倉昭二 2 . 論文標題 乳児における向社会行動の知覚 - 乳児にとってのナイス・エージェントとは? - 3 . 雑誌名	- 4 . 巻 2 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 板倉昭二 2 . 論文標題 乳児における向社会行動の知覚 - 乳児にとってのナイス・エージェントとは? -	- 4.巻 2 5.発行年 2016年
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 板倉昭二 2 . 論文標題 乳児における向社会行動の知覚 - 乳児にとってのナイス・エージェントとは? - 3 . 雑誌名 エモーション・スタディーズ	- 4 . 巻 2 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 3-9
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 板倉昭二 2 . 論文標題 乳児における向社会行動の知覚 - 乳児にとってのナイス・エージェントとは? - 3 . 雑誌名 エモーション・スタディーズ	- 4 . 巻 2 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 板倉昭二 2 . 論文標題 乳児における向社会行動の知覚 - 乳児にとってのナイス・エージェントとは? - 3 . 雑誌名 エモーション・スタディーズ	- 4 . 巻 2 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 3-9
1 . 著者名 板倉昭二 2 . 論文標題 乳児における向社会行動の知覚 - 乳児にとってのナイス・エージェントとは? - 3 . 雑誌名 エモーション・スタディーズ 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	- 4 . 巻 2 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 3-9 査読の有無 有
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 板倉昭二 2 . 論文標題 乳児における向社会行動の知覚 - 乳児にとってのナイス・エージェントとは? - 3 . 雑誌名 エモーション・スタディーズ 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	- 4 . 巻 2 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 3-9

1.著者名	4 . 巻
Gomez-Tames J, Sugiyama Y, Laakso I, Tanaka S, Koyama S, Sadato N, Hirata A.	61
2.論文標題	5.発行年
Effect of microscopic modeling of skin in electrical and thermal analysis of transcranial	2016年
direct current stimulation.	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Physics in Medicine and Biology	8825-8838
,	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u></u> 査読の有無
10.1088/1361-6560/61/24/8825.	有
16:1666/1661 6666/6//21/6626	[-
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1 . 著者名	4 . 巻
Hirotani M, Terry JM and Sadato N .	7
interest in, terry on and educate is .	·
2 . 論文標題	5.発行年
Processing load imposed by line breaks in english temporal wh-questions. Front. Psychol	2016年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Front . Psychol	1465
Tront. Tsychol	1403
	* + o + m
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
10.3389/fpsyg.2016.01465.	有
	Control II deb
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1.著者名	4 . 巻
1.著者名 Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Kochiyama T, Sadato N.	4.巻 6
Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Kochiyama T, Sadato N.	6
Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Kochiyama T, Sadato N. 2 .論文標題	6
Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Kochiyama T, Sadato N. 2 . 論文標題 Increased frequency of social interaction is associated with enjoyment enhancement and reward	5 . 発行年
Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Kochiyama T, Sadato N. 2 . 論文標題 Increased frequency of social interaction is associated with enjoyment enhancement and reward system activation.	5.発行年 2016年
Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Kochiyama T, Sadato N. 2 . 論文標題 Increased frequency of social interaction is associated with enjoyment enhancement and reward system activation. 3 . 雑誌名	6 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁
Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Kochiyama T, Sadato N. 2 . 論文標題 Increased frequency of social interaction is associated with enjoyment enhancement and reward system activation.	5.発行年 2016年
Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Kochiyama T, Sadato N. 2 . 論文標題 Increased frequency of social interaction is associated with enjoyment enhancement and reward system activation. 3 . 雑誌名 Sci Rep.	6 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 24561
Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Kochiyama T, Sadato N. 2.論文標題 Increased frequency of social interaction is associated with enjoyment enhancement and reward system activation. 3.雑誌名 Sci Rep. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	6 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁
Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Kochiyama T, Sadato N. 2 . 論文標題 Increased frequency of social interaction is associated with enjoyment enhancement and reward system activation. 3 . 雑誌名 Sci Rep.	6 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 24561
Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Kochiyama T, Sadato N. 2.論文標題 Increased frequency of social interaction is associated with enjoyment enhancement and reward system activation. 3.雑誌名 Sci Rep. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep24561	6 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 24561 査読の有無 有
Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Kochiyama T, Sadato N. 2 . 論文標題 Increased frequency of social interaction is associated with enjoyment enhancement and reward system activation. 3 . 雑誌名 Sci Rep. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep24561 オープンアクセス	6 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 24561 査読の有無
Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Kochiyama T, Sadato N. 2 . 論文標題 Increased frequency of social interaction is associated with enjoyment enhancement and reward system activation. 3 . 雑誌名 Sci Rep. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep24561	6 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 24561 査読の有無 有
Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Kochiyama T, Sadato N. 2 . 論文標題 Increased frequency of social interaction is associated with enjoyment enhancement and reward system activation. 3 . 雑誌名 Sci Rep. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep24561 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	6 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 24561 査読の有無 有 国際共著
Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Kochiyama T, Sadato N. 2 . 論文標題 Increased frequency of social interaction is associated with enjoyment enhancement and reward system activation. 3 . 雑誌名 Sci Rep. 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep24561 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	6 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 24561 査読の有無 有 国際共著
Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Kochiyama T, Sadato N. 2 . 論文標題 Increased frequency of social interaction is associated with enjoyment enhancement and reward system activation. 3 . 雑誌名 Sci Rep. 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep24561 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	6 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 24561 査読の有無 有 国際共著
Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Kochiyama T, Sadato N. 2 . 論文標題 Increased frequency of social interaction is associated with enjoyment enhancement and reward system activation. 3 . 雑誌名 Sci Rep. 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep24561 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Kawamichi H, Yoshihara K, Sugawara SK, Matsunaga M, Makita K, Hamano YH, Tanabe HC, Sadato N.	6 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 24561 査読の有無 有 国際共著
Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Kochiyama T, Sadato N. 2 . 論文標題 Increased frequency of social interaction is associated with enjoyment enhancement and reward system activation. 3 . 雑誌名 Sci Rep. 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1038/srep24561 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Kawamichi H, Yoshihara K, Sugawara SK, Matsunaga M, Makita K, Hamano YH, Tanabe HC, Sadato N. 2 . 論文標題	6 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 24561 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 11
 Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Kochiyama T, Sadato N. 2.論文標題 Increased frequency of social interaction is associated with enjoyment enhancement and reward system activation. 3.雑誌名 Sci Rep. 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep24561 オープンアクセス	6 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 24561 査読の有無 有 国際共著
Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Kochiyama T, Sadato N. 2.論文標題 Increased frequency of social interaction is associated with enjoyment enhancement and reward system activation. 3.雑誌名 Sci Rep. 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep24561 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Kawamichi H, Yoshihara K, Sugawara SK, Matsunaga M, Makita K, Hamano YH, Tanabe HC, Sadato N. 2.論文標題 Helping behavior induced by empathic concern attenuates anterior cingulate activation in response to others' distress. Soc Neurosci.	6 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 24561 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 11 5 . 発行年 2016年
Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Kochiyama T, Sadato N. 2 . 論文標題 Increased frequency of social interaction is associated with enjoyment enhancement and reward system activation. 3 . 雑誌名 Sci Rep. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep24561 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Kawamichi H, Yoshihara K, Sugawara SK, Matsunaga M, Makita K, Hamano YH, Tanabe HC, Sadato N. 2 . 論文標題 Helping behavior induced by empathic concern attenuates anterior cingulate activation in response to others' distress. Soc Neurosci. 3 . 雑誌名	6 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 24561 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 11 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁
Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Kochiyama T, Sadato N. 2.論文標題 Increased frequency of social interaction is associated with enjoyment enhancement and reward system activation. 3.雑誌名 Sci Rep. 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep24561 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Kawamichi H, Yoshihara K, Sugawara SK, Matsunaga M, Makita K, Hamano YH, Tanabe HC, Sadato N. 2.論文標題 Helping behavior induced by empathic concern attenuates anterior cingulate activation in response to others' distress. Soc Neurosci.	6 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 24561 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 11 5 . 発行年 2016年
Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Kochiyama T, Sadato N. 2 . 論文標題 Increased frequency of social interaction is associated with enjoyment enhancement and reward system activation. 3 . 雑誌名 Sci Rep. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep24561 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Kawamichi H, Yoshihara K, Sugawara SK, Matsunaga M, Makita K, Hamano YH, Tanabe HC, Sadato N. 2 . 論文標題 Helping behavior induced by empathic concern attenuates anterior cingulate activation in response to others' distress. Soc Neurosci. 3 . 雑誌名	6 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 24561 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 11 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁
Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Kochiyama T, Sadato N. 2 . 論文標題 Increased frequency of social interaction is associated with enjoyment enhancement and reward system activation. 3 . 雑誌名 Sci Rep. 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep24561 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Kawamichi H, Yoshihara K, Sugawara SK, Matsunaga M, Makita K, Hamano YH, Tanabe HC, Sadato N. 2 . 論文標題 Helping behavior induced by empathic concern attenuates anterior cingulate activation in response to others' distress. Soc Neurosci. 3 . 雑誌名 Social neuroscience	5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 24561 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 11 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 109-122
 Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Kochiyama T, Sadato N. 2.論文標題 Increased frequency of social interaction is associated with enjoyment enhancement and reward system activation. 3.雑誌名 Sci Rep. 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep24561 オープンアクセス	6 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 24561 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 11 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 109-122
Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Kochiyama T, Sadato N. 2 . 論文標題 Increased frequency of social interaction is associated with enjoyment enhancement and reward system activation. 3 . 雑誌名 Sci Rep. 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep24561 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Kawamichi H, Yoshihara K, Sugawara SK, Matsunaga M, Makita K, Hamano YH, Tanabe HC, Sadato N. 2 . 論文標題 Helping behavior induced by empathic concern attenuates anterior cingulate activation in response to others' distress. Soc Neurosci. 3 . 雑誌名 Social neuroscience	5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 24561 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 11 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 109-122
 Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Kochiyama T, Sadato N. 2 . 論文標題 Increased frequency of social interaction is associated with enjoyment enhancement and reward system activation. 3 . 雑誌名 Sci Rep. 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep24561 オープンアクセス	5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 24561 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 11 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 109-122 査読の有無 有
 Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Kochiyama T, Sadato N. 2.論文標題 Increased frequency of social interaction is associated with enjoyment enhancement and reward system activation. 3.雑誌名 Sci Rep. 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep24561 オープンアクセス	6 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 24561 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 11 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 109-122

4 × 3447	. "
1 . 著者名	4.巻
Koike T, Tanabe HC, Okazaki S, Nakagawa E, Sasaki AT, Shimada K, Sugawara SK, Takahashi HK,	125
Yoshihara K, Bosch-Bayard J, Sadato N.	
2.論文標題	5 . 発行年
Neural substrates of shared attention as social memory: A hyperscanning functional magnetic	2016年
resonance imaging study.	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Neuroimage	401-412
y -	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.neuroimage.2015.09.076	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
1 . 著者名	4 . 巻
Laakso I, Tanaka S, Mikkonen M, Koyama S, Sadato N, Hirata A	137
y and y and y and y and an an an and an an an and an	
2 . 論文標題	5.発行年
Electric fields of motor and frontal tDCS in a standard brain space: A computer simulation	2016年
study.	2010 1
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Neuroimage	140-151
neut of mage	140-131
B載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.neuroimage.2016.05.032	有
10.1010/j.mod1011110g0.2010.002	[
t − プンアクセス	国際共著
. フラック Eス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1 W 1 / 9
1 . 著者名	4 . 巻
· · 됩니다 Matsunaga M, Kawamichi H, Koike T, Yoshihara K, Yoshida Y, Takahashi HK, Nakagawa E, Sadato N	134
mateurage m, namember ii, notice i, toethiata k, toethua i, takahashi iik, nakayawa E, sauato N	
り、論文煙頭	
2.論文標題 Structural and functional associations of the rostral anterior cingulate cortex with subjective	5.発行年
Structural and functional associations of the rostral anterior cingulate cortex with subjective	5.発行年
Structural and functional associations of the rostral anterior cingulate cortex with subjective happiness.	5.発行年 2016年
Structural and functional associations of the rostral anterior cingulate cortex with subjective happiness. 3.雑誌名	5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁
Structural and functional associations of the rostral anterior cingulate cortex with subjective happiness.	5.発行年 2016年
Structural and functional associations of the rostral anterior cingulate cortex with subjective happiness. 3.雑誌名	5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁
Structural and functional associations of the rostral anterior cingulate cortex with subjective happiness. 3 . 雑誌名 Neuroimage	5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 132-141
Structural and functional associations of the rostral anterior cingulate cortex with subjective happiness. 3.雑誌名 Neuroimage	5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 132-141 査読の有無
Structural and functional associations of the rostral anterior cingulate cortex with subjective happiness. 3.雑誌名 Neuroimage	5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 132-141
Structural and functional associations of the rostral anterior cingulate cortex with subjective happiness. 3. 雑誌名 Neuroimage 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroimage.2016.04.020.	5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 132-141 査読の有無 有
Structural and functional associations of the rostral anterior cingulate cortex with subjective happiness. 3. 雑誌名 Neuroimage 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroimage.2016.04.020.	5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 132-141 査読の有無
Structural and functional associations of the rostral anterior cingulate cortex with subjective happiness. 3. 雑誌名 Neuroimage 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroimage.2016.04.020.	5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 132-141 査読の有無 有
Structural and functional associations of the rostral anterior cingulate cortex with subjective happiness. 3. 雑誌名 Neuroimage 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroimage.2016.04.020. オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 132-141 査読の有無 有 国際共著
Structural and functional associations of the rostral anterior cingulate cortex with subjective happiness. 3. 雑誌名 Neuroimage の	5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 132-141 査読の有無 有 国際共著
Structural and functional associations of the rostral anterior cingulate cortex with subjective happiness. 3. 雑誌名 Neuroimage 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroimage.2016.04.020. オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 132-141 査読の有無 有 国際共著
Structural and functional associations of the rostral anterior cingulate cortex with subjective happiness. 3. 雑誌名 Neuroimage 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroimage.2016.04.020. オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Tanaka SC, Yamada K, Kitada R, Tanaka S, Sugawara SK, Ohtake F, Sadato N	5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 132-141 査読の有無 有 国際共著
Structural and functional associations of the rostral anterior cingulate cortex with subjective happiness. 3. 雑誌名 Neuroimage 「ロ.1016/j.neuroimage.2016.04.020. 「コンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Tanaka SC, Yamada K, Kitada R, Tanaka S, Sugawara SK, Ohtake F, Sadato N 2. 論文標題	5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 132-141 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 6
Structural and functional associations of the rostral anterior cingulate cortex with subjective happiness. 3. 雑誌名 Neuroimage 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroimage.2016.04.020. オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Tanaka SC, Yamada K, Kitada R, Tanaka S, Sugawara SK, Ohtake F, Sadato N	5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 132-141 査読の有無 有 国際共著
Structural and functional associations of the rostral anterior cingulate cortex with subjective happiness. 3. 雑誌名 Neuroimage Tanaka SC, Yamada K, Kitada R, Tanaka S, Sugawara SK, Ohtake F, Sadato N Neuroimage	5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 132-141 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 6
Structural and functional associations of the rostral anterior cingulate cortex with subjective happiness. 3. 雑誌名 Neuroimage 「ロープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 「著者名 Tanaka SC, Yamada K, Kitada R, Tanaka S, Sugawara SK, Ohtake F, Sadato N 「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 132-141 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 6 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁
Structural and functional associations of the rostral anterior cingulate cortex with subjective happiness. 3. 雑誌名 Neuroimage 「ロープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 「著者名 Tanaka SC, Yamada K, Kitada R, Tanaka S, Sugawara SK, Ohtake F, Sadato N 「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 132-141 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 6
Structural and functional associations of the rostral anterior cingulate cortex with subjective happiness. . 雑誌名 Neuroimage 載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroimage.2016.04.020. ープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) . 著者名 Tanaka SC, Yamada K, Kitada R, Tanaka S, Sugawara SK, Ohtake F, Sadato N . 論文標題 Overstatement in happiness reporting with ordinal, bounded scale. . 雑誌名	5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 132-141 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 6 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁
Structural and functional associations of the rostral anterior cingulate cortex with subjective happiness. 3. 雑誌名 Neuroimage おおされる	5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 132-141 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 6 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 21321
Structural and functional associations of the rostral anterior cingulate cortex with subjective happiness. 3 . 雑誌名 Neuroimage B載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroimage.2016.04.020. オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Tanaka SC, Yamada K, Kitada R, Tanaka S, Sugawara SK, Ohtake F, Sadato N 2 . 論文標題 Overstatement in happiness reporting with ordinal, bounded scale. 3 . 雑誌名 Scientific reports B載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 132-141 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 6 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 21321
Structural and functional associations of the rostral anterior cingulate cortex with subjective happiness. 3. 雑誌名 Neuroimage おおされる	5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 132-141 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 6 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 21321
Structural and functional associations of the rostral anterior cingulate cortex with subjective happiness. 3. 雑誌名 Neuroimage B載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroimage.2016.04.020. オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Tanaka SC, Yamada K, Kitada R, Tanaka S, Sugawara SK, Ohtake F, Sadato N 2. 論文標題 Overstatement in happiness reporting with ordinal, bounded scale. 3. 雑誌名 Scientific reports B載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1038/srep21321	5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 132-141 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 6 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 21321
Structural and functional associations of the rostral anterior cingulate cortex with subjective happiness. 3. 雑誌名 Neuroimage B戦論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroimage.2016.04.020. オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Tanaka SC, Yamada K, Kitada R, Tanaka S, Sugawara SK, Ohtake F, Sadato N 2. 論文標題 Overstatement in happiness reporting with ordinal, bounded scale. 3. 雑誌名 Scientific reports	5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 132-141 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 6 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 21321

1.著者名	. W
	4 . 巻
Tsurugizawa T, Tokuda S, Harada T, Takahashi T, Sadato N	11
2.論文標題	5 . 発行年
Pharmacological and expectancy effects of a low amount of alcohol drinking on outcome valuation	2010 年
and risk perception in males and females.	6 見知と見後の百
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Plos One	e0154083
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1371/journal.pone.0154083.	有
10.10/1/ journal.pune.0104003.	FFI
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 英名夕	4 *
1 . 著者名	4 . 巻
Yang J, Kitada R, Kochiyama T, Yu Y, Makita K, Araki Y, Wu J, Sadato N.	7
2. 論文標題	5.発行年
Brain networks involved in tactile speed classification of moving dot patterns: the effects of	2017年
speed and dot periodicity.	· ·
, 3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Scientific Reports	40931
引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1038/srep40931	有
10.1000/0104/10001	.
ープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	W-1/0
1.著者名	4 . 巻
Morita T, Kosaka H, Saito DN, Fujii T, Ishitobi M, Munesue T, Inohara K, Okazawa H, Kakigi R,	26
Sadato N	-
論文標題	5.発行年
- HINGS 1/1/100	
Neural correlates of emotion processing during observed self-face recognition in individuals	
Neural correlates of emotion processing during observed self-face recognition in individuals	2016年
with autism spectrum disorders	
with autism spectrum disorders 3.雑誌名	6.最初と最後の頁
with autism spectrum disorders	
with autism spectrum disorders 3.雑誌名 Research in Autism Spectrum Disorders	6 . 最初と最後の頁 16-32
with autism spectrum disorders . 雑誌名 Research in Autism Spectrum Disorders 載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	6.最初と最後の頁 16-32 査読の有無
with autism spectrum disorders 3. 雑誌名 Research in Autism Spectrum Disorders	6 . 最初と最後の頁 16-32
with autism spectrum disorders 3. 雑誌名 Research in Autism Spectrum Disorders 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.rasd.2016.02.011 オープンアクセス	6.最初と最後の頁 16-32 査読の有無
with autism spectrum disorders 3. 雑誌名 Research in Autism Spectrum Disorders 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.rasd.2016.02.011	6 . 最初と最後の頁 16-32 査読の有無 有
with autism spectrum disorders 7. 雑誌名 Research in Autism Spectrum Disorders 副載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.rasd.2016.02.011 コンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	6.最初と最後の頁 16-32 査読の有無 有 国際共著
with autism spectrum disorders 3. 雑誌名 Research in Autism Spectrum Disorders 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.rasd.2016.02.011 コンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	6.最初と最後の頁 16-32 査読の有無 有 国際共著
with autism spectrum disorders 7. 雑誌名 Research in Autism Spectrum Disorders 副載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.rasd.2016.02.011 コンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	6.最初と最後の頁 16-32 査読の有無 有 国際共著
with autism spectrum disorders 7. 雑誌名 Research in Autism Spectrum Disorders 副載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.rasd.2016.02.011 「一プンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) . 著者名 Kawamichi H, Kitada R, Yoshihara K, Takahashi H and Sadato N	6.最初と最後の頁 16-32 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 9
with autism spectrum disorders . 雑誌名 Research in Autism Spectrum Disorders 載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.rasd.2016.02.011 - ープンアクセス	6.最初と最後の頁 16-32 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 9
with autism spectrum disorders 7. 雑誌名 Research in Autism Spectrum Disorders 副載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.rasd.2016.02.011 「一プンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) . 著者名 Kawamichi H, Kitada R, Yoshihara K, Takahashi H and Sadato N	6.最初と最後の頁 16-32 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 9
with autism spectrum disorders 3. 雑誌名 Research in Autism Spectrum Disorders 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.rasd.2016.02.011 エープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) . 著者名 Kawamichi H, Kitada R, Yoshihara K, Takahashi H and Sadato N 2. 論文標題 Interpersonal touch suppresses visual processing of aversive stimuli	6.最初と最後の頁 16-32 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 9 5.発行年 2015年
with autism spectrum disorders	6.最初と最後の頁 16-32 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 9 5.発行年 2015年 6.最初と最後の頁
with autism spectrum disorders 3. 雑誌名 Research in Autism Spectrum Disorders 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.rasd.2016.02.011 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Kawamichi H, Kitada R, Yoshihara K, Takahashi H and Sadato N 2. 論文標題 Interpersonal touch suppresses visual processing of aversive stimuli	6.最初と最後の頁 16-32 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 9 5.発行年 2015年
with autism spectrum disorders 3. 雑誌名 Research in Autism Spectrum Disorders 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.rasd.2016.02.011 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Kawamichi H, Kitada R, Yoshihara K, Takahashi H and Sadato N 2. 論文標題 Interpersonal touch suppresses visual processing of aversive stimuli 3. 雑誌名 Front. Hum. Neurosci.	6.最初と最後の頁 16-32 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 9 5.発行年 2015年 6.最初と最後の頁 164
with autism spectrum disorders 3. 雑誌名 Research in Autism Spectrum Disorders 3載輸文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.rasd.2016.02.011 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Kawamichi H, Kitada R, Yoshihara K, Takahashi H and Sadato N 2. 論文標題 Interpersonal touch suppresses visual processing of aversive stimuli 3. 雑誌名 Front. Hum. Neurosci.	6.最初と最後の頁 16-32 査読の有無 有 国際共著 4.巻 9 5.発行年 2015年 6.最初と最後の頁 164
with autism spectrum disorders 3. 雑誌名 Research in Autism Spectrum Disorders 3載輸文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.rasd.2016.02.011 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Kawamichi H, Kitada R, Yoshihara K, Takahashi H and Sadato N 2. 論文標題 Interpersonal touch suppresses visual processing of aversive stimuli 3. 雑誌名 Front. Hum. Neurosci.	6.最初と最後の頁 16-32 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 9 5.発行年 2015年 6.最初と最後の頁 164
with autism spectrum disorders 3. 雑誌名 Research in Autism Spectrum Disorders 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.rasd.2016.02.011 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Kawamichi H, Kitada R, Yoshihara K, Takahashi H and Sadato N 2. 論文標題 Interpersonal touch suppresses visual processing of aversive stimuli 3. 雑誌名 Front. Hum. Neurosci.	6.最初と最後の頁 16-32 査読の有無 有 国際共著 4.巻 9 5.発行年 2015年 6.最初と最後の頁 164

1 艾之夕	1
1. 著者名 Chimada K. Hiratani M. Vakakawa H. Vashida H. Makita K. Vamazaki Muraga M. Taraha HC. Cadata N.	4.巻 300
Shimada K, Hirotani M, Yokokawa H, Yoshida H, Makita K, Yamazaki-Murase M, Tanabe HC, Sadato N	300
2.論文標題	5.発行年
	2015年
Fluency-dependent cortical activation associated with speech production and comprehension in	2015年
second language learners	c = 40 = 7
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Neuroscience	474-492
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.neuroscience.2015.05.045	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	四际代名
オープンデクセスとしている(また、その子足である)	-
1 . 著者名	4 . 巻
	9
Mizuno K, Tanaka M, Tanabe H. C, Joudoi T, Kawatani J, Shigihara Y, Tomoda A, Miike T, Imai- Matsumura K, Sadato N, Watanabe Y	9
2.論文標題	5.発行年
·····	
Less efficient and costly processes of frontal cortex in childhood chronic fatigue syndrome	2015年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
	355-368
Neuroimage: Clinical	300-300
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.nicl.2015.09.001	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4 . 巻
Hayashi MJ, Ditye T, Harada T, Hashiguchi M, Sadato N, Carlson S, et al.	13
2.論文標題	5 . 発行年
Time adaptation shows duration selectivity in the human parietal cortex	2015年
The adaptation of the desired the second training for the second training to the second training to the second training	20.0 (
3.雑誌名	 6.最初と最後の百
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
3.雑誌名 PLoS Biol.	6.最初と最後の頁 e1002262
PLoS Biol.	
PLoS Biol.	e1002262
PLoS Biol. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pbio.1002262	e1002262 査読の有無 有
PLoS Biol. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pbio.1002262 オープンアクセス	e1002262 査読の有無 有 国際共著
PLoS Biol. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pbio.1002262	e1002262 査読の有無 有
PLoS Biol. 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pbio.1002262 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	e1002262 査読の有無 有 国際共著 該当する
PLoS Biol. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pbio.1002262 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名	e1002262 査読の有無 有 国際共著 該当する
PLoS Biol. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pbio.1002262 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	e1002262 査読の有無 有 国際共著 該当する
PLoS Biol. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pbio.1002262 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Okazaki S, Hirotani M, Koike T, Bosch-Bayard J, Takahashi HK, Hashiguchi M, Sadato N	e1002262 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 10
PLoS Biol. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pbio.1002262 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Okazaki S, Hirotani M, Koike T, Bosch-Bayard J, Takahashi HK, Hashiguchi M, Sadato N 2 . 論文標題	e1002262 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 10
PLoS Biol. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pbio.1002262 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Okazaki S, Hirotani M, Koike T, Bosch-Bayard J, Takahashi HK, Hashiguchi M, Sadato N 2 . 論文標題 Unintentional interpersonal synchronization represented as a reciprocal visuo-postural feedback	e1002262 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 10
PLoS Biol. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pbio.1002262 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Okazaki S, Hirotani M, Koike T, Bosch-Bayard J, Takahashi HK, Hashiguchi M, Sadato N 2 . 論文標題	e1002262 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 10 5 . 発行年 2015年
PLoS Biol. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pbio.1002262 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Okazaki S, Hirotani M, Koike T, Bosch-Bayard J, Takahashi HK, Hashiguchi M, Sadato N 2 . 論文標題 Unintentional interpersonal synchronization represented as a reciprocal visuo-postural feedback	e1002262 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 10
PLoS Biol. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pbio.1002262 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Okazaki S, Hirotani M, Koike T, Bosch-Bayard J, Takahashi HK, Hashiguchi M, Sadato N 2 . 論文標題 Unintentional interpersonal synchronization represented as a reciprocal visuo-postural feedback system: a multivariate autoregressive modeling approach	e1002262 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 10 5 . 発行年 2015年
PLoS Biol. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pbio.1002262 オープンアクセス	e1002262 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 10 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pbio.1002262 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Okazaki S, Hirotani M, Koike T, Bosch-Bayard J, Takahashi HK, Hashiguchi M, Sadato N 2 . 論文標題 Unintentional interpersonal synchronization represented as a reciprocal visuo-postural feedback system: a multivariate autoregressive modeling approach 3 . 雑誌名 PLOSONE	e1002262 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 10 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 e0137126
PLoS Biol. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pbio.1002262 オープンアクセス	e1002262 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 10 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 e0137126
PLoS Biol. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pbio.1002262 オープンアクセス	e1002262 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 10 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 e0137126
PLoS Biol. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pbio.1002262 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Okazaki S, Hirotani M, Koike T, Bosch-Bayard J, Takahashi HK, Hashiguchi M, Sadato N 2 . 論文標題 Unintentional interpersonal synchronization represented as a reciprocal visuo-postural feedback system: a multivariate autoregressive modeling approach 3 . 雑誌名 PLOSONE 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0137126	e1002262 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 10 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 e0137126 査読の有無 有
PLoS Biol. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pbio.1002262 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Okazaki S, Hirotani M, Koike T, Bosch-Bayard J, Takahashi HK, Hashiguchi M, Sadato N 2.論文標題 Unintentional interpersonal synchronization represented as a reciprocal visuo-postural feedback system: a multivariate autoregressive modeling approach 3.雑誌名 PLOSONE	e1002262 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 10 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 e0137126

1.著者名	4 . 巻
Mizuno K, Takiguchi S, Yamazaki M, Asano M, Kato S, Kuriyama K, Watanabe Y, Sadato N, Tomoda A	17
2.論文標題	5.発行年
Impaired neural reward processing in children and adolescents with reactive attachment	2015年
disorder: A pilot study	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Asian J Psychiatr.	88-93
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
10.1016/j.ajp.2015.08.002	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 英老夕	4 . 巻
1 . 著者名 Koike T, Tanabe HC, Okazaki S, Nakagawa E, Sasaki AT, Shimada K, Sugawara SK, Takahashi HK, Yoshihara K, Bosch-Bayard J, Sadato N	4 . 살 125
2 . 論文標題	5.発行年
Neural substrates of shared attention as social memory: A hyperscanning functional magnetic resonance imaging study	2015年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Neuroimage	401-412
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.neuroimage.2015.09.076	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1 ***	۸ *
1 . 著者名 Hayashi MJ, Ditye T, Harada T, Hashiguchi M, Sadato N, Carlson S, Walsh V, Kanai R	4.巻 13
2 . 論文標題	5.発行年
Correction: Time Adaptation Shows Duration Selectivity in the Human Parietal Cortex	2015年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
PLoS Biol.	e1002296
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
10.1371/journal.pbio.1002296	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1 . 著者名	4 . 巻
Takahashi HK, Kitada R, Sasaki AT, Kawamichi H, Okazaki S, Kochiyama T, Sadato N	4 . 살 101
2 . 論文標題	5.発行年
Brain networks of affective mentalizing revealed by the tear effect: The integrative role of the medial prefrontal cortex and precuneus	2015年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Neurosci Res.	32-43
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.neures.2015.07.005	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	

オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13229-015-0028-x	査読の有無有
3.雑誌名 Mol Autism	6.最初と最後の頁 13-19
2 . 論文標題 Sex-different abnormalities in the right second to fourth digit ratio in Japanese individuals with autism spectrum disorders	5 . 発行年 2015年
1 . 著者名 Masuya Y, Okamoto Y, Inohara K, Matsumura Y, Fujioka T, Wada Y, Kosaka H	4.巻 6
	· ·
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0135357	査読の有無 有
3.雑誌名 PLOS ONE	6.最初と最後の頁 e0135357
2.論文標題 Developmental Trajectories of Social Skills during Early Childhood and Links to Parenting Practices in a Japanese Sample	5 . 発行年 2015年
1 . 著者名 Yusuke Takahashi, Kensuke Okada, Takahiro Hoshino, Tokie Anme	4.巻 10
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
オープンアクセス オープンアクセス	国際共著
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2015.07.003	 査読の有無 有
3.雑誌名 Clin Neurophysiol.	6.最初と最後の頁 827-832
2.論文標題 A transcranial direct current stimulation over the sensorimotor cortex modulates the itch sensation induced by histamine	5 . 発行年 2016年
1 . 著者名 Nakagawa K, Mochizuki H, Koyama S, Tanaka S, Sadato N, Kakigi R	4.巻 127
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
オープンアクセス	国際共著
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.3389/fnhum.2015.00720	 査読の有無 有
3.雑誌名 Front. Hum. Neurosci.	6.最初と最後の頁 720
2.論文標題 The brain mechanisms underlying the perception of pungent taste of capsaicin and the subsequent autonomic responses	5 . 発行年 2016年
1 . 著者名 Kawakami S, Sato H, Sasaki AT, Tanabe HC, Yoshida Y, Saito M, Toyoda H, Sadato N and Kang Y	4.巻 9

1.著者名 Shimada K, Takiguchi S, Mizushima S, Fujisawa TX, Saito DN, Kosaka H, Okazawa H, Tomoda A.	4.巻
2.論文標題 Reduced visual cortex gray matter volume in children with reactive attachment disorder	5 . 発行年 2015年
3.雑誌名 Neurolmage Clinical	6.最初と最後の頁 13-19
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.nicl.2015.07.001	 査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1 . 著者名 Jung M, Maria M, Saito DN, Tomoda A, Okazawa H, Wada Y, Kosaka H	4.巻 10
2.論文標題 Sex differences in the default mode network with autism spectrum traits	5 . 発行年 2015年
3.雑誌名 PLoS ONE	6.最初と最後の頁 e0143126
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0143126	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する
1.著者名 Munesue T, Nakamura H, Kikuchi M, Miura Y, Takeuchi N, Anme T, Nanba E, Adachi K, Tsubouchi K, Sai Y, Miyamoto K, Horike S, Yokoyama S, Nakatani H, Kosaka H, Minabe Y, Higashida H	4.巻
2.論文標題 Oxytocin for male subjects with autism spectrum disorder and comorbid intellectual disabilities: A randomized pilot study	5 . 発行年 2016年
3.雑誌名 Frontiers in Psychiatry	6.最初と最後の頁2
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyt.2016.00002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1 . 著者名 Fujioka T, Inohara K, Okamoto Y, Masuya Y, Ishitobi M, Saito DN, Jung M, Arai S, Matsumura Y, Fujisawa TX, Narita K, Suzuki K, Tsuchiya KJ, Mori N, Katayama T, Sato M, Munesue T, Okazawa H, Tomoda A, Wada Y, Kosaka H	4.巻 7
2.論文標題 Gazefinder as a clinical supplementary tool for discriminating between autism spectrum disorder and typical development in male adolescents and adults	5 . 発行年 2016年
3. 雑誌名 Molecular AutismBrain	6.最初と最後の頁 19
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13229-016-0083-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1.著者名	4 . 巻
Suzuki A, Ito Y, Kiyama S, Kunimi M, Ohira H, Kawaguchi J, Tanabe HC, Nakai T	10
2.論文標題	F 整仁在
	5.発行年
Involvement of the ventrolateral prefrontal cortex in learning others' bad reputations and	2016年
indelible disgust	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Front. Hum. Neurosci.	28
Front. Hull. Neurosci.	20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	<u>│</u> 査読の有無
10.3389/fnhum.2016.00028	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
	•
1.著者名	4 . 巻
	7
Moriguchi, Y., Kanakogi, Y., Todo, N., Okumura, Y., Shinohara, I. and Itakura, S.	,
2.論文標題	5.発行年
Goal attribution toward non-human objects during infancy predicts imaginary companion status	2016年
during preschool years	2010-
3.雑誌名	6 早知し早後の古
	6.最初と最後の頁
Frontiers in Psychology	211
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
10.3389/fpsyg.2016.00221	有
オープンアクセス	国際共著
	四际共有
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 英老夕	A 类
1 . 著者名	4.巻
板倉昭二・開一夫	58
2 - 岭立価昭	F 発行生
2.論文標題	5 . 発行年
乳児における共感の発達でその認知基盤神経基盤	2016年
乳児における共感の発達 その認知基盤神経基盤	
乳児における共感の発達 その認知基盤神経基盤 3.雑誌名	2016年 6 . 最初と最後の頁
乳児における共感の発達 その認知基盤神経基盤 3.雑誌名	
乳児における共感の発達 その認知基盤神経基盤	6 . 最初と最後の頁
乳児における共感の発達 その認知基盤神経基盤 3.雑誌名 心理学評論	6.最初と最後の頁 345-356
乳児における共感の発達 その認知基盤神経基盤 3.雑誌名 心理学評論 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	6.最初と最後の頁 345-356 査読の有無
乳児における共感の発達 その認知基盤神経基盤 3.雑誌名 心理学評論	6.最初と最後の頁 345-356
乳児における共感の発達 その認知基盤神経基盤 3.雑誌名 心理学評論 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	6 . 最初と最後の頁 345-356 査読の有無 有
乳児における共感の発達 その認知基盤神経基盤 3.雑誌名 心理学評論 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	6.最初と最後の頁 345-356 査読の有無
乳児における共感の発達 その認知基盤神経基盤3.雑誌名 心理学評論掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なしオープンアクセス	6 . 最初と最後の頁 345-356 査読の有無 有
乳児における共感の発達 その認知基盤神経基盤3.雑誌名 心理学評論掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なしオープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	6 . 最初と最後の頁 345-356 査読の有無 有
乳児における共感の発達 その認知基盤神経基盤 3.雑誌名 心理学評論 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	6.最初と最後の頁 345-356 査読の有無 有 国際共著
乳児における共感の発達 その認知基盤神経基盤 3.雑誌名 心理学評論 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	6 . 最初と最後の頁 345-356 査読の有無 有 国際共著
 乳児における共感の発達 その認知基盤神経基盤 3.雑誌名 心理学評論 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	6.最初と最後の頁 345-356 査読の有無 有 国際共著
乳児における共感の発達その認知基盤神経基盤3.雑誌名 心理学評論掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なしオープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難1.著者名 池田彩夏・小林哲生・板倉昭二2.論文標題	6.最初と最後の頁 345-356 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 23
 乳児における共感の発達 その認知基盤神経基盤 3 . 雑誌名 心理学評論 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	6.最初と最後の頁 345-356 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 23
乳児における共感の発達 その認知基盤神経基盤 3 . 雑誌名 心理学評論 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 池田彩夏・小林哲生・板倉昭二 2 . 論文標題 日本語母語話者の対乳幼児発話における格助詞省略	6.最初と最後の頁 345-356 査読の有無 有 国際共著 4.巻 23 5.発行年 2016年
乳児における共感の発達 その認知基盤神経基盤 3 . 雑誌名 心理学評論 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 池田彩夏・小林哲生・板倉昭二 2 . 論文標題 日本語母語話者の対乳幼児発話における格助詞省略 3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁 345-356 査読の有無 有 国際共著 4.巻 23 5.発行年 2016年 6.最初と最後の頁
 乳児における共感の発達 その認知基盤神経基盤 3.雑誌名 心理学評論 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	6.最初と最後の頁 345-356 査読の有無 有 国際共著 4.巻 23 5.発行年 2016年
乳児における共感の発達 その認知基盤神経基盤 3 . 雑誌名 心理学評論 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 池田彩夏・小林哲生・板倉昭二 2 . 論文標題 日本語母語話者の対乳幼児発話における格助詞省略 3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁 345-356 査読の有無 有 国際共著 4.巻 23 5.発行年 2016年 6.最初と最後の頁
乳児における共感の発達 その認知基盤神経基盤 3 . 雑誌名 心理学評論 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 池田彩夏・小林哲生・板倉昭二 2 . 論文標題 日本語母語話者の対乳幼児発話における格助詞省略 3 . 雑誌名 認知科学	6.最初と最後の頁 345-356 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 23 5.発行年 2016年 6.最初と最後の頁 8-21
 乳児における共感の発達 その認知基盤神経基盤 3.雑誌名 心理学評論 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	6 . 最初と最後の頁 345-356 査読の有無 有 国際共著 4 . 巻 23 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 8-21
 乳児における共感の発達 その認知基盤神経基盤 3.雑誌名 心理学評論 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	6.最初と最後の頁 345-356 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 23 5.発行年 2016年 6.最初と最後の頁 8-21
乳児における共感の発達 その認知基盤神経基盤	6.最初と最後の頁 345-356 査読の有無 有 国際共著 4.巻 23 5.発行年 2016年 6.最初と最後の頁 8-21
 乳児における共感の発達 その認知基盤神経基盤 3.雑誌名 心理学評論 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 池田彩夏・小林哲生・板倉昭二 2.論文標題 日本語母語話者の対乳幼児発話における格助詞省略 3.雑誌名 認知科学 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 	6 . 最初と最後の頁 345-356 査読の有無 有 国際共著 4 . 巻 23 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 8-21

. ***	1 . w
1 . 著者名	4 . 巻
Suzuki, Y., Galli, L., Ikeda, A., Itakura, S., and Kitazaki, M	5
A A A LETT	= 7V./= h=
2 . 論文標題	5 . 発行年
Measuring empathy for human and robot hand pain using electroencephalography.	2015年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Scientific Reports	15942
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1038/srep15924	有
·	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	_
	-
1 . 著者名	4 . 巻
Kannegiesser, P., Itakura, S., Zhou, Y., Kanda, T., Ishiguro, H., & Hood, B.	16
Kalliegresser, 1., Trakura, 6., 2164, 1., Kallea, 1., 1311guro, 11., 4 1664, 5.	
2.論文標題	5.発行年
The role of social eye-gaze in children's and adults' ownership attributions to robotic agents	2015年
in three cultures	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Interaction Studies	1-28
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.10 75/is. 16.1.01.kan	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1.著者名	4 . 巻
Okanda, M., Asada, K., Moriguchi, Y., & Itakura, S	6
2 . 論文標題	5.発行年
Understanding Violations of Gricean Maxims in Preschoolers and Adults	2015年
charteraring violations of critical maxims in resonanties and hadres	2010-
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Frontiers in Psychology	901
Frontiers in Esychology	901
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u> </u>
org/10.3389/fpsyg.2015.00901	有
オープンアクセス	国際共著
オーノファンピス	国际共有
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名	4 . 巻
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	- 4.巻 115
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 奥村優子・小林哲生・鹿子木康弘・板倉昭二	115
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 奥村優子・小林哲生・鹿子木康弘・板倉昭二	5 . 発行年
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 奥村優子・小林哲生・鹿子木康弘・板倉昭二	115
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 奥村優子・小林哲生・鹿子木康弘・板倉昭二 2 . 論文標題 乳児期の視線追従及び物体処理と言語発達の関連 語彙カテゴリに基づく分析	115 5.発行年 2015年
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 奥村優子・小林哲生・鹿子木康弘・板倉昭二 2 . 論文標題 乳児期の視線追従及び物体処理と言語発達の関連 語彙カテゴリに基づく分析	5 . 発行年
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 奥村優子・小林哲生・鹿子木康弘・板倉昭二 2 . 論文標題	115 5.発行年 2015年
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 奥村優子・小林哲生・鹿子木康弘・板倉昭二 2 . 論文標題 乳児期の視線追従及び物体処理と言語発達の関連 語彙カテゴリに基づく分析 3 . 雑誌名	115 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 奥村優子・小林哲生・鹿子木康弘・板倉昭二 2.論文標題 乳児期の視線追従及び物体処理と言語発達の関連 語彙カテゴリに基づく分析 3.雑誌名	115 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 奥村優子・小林哲生・鹿子木康弘・板倉昭二 2 . 論文標題 乳児期の視線追従及び物体処理と言語発達の関連 語彙カテゴリに基づく分析 3 . 雑誌名 電子情報通信学会技術研究報告	115 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 奥村優子・小林哲生・鹿子木康弘・板倉昭二 2 . 論文標題 乳児期の視線追従及び物体処理と言語発達の関連 語彙カテゴリに基づく分析 3 . 雑誌名 電子情報通信学会技術研究報告	115 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 233-236 査読の有無
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 奥村優子・小林哲生・鹿子木康弘・板倉昭二 2 . 論文標題 乳児期の視線追従及び物体処理と言語発達の関連 語彙カテゴリに基づく分析 3 . 雑誌名 電子情報通信学会技術研究報告	115 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 233-236
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 奥村優子・小林哲生・鹿子木康弘・板倉昭二 2 . 論文標題 乳児期の視線追従及び物体処理と言語発達の関連 語彙カテゴリに基づく分析 3 . 雑誌名 電子情報通信学会技術研究報告 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	115 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 233-236 査読の有無
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 奥村優子・小林哲生・鹿子木康弘・板倉昭二 2.論文標題 乳児期の視線追従及び物体処理と言語発達の関連 語彙カテゴリに基づく分析 3.雑誌名 電子情報通信学会技術研究報告	115 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 233-236 査読の有無

1.著者名	T
' . 13 십 십	4.巻
板倉昭二	114
100 May 1 100	
0 A0 A- UE DT	= 3v./= h=
2.論文標題	5.発行年
ロボットを通して探る子どもの心-Developmental Cyberneticsの挑戦	2015年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
電子情報通信学会技術研究報告	203-207
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	_
カープンナッピへにはない、人はカープンナッピへが回来	
	1
1 . 著者名	4.巻
東山薫・Kana、I., Slaughter, V., 北崎充晃・板倉昭二	114
ладж. папа, г., отводитот, г., ловеј/от/от плаги—	
S 84.3-1997	= 7×./= /-
2 . 論文標題	5.発行年
心の理論における日豪の比較-主語、心的状態語の使用の有無からの検討-	2015年
Continue to the second That to the Month of Manager 1970 Continue to the second continue to	
2 http://	C BATHEWAY
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
電子情報通信学会技術研究報告	103-108
担業会立のDOL / ごごカリナブごったし並叫フン	本柱の左师
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
· · · · · = · ·	
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1 . 著者名	4 . 巻
- ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	114
大11度」,心巴科克,小师口工,似后吧—	1114
2 . 論文標題	5.発行年
5-6歳児における評判への関心-良い評判と悪い評判の違いの検討-	2015年
The second Children was the Children and Chi	
2 http://dz	て 目がい目後の方
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
電子情報通信学会技術研究報告	109-114
目影会立のDOL(ごごクリナゴご」とし始回フ、	本芸の大無
	査読の有無
曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
なし	無
なし オープンアクセス	
なし	無
なし オープンアクセス	無
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	国際共著 - 4 . 巻
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 朴允姫・板倉昭二	無 国際共著 - 4.巻 114
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 朴允姫・板倉昭二	無 国際共著 - 4.巻 114
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 朴允姫・板倉昭二 2 . 論文標題	無 国際共著 - 4.巻 114 5.発行年
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 朴允姫・板倉昭二	無 国際共著 - 4.巻 114
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 朴允姫・板倉昭二 2 . 論文標題 情動に関する具体的な心的状態語は子どもの情動知覚に影響を与えるのか?	無 国際共著 - 4.巻 114 5.発行年 2015年
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 朴允姫・板倉昭二 2 . 論文標題 情動に関する具体的な心的状態語は子どもの情動知覚に影響を与えるのか?	無 国際共著 - 4.巻 114 5.発行年
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 朴允姫・板倉昭二 2 . 論文標題 情動に関する具体的な心的状態語は子どもの情動知覚に影響を与えるのか? 3 . 雑誌名	無 国際共著 - 4 . 巻 114 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 朴允姫・板倉昭二 2 . 論文標題 情動に関する具体的な心的状態語は子どもの情動知覚に影響を与えるのか?	無 国際共著 - 4.巻 114 5.発行年 2015年
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 朴允姫・板倉昭二 2 . 論文標題 情動に関する具体的な心的状態語は子どもの情動知覚に影響を与えるのか? 3 . 雑誌名	無 国際共著 - 4 . 巻 114 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 朴允姫・板倉昭二 2 . 論文標題 情動に関する具体的な心的状態語は子どもの情動知覚に影響を与えるのか? 3 . 雑誌名 電子情報通信学会技術研究報告	無 国際共著 - 4 . 巻 114 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 115-120
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 朴允姫・板倉昭二 2 . 論文標題 情動に関する具体的な心的状態語は子どもの情動知覚に影響を与えるのか? 3 . 雑誌名 電子情報通信学会技術研究報告	無 国際共著 - 4 . 巻 114 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 朴允姫・板倉昭二 2 . 論文標題 情動に関する具体的な心的状態語は子どもの情動知覚に影響を与えるのか? 3 . 雑誌名 電子情報通信学会技術研究報告	無 国際共著 - 4 . 巻 114 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 115-120
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 朴允姫・板倉昭二 2 . 論文標題 情動に関する具体的な心的状態語は子どもの情動知覚に影響を与えるのか? 3 . 雑誌名 電子情報通信学会技術研究報告	無 国際共著 - 4 . 巻 114 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 115-120
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 朴允姫・板倉昭二 2 . 論文標題	無 国際共著 - 4 . 巻 114 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 115-120 査読の有無
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 朴允姫・板倉昭二 2 . 論文標題 情動に関する具体的な心的状態語は子どもの情動知覚に影響を与えるのか? 3 . 雑誌名 電子情報通信学会技術研究報告 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	無 国際共著 - 4 . 巻 114 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 115-120
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 朴允姫・板倉昭二 2 . 論文標題 情動に関する具体的な心的状態語は子どもの情動知覚に影響を与えるのか? 3 . 雑誌名 電子情報通信学会技術研究報告 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	無 国際共著 - 4 . 巻 114 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 115-120 査読の有無

1 . 著者名	4.巻
池田彩夏・小林哲生・板倉昭二	114
2.論文標題	5 . 発行年
日本人養育者のInfant-Directed Speechにおける格助詞脱落の個人差	2015年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
電子情報通信学会技術研究報告	121-126
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

〔学会発表〕	計276件 ((うち招待講演	66件 / うち国際学会	124件]

田邊宏樹

2 . 発表標題

脳から見た言語・学習・コミュニケーション

3 . 学会等名

LET関西支部早期英語教育研究部会(招待講演)

4 . 発表年 2020年

1.発表者名

0kazawa H

2 . 発表標題

PET/MR International Experience and Opportunities -PET/MR in Japan-

3 . 学会等名

2020 Annual Meeting of American College of Nuclear Medicine (ACNM) (招待講演)

4.発表年

2020年

1.発表者名 岡沢秀彦

2.発表標題

認知症・変性疾患における画像診断の有用性と今後の展望「放射線科医の立場から」

3 . 学会等名

第72回栃木県核医学研修会(招待講演)

4.発表年

1 . 発表者名 Maruyama S, Fukunaga M, Fautz HP, Heidemann R, and Sadato N
2. 発表標題 Comparison of 3T and 7T MRI for the visualization of globus pallidus sub-segments.
3.学会等名 1st CU-KU Symposium and 4th CU-NIPS Symposium "Advances in Neuroscience Research"(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2020年
1 . 発表者名 Hiromi Atsuzawa , Tanaka Emiko , Watanabe Kumi , Anme Tokie
2 . 発表標題 Decision-making and student motivation for careers in nursing: a pre-employment focus group interview
3 . 学会等名 International Caree Guidance for Inclusive Society (Bratislava)(国際学会)
4.発表年 2019年
1 . 発表者名 Tokie Anme
2 . 発表標題 Comprehensive Evidence Based Child Care and Education
3 . 学会等名 Second Forum of Child Care and Education (Shang Hai) (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2019年
1 . 発表者名 Hatsue Sakai , Emiko Tanaka , Taeko Watanabe , Tokie Anme
2 . 発表標題 Evidence based Child Care Practice
3 . 学会等名 Second Forum of Child Care and Education (Shang Hai)(招待講演)(国際学会)
4.発表年

Emiko Tanaka , Taeko Watanabe , Hatsue Sakai , Tokie Anme

2 . 発表標題

Evidence based Child Care using Interaction Ration Scale

3 . 学会等名

Second Forum of Child Care and Education (Shang Hai)(招待講演)(国際学会)

4.発表年

2019年

1.発表者名

Taeko Watanabe , Emiko Tanaka , Hatsue Sakai , Tokie Anme

2.発表標題

A web-based application for interprofessional collaboration

3 . 学会等名

Second Forum of Child Care and Education (Shang Hai)(国際学会)

4.発表年

2019年

1.発表者名

Panpan Chen , Emiko Tanka , Tokie Anme

2 . 発表標題

Association Between home-rearing environment and social skills among 6-year-old children in China

3 . 学会等名

Tsukuba Global Scientific Week Conference (Tsukuba) (国際学会)

4.発表年

2019年

1.発表者名

Dandan Jiao, Kumi Watanabe, Emiko Tanaka, Hiromi Atsuzawa, Yoko Onda, Munenori Matsumoto, Ammara Ajma, Otorirei Sato, Xiao Cui, Pan pan Chen, Xiaoyue Tao, Sana Boutefnouchet, Xiaoyu Chen, XiangLi, Tokie Anme

2 . 発表標題

Longitudinal relationship between changes in social relationship and physical function among older adults

3 . 学会等名

Tsukuba Global Scientific Week Conference (Tsukuba) (国際学会)

4.発表年

Xiang Li, Emiko Tanaka, Kumi Watanabe, Hiromi Atsuzawa, Ammara Ajmal, Munenori Matsumoto, Dandan Jiao, Otorirei Sato, Yoko Onda, Panpan Chen, Xiaoyue Tao, Xiao Cui, Sana Boutefnouchet, Xiaoyu Chen, and Tokie Anme

2 . 発表標題

The association between home-rearing environment and child development among Japanese children aged 0-6 years old

3.学会等名

Tsukuba Global Scientific Week Conference (Tsukuba) (国際学会)

4.発表年

2019年

1.発表者名

XiaoyueTao, Emiko Tanaka, Panpan Chen, Kumi Watanabe, Tokie Anme

2.発表標題

The relationship between social interaction and health-related quality of life among middle school students in China

3.学会等名

Tsukuba Global Scientific Week Conference (Tsukuba)(国際学会)

4.発表年

2019年

1.発表者名

Ammara Ajmal, Emiko Tanaka, Kumi Watanabe, Hiromi Atsuzawa, Yoko Onda, Dandan Jiao, Munenori Matsumoto, Otorirei Sato, Xiao Cui, Pan pan Chen, Xiaoyue Tao, Sana Boutefnouchet, Xiaoyu Chen, Xiang Li, Tokie Anme

2.発表標題

Longitudinal Relationship between eating habits in pre-school children and social-emotional development six years later

3.学会等名

Tsukuba Global Scientific Week Conference (Tsukuba)(国際学会)

4.発表年

2019年

1.発表者名

Xiao Cui, Emiko Tanaka , Kumi Watanabe ,Hiromi Atsuzawa , Dandan Jiao, Xiaoyu Chen ,Tokie Anme

2 . 発表標題

The effect of social interaction on Japanese elderly with depressive tendency

3.学会等名

Tsukuba Global Scientific Week Conference (Tsukuba)(国際学会)

4.発表年

Sana Boutefnouchet, Kumi Watanabe, Emiko Tanaka, Hiromi Atsuzawa, Ammara Ajma, Munenori Matsumoto, Dandan Jiao, Otorirei Sato, Yoko Onda, Panpan Chen, Xiaoyue Tao, Xiao Cui, Xiaoyu Chen, Xiang Li, Tokie Anme

2 . 発表標題

Change Differences between Favorable and Unfavorable Eating Habits in Japanese Adults and Elderly over 15 Years Tsukuba Global Scientific Week Conference (Tsukuba)

3.学会等名

2019 (国際学会)

4.発表年

2019年

1.発表者名

Xiaoyu Chen, Emiko Tanaka, Kumi Watanabe, Hiromi Atsuzawa, Ammara Ajmal, Munenori Matsumoto, Dandan Jiao, Otorirei Sato, Yoko Onda, Panpan Chen, Xiaoyue Tao, Xiao Cui, Sana Boutefnouchet, Xiang Li, Tokie Anme.

2 . 発表標題

The influence of sleep conditions on health-related quality of life among Japanese adolescents three years later

3 . 学会等名

Tsukuba Global Scientific Week Conference (Tsukuba) (国際学会)

4.発表年

2019年

1.発表者名

荒川博美、安梅勅江

2 . 発表標題

認知症サポーターの地域での活動意欲を高めるための介護体験学習プログラムの有用性の検討

3.学会等名

保健福祉学会(山梨)

4.発表年

2019年

1.発表者名

渡邊 久実,酒寄学,宇留野功一,宇留野光子,安梅勅江

2 . 発表標題

経済連携協定(EPA)によるフィリピン人 介護福祉士候補者エンパワメントに関する質的分析: 多文化共生社会に向けて

3 . 学会等名

保健福祉学会(山梨)(招待講演)

4.発表年

1 . 発表者名 田中笑子、冨崎悦子、渡邉多恵子、安梅勅江
2.発表標題 エンパワメント.アプローチによる多職種連携プログラムの開発と評価生涯発達の観点から
3 . 学会等名 保健福祉学会(山梨)
4 . 発表年 2019年
1 . 発表者名 渡邊久実、田中笑子、渡邉多恵子、澤田優子、丹羽一絵、奥村咲、奥村理加、伊藤澄雄、安梅勅江
2 . 発表標題 潜在クラス分析による高齢者の社会関係の特徴と生命予後との関連
3.学会等名 日本公衆衛生学会 (高知)
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 厚澤博美、田中笑子、渡邊久実、安梅勅江
2 . 発表標題 新人看護師の精神的健康維持を目指した支援に関する質的研究
3 . 学会等名 日本公衆衛生学会(高知)
4 . 発表年 2019年
1 . 発表者名 Tokie Anme
2. 発表標題 Bridge between Science and Practice for Childcare and education: Using the Cloud Computing-Based Support System and Longitudinal Cohort Study
3 . 学会等名 2019 Asian Forum on Children's Development in the New Era (Shang Hai)(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2019年

1. 発表者名
Yoshioka A, Koike T, Nakagawa E, Sumiya M, Sadato N, Tanabe HC
2 及主 1 面 目 百
2 . 発表標題 Neural substrates of sharing preference between interactive two persons: a hyperscanning fMRI study.
3.学会等名
OHBM2019 Annual Meeting(国際学会) 4.発表年
2019年
1.発表者名
岡沢秀彦、伊藤浩、野上宗伸
2.発表標題
画像による脳の老化と神経変性発症過程の解明
3 . 学会等名 第62回日本脳循環代謝学会学術集会(招待講演)
4 . 発表年
2019年
1 . 発表者名 森哲也、長沼陽二、橋本裕輝、岩隈佳寿子、島村真衣、清野泰、岡沢秀彦、脇厚生
2 . 発表標題
PET薬剤製造施設の衛生管理レベルに応じた、過酸化水素ガスによる微生物除去法の開発
3 . 学会等名 第59回日本核医学会学術総会
4. 発表年
2019年
1 . 発表者名 岡沢秀彦
2.発表標題
PET/MRIの標準的撮像法の確立と定量性評価
2.
3 . 学会等名 第59回日本核医学会学術総会(招待講演)
4 . 発表年
2019年

1 . 発表者名 Makino A, Mori T, Okazawa H, Kiyono Y
2 . 発表標題 Preparation and evaluation of biodegradable polymer micelle for brachytherapy
3 . 学会等名 32nd Annual Congress of the European Association of Nuclear Medicine(国際学会)
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 岡沢秀彦、辻川哲也、森哲也、牧野顕、清野泰
고 장후····································
2.発表標題 福井から世界へ ~分子イメージング最前線 ~
3.学会等名 第118回日本医学物理学会学術大会(招待講演)
4.発表年 2019年
1 . 発表者名 岡沢秀彦
2.発表標題 脳神経系の核医学診断:最近の話題
3 . 学会等名 日本核医学会 第89回中部地方会(招待講演)
4 . 発表年 2019年
1 . 発表者名 Okazawa H
2.発表標題
Quantitative brain PET/MRI imaging and its clinical application
3 . 学会等名 Brain PET 2019 (The 14th International Conference on Quantification of Brain Function with PET) (招待講演)
4 . 発表年 2019年

1. 発表者名 Kiyono Y, Mori T, Asai T, Okazawa H.
2. 発表標題 EVALUATION OF RADIOBROMINE-LABELED (SS)-BPBM FOR IMAGING OF THE BRAIN NOREPINEPHRINE TRANSPORTER
3.学会等名 Brain PET 2019 (The 14th International Conference on Quantification of Brain Function with PET)(国際学会)
4 . 発表年 2019年
1. 発表者名 Okazawa H, Tsujikawa T, Higashino Y, Mori T, Makino A, Kiyono Y.
2. 発表標題 Comparison of MR attenuation correction methods using CT-atlas vs. zero-TE on quantitative H2150-PET/MRI
3.学会等名 Brain PET 2019 (The 14th International Conference on Quantification of Brain Function with PET)(国際学会)
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 Okazawa H, Tsujikawa T, Higashino Y, Mori T, Makino M, Kiyono Y.
2.発表標題 Comparison of MR attenuation correction using CT-atlas based vs. zero-TE on quantitative 150-water PET/MRI
3.学会等名 The 66th Annual Meeting of Society of Nuclear Medicine and Molecular Imaging(国際学会)
4.発表年 2019年
1.発表者名 Okazawa H, Ikawa M, Tsujikawa T, Kosaka H.
2 . 発表標題 Brain PET/MRI for evaluation of neurodegenerative diseases

The 13th Asia Oceania Congress of Nuclear Medicine and Biology (招待講演) (国際学会)

3 . 学会等名

4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名
前,元代百日 一 飯高哲也
2.発表標題
脳とこころ:ここまで見えるようになった精神神経疾患「精神疾患の脳内神経回路病態はここまで分かった」
3.学会等名
3. チェザカ 第30回日本医学会総会(招待講演)
4.発表年
2019年
1.発表者名
Maruyama S, Fukunaga M, Sadato N
2 . 発表標題
Visualization of subdivision of globus pallidus segments using 7T MRI: Comparison with 3T.
3 . 学会等名
ISMRM Workshop on Ultrahigh Field Magnetic Resonance(国際学会)
4. 完衣牛 2019年
20194
1.発表者名
Sugawara SK, Nakayama Y, Hamano YH, Yamamoto T, Fukunaga M, Sadato N, Nihimura Y
2.発表標題
VTA is involved in both preparation and execution in motivated motor output.
3.学会等名
3 · 子云寺石 NCM2019(国際学会)
NOINZO10(国際子立)
4.発表年
2019年
1.発表者名
Hamano YH, Sugawara SK, Yoshimoto T, and Sadato N
2. 発表標題
The motor engramas a dynamic change of the cortical network during early sequence learning: an fMRI study.
3 . 学会等名
NCM2019 (国際学会)
4 改丰仁
4.発表年 2010年
2019年

Le Bihan D, Yamamoto T, Fukunaga M, Okada T, Sadato N

2 . 発表標題

A model free, sparse acquisition approach Sindex to investigate brain tissue microstructure from diffusion MRI data in the human brain.

3.学会等名

ISMRM 27th Annual Meeting & Exhibition (国際学会)

4.発表年

2019年

1.発表者名

Nakayama Y, Sugawara SK, Fukunaga M, Hamano YH, Sadato N, Nishimura Y

2 . 発表標題

Involvement of the Dorsal Premotor Cortex in Goal-directed Motor Behavior.

3 . 学会等名

25TH ANNUAL MEETING OF THE ORGANIZATION FOR HUMAN BRAIN MAPPING (国際学会)

4 . 発表年

2019年

1.発表者名

Sugawara SK, Nakayama Y, Fukunaga M, Yamamoto T, Sadato N, Nishimura Y

2 . 発表標題

 $\label{thm:thm:motivated} \mbox{ VTA-M1 pathway contributes to human motivated motor outputs.}$

3.学会等名

25TH ANNUAL MEETING OF THE ORGANIZATION FOR HUMAN BRAIN MAPPING (国際学会)

4.発表年

2019年

1.発表者名

Miyata K, Koike T, Nakagawa E, Harada T, Sumiya M, Yamamoto T and Sadato N

2 . 発表標題

Two brains resonate with each other for sharing action in imitative interaction: A hyper-scanning fMRI study.

3 . 学会等名

Joint Action Meeting VIII (国際学会)

4. 発表年

1 . 発表者名 Koyama K, Chikazoe J, Jimura K, Sadato N	
2.発表標題 fMRI時系列の基底分解によるWhole Brain Decomposition.	
3 . 学会等名 脳の自由エネルギー原理チュートリアル・ワークショップ	
4.発表年 2019年	
1 . 発表者名 Koyama K, Chikazoe J, Jimura K, Sadato N	
2.発表標題 fMRI時系列の基底分解によるWhole Brain Decomposition.	
3.学会等名 認知神経科学の先端	
4. 発表年 2019年	
1 . 発表者名 Hayashi T, Koike S, Okada T, Fukunaga M, Togo H, Miyazaki A, Ose T, Uematsu A, Saotome K, Matsuda T, Sadato N, Okamoto Y, Tanaka SC, Hanakawa T, Kasai K, Kawato M	
2.発表標題 Harmonized Brain MRI Protocols/Preprocessing for Brain/MINDS-beyond.	
3.学会等名 The 3rd Japanese Meeting for Human Brain Imaging	
4.発表年 2019年	
1 . 発表者名 Hamano Y, Sugawara SK, Fukunaga M, Sadato N	
2. 発表標題 M1 integrates the distinct motor engrams for motor sequence learning.	
3.学会等名 The 3rd Japanese Meeting for Human Brain Imaging	

4 . 発表年 2019年

_	7V. +	+ 4
- 1	4年天	~~~

山下典生,佐々木真理,武田航太,松田豪,上野育子,森太志,朴啓彰,福永雅喜,定藤規弘,帆秋伸彦

2 . 発表標題

3D ファントムを用いた頭部 MR 画像の幾何歪み・信号むらの同時補正法の開発.

3.学会等名

第3回ヒト脳イメージング研究会

4.発表年

2019年

1.発表者名

小池進介,植松明子,岡田知久,福永雅喜,早乙女康作,東口大樹,宮崎淳,合瀬恭幸,定藤規弘,松田哲也,田中沙織,川人光男,岡本泰昌,花川隆,笠井清登,林拓也,国際脳WG

2 . 発表標題

AMED「国際脳」調和プロトコル策定とトラベリングサブジェクトプロジェクト計画.

3.学会等名

第3回ヒト脳イメージング研究会

4.発表年

2019年

1.発表者名

Koyama K, Chikazoe J, Jimura K, Sadato N

2 . 発表標題

Semi-model free analysis of the whole brain activity captures temporal changes of cognitive processes.

3 . 学会等名

The 3rd Japanese Meeting for Human Brain Imaging

4.発表年

2019年

1.発表者名

Pham TQ, Chikazoe J, Yoshimoto T, Niwa H, Sadato N

2.発表標題

Novel insight into the neural basis of vision-value conversion in human brain.

3 . 学会等名

第3回ヒト脳イメージング研究会

4 . 発表年

1.発表者名
梅田雅宏,福永雅喜,定藤規弘,渡辺康晴,河合裕子,村瀬智一,樋口敏宏
2. 発表標題
7T-MR装置を用いたCSIによる脳の代謝物計測.
3.学会等名
3 . 子云寺石 第47回日本磁気共鳴医学会大会
4 . 発表年 2019年
2019年
1.発表者名
丸山修紀,福永雅喜,定藤規弘
2 . 発表標題 7T MRIを用いたヒト淡蒼球内部構造の描出: 3T MRIとの比較.
/ I MICLIC TV/には「VVに外には、 SI MICLOVにX.
3. 学会等名
第47回日本磁気共鳴医学会
4 . 発表年 2019年
2010
1.発表者名
Sadato N
Sadato N
2 . 発表標題
2 . 発表標題 Understanding the neural basis of psychiatric disease and implications for stigma:Neuroethical issues of Brain/MINDS project
2 . 発表標題 Understanding the neural basis of psychiatric disease and implications for stigma:Neuroethical issues of Brain/MINDS project
 発表標題 Understanding the neural basis of psychiatric disease and implications for stigma: Neuroethical issues of Brain/MINDS project of Japan. 学会等名 IBRO Neuroethics Luncheon "No longer Unthinkable: Why the 21st Century Neuroscientists needs Neuroethics" IBRO Congress (招
2 . 発表標題 Understanding the neural basis of psychiatric disease and implications for stigma:Neuroethical issues of Brain/MINDS project of Japan. 3 . 学会等名 IBRO Neuroethics Luncheon "No longer Unthinkable: Why the 21st Century Neuroscientists needs Neuroethics" IBRO Congress (招待講演) (国際学会)
 発表標題 Understanding the neural basis of psychiatric disease and implications for stigma: Neuroethical issues of Brain/MINDS project of Japan. 学会等名 IBRO Neuroethics Luncheon "No longer Unthinkable: Why the 21st Century Neuroscientists needs Neuroethics" IBRO Congress (招
2 . 発表標題 Understanding the neural basis of psychiatric disease and implications for stigma:Neuroethical issues of Brain/MINDS project of Japan. 3 . 学会等名 IBRO Neuroethics Luncheon "No longer Unthinkable: Why the 21st Century Neuroscientists needs Neuroethics" IBRO Congress (招待講演) (国際学会) 4 . 発表年 2019年
2. 発表標題 Understanding the neural basis of psychiatric disease and implications for stigma:Neuroethical issues of Brain/MINDS project of Japan. 3. 学会等名 IBRO Neuroethics Luncheon "No longer Unthinkable: Why the 21st Century Neuroscientists needs Neuroethics" IBRO Congress (招待講演) (国際学会) 4. 発表年 2019年
2 . 発表標題 Understanding the neural basis of psychiatric disease and implications for stigma:Neuroethical issues of Brain/MINDS project of Japan. 3 . 学会等名 IBRO Neuroethics Luncheon "No longer Unthinkable: Why the 21st Century Neuroscientists needs Neuroethics" IBRO Congress (招待講演) (国際学会) 4 . 発表年 2019年
2. 発表標題 Understanding the neural basis of psychiatric disease and implications for stigma:Neuroethical issues of Brain/MINDS project of Japan. 3. 学会等名 IBRO Neuroethics Luncheon "No longer Unthinkable: Why the 21st Century Neuroscientists needs Neuroethics" IBRO Congress (招待講演) (国際学会) 4. 発表年 2019年
2. 発表標題 Understanding the neural basis of psychiatric disease and implications for stigma:Neuroethical issues of Brain/MINDS project of Japan. 3. 学会等名 IBRO Neuroethics Luncheon "No longer Unthinkable: Why the 21st Century Neuroscientists needs Neuroethics" IBRO Congress (招待講演) (国際学会) 4. 発表年 2019年 1. 発表者名 Koyama K, Chikazoe J, Jimura K, Sadato N
2. 発表標題 Understanding the neural basis of psychiatric disease and implications for stigma:Neuroethical issues of Brain/MINDS project of Japan. 3. 学会等名 IBRO Neuroethics Luncheon "No longer Unthinkable: Why the 21st Century Neuroscientists needs Neuroethics" IBRO Congress (招待講演) (国際学会) 4. 発表年 2019年
2 . 発表標題 Understanding the neural basis of psychiatric disease and implications for stigma:Neuroethical issues of Brain/MINDS project of Japan. 3 . 学会等名 IBRO Neuroethics Luncheon "No longer Unthinkable: Why the 21st Century Neuroscientists needs Neuroethics" IBRO Congress (招待講演) (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 Koyama K, Chikazoe J, Jimura K, Sadato N
2 . 発表標題 Understanding the neural basis of psychiatric disease and implications for stigma:Neuroethical issues of Brain/MINDS project of Japan. 3 . 学会等名 IBRO Neuroethics Luncheon "No longer Unthinkable: Why the 21st Century Neuroscientists needs Neuroethics" IBRO Congress (招待講演) (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 Koyama K, Chikazoe J, Jimura K, Sadato N
2 . 発表標題 Understanding the neural basis of psychiatric disease and implications for stigma:Neuroethical issues of Brain/MINDS project of Japan. 3 . 学会等名 IBRO Neuroethics Luncheon "No longer Unthinkable: Why the 21st Century Neuroscientists needs Neuroethics" IBRO Congress (招待講演) (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 Koyama K, Chikazoe J, Jimura K, Sadato N
2 . 発表標題 Understanding the neural basis of psychiatric disease and implications for stigma:Neuroethical issues of Brain/MINDS project of Japan. 3 . 学会等名 IBRO Neuroethics Luncheon "No longer Unthinkable: Why the 21st Century Neuroscientists needs Neuroethics" IBRO Congress (招待護演) (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 Koyama K, Chikazoe J, Jimura K, Sadato N 2 . 発表標題 Whole Brain Decomposition captures transient changes of cognitive processes.
2 . 発表標題 Understanding the neural basis of psychiatric disease and implications for stigma:Neuroethical issues of Brain/MINDS project of Japan. 3 . 学会等名 IBRO Neuroethics Luncheon "No longer Unthinkable: Why the 21st Century Neuroscientists needs Neuroethics" IBRO Congress (招待講演) (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 Koyama K, Chikazoe J, Jimura K, Sadato N 2 . 発表標題 Whole Brain Decomposition captures transient changes of cognitive processes.
2 . 発表標題 Understanding the neural basis of psychiatric disease and implications for stigma:Neuroethical issues of Brain/MINDS project of Japan. 3 . 学会等名 IBRO Neuroethics Luncheon "No longer Unthinkable: Why the 21st Century Neuroscientists needs Neuroethics" IBRO Congress (招待講演) (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 Koyama K, Chikazoe J, Jimura K, Sadato N

1.発表者名
Sadato N
2. 発表標題
To what extent can human attributes be modelled?
3 . 学会等名
Global Neuroethics Summit 2019(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年
2019年
20.01
1.発表者名
Koyama Y, Chikazoe J, Jimura K, Sadato N
2.発表標題
Semi-model free analysis of whole brain activity captures dynamics of cognitive processes.
3.学会等名
フェチスサロ NTBS Workshop 2019(国際学会)
NIBS WORKSHOP 2019 (国际子云)
4.発表年
2019年
4 77 7 4 9
1. 発表者名
Sadato N
2.発表標題
To what extent can human attributes be modelled?
2 246.00
3.学会等名
The 2019 International Neuroethics Society Annual Meeting(招待講演)(国際学会)
4、改丰在
4 . 発表年
2019年
1. 発表者名
Sadato N
0 7V + LEGE
2.発表標題
Across-brain networks emerged from face-to-face social interactions probed by hyperscanning fMRI: eye-contact, joint
attention, and its memory.
3.学会等名
Society for Social Neuroscience 2019 Annual Meeting(招待講演)(国際学会)
4. 発表年
2019年

1 . 発表者名 Harada T, Sugawara T, Fukunaga M, Sadato N, Kaureys S, Sakai H
2 . 発表標題 Morphological misalignment of vestibular organs predicts motion sickness susceptibility.
3.学会等名 Neuroscience 2019 (国際学会)
4 . 発表年 2019年
1 . 発表者名 Hamano YH, Sugawara SK, Fukunaga M, Sadato N
2 . 発表標題 The integrative role of the M1 for the motor sequence learning.
3.学会等名 Neuroscience 2019 (国際学会)
4 . 発表年 2019年
1.発表者名
Sadato N
2.発表標題 Across-brain networks emerged from face-to-face social interactions probed by hyperscanning fMRI: eye-contact, joint attention, and its memory.
3.学会等名 McGill University– NIPS Joint Symposium(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2019年
1 . 発表者名 Koyama Y, Chikazoe J, Jimura K, Sadato N
2 . 発表標題 Paradigm free decomposition for whole brain dynamics.
3 . 学会等名 Brain Storming on Primate Connectome(HCP)(国際学会)
4 . 発表年

1.発表者名
1.光報音音 Sadato N
2.発表標題
Across-brain networks emerged from face-to-face social interactions probed by hyperscanning fMRI: eye-contact, joint attention, and its memory.
accontrolly and the monory.
3.学会等名
Tubingen University- Beijin-University-NIPS Joint Symposium(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年
2019年
1.発表者名
Koyama Y, Chikazoe J, Jimura K, Sadato N
indigated by the second of the
2 . 発表標題
Paradigm free decomposition for whole brain dynamics.
3.学会等名
2019年度生理研研究会第9回社会神経科学研究会
4. 発表年
2019年
1 改丰 4 夕
1.発表者名 Koyama Y, Chikazoe J, Jimura K, Sadato N
Royalla 1, officazoe 3, offiliata K, badato N
2.発表標題
Semi-model free analysis of whole brain activity captures dynamics of cognitive processes.
次世代脳プロジェクト冬のシンポジウム2019
4. 発表年
2019年
1 改丰 4 夕
1.発表者名
Itakura S
2. 発表標題
From whom do infants learn?-Developmental Cybernetics view-
19th European Conference of Developmetal Psychology(招待講演)(国際学会)
4.発表年
2019年

1. 発表者名
lidaka T, Kogata T, Mano Y
2.発表標題
ਟ . 光衣病題 Network analysis of resting-state fMRI from a multi-site database: A comparison between autism spectrum disorder patients
and control subjects
3. 学会等名
Annual Meeting of the Society for Neuroscience(国際学会)
4.発表年
2018年
1. 発表者名
lidaka T, Kogata T, Mano Y
2 ※主播時
2.発表標題 The large continued and Continue continued the process of the large continued to the continued to th
Thalamocortical and Corticocortical Hyperconnectivity in Autism Spectrum Disorder: A Resting State fMRI Study
3.学会等名
Annual Meeting of the Organization of Human Brain Mapping (国際学会)
·····································
4.発表年
2018年
1.発表者名
Tokie Anme
2. 発表標題
Community Empowerment with "Dynamic Synergy Model"
3.学会等名
3.子云寺石 Systems Sciences for Health Social Services (Sweden, Jonkoping) (招待講演) (国際学会)
oyoteme octences for nearth octat octations (oweden, Johnopfing) (泊付碼/火)(国际子云 /
4.発表年
- 2018年
1.発表者名
安梅 勅江、延原 弘章
2. 発表標題
アクションリサーチを活用した当事者主体の共創によるエンパワメント
3.学会等名
公衆衛生学会(招待講演)
4.発表年
2018年

1 . 発表者名 澤田 優子、田中 笑子、渡邊 久実、渡辺 多恵子、河西 敏幸、伊藤 澄雄、奥村 理加 、安梅 勅江
2 . 発表標題 学童期の主観的体力リスク低減と育児環境との関連
3.学会等名 公衆衞生学会
4 . 発表年 2018年
1 . 発表者名 渡辺 多恵子、田中 笑子、 冨崎 悦子、 澤田 優子、 渡邊 久実、安梅 勅江
2 . 発表標題 育児状況の18年間の推移と子ども虐待リスクと関係する要因の検討
3.学会等名 公衆衛生学会
4 . 発表年 2018年
1 . 発表者名 富崎 悦子、渡辺 多恵子、田中 笑子、澤田 優子、 安梅 勅江
2 . 発表標題 養育者が子どもをたたく要因の検討
3.学会等名 公衆衞生学会
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 坪田 彩、田中 笑子、安梅,勅江
2 . 発表標題 ウガンダ人医療従事者の労働意欲をエンパワメントする要因ーFGIを用いた質的研究
3.学会等名 公衆衛生学会
4 . 発表年 2018年

1.発表者名 田中 笑子、富崎 悦子、渡辺 多恵子、渡邊 久実、澤田 優子、年野 朋美、坪田 彩、厚澤 博美、伊藤 澄雄、奥村 理加、安梅 勅江 2.発表標題 社会的かかわりが子どもの社会適応に及ぼす影響:18年間のコホート研究に基づく検証 3.学会等名 公衆衛生学会 4.発表年 2018年 1.発表者名 渡邊 久実、田中 笑子、年野 朋美、坪田 彩、厚澤 博美、渡辺 多恵子、奥村 理加、伊藤 澄雄、安梅 勅江
社会的かかわりが子どもの社会適応に及ぼす影響:18年間のコホート研究に基づく検証 3. 学会等名 公衆衛生学会 4. 発表年 2018年
公衆衛生学会 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名
2018年 1 . 発表者名
2 . 発表標題 高齢者への生活支援サービス展開に向けたニーズ把握
3 . 学会等名 公衆衛生学会
4.発表年 2018年
1 . 発表者名 年野 朋美、田中 笑子、厚澤 博美、渡邊 久実、渡辺 多恵子、伊藤 澄雄、奥村 理加、安梅 勅江
2 . 発表標題 社会とのかかわりが防災活動参加に及ぼす影響
3 . 学会等名 公衆衛生学会
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 荒川 博美、安梅,勅江
2.発表標題 認知症サポーター上級講座参加者の活動実態と活動意欲
3.学会等名 公衆衛生学会
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名
Tokie Anme
2 . 発表標題
Community Empowerment: Inclusive Model
3 . 学会等名
Immigration and Society (USA, St.Louis) (招待講演) (国際学会)
4.発表年
2018年
1. 発表者名
Jung M, Mizuno Y, Fujisawa TX, Takiguchi S, Kosaka H, Tomoda A.
2. 発表標題
Machine learning and imaging genetics approach to ADHD
3.学会等名 The 7th World Congress of Asian Psychiatry 2019(国際学会)
The 7th World Congress of Asian Esychiatry 2019 (国际子云)
4 . 発表年
2019年
1.発表者名
Jung M, Fujioka T, Kosaka H.
2.発表標題
Structural connectivity and resting-state brain activity of the lateral occipital cortex impact social communication deficit
in boys with autism spectrum disorder?
The 7th World Congress of Asian Psychiatry 2019 (国際学会)
The 7th World Congress of Asian Psychiatry 2019(国際学会)
The 7th World Congress of Asian Psychiatry 2019 (国際学会) 4 . 発表年
The 7th World Congress of Asian Psychiatry 2019(国際学会)
The 7th World Congress of Asian Psychiatry 2019 (国際学会) 4 . 発表年 2019年
The 7th World Congress of Asian Psychiatry 2019 (国際学会) 4 . 発表年
The 7th World Congress of Asian Psychiatry 2019 (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名
The 7th World Congress of Asian Psychiatry 2019 (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名
The 7th World Congress of Asian Psychiatry 2019 (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 Okazawa H
The 7th World Congress of Asian Psychiatry 2019 (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 Okazawa H
The 7th World Congress of Asian Psychiatry 2019 (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 Okazawa H
The 7th World Congress of Asian Psychiatry 2019 (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 Okazawa H
The 7th World Congress of Asian Psychiatry 2019 (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 Okazawa H 2 . 発表標題 New Frontiers of Fusion Images in Neuroimaging 3 . 学会等名
The 7th World Congress of Asian Psychiatry 2019 (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 Okazawa H 2 . 発表標題 New Frontiers of Fusion Images in Neuroimaging
The 7th World Congress of Asian Psychiatry 2019 (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 Okazawa H 2 . 発表標題 New Frontiers of Fusion Images in Neuroimaging 3 . 学会等名 第76回日本医学放射線学会総会
The 7th World Congress of Asian Psychiatry 2019 (国際学会) 4. 発表年 2019年 1. 発表者名 Okazawa H 2. 発表標題 New Frontiers of Fusion Images in Neuroimaging 3. 学会等名 第76回日本医学放射線学会総会 4. 発表年
The 7th World Congress of Asian Psychiatry 2019 (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 Okazawa H 2 . 発表標題 New Frontiers of Fusion Images in Neuroimaging 3 . 学会等名 第76回日本医学放射線学会総会

1.発表者名
Rahman M, Islam M, Tsujikawa T, Sugimoto K, Okazawa H
2.発表標題
Count-based method for specific binding ratio calculation in [I-123]FP-CIT SPECT analysis
3.学会等名
3 . 子云寺石 The 12th World Congress of the World Federation of Nuclear Medicine and Biology (WFNMB 2018) (国際学会)
4.発表年
2018年
1.発表者名
岡沢秀彦
2.発表標題
ハイブリッド型PET/MRIで何が見えるのか - 最先端画像の臨床活用法 -
3.学会等名
3 . チス寺石 第97回福井県医学会総会(招待講演)
2018年
1.発表者名
Rahman M, Islam M, Tsujikawa T, Kiyono Y, Okazawa H
2.発表標題
A new method for [1231]FP-CIT specific binding ratio estimation in evaluation of striatal function.
The 65th Annual Meeting of The Society of Nuclear Medicine
4.発表年
2018年
1.発表者名
岡沢秀彦
2.発表標題
最新型ハイブリッドPET/MRI画像の基礎と臨床応用
3.学会等名
第35回日本ハイパーサーミア学会(招待講演)
2018年

1.発表者名 岡沢秀彦
2.発表標題 PETによる生体イメージング
「「による主体1 クーシング
3.学会等名
第27回バイオイメージング学会学術集会
4 . 発表年 2018年
1.発表者名
回沢秀彦、伊藤浩、野上宗伸
2.発表標題
2.光衣標題 画像による脳の老化と神経変性発症過程の解明
3.学会等名 第61回日本脳循環代謝学会学術集会
4 . 発表年
2018年
1 . 発表者名 岡沢秀彦
2.発表標題 PET/MRIで実現する脳機能画像の最前線
3.学会等名
第63回兵庫県核医学研究会(招待講演)
4.発表年 2018年
1.発表者名 岡沢秀彦
2.発表標題
PET/MRI検査の基礎と臨床的有用性
3 . 学会等名 第59回日本核医学会総会
4 . 発表年 2018年
4010 T

1.発表者名
岡沢秀彦、伊藤浩、野上宗伸
2 . 発表標題
PET/MRIの標準的撮像法の確立と定量性評価
3.学会等名 第59回日本核医学会総会
4 . 発表年 2018年
1 . 発表者名
日
2.発表標題
PET/MRIの臨床的有用性:悪性腫瘍と神経変性疾患への応用
3.学会等名
第32回九州PET研究会(招待講演)
4 . 発表年
2018年
1 . 発表者名 岡沢秀彦
137032
2.発表標題 PET/MRIを用いた脳機能イメージング
3.学会等名
3 . チ云守日 第23回ニューロイメージングカンファレンス(招待講演)
4.発表年
2018年
1.発表者名
岡沢秀彦
2 . 発表標題 PET/MRIで健康チェック
1 こ 17 間(人) C ((世)水 / エ ノ /
3 . 学会等名 福井大学ホームカミングデイ(招待講演)
4 . 発表年
4 . 先表年 2018年

1.発表者名 田邊宏樹
出版公 国
2 . 発表標題
好みの神経基盤
3.学会等名
日本心理学会第82回大会
4.発表年
4 . 光衣牛 2018年
1.発表者名 吉岡步,田邊宏樹
2 . 発表標題
二者の好みの表明に関する神経基盤の検討:二者同時計測機能的MRIを用いた研究
3.学会等名
日本心理学会第82回大会
4.発表年
4 · 光农中 2018年
1.発表者名 田邊宏樹
2.発表標題
言語運用、コミュニケーション活動、障がいと脳
3.学会等名
ことばの科学会25周年記念大会(招待講演)
4.発表年
2018年
1.発表者名
Yoshioka A, Tanabe HC
2. 発表標題
Neural basis of subjective preference congruity: a hyperscanning functional MRI.
3.学会等名
DFG 4th Workshop Technical issues related to real-time social interaction phenomena(国際学会)
4.発表年
2019年

Yoshimoto T, Chikazoe J, Sadato N

2 . 発表標題

Adaptive identity representations in the orbitofrontal cortex revealed by multivoxelpattern analysis.

3.学会等名

The Joint Research Area Meeting Scientific Research on Innovative Areas: "Artificial Intelligence and Brain Science" and "Adaptive Circuit Shift"

4.発表年

2018年

1.発表者名

Kasai C, Sumiya M, Koike T, Yoshimoto T, Aoki N, Sadato N

2 . 発表標題

Neural underpinning of the Japanese case particle processing on non-native speakers.

3 . 学会等名

OHBM 2018 Annual Meeting (国際学会)

4.発表年

2018年

1.発表者名

Miyata K, Oboshi Y, Koike T, and Sadato N

2 . 発表標題

The imagination of self-relevant emotional events activates rostral anterior cingulate cortex.

3.学会等名

OHBM 2018 Annual Meeting (国際学会)

4.発表年

2018年

1.発表者名

Nakagawa E, Koike T, Sumiya M and Sadato N

2 . 発表標題

The neural correlates of semantic and grammatical encoding during sentence production in a second language: evidence from a fMRI study using syntactic priming

3.学会等名

OHBM 2018 Annual Meeting (国際学会)

4 . 発表年

1	双丰业夕	
	平大石石	

Sumiya M, Koike T, Nakagawa E, Sadato N

2 . 発表標題

Neural bases of social feedback contingent on own performance.

3.学会等名

OHBM 2018 Annual Meeting (国際学会)

4.発表年

2018年

1.発表者名

Sugawara SK, Fukunaga M, Glasser MF, Yamamoto T, Hamano YH, Sadato N

2 . 発表標題

The relationship between digit areas and myelin distribution in human primary somatosensory cortex.

3 . 学会等名

OHBM 2018 Annual Meeting (国際学会)

4.発表年

2018年

1.発表者名

Nakagawa E, Koike T, Sumiya M and Sadato N

2 . 発表標題

The neural correlates of semantic and grammatical encoding during sentence production in a second language: evidence from a fMRI study using syntactic priming.

3.学会等名

BrainConnects 2018 (国際学会)

4.発表年

2018年

1.発表者名

Sugawara SK, Fukunaga M, Glasser MF, Yamamoto T, Hamano YH, Sadato N

2.発表標題

Myelin distribution reflects digit representations in human S1: 7T-MRI study.

3 . 学会等名

BrainConnects 2018 (国際学会)

4. 発表年

1.発表者名 Sumiya M, Koike T, Nakagawa E, Sadato N
2.発表標題 Neural bases of social feedback contingent on own performance.
3.学会等名 BrainConnects2018(国際学会)
4 . 発表年 2018年
1 . 発表者名 Sugawara SK, Fukunaga M, Hamano YH, Yoshimoto T, Sadato N
2 . 発表標題 Motor engram is encoded in dormant neuronal network.
3 . 学会等名 FENS2018(国際学会)
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 當山峰道,福永雅喜,山口玲欧奈,山本哲也,定藤規弘,伊佐正
2.発表標題 麻酔下サル安静時fMRIの再現性検討.
3 . 学会等名 第41回日本神経科学大会
4.発表年 2018年
1.発表者名 宮田紘平,小池耕彦,中川恵理,原田宗子,角谷基文,定藤規弘
2 . 発表標題 被模倣に伴う快感情には前帯状皮質吻側部が関与する .
3 . 学会等名 第 5 回COI夏の研究会
4 . 発表年 2018年

-	77 1 1 1
1	举夫老么

Sugawara SK, Fukunaga M, Glasser MF, Yamamoto T, Hamano YH, Sadato N

2 . 発表標題

Myelin distribution reflects digit representations in human S1: 7T-MRI study.

3.学会等名

NIPS-ARIHHP共同ワークショップ

4.発表年

2018年

1.発表者名

Sumiya M, Nakagawa E, Koike T, Sadato N

2 . 発表標題

Neural bases of social feedback contingent on own performance.

3 . 学会等名

ヒューマン・ハイ・パフォーマンスの実現を目指した次世代健康スポーツ科学と神経科学の融合・統合.

4.発表年

2018年

1.発表者名

Miyata K, Koike T, Nakagawa E, Harada T, Sumiya M and Sadato N

2 . 発表標題

Neural correlates underlying the recognition of being imitated.

3 . 学会等名

第2回NIPS-ARIHHP共同ワークショップ、ヒューマン・ハイ・パフォーマンスの実現を目指した次世代健康スポーツ科学と神経科学の融合・統合

4.発表年

2018年

1.発表者名

菅原翔,福永雅喜,Glasser MF,山本哲也,濱野有希,定藤規弘

2.発表標題

感覚運動皮質における手指領域とミエリン密度分布の関連性.

3 . 学会等名

第12回Motor Control研究会

4. 発表年

1.発表者名 丸山修紀,福永雅喜,菅原翔,定藤規弘
2.発表標題 超高磁場7テスラMRI装置を用いた個人脳計測における皮質下微細構造の同定.
3.学会等名 第12回Motor Control研究会
4 . 発表年 2018年
1. 発表者名 Miyata K, Yamamoto T, Koike T, Sugawara SK, Fukunaga M, Sadato N
2. 発表標題 Neural correlates with temporal pediction during auditory-motor synchronization.
3.学会等名 第2回ヒト脳イメージング研究会
4 . 発表年 2018年
1 . 発表者名 Sugawara SK, Fukunaga M, Hamano YH, Yoshimoto T, Sadato N
2. 発表標題 Motor engram is encoded in dormant neuronal network.
3 . 学会等名 第2回ヒト脳イメージング研究会
4.発表年 2018年
1 . 発表者名 Yamamoto T, Miura K, Fukunaga M & Sadato N
2.発表標題 Homology of functional cortical areas related to pursuit eye movements and heavily myelinated regions in each human individual.
3.学会等名 第46回日本磁気共鳴医学会大会

4 . 発表年 2018年

1	びキセク	
- 1	平太石石	

Sugawara SK, Fukunaga M, Glasser MF, Yamamoto T, Hamano YH, Sadato N

2 . 発表標題

The relationship between digit areas and myelin distribution in human primary somatosensory cortex.

3 . 学会等名

BrainStorming2018 (国際学会)

4.発表年

2018年

1.発表者名

Nakagawa E, Koike T, Sumiya M Shimada K, Makita K, Yoshida H, Yokokawa H, and Sadato N

2 . 発表標題

The neural correlates of semantic and grammatical encoding during sentence production in a second language: evidence from a fMRI study using syntactic priming.

3 . 学会等名

第8回生理学研究所・名古屋大学医学系研究科合同シンポジウム

4.発表年

2018年

1.発表者名

Sumiya M, Nakagawa E, Koike T, Sadato N

2 . 発表標題

Neural bases of social feedback contingent on own performance.

3.学会等名

第8回生理学研究所・名古屋大学医学系研究科合同シンポジウム

4.発表年

2018年

1.発表者名

近添淳一, Quang Trung Pham, 吉本隆明, 丹羽開紀, 定藤規弘

2 . 発表標題

深層学習と機能的 MRI の融合により明らかにされた視覚価値変換処理の神経基盤.

3.学会等名

第8回生理研・名大医合同シンポジウム

4. 発表年

1. 発表者名
Chikazoe J, Pham QT, Yoshimoto T, Niwa H, Sadato N
2. 発表標題
How and where is vision transformed to value?: A combinatory study of fMRI and deep learning.
3. 学会等名
CIN-NIPS Symposium 2018(国際学会)
4.発表年 2018年
2018年
1.発表者名
Fukunaga M, Tohyama T, Yamaguchi R, Yamamoto T, Yoshida M, Isa T, Sadato N
2.発表標題
Z . 光衣標題 Resting State fMRI Analysis of Anesthetized Monkey Brain.
Rosting state that Adatysts of Allostistized monkey brain.
3.学会等名
CIN-NIPS Symposium 2018(国際学会)
4.発表年
2018年
1. 発表者名
定藤規弘
2. 発表標題
交感神経活動の脳内ネットワーク.
3 . 学会等名
第71回日本自律神経学会総会(招待講演)
4 . 発表年
2018年
1.発表者名
定藤規弘
고 장후·
2.発表標題
脳科学と進化-サピエンスからネアンデルタールまでー.
3.学会等名
総合研究大学院大学創立30周年記念シンポジウム「人類はどこへ向かうのか」(招待講演)
4.発表年
- 2018年

1 . 発表者名 Sato H, Numata T, Asa Y, Koike T, Miyata K, Nakagawa E, Sumiya M, Sadato N
2. 発表標題 An fMRI investigation on the positive consequences of being imitated by a virtual non-human agent.
3.学会等名 Neuroscience 2018(国際学会)
4 . 発表年 2018年
1. 発表者名 Ogino Y, Kawamichi H, Takizawa D, Sugawara SK, Hamano YH, Fukunaga M, Watanabe Y, Toyoda K, Abe O, Sadato N, Saito S, Furui S
2. 発表標題 Enhanced functional connectivity correlated with weight-loss at pre-match period in professional.
3.学会等名 Neuroscience 2018(国際学会)
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 定藤規弘、菅原翔、山本哲也、福永雅喜
2.発表標題 7TMRIを用いたヒト神経回路解析.
3.学会等名 革新脳第二回分科会
4.発表年 2018年
1.発表者名 丸山修紀,福永雅喜,定藤規弘
2.発表標題 Visualization of external and internal globus pallidus at 7T MRI.
3.学会等名 SOKENDAI Life Science Retreat 2018

4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Shishido E, Koike T, Okazaki S, Itoh Y, Imoto K, Sadato N, Ozaki N and Fukumura N
2. 発表標題 Prediction of hand speed by eye movement when humans trace a line.
3.学会等名 The 49th NIPS International Symposium(国際学会)
4 . 発表年 2018年
1. 発表者名 Sugawara SK, Nakayama Y, Fukunaga M, Yamamoto T, Sadato N*, Nihimura Y* *corresponding authors
2.発表標題 VTA-M1 pathway controbutes to human motivated motor output.
3 . 学会等名 次世代脳プロジェクト冬のシンポジウム2018
4.発表年 2018年
1.発表者名 近添淳一,Quang Trung Pham,吉本隆明,丹羽開紀,定藤規弘
2 . 発表標題 深層学習と機能的 MRI の融合により明らかにされた視覚価値変換処理の神経基盤 .
3.学会等名 次世代脳プロジェクト冬のシンポジウム2018
4 . 発表年 2018年
1 . 発表者名 Sugawara SK, Fukunaga M, Hamano YH, Yoshimoto T, Sadato N
2. 発表標題 Motor engram is encoded in dormant neuronal network.
3.学会等名 3rd Annual meeting of ISMRM Japanese Chapter

4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Sugawara SK, Nakayama Y, Fukunaga M, Yamamoto T, Sadato N*, Nihimura Y* *corresponding authors
2.発表標題 VTA-M1 pathway controbutes to human motivated motor output.
3.学会等名 脳と心のメカニズム第19回冬のワークショップ
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 定藤規弘
2.発表標題 対面による社会的相互作用に伴う脳を超えたネットワークの形成:二個体同時計測fMRI研究.
3 . 学会等名 第35回日本脳電磁図トポグラフィ研究会(招待講演)
4 . 発表年 2019年
「1.発表者名
山本哲也,三浦健一郎,福永雅喜,定藤規弘
2 . 発表標題 追跡眼球運動に関わるヒト脳領域と高髄鞘化領域の個人・集団レベルでの相同性 .
3.学会等名 日本視覚学会2019年冬季大会
4 . 発表年 2019年
1 . 発表者名 Yamamoto T, Miura K, Fukunaga M, Sadato N
2. 発表標題 Homology of functional cortical areas related to pursuit eye movements and heavily myelinated regions at individual and group levels in humans.
3.学会等名 The 11th NAGOYA Global Retreat
4 . 発表年 2019年

1. 発表者名
板倉昭二
2.発表標題
共感する心を科学する
3.学会等名
日本心理学会第82回大会
4.発表年
2018年
1 . 発表者名
Itakura, S.
2 . 発表標題
2 . 光衣标题 Mind in nonhuman agent- Developmental Cybernetics -
with the horizontal agent- beveropmental cybernetics -
3 . 学会等名
Free University of Berlin, Psychology Seminar(招待講演)
4. 発表年
2018年
1.発表者名
T. 光衣自由 Itakura, S.
Itanuia, C.
2.発表標題
2.発表標題 Children's understanding of agency- Developmental Cybernetics view -
Children's understanding of agency- Developmental Cybernetics view -
Children's understanding of agency- Developmental Cybernetics view - 3 . 学会等名
Children's understanding of agency- Developmental Cybernetics view - 3 . 学会等名 Hong Kong University, Psychology Seminar (招待講演)
Children's understanding of agency- Developmental Cybernetics view - 3 . 学会等名 Hong Kong University, Psychology Seminar (招待講演) 4 . 発表年
Children's understanding of agency- Developmental Cybernetics view - 3 . 学会等名 Hong Kong University, Psychology Seminar (招待講演)
Children's understanding of agency- Developmental Cybernetics view - 3 . 学会等名 Hong Kong University, Psychology Seminar (招待講演) 4 . 発表年 2018年
Children's understanding of agency- Developmental Cybernetics view - 3 . 学会等名 Hong Kong University, Psychology Seminar (招待講演) 4 . 発表年 2018年
Children's understanding of agency- Developmental Cybernetics view - 3 . 学会等名 Hong Kong University, Psychology Seminar (招待講演) 4 . 発表年 2018年
Children's understanding of agency- Developmental Cybernetics view - 3 . 学会等名 Hong Kong University, Psychology Seminar (招待講演) 4 . 発表年 2018年
Children's understanding of agency- Developmental Cybernetics view - 3 . 学会等名 Hong Kong University, Psychology Seminar (招待講演) 4 . 発表年 2018年
Children's understanding of agency- Developmental Cybernetics view - 3 . 学会等名 Hong Kong University, Psychology Seminar (招待講演) 4 . 発表年 2018年
Children's understanding of agency- Developmental Cybernetics view - 3 . 学会等名 Hong Kong University, Psychology Seminar (招待講演) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 Takaaki Yoshimoto, Norihiro Sadato
Children's understanding of agency- Developmental Cybernetics view - 3 . 学会等名 Hong Kong University, Psychology Seminar (招待講演) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 Takaaki Yoshimoto, Norihiro Sadato
Children's understanding of agency- Developmental Cybernetics view - 3 . 学会等名 Hong Kong University, Psychology Seminar (招待講演) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 Takaaki Yoshimoto, Norihiro Sadato
Children's understanding of agency- Developmental Cybernetics view - 3 . 学会等名 Hong Kong University, Psychology Seminar (招待講演) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 Takaaki Yoshimoto, Norihiro Sadato 2 . 発表標題 State-dependent and -independent representations of food revealed by multi voxel pattern analysis.
Children's understanding of agency- Developmental Cybernetics view - 3 . 学会等名 Hong Kong University, Psychology Seminar (招待講演) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 Takaaki Yoshimoto, Norihiro Sadato 2 . 発表標題 State-dependent and -independent representations of food revealed by multi voxel pattern analysis.
Children's understanding of agency- Developmental Cybernetics view - 3 . 学会等名 Hong Kong University, Psychology Seminar (招待講演) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 Takaaki Yoshimoto, Norihiro Sadato 2 . 発表標題 State-dependent and -independent representations of food revealed by multi voxel pattern analysis.
Children's understanding of agency- Developmental Cybernetics view - 3 . 学会等名 Hong Kong University, Psychology Seminar (招待講演) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 Takaaki Yoshimoto, Norihiro Sadato 2 . 発表標題 State-dependent and -independent representations of food revealed by multi voxel pattern analysis.
Children's understanding of agency- Developmental Cybernetics view - 3 . 学会等名 Hong Kong University, Psychology Seminar (招待講演) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 Takaaki Yoshimoto, Norihiro Sadato 2 . 発表標題 State-dependent and -independent representations of food revealed by multi voxel pattern analysis.
Children's understanding of agency- Developmental Cybernetics view - 3 . 学会等名 Hong Kong University, Psychology Seminar (招待講演) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 Takaaki Yoshimoto, Norihiro Sadato 2 . 発表標題 State-dependent and -independent representations of food revealed by multi voxel pattern analysis. 3 . 学会等名 Yonsei-Korea-NIPS Symposium (国際学会) 4 . 発表年

_	7V. +	+ 4
- 1	4年天	~~~

Lana Kaiser, Ben Inglis, Hirokazu Kawaguchi, Masaki Fukunaga, Norihiro Sadato, Tomohisa Okada

2 . 発表標題

Glucose Tolerance Test in the Human Brain: 1H MRS study at 7 Tesla.

3.学会等名

ISMRM 25th Annual Meeting & Exhibition (国際学会)

4.発表年

2017年

1.発表者名

福永雅喜,山本哲也,定藤規弘

2 . 発表標題

7TMRIを用いたヒト神経回路解明にむけた画像取得・解析技術の研究開発 - ヒト7T diffusion MRI - .

3 . 学会等名

革新脳 MRIWG 会議

4.発表年

2017年

1.発表者名

宍戸恵美子,福村直博,定藤規弘,井本敬二,尾崎紀夫

2 . 発表標題

ヒト描画時の目と手の運動におけるジャーク最小モデルとの類似点.

3 . 学会等名

第40回日本神経科学大会

4.発表年

2017年

1.発表者名

吉本隆明,近添淳一,岡崎俊太郎,角谷基文,高橋晴香,中川恵理,小池耕彦,北田亮,岡本士毅,小阪浩隆,中田正範,矢田俊彦,定藤 規弘

2.発表標題

多ボクセルパターン解析で明らかになった状態依存および非依存の食品の表象 . State-dependent and -independent food representations revealed by multivoxel pattern analysis.

3 . 学会等名

第40回日本神経科学大会

4 . 発表年

1
1. 発表者名
Sadato N
2.発表標題
Across-brain networks emerged from face-to-face social interactions probed by hyperscanning fMRI.
notes brain notherns emerged from race-to-race social interactions probed by hyperseaming finiti.
3.学会等名
RIKEN Symposium on Brain Health, Sociality and Evolution(招待講演)
A Los and the second second of the second of
4 及主仁
4. 発表年
2017年
1.発表者名
Emiko Shishido, Norio Ozaki, Keiji Imoto, Norihiro Sadato, Naohiro Fukumura
2 . 発表標題
Eye movement as action prediction when humans trace a line.
Lyo motement as astron production men numbers trace a rine.
3 . 学会等名
第11回Motor Control研究会
4.発表年
2017年
1.発表者名
菅原翔,福永雅喜,山本哲也,濱野友希,西東倫太郎,定藤規弘
日冰水,用小水石,山半口也,原北久市,日不闹入岭,足脉风山
2 . 発表標題
個人の体性感覚皮質における指表彰の描出:7T-fMRI研究.
THE CONTRACTOR CONTRACTOR OF THE CONTRACTOR OF T
W. L. D. C.
3.学会等名
第45回日本磁気共鳴医学会
4.発表年
2017年
1.発表者名
Yamamoto T, Sugawara SK, Hamano Y, Fukunaga M & Sadato N
2 . 発表標題
Application of "HCP Pipelines" to 7T fMRI.
3 . 学会等名
The 45th Annual Meeting of the Japanese Society of Magnetic Resonance in Medicine
4.発表年
2017年

1.発表者名 當山峰道,福永雅喜,山本哲也,伊佐正,定藤規弘
2.発表標題 麻酔下サル安静時fMRIの個体内再現性の検討.
3.学会等名
第45回日本磁気共鳴医学会大会
4.発表年
2017年
1 . 発表者名 Sadato N
2、艾士福昭
2 . 発表標題 The role of the right inferior frontal gyrus in joint Attentionrelated identification with the partner probed by hyper-scanning fMRI.
3.学会等名
Yamada Symposium on "Neuroimaging of Natural Behaviors" (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年
2017年
1 . 発表者名 Sho K. Sugawara, Masaki Fukunaga, Yuki H. Hamano, Tetsuya Yamamoto, Rintaro Saito, Norihiro Sadato
Sho K. Sugawara, Masaki Fukunaga, Yuki H. Hamano, Tetsuya Yamamoto, Rintaro Saito, Norihiro Sadato
Sho K. Sugawara, Masaki Fukunaga, Yuki H. Hamano, Tetsuya Yamamoto, Rintaro Saito, Norihiro Sadato 2 . 発表標題
Sho K. Sugawara, Masaki Fukunaga, Yuki H. Hamano, Tetsuya Yamamoto, Rintaro Saito, Norihiro Sadato 2 . 発表標題
Sho K. Sugawara, Masaki Fukunaga, Yuki H. Hamano, Tetsuya Yamamoto, Rintaro Saito, Norihiro Sadato 2 . 発表標題 Digit representations in individual primary somatosensory cortex: 7T-fMRI study. 3 . 学会等名 2017 Minnesota Workshop on High and Ultra-high Field Imaging and Traning Courses (国際学会)
Sho K. Sugawara, Masaki Fukunaga, Yuki H. Hamano, Tetsuya Yamamoto, Rintaro Saito, Norihiro Sadato 2 . 発表標題 Digit representations in individual primary somatosensory cortex: 7T-fMRI study. 3 . 学会等名
Sho K. Sugawara, Masaki Fukunaga, Yuki H. Hamano, Tetsuya Yamamoto, Rintaro Saito, Norihiro Sadato 2. 発表標題 Digit representations in individual primary somatosensory cortex: 7T-fMRI study. 3. 学会等名 2017 Minnesota Workshop on High and Ultra-high Field Imaging and Traning Courses (国際学会) 4. 発表年 2017年
Sho K. Sugawara, Masaki Fukunaga, Yuki H. Hamano, Tetsuya Yamamoto, Rintaro Saito, Norihiro Sadato 2 . 発表標題 Digit representations in individual primary somatosensory cortex: 7T-fMRI study. 3 . 学会等名 2017 Minnesota Workshop on High and Ultra-high Field Imaging and Traning Courses (国際学会) 4 . 発表年
Sho K. Sugawara, Masaki Fukunaga, Yuki H. Hamano, Tetsuya Yamamoto, Rintaro Saito, Norihiro Sadato 2. 発表標題 Digit representations in individual primary somatosensory cortex: 7T-fMRI study. 3. 学会等名 2017 Minnesota Workshop on High and Ultra-high Field Imaging and Traning Courses (国際学会) 4. 発表年 2017年
Sho K. Sugawara, Masaki Fukunaga, Yuki H. Hamano, Tetsuya Yamamoto, Rintaro Saito, Norihiro Sadato 2. 発表標題 Digit representations in individual primary somatosensory cortex: 7T-fMRI study. 3. 学会等名 2017 Minnesota Workshop on High and Ultra-high Field Imaging and Traning Courses (国際学会) 4. 発表年 2017年
Sho K. Sugawara, Masaki Fukunaga, Yuki H. Hamano, Tetsuya Yamamoto, Rintaro Saito, Norihiro Sadato 2. 発表標題 Digit representations in individual primary somatosensory cortex: 7T-fMRI study. 3. 学会等名 2017 Minnesota Workshop on High and Ultra-high Field Imaging and Traning Courses (国際学会) 4. 発表年 2017年
Sho K. Sugawara, Masaki Fukunaga, Yuki H. Hamano, Tetsuya Yamamoto, Rintaro Saito, Norihiro Sadato 2 . 発表標題 Digit representations in individual primary somatosensory cortex: 7T-fMRI study. 3 . 学会等名 2017 Minnesota Workshop on High and Ultra-high Field Imaging and Traning Courses (国際学会) 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 Sadato N
Sho K. Sugawara, Masaki Fukunaga, Yuki H. Hamano, Tetsuya Yamamoto, Rintaro Saito, Norihiro Sadato 2 . 発表標題 Digit representations in individual primary somatosensory cortex: 7T-fMRI study. 3 . 学会等名 2017 Minnesota Workshop on High and Ultra-high Field Imaging and Traning Courses (国際学会) 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 Sadato N
Sho K. Sugawara, Masaki Fukunaga, Yuki H. Hamano, Tetsuya Yamamoto, Rintaro Saito, Norihiro Sadato 2 . 発表標題 Digit representations in individual primary somatosensory cortex: 7T-fMRI study. 3 . 学会等名 2017 Minnesota Workshop on High and Ultra-high Field Imaging and Traning Courses (国際学会) 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 Sadato N 2 . 発表標題 Across-brain networks emerged from face-to-face social interactions probed by hyper-scanning fMRI.
Sho K. Sugawara, Masaki Fukunaga, Yuki H. Hamano, Tetsuya Yamamoto, Rintaro Saito, Norihiro Sadato 2. 発表標題 Digit representations in individual primary somatosensory cortex: 7T-fMRI study. 3. 学会等名 2017 Minnesota Workshop on High and Ultra-high Field Imaging and Traning Courses (国際学会) 4. 発表年 2017年 1. 発表者名 Sadato N 2. 発表標題 Across-brain networks emerged from face-to-face social interactions probed by hyper-scanning fMRI.

Koike T, Tanabe CH, Adachi-Abe S, Nakagawa E, Okazaki S, Sasaki TA, Shimada K, Sugawara KS, Takahashi KH, Yoshihara K, Sadato N

2 . 発表標題

Why and how inter-individual neural synchronization occur by joint attention? Inter-individual neural network-level Hebbian learning account.

3.学会等名

Society for Neuroscience 2017 (国際学会)

4.発表年

2017年

1.発表者名

定藤規弘,福永雅喜,山本哲也,菅原 翔

2 . 発表標題

7T MRI を用いたヒト神経回路解明にむけた画像取得・解析技術の研究開発.

3. 学会等名

革新脳第2回分科会

4.発表年

2017年

1.発表者名

Takaaki Yoshimoto, Junichi Chikazoe, Shuntaro Okazaki, Motofumi Sumiya, Haruka Takahashi, Eri Nakagawa, Takahiko Koike, Ryo Kitada, Norihiro Sadato

2 . 発表標題

Internal state-dependent and -independent representational networks.

3.学会等名

the 44th Naito Conference

4.発表年

2017年

1.発表者名

Yuki H. Hamano, Sho K. Sugawara, Norihiro Sadato

2 . 発表標題

Motor engram as dynamic change of the cortical network during early sequence learning: an fMRI study.

3 . 学会等名

Society for Neuroscience 2017 (国際学会)

4 . 発表年

Takaaki Yoshimoto, J.Chikazoe, S.Okazaki, S.Motofumi, H.K.Takahashi, E.Nakagawa, T.Koike, R.Kitada, S.Okamoto, M.Nakata, H.Kosaka, T.Yada, N.Sadato

2 . 発表標題

Abstractness of value representation in orbitofrontal cortex.

3 . 学会等名

Society for Neuroscience 2017 (国際学会)

4.発表年

2017年

1.発表者名

Takaaki Yoshimoto, J.Chikazoe, S.Okazaki, S.Motofumi, H.K.Takahashi, E.Nakagawa, T.Koike, R.Kitada, S.Okamoto, M.Nakata, H.Kosaka, T.Yada, N.Sadato

2 . 発表標題

Abstractness of object representation in orbitofrontal cortex.

3 . 学会等名

生理学研究所研究会「脳の階層的理解を目指して」

4.発表年

2017年

1.発表者名

Sho K. Sugawara, Masaki Fukunaga, Yuki H. Hamano, Tetsuya Yamamoto, Rintaro Saito, Norihiro Sadato

2 . 発表標題

Individual digit representations in primary somatosensory cortex: 7T-fMRI study.

3.学会等名

The 7th NIPS / CIN Joint Symposium (国際学会)

4.発表年

2017年

1.発表者名

Sumiya M, Okamoto Y, Koike T, Tanigawa T, Kimura Y, Okazawa H, Kosaka H, Sadato N

2 . 発表標題

People with autism spectrum disorder experience less pleasure through social action-outcome contigency.

3 . 学会等名

Interactive Eye Gaze (国際学会)

4 . 発表年

1 . 発表者名 Sho K. Sugawara, Masaki Fukunaga, Matthew F. Glasser, Tetsuya Yamamoto, Yuki H. Hamano, Norihiro Sadato
2 . 発表標題 The relationship between digit areas and myelin distribution in human primary somatosensory cortex.
3 . 学会等名 ISMRM Japanese Chapter 2018
4 . 発表年 2018年
1 . 発表者名 Sadato N
2 . 発表標題 The motor engram as a dynamic change of the cortical network during early sequence learning: an fMRI study.
3 . 学会等名 Human High Performance-oriented Sports Neuroscience by Integrating Basic Neuroscience (招待講演)
4 . 発表年 2018年
1 . 発表者名 Sho k. Sugawara, Masaki Fukunaga, Tetsuya Yamamoto, Yuki Hamano, Norihiro Sadato
Sho k. Sugawara, Masaki Fukunaga, Tetsuya Yamamoto, Yuki Hamano, Norihiro Sadato 2 . 発表標題
Sho k. Sugawara, Masaki Fukunaga, Tetsuya Yamamoto, Yuki Hamano, Norihiro Sadato 2 . 発表標題 The relationship between finger areas and myelin distribution in human S1. 3 . 学会等名
Sho k. Sugawara, Masaki Fukunaga, Tetsuya Yamamoto, Yuki Hamano, Norihiro Sadato 2 . 発表標題 The relationship between finger areas and myelin distribution in human S1. 3 . 学会等名 Human High Performance-oriented Sports Neuroscience by Integrating Basic Neuroscience (国際学会) 4 . 発表年
Sho k. Sugawara, Masaki Fukunaga, Tetsuya Yamamoto, Yuki Hamano, Norihiro Sadato 2 . 発表標題 The relationship between finger areas and myelin distribution in human S1. 3 . 学会等名 Human High Performance-oriented Sports Neuroscience by Integrating Basic Neuroscience (国際学会) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 山本哲也,菅原翔,濱野友希,福永雅喜,定藤規弘 2 . 発表標題 HCP バイプラインによる7T fMRI の時空間双方向のアーチファクト低減の効果に関する検討 .
Sho k. Sugawara, Masaki Fukunaga, Tetsuya Yamamoto, Yuki Hamano, Norihiro Sadato 2. 発表標題 The relationship between finger areas and myelin distribution in human S1. 3. 学会等名 Human High Performance-oriented Sports Neuroscience by Integrating Basic Neuroscience (国際学会) 4. 発表年 2018年 1. 発表者名 山本哲也,菅原翔,濱野友希,福永雅喜,定藤規弘

1.発表者名 菅原翔,福永雅喜,Matthew F. Glasser,山本哲也,濱野友希,定藤規弘
2. 発表標題 The association between finger areas and myelin distribution in human S1.
3 . 学会等名 第 7 回新潟脳研-霊長研-生理研合同シンポジウム
4.発表年 2018年
1.発表者名 菅原翔,福永雅喜,Matthew F. Glasser,山本哲也,濱野友希,定藤規弘
2. 発表標題 The association between finger areas and myelin distribution in human S1.
3 . 学会等名 第 7 回新潟脳研-霊長研-生理研合同シンポジウム
4 . 発表年 2018年
Tokie Anme
2.発表標題 SOCIAL INTERACTION, SOCIAL TIES, AND LONGEVITY IN A COMMUNITY-DWELLING SAMPLE IN JAPAN
3.学会等名 International federation of Aging(国際学会)
4 . 発表年 2017年
1
1.発表者名 Emiko Tanaka, Etsuko Tomisaki, Taeko Watanabe, Kumi Watanabe, Tokie Anme
2. 発表標題 Changes in childrearing environment and prevention of maltreatment for pre-school children: Evidence from the 15 years Cohort Study
3 . 学会等名

World Conference of Epidimioligy (国際学会)

4 . 発表年 2017年

1. 発表者名 Etsuko Tomisaki, Yoko Onda, Emiko Tanaka,Taeko Watanabe, Maki Hirano, Ryoji Shinohara, Tokie Anme
2. 発表標題 Monitoring of children's development
3.学会等名 World Conference of Epidimioligy(国際学会)
4 . 発表年 2017年
1.発表者名 佐野千尋、渡邊久実、渡辺多恵子、澤田優子、田中笑子、伊藤澄雄、奥村理加、安梅勅江
2.発表標題 成人期の生活満足感に影響を与える社会とのかかわりについて
3.学会等名第28回公衆衛生学会総会
4 . 発表年 2017年
1.発表者名 Okazawa H, Tsujikawa T, Higashino Y, Arishima H, Mori T, Kiyono Y, Kikuta K
2. 発表標題 Measurement of cerebral blood flow with H2150 PET/MRI.
3.学会等名 Brain/Brain PET 2017; International Symposium on Cerebral Blood Flow, Metabolism and Function (国際学会)
4 . 発表年 2017年
1 . 発表者名 Okazawa H, Higashino Y, Tsujikawa T, Mori T, Arishima H, Kiyono Y, Kikuta K
2. 発表標題 Measurement of cerebral blood flow using H2150 PET/MRI with a noninvasive method.
3 . 学会等名 The 64st Annual Meeting of The Society of Nuclear Medicine and Molecular Imaging(国際学会)

4 . 発表年 2017年

1.発表者名 岡沢秀彦、辻川哲也、森哲也、清野泰
2 . 発表標題 O-15水PET/MRIによる脳血流量の定量: Measurement of cerebral blood flow with O-15 water PET/MR study.
3 . 学会等名 第76回日本医学放射線学会総会
4 . 発表年 2017年
1.発表者名 岡沢秀彦
2 . 発表標題 PET/MRIの精神神経疾患への応用 - 次世代型脳機能画像 -
3 . 学会等名 第19回静岡脳精神イメージング研究会(招待講演)
4 . 発表年 2017年
1.発表者名 岡沢秀彦
2.発表標題 脳分子イメージングとPET/MRIの脳外科領域への応用
3.学会等名 第18回日本分子脳神経外科学会(招待講演)
4 . 発表年 2017年
1.発表者名 岡沢秀彦、及川広志、辻川哲也、森哲也、牧野顕、清野泰
2.発表標題 PET/MRI定量評価のための動脈カウントキャリプレーション法の検討
3 . 学会等名 第57回日本核医学会総会
4 . 発表年 2017年

1. 発表者名 井川 正道,岡沢 秀彦,辻川 哲也,森 哲也,清野 泰,米田 誠
2.発表標題 アルツハイマー病患者における64Cu-ATSM PET酸化ストレスイメージング
3.学会等名 第57回日本核医学会総会
4 . 発表年 2017年
1 . 発表者名 岡沢秀彦、Rahman MGM, Islam MM, 辻川哲也、清野泰
2.発表標題 FP-CIT SPECTにおける半定量法の検討
3.学会等名 第60回日本脳循環代謝学会学術集会
4 . 発表年 2017年
1 . 発表者名 岡沢秀彦
2 . 発表標題 最新型PET/MRIの特徴と臨床での使用経験 - がんと脳疾患への応用 -
3 . 学会等名 第35回北京都RI懇話会(招待講演)
4 . 発表年 2017年
1 . 発表者名 Komeda H, Kosaka H, Okazawa H.
2 . 発表標題 Empathy and helping behaviors in narrative comprehension: Comparison between adults with autism spectrum disorder and typically developing adults
3.学会等名 27th Annual Meeting of the Society for Text & Discourse(国際学会)
4 . 発表年 2017年

4	ジェナク
1	华表石名

Jung M, Kosaka H, Kong J.

2 . 発表標題

Structural connectivity and resting-state brain activity of the lateral occipital cortex impact social communication deficit in boys with autism spectrum disorder

3.学会等名

International Autism Conference Tokyo 2017 (国際学会)

4.発表年

2017年

1.発表者名

Jung M, Kosaka H, Kong J.

2 . 発表標題

Surfaced based shared and distinct resting functional connectivity between attention-deficit/hyperactivity disorder and autism spectrum disorder

3. 学会等名

International Autism Conference Tokyo 2017 (国際学会)

4.発表年

2017年

1.発表者名

Fujioka T, Mizuno Y, Takiguchi S, Fujisawa TX, Tsuchiya KJ, Katayama T, Tomoda A, Hiratani M, Kosaka H.

2 . 発表標題

Attention to eye in still face strongly related to sociality compared to other social information in children with Autism Spectrum Disorder.

3 . 学会等名

American Academy of Child and Adolescent Psychiatry 64th Annual Meeting (国際学会)

4.発表年

2017年

1.発表者名

Tanabe HC

2 . 発表標題

Neural underpinnings of mutual gaze and joint attention using hyperscanning functional MRI.

3.学会等名

OHBM 2017 Annual Meeting (国際学会)

4.発表年

1. 発表者名
田邊宏樹
2.発表標題
行動・モデル・脳表現
3.学会等名
日本心理学会第81回大会
4 . 発表年 2017年
20174
1.発表者名
田邊宏樹
脳機能イメージングとモデル構築 Dynamic Causal Modellingを中心に
3・チスサロ 第41回日本神経心理学会学術集会(国際学会)
4.発表年
2017年
1 改丰业权
1 . 発表者名 板倉昭二
2 . 発表標題 発達初期の生体リズム・同期と社会的認知の発達
光度初期の主体リスム・同期と社会的認知の光度
3.学会等名
日本発達神経科学学会第6回学術集会(招待講演)
2017年
1. 発表者名
Itakura, S.
2 . 発表標題
Minds in no-human agent-Developmental Cybernetics.
Invited talk at the Milan Catholic University.(招待講演)(国際学会)
4.発表年 2017年
2017年

1.発表者名
Itakura S.
2. 改丰福昭
2.発表標題 Nicolation of American Development of American
Minds in no-human agent-Developmental Cybernetics.
3.学会等名
Invited talk at the University of Neuchatel(招待講演)(国際学会)
(Jelandor) (Jelandor) (Hint A)
4 . 発表年
2017年
1.発表者名
I takura, S.
2.発表標題
From whom do infants learn?-Developmental Cybernetics view-
3.学会等名
3 . 子芸寺石 Invited talk at British Psychological Society- Developmental Section Conference(招待講演)(国際学会)
mivited talk at bittish rsychological society- beveropmental section conference (五行講漢) (国际子云)
4.発表年
2017年
2011
1.発表者名
Itakura, S.
Tulidia, C.
2.発表標題
Children's understanding of agency-Developmental Cybernetics view-
3 . 学会等名
Invited talk at UK-Japan psychological seminar at Lancaster University(招待講演)(国際学会)
4. 発表年
2017年
1
1 . 発表者名
Itakura, S.
2.発表標題
Pro-social behavior in young infants: Fairness, helping, and empathy.
The sector sending in young infants. Farmess, helping, and ampathy.
3.学会等名
Invitede talk at The 3rd International Symposium on Child Developmental Science.(招待講演)(国際学会)
4.発表年
2017年

1.発表者名
Itakura, S.
2.発表標題
Minds in no-human agent-Developmental Cybernetics.
3. 学会等名
Invited talk at the Peking University(招待講演)(国際学会)
4.発表年
2017年
20174
1.発表者名
lidaka T, Kogata T, Bagarinao E
2.発表標題
Effects of global signal regression and head movement on connectivity analysis using resting state functional magnetic
resonance imaging.
3 . 学会等名
3 . 子云寺石 Annual Meeting of the Society for Neuroscience(国際学会)
Alfilidal Meeting of the Society for Neuroscience(国际子云)
4.発表年
2017年
1.発表者名
lidaka T, Kogata T, Bagarinao E
0 7V+1X0X
2 . 発表標題
Classification of Resting-state fMRI in Autism and Control Subjects Using a Support Vector Machine
3.学会等名
Annual Meeting of Organization for Human Brain Mapping(国際学会)
4. 発表年
2017年
1. 発表者名
Tokie Anme, Etsuko Tomisaki, Emiko Tanaka, Taeko Watanabe,
2.発表標題
Long hours in center-based care and the health of second-grade children: A longitudinal study
3 . 学会等名
International stress and behavior nueroscience and biopsychiatry conference(国際学会)
4 7V ± /T
4 . 発表年
2016年

1 . 発表者名 Tokie Anme, Emiko Tanaka, Taeko Watanabe, Etsuko Tomisaki
2 . 発表標題 Parent-chilf interactions and child social competence logitudinal evidence using the interaction rating scale (IRS)
3 . 学会等名 International Congress of Psychology(国際学会)
4 . 発表年 2016年
1 . 発表者名 田中笑子、渡辺多恵子、冨崎悦子、渡邊久実、伊藤澄雄、奥村理加、安梅勅江
2 . 発表標題 学童期の精神的健康に関連する要因の検討 コホートデータを用いて
3 . 学会等名 第75回日本公衆衛生学会総会
4 . 発表年 2016年
1.発表者名 岡沢秀彦
2 . 発表標題 Signa PET/MRの有用性と問題点
3 . 学会等名 日本脳神経核医学研究会 脳PETワークショップ
4 . 発表年 2016年
1 . 発表者名 Islam MM, Tsujikawa T, Mori T, Kiyono Y, Okazawa H.
2. 発表標題 Clinical benefits of precise delay correction for CBF measurement in 0-15 water PET study.
3 . 学会等名 The 63th Annual Meeting of the Society of Nuclear Medicine and Molecular Imaging(国際学会)
4 . 発表年 2016年

1.発表者名
岡沢秀彦
2.発表標題 PRT/URLU イブリッド・イイー ジングの世後 ト版庁的左 Rett
PET/MRIハイブリッドイメージングの技術と臨床的有用性
3 . 学会等名
PETサマーセミナー2016 in 熊本
4.発表年
2016年
1.発表者名
岡沢秀彦
2.発表標題
脳神経核医学の基礎:脳血流SPECT以外(教育講演)
3.学会等名
第52回日本医学放射線学会秋季臨床大会
4 . 発表年
2016年
1.発表者名 Islam MM, Tsujikawa T, Mori T, Kiyono Y, Okazawa H.
ISTAII MM, ISUJIKAWA I, MOTI I, KIYOTO I, OKAZAWA A.
2. 発表標題
Estimation of noninvasive arterial input in brain 0-15 water PET study.
3. 学会等名
第56回日本核医学会学術総会
4.発表年
2016年
1. 発表者名
岡沢秀彦
2 . 発表標題
PET/MRIによる画像革命: 基礎と脳神経疾患への応用
3.学会等名
第5回 New Clear Imaging Conference
4. 発表年
2017年

Okamoto Y, Kitada R, Arai S, Kochiyama T, Ishikawa S, Sadato N, Okazawa H, Kosaka H.

2 . 発表標題

Distinct neural representation of perspective of hand in the lateral occipito-temporal cortex.

3.学会等名

The 39th annual meeting of the Japan neuroscience society

4.発表年

2016年

1.発表者名

Okamoto Y, Kosaka H, Kitada R, Seki A, Tanabe HC, Hayashi MJ, Kochiyama T, Saito DN, Yanaka HT, Munesue T, Ishitobi M, Omori M, Wada Y, Okazawa H, Koeda T, Sadato N.

2 . 発表標題

Altered maturation of the fusiform face area and the extrastriate body area for individuals with autism spectrum disorders.

3 . 学会等名

Society for Neuriscience (国際学会)

4 . 発表年

2016年

1. 発表者名

Tanabe HC, Yoshioka A, Koike T, Nakagawa E, Sumiya M, Okazaki S, Sadato N

2 . 発表標題

Neural substrates of feature-based joint attention: a hyperscanning functional MRI study.

3.学会等名

Human Brain Mapping 2016 Conference (国際学会)

4.発表年

2016年

1.発表者名

Tanabe HC, Yoshioka A, Koike T, Okazaki S, Sadato N

2 . 発表標題

Core neural substrates of joint attention using hyperscanning functional MRI.

3 . 学会等名

International Congress of Psychology 2016 (国際学会)

4 . 発表年

1 . 発表者名 Yoshioka A, Tanabe HC, Koike T, Okazaki S, Nakagawa E, Sumiya M, Sadato N
2 . 発表標題 The neural substrates of feature-based joint attention: A hyperscanning functional MRI study.
3 . 学会等名 International Congress of Psychology 2016 (国際学会)
4 . 発表年 2016年
1 . 発表者名 Ishikawa M, Itakura S, Tanabe HC
2. 発表標題 Effects of autistic traits and the context use on social cognitions: A mediation analysis.
3 . 学会等名 International Congress of Psychology 2016(国際学会)
4 . 発表年 2016年
2010 [
1 . 発表者名 Yoshioka A, Koike T, Nakagawa E, Sumiya M, Okazaki S, Sadato N, Tanabe HC
1 . 発表者名
1. 発表者名 Yoshioka A, Koike T, Nakagawa E, Sumiya M, Okazaki S, Sadato N, Tanabe HC 2. 発表標題 Common neural substrates of initiator and responder in spatial and feature-based joint attention: a hyperscanning fMRI
1. 発表者名 Yoshioka A, Koike T, Nakagawa E, Sumiya M, Okazaki S, Sadato N, Tanabe HC 2. 発表標題 Common neural substrates of initiator and responder in spatial and feature-based joint attention: a hyperscanning fMRI study.
1. 発表者名 Yoshioka A, Koike T, Nakagawa E, Sumiya M, Okazaki S, Sadato N, Tanabe HC 2. 発表標題 Common neural substrates of initiator and responder in spatial and feature-based joint attention: a hyperscanning fMRI study. 3. 学会等名 Society for Neuroscience 2016 Annual Meeting (国際学会) 4. 発表年
1 . 発表者名 Yoshioka A, Koike T, Nakagawa E, Sumiya M, Okazaki S, Sadato N, Tanabe HC 2 . 発表標題 Common neural substrates of initiator and responder in spatial and feature-based joint attention: a hyperscanning fMRI study. 3 . 学会等名 Society for Neuroscience 2016 Annual Meeting (国際学会) 4 . 発表年 2016年
1 . 発表者名 Yoshioka A, Koike T, Nakagawa E, Sumiya M, Okazaki S, Sadato N, Tanabe HC 2 . 発表標題 Common neural substrates of initiator and responder in spatial and feature-based joint attention: a hyperscanning fMRI study. 3 . 学会等名 Society for Neuroscience 2016 Annual Meeting (国際学会) 4 . 発表年 2016年 1 . 発表者名 田邊宏樹

1.発表者名 田邊宏樹
2 マン 主 + 西 日 5
2 . 発表標題 間主観性と脳科学 - 二人称視点脳機能イメージング研究 -
3 . 学会等名 国立障害者リハビリテーションセンター平成28年度言語聴覚士研修会
4 . 発表年 2016年
1.発表者名 田邊宏樹
2 . 発表標題 ことばの発達と脳の働きを学ぶ;進んできた小脳研究:発達における脳の役割
3 . 学会等名 大阪医科大学LDセンター講演会
4 . 発表年 2016年
1 . 発表者名 Itakura, S., Imada, T., & Carlson, S.
2 . 発表標題 East-West Cultural Differences in Context-Sensitivity Are Evident in Early Childhood
3 . 学会等名 24th Biennial Meeting of the International Society for the Study of Behavioural Development(国際学会)
4.発表年 2016年
1.発表者名 I takura, S.
2 . 発表標題 Developmental Cybernetics: Infant Perceptions of Nonhuman Agents
3 . 学会等名 The 31st International Congress of Psychology(国際学会)
4 . 発表年 2016年

1.発表者名 Itakura, S., & Okumura, Y.
2. 発表標題 The cognitive studies of eye gaze
3.学会等名 The 31st International Congress of Psychology(国際学会)
4.発表年 2016年
1. 発表者名 Okanda, M., & Itakura, S.
2.発表標題 Understanding violations of Gricean maxims in typically developing preshoolers and adults
3.学会等名 The 31st International Congress of Psychology(国際学会)
4.発表年 2016年
1.発表者名 Koster, M., Itakura, S., & Koster, J.
2.発表標題 The role of maternal scaffolding during task assignment in the early ontogeny of helping behavior: A cross-cultural perspective.
3.学会等名 International Conference of Infant Study(国際学会)
4 . 発表年 2016年
1.発表者名 Koster, m., Itakura, S., & Kartner, J.
2.発表標題 Infants understanding of other's needs as a universal precoursor of early helping behavior. Symposium "Cognitive and motivational understandings of early helping behavior
3.学会等名 International Conference of Infant Study(国際学会)

4 . 発表年 2016年

1.発表者名 Furuhata, N., Sato, A., & Itakura, S.
2 . 発表標題 The development of joint action coordination with parent in young children
3 . 学会等名 The 31st International Congress of Psychology(国際学会)
4 . 発表年 2016年
1 . 発表者名 Yamamoto, H., Sato, A., & Itakura, S.
2 . 発表標題 Development of daily gaze communication between infant and mother
3 . 学会等名 The 31st International Congress of Psychology(国際学会)
4 . 発表年 2016年
1 . 発表者名 Fukunaga M, Sadato N
2 . 発表標題 Ultra High Field MRI of Human Brain Structure and Function.
3 . 学会等名 The 75th Annual Meeting of the Japan Radiological Society(国際学会)
4.発表年 2016年
1 . 発表者名 Sugawara S, Fukunaga M, Hamano Y, Kuribayashi H, Sadato N
2 . 発表標題 Ultra High Field MRI of Human Brain Structure and Function.
3 . 学会等名 The 75th Annual Meeting of the Japan Radiological Society(国際学会)
4 . 発表年 2016年

1 . 発表者名 Nakagawa E, Makita K, Shimada K & Sadato N
2 . 発表標題 Gray matter volume in the caudate nucleus is related to second language fluency: a VBM study.
3 . 学会等名 OHBM 2016 Annual Meeting(国際学会)
4 . 発表年 2016年
1 . 発表者名 Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Sadato N
2 . 発表標題 High frequency of social interaction is perceived as social reward represented in the ventral striatum.
3 . 学会等名 The 39th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society
4 . 発表年 2016年
1 . 発表者名 Koike T, Abe S, Bosch-Bayard J, Sadato N
2 . 発表標題 Neural basis of sharing attention during eye contact : Hyperscanning fMRI study.
Neural basis of sharing attention during eye contact : Hyperscanning fMRI study. 3 . 学会等名
Neural basis of sharing attention during eye contact : Hyperscanning fMRI study. 3 . 学会等名 The 39th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society 4 . 発表年
Neural basis of sharing attention during eye contact : Hyperscanning fMRI study. 3 . 学会等名 The 39th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society 4 . 発表年 2016年
Neural basis of sharing attention during eye contact: Hyperscanning fMRI study. 3 . 学会等名 The 39th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society 4 . 発表年 2016年 1 . 発表者名 近添 淳一 , Lee H Daniel , 定藤 規弘 , Adam K Anderson

1.発表者名
Sadato N
2.発表標題
Neural substrates of face-to-face communication through eyes : an approach with hyperscanning fMRI.
3.学会等名
The 39th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society(招待講演)
4 Water
4 . 発表年
2016年
1. 発表者名
Shishido E, Okazaki S, Imoto K, Sadato N, Fukumura N, Ozaki N
2.発表標題
Analysis of eye-movement when drawing a line.
3.学会等名
The 39th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society
4.発表年
2016年
1.発表者名
Nagashima K, Aizawa Y, Tsunakawa M, Nakata H, Harada T, Sadato N
riagaerrina il, rizalia il, rialiana il, ria
2,発表標題
2.発表標題 Brain regions involved in thermal perception.
2 . 発表標題 Brain regions involved in thermal perception.
Brain regions involved in thermal perception.
Brain regions involved in thermal perception. 3 . 学会等名
Brain regions involved in thermal perception.
Brain regions involved in thermal perception. 3 . 学会等名 The 39th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society
Brain regions involved in thermal perception. 3 . 学会等名 The 39th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society 4 . 発表年
Brain regions involved in thermal perception. 3 . 学会等名 The 39th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society
Brain regions involved in thermal perception. 3 . 学会等名 The 39th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society 4 . 発表年 2016年
Brain regions involved in thermal perception. 3 . 学会等名 The 39th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society 4 . 発表年 2016年
Brain regions involved in thermal perception. 3 . 学会等名 The 39th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society 4 . 発表年 2016年
Brain regions involved in thermal perception. 3 . 学会等名 The 39th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society 4 . 発表年 2016年
Brain regions involved in thermal perception. 3 . 学会等名 The 39th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society 4 . 発表年 2016年
Brain regions involved in thermal perception. 3 . 学会等名 The 39th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society 4 . 発表年 2016年 1 . 発表者名 Sadato N
Brain regions involved in thermal perception. 3 . 学会等名 The 39th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society 4 . 発表年 2016年 1 . 発表者名 Sadato N
Brain regions involved in thermal perception. 3 . 学会等名 The 39th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society 4 . 発表年 2016年 1 . 発表者名 Sadato N
Brain regions involved in thermal perception. 3 . 学会等名 The 39th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society 4 . 発表年 2016年 1 . 発表者名 Sadato N
Brain regions involved in thermal perception. 3 . 学会等名 The 39th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society 4 . 発表年 2016年 1 . 発表者名 Sadato N
Brain regions involved in thermal perception. 3 . 学会等名 The 39th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society 4 . 発表年 2016年 1 . 発表者名 Sadato N 2 . 発表標題 Shared attention and inter-individual neural synchronization in the human right inferior frontal gyrus.
Brain regions involved in thermal perception. 3 . 学会等名 The 39th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society 4 . 発表年 2016年 1 . 発表者名 Sadato N 2 . 発表標題 Shared attention and inter-individual neural synchronization in the human right inferior frontal gyrus.
Brain regions involved in thermal perception. 3 . 学会等名 The 39th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society 4 . 発表年 2016年 1 . 発表者名 Sadato N 2 . 発表標題 Shared attention and inter-individual neural synchronization in the human right inferior frontal gyrus.
Brain regions involved in thermal perception. 3 . 学会等名 The 39th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society 4 . 発表年 2016年 1 . 発表者名 Sadato N 2 . 発表標題 Shared attention and inter-individual neural synchronization in the human right inferior frontal gyrus.
Brain regions involved in thermal perception. 3 . 学会等名 The 39th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society 4 . 発表年 2016年 1 . 発表者名 Sadato N 2 . 発表標題 Shared attention and inter-individual neural synchronization in the human right inferior frontal gyrus. 3 . 学会等名 The 31st International Congress of Psychology (招待講演) (国際学会) 4 . 発表年
Brain regions involved in thermal perception. 3 . 学会等名 The 39th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society 4 . 発表年 2016年 1 . 発表者名 Sadato N 2 . 発表標題 Shared attention and inter-individual neural synchronization in the human right inferior frontal gyrus.
Brain regions involved in thermal perception. 3 . 学会等名 The 39th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society 4 . 発表年 2016年 1 . 発表者名 Sadato N 2 . 発表標題 Shared attention and inter-individual neural synchronization in the human right inferior frontal gyrus. 3 . 学会等名 The 31st International Congress of Psychology (招待講演) (国際学会) 4 . 発表年

1.発表者名 定藤規弘
2
2.発表標題 コミュニケーション能力の神経基盤:イメージング手法によるアプローチ.
3.学会等名
第25回日本バイオイメージング学会学術集会 公開シンポジウム 分子から心まで観るバイオイメージング(招待講演)
4 . 発表年 2016年
1.発表者名 定藤規弘
2 . 発表標題 子どもの育ちに活かすほめ脳科学からのアプローチ .
3.学会等名
みらいエンパワメントカフェ(招待講演)
4 . 発表年 2016年
1.発表者名 定藤規弘
2 . 発表標題 コミュニケーション能力の神経基盤:イメージング手法によるアプローチ。
3.学会等名
医用画像と物理シュミレーションの融合による電磁界の医療応用と安全性評価技術の最新動向(招待講演)
4 . 発表年 2016年
1 . 発表者名 Sugawara SK, Hamano YH, Sadato N
2 . 発表標題 Reactivation of declarative memory system is essential for the enhancement of the sequential motor skill.
3.学会等名
Society for Neuroscience's 46st Annual Meeting(国際学会)
4 . 発表年 2016年

1 . 発表者名 Hamano YH, Sugawara SK, Sadato N
2 . 発表標題 Dynamic change of the parieto-premotor network during early motor sequence learning: an fMRI study.
3 . 学会等名 Society for Neuroscience's 46st Annual Meeting(国際学会)
4.発表年 2016年
1.発表者名 濱野友希,菅原翔,定藤規弘
2 . 発表標題 ヒト系列運動学習における皮質 - 皮質下構造の役割 機能的MRI研究.
3 . 学会等名 第19回日本ヒト脳機能マッピング学会
4 . 発表年 2017年
1.発表者名 菅原翔,濱野友希,定藤規弘
2 . 発表標題 系列運動技能の定着に対する宣言的記憶システムの関与.
3.学会等名 第19回日本ヒト脳機能マッピング学会(国際学会)
4 . 発表年 2017年
1.発表者名 定藤規弘
2 . 発表標題 脳機能解剖の多次元解析:PET・機能的MRIによるアプローチ 機能地図からネットワーク解析へ
3 . 学会等名 第35回日本脳神経外科コングレス総会(招待講演)
4 . 発表年 2015年

1 . 発表者名 Tanabe H, Koike T, Okazaki S, Sadato N
2 . 発表標題 Common and cue-specific neural substrates of joint attention: a hyperscanning functional MRI study
3 . 学会等名 OHBM2015 Annual Meeting(国際学会)
4 . 発表年 2015年
1 . 発表者名 Koike T, Nakagawa E, Sumiya M, Shuntaro O, Sadato N
2 . 発表標題 The cerebellar-thalamic area represents the shared perceptual activity during real-time eye contact
3 . 学会等名 OHBM2015 Annual Meeting(国際学会)
4 . 発表年 2015年
1 . 発表者名 Rajaei N, Kitada R, Aoki N, Takahashi HK, Miyaoka T, Ohka M, Sadato N
2 . 発表標題 The brain network underlying the velvet hand illusion: An fMRI study
3 . 学会等名 The 21st Annual Meeting of Organization for Human Brain Mapping(国際学会)
4.発表年 2015年
1 . 発表者名 Sadato N
2 . 発表標題 Development of Social Cognition: Functional Neuroimaging Approach
3 . 学会等名 RIKEN Molecular Imaging Seminar(招待講演)
4.発表年 2015年

1.発表者名 島田浩二, Hirotani M,中川恵理,牧田快,濱野友希,岡崎俊太郎,Fox J,定藤規弘
2 . 発表標題 外国語産出能力の習熟過程に関わる大脳基底核の脳活動の可塑的変化
3.学会等名 第17回日本ヒト脳機能マッピング学会
4 . 発表年 2015年
1. 発表者名 宍戸恵美子,山崎拳一郎,伊藤竜樹,伊藤嘉邦,岡崎俊太郎,井本敬二,定藤規弘,福村直博,尾崎紀夫
2.発表標題 線をなぞるときの目と腕の協調運動で書道家はどこを見ているか
3.学会等名 第38回日本神経科学大会
4. 発表年 2015年
1.発表者名 Yuki H. Hamano, Sho K. Sugawara, Hideaki Yamazaki-Kindaichi, Naoya Aoki, Takaaki Yoshimoto, and Norihiro Sadato
2. 発表標題 Both primary motor area and striatum hold the memory of the sequential motor skill during the early training stage
3.学会等名 38th Annual meeting of Japan Neuroscience Society
4 . 発表年 2015年
1.発表者名 Koike T, Tanabe H, Okazaki S, Sadato N
2.発表標題 Neural substrates of initiating and responding to joint attention: a hyperscanning fMRI study
3 . 学会等名

38th Annual meeting of Japan Neuroscience Society

4 . 発表年 2015年

1 . 発表者名 Eri NAKAGAWA, Takahiko KOIKE, Kai MAKITA, Koji SHIMADA, Haruyo YOSHIDA, Hirokazu YOKOKAWA and Norihiro SADATO
2 . 発表標題 The neural substrates of syntactic processing by second language learners: Evidence from syntactic priming
3.学会等名 38th Annual meeting of Japan Neuroscience Society
4 . 発表年 2015年
1.発表者名 岡崎俊太郎,廣谷昌子,小池耕彦,高橋陽香,定藤 規弘
2 . 発表標題 無意識の社会的相互作用における視覚体動フィードバックシステムを定量化する
3 . 学会等名 第38回日本神経科学大会
4 . 発表年 2015年
1 . 発表者名 Tanabe H,Koike T, Okazaki S, Sadato N
2 . 発表標題 Verbal-cued joint attention: a hyperscanning fMRI study
3 . 学会等名 38th Annual meeting of Japan Neuroscience Society
4 . 発表年 2015年
1.発表者名 菅原翔,福永雅喜,小池耕彦,濱野友希,滝沢修,定藤規弘
2.発表標題 Multi-band GE-EPI法を用いた脳機能イメージングにおける最適パラメータの検討
3 . 学会等名 第43回日本磁気共鳴医学会大会
4.発表年 2015年

1 . 発表者名 Yuki H. Hamano, Sho K. Sugawara, Hideaki Yamazaki-Kindaichi, Naoya Aoki, Takaaki Yoshimoto, and Norihiro Sadato
2 . 発表標題 Neural substrates of sequential motor skill in the early training stage: an fMRI study
3 . 学会等名 COI夏の研究会
4 . 発表年 2015年
1.発表者名 定藤規弘
2 . 発表標題 MRIから迫る脳科学Overview
3 . 学会等名 第43回日本磁気共鳴医学会大会(招待講演)
4 . 発表年 2015年
1.発表者名 福永雅喜,定藤規弘
2.発表標題 超高磁場MRIでせまる脳の構造と機能
3.学会等名 第43回日本磁気共鳴医学会大会(招待講演)
4 . 発表年 2015年
1.発表者名 小池耕彦,中川恵理,角谷基文,岡崎俊太郎,定藤規弘
2.発表標題 みつめあい状態における社会的随伴性の神経基盤:.Hyperscanning fMRIを用いた研究
3 . 学会等名 日本認知科学会第32回大会
4 . 発表年 2015年

1 . 発表者名 Emiko SHISHIDO, Shuntaro OKAZAKI, Yoshikuni ITOH, Keiji IMOTO, Norihiro SADATO, Norio OZAKI, Naohiro FUKUMURA
2.発表標題
How the eye moves when humans trace a line
3.学会等名 名古屋大学-生理学研究所合同Symposium
4 . 発表年 2015年
1.発表者名 高橋陽香,北田亮,佐々木章宏,川道拓東,岡崎俊太郎,河内山隆紀,定藤規弘
2 . 発表標題 他者の感情推定時における涙と顔表情の統合に関わる神経基盤
3 . 学会等名 名古屋大学・生理学研究所合同シンポジウム
4 . 発表年 2015年
1.発表者名 定藤規弘
2 . 発表標題 私たち」の脳科学へ向けて 2個体同時計測fMRIによるアプローチ
3 . 学会等名 第45回日本神経精神薬理学会•第37回日本生物学的精神医学会合同年会(招待講演)
4 . 発表年 2015年
1.発表者名 定藤規弘
2.発表標題 間主観性(inter-subjectivity)の脳的基盤
3 . 学会等名 第38回日本精神病理学会(招待講演)
4.発表年 2015年

Naoya AOKI, Sho K. SUGAWARA, Masako HIROTANI, Shuntaro OKAZAKI, Hideaki YAMAZAKI-KINDAICHI, Takaaki YOSHIMOTO, Hirokazu YOKOKAWA, Haruyo YOSHIDA, and Norihiro SADATO

2 . 発表標題

The enhanced consolidation of foreign word learning by overt pronunciation

3.学会等名

the 45th annual meeting of the Society for Neuroscience (国際学会)

4 . 発表年

2015年

1.発表者名

Sumiya, M., Koike, T., Okazaki, S., Kitada, R., & Sadato, N

2.発表標題

A rewarding nature of conversation: an fMRI study on the contingency between own action and positive outcome

3 . 学会等名

he 45th annual meeting of the Society for Neuroscience (国際学会)

4.発表年

2015年

1.発表者名

Sumiya, M., Koike, T., Okazaki, S., Kitada, R., & Sadato, N

2 . 発表標題

Brain networks underlying the contingency effect between own actions and positive outcome in conversation: an functional MRI study

3.学会等名

The 5th Tubingen University/NIPS Joint Neuroscience Symposium (国際学会)

4.発表年

2015年

1.発表者名

Yoshimoto T, Okazaki S, Sumiya M, Takahashi H, Nakagawa E, Koike T, Kitada R & Sadato N

2 . 発表標題

Neural substrates underlying the anorexigenic effect of intranasal oxytocin in humans

3.学会等名

生命科学リトリート2015

4.発表年

1. 発表者名 Naoya AOKI, Sho K. SUGAWARA, Masako HIROTANI, Shuntaro OKAZAKI, Hideaki YAMAZAKI-KINDAICHI, Takaaki YOSHIMOTO, Hirokazu YOKOKAWA, Haruyo YOSHIDA and Norihiro SADATO
2.発表標題 The Enhanced Consolidation of Foreign Word Learning by Verbal Rehearsal
3 . 学会等名 名古屋グローバルリトリート
4 . 発表年 2016年
1.発表者名 定藤規弘,福永雅喜
2.発表標題 7TMRIを用いたヒト神経回路解明に向けて
3 . 学会等名 第18回日本ヒト脳機能マッピング学会
4 . 発表年 2016年
1 . 発表者名 岡本悠子, 小坂浩隆, 北田亮, 関あゆみ, 田邊宏樹, 林正道, 河内山隆紀, 齋藤大輔, 谷中久和, 棟居俊夫, 石飛信, 大森晶夫, 和田有司, 岡沢秀彦, 小枝達也, 定藤規弘
2 . 発表標題 自閉スペクトラム症における顔認知・身体認知に関与する視覚領域の発達遅延
3 . 学会等名 第18回日本ヒト脳機能マッピング学会
4 . 発表年 2016年
1.発表者名 田邊宏樹
2 . 発表標題 社会脳研究の新たな視点:二人のfMRI同時計測によるアプローチ

3.学会等名 「大会シンポジウム:ヒト脳イメージング研究の最前線」日本心理学会第79回大会

4 . 発表年 2015年

1.発表者名
板倉昭二
2. 発表標題
乳児の発達からわかること
3.学会等名
日本赤ちゃん学会第15回学術集会(向社会行動の発達 日本赤ちゃん学会シンポジウム)(招待講演)
日本からでルチムがは日子的朱太(同社会行動の元年)日本からでルチムノノがノブム)(日内時候)
4. TV-ste ter
4.発表年
2015年
1.発表者名
板倉昭二
2. 発表標題
感情と社会性の発達
©HC LA LV/UC
3 . 学会等名
日本感情心理学会第23回大会 (乳児の向社会行動と感情 日本感情心理学会第23回大会 シンポジウム) (招待講演)
4 . 発表年
2015年
1.発表者名
ltakura, S
Takata, C
2.発表標題
2 . 発表標題 From whom do infants learn? -Comparative pedagogical agent study-
From whom do infants learn? -Comparative pedagogical agent study-
From whom do infants learn? -Comparative pedagogical agent study- 3 . 学会等名
From whom do infants learn? -Comparative pedagogical agent study-
From whom do infants learn? -Comparative pedagogical agent study- 3 . 学会等名 The Second International Symposium on Early Childhood and Developmental Neuroscience (招待講演)
From whom do infants learn? -Comparative pedagogical agent study- 3 . 学会等名 The Second International Symposium on Early Childhood and Developmental Neuroscience (招待講演)
From whom do infants learn? -Comparative pedagogical agent study- 3 . 学会等名 The Second International Symposium on Early Childhood and Developmental Neuroscience (招待講演) 4 . 発表年
From whom do infants learn? -Comparative pedagogical agent study- 3 . 学会等名 The Second International Symposium on Early Childhood and Developmental Neuroscience (招待講演)
From whom do infants learn? -Comparative pedagogical agent study- 3 . 学会等名 The Second International Symposium on Early Childhood and Developmental Neuroscience (招待講演) 4 . 発表年 2015年
From whom do infants learn? -Comparative pedagogical agent study- 3 . 学会等名 The Second International Symposium on Early Childhood and Developmental Neuroscience (招待講演) 4 . 発表年 2015年
From whom do infants learn? -Comparative pedagogical agent study- 3 . 学会等名 The Second International Symposium on Early Childhood and Developmental Neuroscience (招待講演) 4 . 発表年 2015年
From whom do infants learn? -Comparative pedagogical agent study- 3 . 学会等名 The Second International Symposium on Early Childhood and Developmental Neuroscience (招待講演) 4 . 発表年 2015年
From whom do infants learn? -Comparative pedagogical agent study- 3 . 学会等名 The Second International Symposium on Early Childhood and Developmental Neuroscience (招待講演) 4 . 発表年 2015年
From whom do infants learn? -Comparative pedagogical agent study- 3 . 学会等名 The Second International Symposium on Early Childhood and Developmental Neuroscience (招待講演) 4 . 発表年 2015年
From whom do infants learn? -Comparative pedagogical agent study- 3 . 学会等名 The Second International Symposium on Early Childhood and Developmental Neuroscience (招待講演) 4 . 発表年 2015年 1 . 発表者名 Hyodo, M., Itakura, S., Kitazaki, M
From whom do infants learn? -Comparative pedagogical agent study- 3 . 学会等名 The Second International Symposium on Early Childhood and Developmental Neuroscience (招待講演) 4 . 発表年 2015年 1 . 発表者名 Hyodo, M., Itakura, S., Kitazaki, M
From whom do infants learn? -Comparative pedagogical agent study- 3 . 学会等名 The Second International Symposium on Early Childhood and Developmental Neuroscience (招待講演) 4 . 発表年 2015年 1 . 発表者名 Hyodo, M., Itakura, S., Kitazaki, M
From whom do infants learn? -Comparative pedagogical agent study- 3 . 学会等名 The Second International Symposium on Early Childhood and Developmental Neuroscience (招待講演) 4 . 発表年 2015年 1 . 発表者名 Hyodo, M., Itakura, S., Kitazaki, M
From whom do infants learn? -Comparative pedagogical agent study- 3 . 学会等名 The Second International Symposium on Early Childhood and Developmental Neuroscience (招待講演) 4 . 発表年 2015年 1 . 発表者名 Hyodo, M., Itakura, S., Kitazaki, M
From whom do infants learn? -Comparative pedagogical agent study- 3 . 学会等名 The Second International Symposium on Early Childhood and Developmental Neuroscience (招待講演) 4 . 発表年 2015年 1 . 発表者名 Hyodo, M., Itakura, S., Kitazaki, M
From whom do infants learn? -Comparative pedagogical agent study- 3 . 学会等名 The Second International Symposium on Early Childhood and Developmental Neuroscience (招待講演) 4 . 発表年 2015年 1 . 発表者名 Hyodo, M., Itakura, S., Kitazaki, M
From whom do infants learn? -Comparative pedagogical agent study- 3 . 学会等名 The Second International Symposium on Early Childhood and Developmental Neuroscience (招待講演) 4 . 発表年 2015年 1 . 発表者名 Hyodo, M., Itakura, S., Kitazaki, M 2 . 発表標題 Equality in distributive justice to virtual characters.
From whom do infants learn? -Comparative pedagogical agent study- 3 . 学会等名 The Second International Symposium on Early Childhood and Developmental Neuroscience (招待講演) 4 . 発表年 2015年 1 . 発表者名 Hyodo, M., Itakura, S., Kitazaki, M
From whom do infants learn? -Comparative pedagogical agent study- 3 . 学会等名 The Second International Symposium on Early Childhood and Developmental Neuroscience (招待講演) 4 . 発表年 2015年 1 . 発表者名 Hyodo, M., Itakura, S., Kitazaki, M 2 . 発表標題 Equality in distributive justice to virtual characters. 3 . 学会等名 The 2015 International Conference on Advanced Information: Concepts, Theory, and Application (ICAICTA 2015), (国際学会)
From whom do infants learn? -Comparative pedagogical agent study- 3 . 学会等名 The Second International Symposium on Early Childhood and Developmental Neuroscience (招待講演) 4 . 発表年 2015年 1 . 発表者名 Hyodo, M., Itakura, S., Kitazaki, M 2 . 発表標題 Equality in distributive justice to virtual characters. 3 . 学会等名 The 2015 International Conference on Advanced Information: Concepts, Theory, and Application (ICAICTA 2015), (国際学会) 4 . 発表年
From whom do infants learn? -Comparative pedagogical agent study- 3 . 学会等名 The Second International Symposium on Early Childhood and Developmental Neuroscience (招待講演) 4 . 発表年 2015年 1 . 発表者名 Hyodo, M., Itakura, S., Kitazaki, M 2 . 発表標題 Equality in distributive justice to virtual characters. 3 . 学会等名 The 2015 International Conference on Advanced Information: Concepts, Theory, and Application (ICAICTA 2015), (国際学会) 4 . 発表年
From whom do infants learn? -Comparative pedagogical agent study- 3 . 学会等名 The Second International Symposium on Early Childhood and Developmental Neuroscience (招待講演) 4 . 発表年 2015年 1 . 発表者名 Hyodo, M., Itakura, S., Kitazaki, M 2 . 発表標題 Equality in distributive justice to virtual characters. 3 . 学会等名 The 2015 International Conference on Advanced Information: Concepts, Theory, and Application (ICAICTA 2015), (国際学会)
From whom do infants learn? -Comparative pedagogical agent study- 3 . 学会等名 The Second International Symposium on Early Childhood and Developmental Neuroscience (招待講演) 4 . 発表年 2015年 1 . 発表者名 Hyodo, M., Itakura, S., Kitazaki, M 2 . 発表標題 Equality in distributive justice to virtual characters. 3 . 学会等名 The 2015 International Conference on Advanced Information: Concepts, Theory, and Application (ICAICTA 2015), (国際学会) 4 . 発表年

1. 発表者名 Emiko Tanaka, Zyu Zyu, Taeko Watanabe, Etsuko Tomisaki, Bailiang Wu, and Tokie Anme		
2 . 発表標題 The Relationship between Parental Stress and Child-Rearing Behaviors: Using the Cloud Computing-Based Support System for Comprehensive Childcare		
3.学会等名 World Engineering Conference and Convention(国際学会)		
4 . 発表年 2015年		
〔図書〕 計17件		
1.著者名 Tokie Anme	4 . 発行年 2019年	
2. 出版社 Nova Science Publications	5.総ページ数 194	
3.書名 Creating Empowerment in Commnitiess:Theory and Practice from an International Perspective		
1.著者名 安梅勅江	4 . 発行年 2019年	
2.出版社日本評論社	5.総ページ数 ²⁶⁴	
3.書名 子どもの未来をひらく エンパワメント科学		
1.著者名 定藤規弘	4 . 発行年 2019年	
2.出版社 日本評論社	5.総ページ数 264(担当:68-97)	
3.書名 子どもの未来をひらくエンパワーメント科学(安梅勅江編著)/子どもを「ほめ」て育てるということー 脳科学からのアプローチ		

. ***	A 75./- F
1.著者名	4 . 発行年
童連(編)、安梅勅江(編)	2017年
2.出版社	5.総ページ数
2 .	」、総ペーン数
1友出八子山水社	
3.書名	
3 · 音句 0 ~ 6歳児童 心理行為発展の評価	
○ ○/⅓%ノ∪・±・U'⊁± J⅓⊎プロ/区♥ノロ Щ	
	_
1.著者名	4.発行年
**	2017年
2.出版社	5.総ページ数
メディカルドゥ	161 (担当76-78)
3 . 書名	
脳内環境辞典	
	_
	4 3V./= h-
1 . 著者名	4 . 発行年
田中笑子、安梅勅江	2017年
2.出版社	「 4公 A° こ***た
	5.総ページ数 156
診断と治療社	100
3.書名	
3 . 音句 「育てにくさ」の理解と支援 - 健やか親子21(第2次)の重点課題に向けて 第2章3節 (p80 - 81)	
同じにくこ」の注册に又及「既ドル祝」と((お2八)の単二味超に凹けて 为2早3即 (pob = 01)	
	_
1.著者名	4.発行年
Tokie Anme, et.al.	2018年
2.出版社	5 . 総ページ数
Japan Pediatric Publication	50
3 . 書名	
"Empowerment Sciences for Professionals Enhance Inclusion and A World of Possibilities"	

1.著者名 岡沢秀彦	4 . 発行年 2017年
2.出版社 三輪書店	5.総ページ数 259 (担当39-42)
3.書名 "『プライム脳神経外科2 脳虚血』(監修:木内博之、斉藤延人) 第日章 脳虚血の画像診断 3.核医学 02 PET"	
1.著者名 岡沢秀彦	4 . 発行年 2017年
2. 出版社 金原出版	5 . 総ページ数 300 (担当215-221, 244-247)
3.書名 "核医学融合画像 基礎と臨床 (監修:西村恒彦) 「6.脳核医学における臨床 3PET/MRI」"	
1 . 著者名 Bruner E, Ogihara N, Tanabe HC (Eds.)	4 . 発行年 2018年
2. 出版社 Springer Tokyo	5 . 総ページ数 ²⁸⁹
3.書名 Digital Endocasts: From Skulls to Brains.	
1 . 著者名 Tokie Annme (Editor: Kristen Alvarez)	4 . 発行年 2016年
2.出版社 Nova Science Publishers	5 . 総ページ数 ²⁰⁹
3.書名 Parent-Child Interactions and Relationships Chapter11: Parent-Child interactions and child	
social competence: longitudinal evidence using the interaction rating scale(IRS)	

1.著者名	4 . 発行年
NHK「すくすく子育て」制作班、安梅勅江	2016年
2. 出版社	5.総ページ数
新星出版社	215
3 . 書名	
"「すくすく子育て」愛情が伝わる!叱り方ほめ方 "認める"ことで自信がつく!子どもを伸ばすほめ方	
50 , 51 , 52 , 54"	
	•
1. 著者名	4.発行年
Anme T (Editor:Randall Harris)	2016年
	· · ·
2. 出版社	5.総ページ数
Nova Science Publishers	163
1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
3 . 書名	
Empowerment: Cross-Cultural Perspectives, Strategies and Psychological Benefits Chapter1: New	
Empowernment Model on practical strategies for wellbeing	
, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
1.著者名	4.発行年
	4.70114
并川正道、岡沢秀彦、米田誠	2017年
井川正道、岡沢秀彦、米田誠	2017年
井川正道、岡沢秀彦、米田誠 2.出版社	2017年 5 . 総ページ数
井川正道、岡沢秀彦、米田誠 2.出版社	2017年 5 . 総ページ数
井川正道、岡沢秀彦、米田誠 2.出版社	2017年 5 . 総ページ数
井川正道、岡沢秀彦、米田誠 2. 出版社 中外医学社 3.書名	2017年 5 . 総ページ数
井川正道、岡沢秀彦、米田誠 2.出版社 中外医学社	2017年 5 . 総ページ数
井川正道、岡沢秀彦、米田誠 2. 出版社 中外医学社 3.書名	2017年 5 . 総ページ数
井川正道、岡沢秀彦、米田誠 2. 出版社 中外医学社 3.書名	2017年 5 . 総ページ数
井川正道、岡沢秀彦、米田誠 2. 出版社 中外医学社 3.書名	2017年 5 . 総ページ数
井川正道、岡沢秀彦、米田誠 2. 出版社 中外医学社 3.書名	2017年 5 . 総ページ数
井川正道、岡沢秀彦、米田誠 2. 出版社 中外医学社 3.書名	2017年 5 . 総ページ数
井川正道、岡沢秀彦、米田誠 2.出版社中外医学社 3.書名Annual Review 神経 2017「5.神経変性疾患の酸化ストレスイメージング」 1.著者名	2017年 5 . 総ページ数 281(担当:87-93)
井川正道、岡沢秀彦、米田誠 2. 出版社中外医学社 3. 書名Annual Review 神経 2017「5.神経変性疾患の酸化ストレスイメージング」	2017年 5 . 総ページ数 281(担当:87-93)
井川正道、岡沢秀彦、米田誠 2.出版社中外医学社 3.書名Annual Review 神経 2017「5.神経変性疾患の酸化ストレスイメージング」 1.著者名	2017年 5 . 総ページ数 281(担当:87-93)
井川正道、岡沢秀彦、米田誠 2.出版社中外医学社 3.書名Annual Review 神経 2017「5.神経変性疾患の酸化ストレスイメージング」 1.著者名	2017年 5 . 総ページ数 281(担当:87-93)
#川正道、岡沢秀彦、米田誠 2 . 出版社 中外医学社 3 . 書名 Annual Review 神経 2017「5 . 神経変性疾患の酸化ストレスイメージング」 1 . 著者名 Sadato N (Editor: Masataka Watanabe)	2017年 5 . 総ページ数 281(担当:87-93)
#川正道、岡沢秀彦、米田誠 2 . 出版社 中外医学社 3 . 書名 Annual Review 神経 2017「5 . 神経変性疾患の酸化ストレスイメージング」 1 . 著者名 Sadato N (Editor: Masataka Watanabe)	2017年 5.総ページ数 281(担当:87-93) 4.発行年 2017年
#川正道、岡沢秀彦、米田誠 2 . 出版社 中外医学社 3 . 書名 Annual Review 神経 2017「5 . 神経変性疾患の酸化ストレスイメージング」 1 . 著者名 Sadato N (Editor: Masataka Watanabe)	2017年 5.総ページ数 281(担当:87-93) 4.発行年 2017年 5.総ページ数
#川正道、岡沢秀彦、米田誠 2 . 出版社 中外医学社 3 . 書名 Annual Review 神経 2017「5 . 神経変性疾患の酸化ストレスイメージング」 1 . 著者名 Sadato N (Editor: Masataka Watanabe)	2017年 5.総ページ数 281(担当:87-93) 4.発行年 2017年 5.総ページ数
#川正道、岡沢秀彦、米田誠 2 . 出版社 中外医学社 3 . 書名 Annual Review 神経 2017「5 . 神経変性疾患の酸化ストレスイメージング」 1 . 著者名 Sadato N (Editor: Masataka Watanabe) 2 . 出版社 Springer	2017年 5.総ページ数 281(担当:87-93) 4.発行年 2017年 5.総ページ数
#川正道、岡沢秀彦、米田誠 2. 出版社 中外医学社 3.書名 Annual Review 神経 2017「5.神経変性疾患の酸化ストレスイメージング」 1.著者名 Sadato N (Editor: Masataka Watanabe) 2. 出版社 Springer 3.書名	2017年 5.総ページ数 281(担当:87-93) 4.発行年 2017年 5.総ページ数
#川正道、岡沢秀彦、米田誠 2. 出版社 中外医学社 3.書名 Annual Review 神経 2017「5.神経変性疾患の酸化ストレスイメージング」 1.著者名 Sadato N (Editor: Masataka Watanabe) 2. 出版社 Springer 3.書名 The Prefrontal Cortex as an Executive, Emotional, and Social Brain. Shared attention and	2017年 5.総ページ数 281(担当:87-93) 4.発行年 2017年 5.総ページ数
#川正道、岡沢秀彦、米田誠 2. 出版社 中外医学社 3.書名 Annual Review 神経 2017「5.神経変性疾患の酸化ストレスイメージング」 1.著者名 Sadato N (Editor: Masataka Watanabe) 2. 出版社 Springer 3.書名	2017年 5.総ページ数 281(担当:87-93) 4.発行年 2017年 5.総ページ数
#川正道、岡沢秀彦、米田誠 2. 出版社 中外医学社 3.書名 Annual Review 神経 2017「5.神経変性疾患の酸化ストレスイメージング」 1.著者名 Sadato N (Editor: Masataka Watanabe) 2. 出版社 Springer 3.書名 The Prefrontal Cortex as an Executive, Emotional, and Social Brain. Shared attention and	2017年 5.総ページ数 281(担当:87-93) 4.発行年 2017年 5.総ページ数
#川正道、岡沢秀彦、米田誠 2. 出版社 中外医学社 3.書名 Annual Review 神経 2017「5.神経変性疾患の酸化ストレスイメージング」 1.著者名 Sadato N (Editor: Masataka Watanabe) 2. 出版社 Springer 3.書名 The Prefrontal Cortex as an Executive, Emotional, and Social Brain. Shared attention and	2017年 5.総ページ数 281(担当:87-93) 4.発行年 2017年 5.総ページ数

1.著者名 田邊宏樹		4 . 発行年 2015年
2. 出版社 新曜社 東京		5.総ページ数 328
3.書名 「脳機能イメージング」榊原洋一、	米田英嗣(編)「発達科学ハンドブック8 脳の発達科学	ŽJ
		30.1- tr
1 . 著者名 内田伸子・板倉昭二 (編著)		4 . 発行年 2016年
2.出版社 誠信書房		5.総ページ数 206
3 . 書名 高校生のための心理学講座		
〔産業財産権〕		
[その他] 最近のリリース一覧		
http://www.nips.ac.jp/release/		
6.研究組織		
氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
安梅 勅江	筑波大学・医学医療系・教授	
研究 分 (Annme Tokie) 担 者		
者		

(20201907)

(12102)

6.研究組織(つづき)

0	. 研究組織(つづき)		
	氏名 (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
	田邊 宏樹	名古屋大学・情報学研究科・教授	
研究分担者	(Tanabe Hiroki)		
	(20414021)	(13901)	
	板倉昭二	同志社大学・研究開発推進機構・教授	
研究分担者	(Itakura Shoji)		
	(50211735)	(34310)	!
	岡沢 秀彦	福井大学・高エネルギー医学研究センター・教授	
研究分担者	(Okazawa Hidehiko)		
L	(50360813)	(13401)	
	飯高 哲也	名古屋大学・脳とこころの研究センター・教授	
研究分担者	(lidaka Tetsuya)		
	(70324366)	(13901)	
	小坂 浩隆	ー 福井大学・学術研究院医学系部門・教授	
研究分担者	(Kosaka Hirotaka)		
	(70401966)	(13401)	
	小枝 達也		削除:平成28年8月24日
研究分担者	(Koeda Tatsuya)	部・部長	
	(70225390)	(82612)	
	11:	V /	